

教育關係——小學校——上閉伊郡

尋訓杉山長四郎 代教村上上品
子 同佐々木みや
○立根尋常高等小學校 訓長小野岫 訓柏崎榮 同鈴木龍太郎 同鈴木英夫 同菅生岩雄 同佐々木侯子 專訓吉田泰代 尋訓浦島ナニハ 校醫佐々木謙之助

○赤崎尋常高等小學校 訓長坂下勝三郎 訓千葉正三 同金野徹 同吉田文吉 同金野守助 同加藤モトエ 同佐藤愛子 專訓出羽カヨ 准佐々木キヨミ 同吉田藤一 訓休職及川善治郎 同田代菊次郎 校醫菊田文雄

○蛸浦尋常高等小學校 訓長伊藤榮一 訓菅原勇 同伊藤清八郎 同大坂坤五郎 同岩本欽助 同佐々木タツ 專訓鈴木千磐 尋訓今野榮一 校醫菊田文雄

○綾里尋常高等小學校 訓長千田久松 尋訓中島眞道 訓小松義雄 同渡邊源 同西村喜一郎 同千田忠治 同菊地剛二 同小野寺公平 同渡邊トミ 同宮野キヨ 專訓千葉良

○越喜來尋常高等小學校 訓長小原永太郎 訓佐々木寛平 同高橋助五郎 同大久保眞淵 同館脇益治郎 同大久保ハル 尋訓今野吉夫 專訓細谷サカヨ 准訓鷺田シゲコ 代教中屋孝一

○崎濱尋常高等小學校 訓長及川喜一 訓大島直 同吉田喜一 同新沼良一 同及川スゲノ 同休職佐々木義美 校醫村上加能登

○甫嶺尋常小學校 訓長水野良民 訓小松勤 訓小山きく 尋訓小山文彰 校醫伊藤省三

○吉濱尋常小學校 訓長小松善重郎 訓新沼雄四郎 同渡邊宗義 同菅野堅治 同柏崎勇 同庄司勇 專訓小松フクヘ 訓熊谷チヤ 代教千葉忠

○千歲分教場 准訓柏喜七
○小白濱尋常高等小學校 訓長水沼孝太郎 訓苗代橋秀志 同千葉モトエ 尋訓井上八郎 訓小野忠男 同武田耕一郎 尋訓小濱孝 訓大谷まつ子 同花輪ツヤ子 尋訓山崎玉太郎 專訓花淵善也 同齋藤久治郎 代教河東マサエ 訓互野一

○大石尋常小學校 訓長菅野嘉七 訓木川田慶太郎 代教菅野ケイ

○上閉伊郡
○遠野尋常高等小學校 訓長鈴木兼三 訓三浦榮 同鱒澤徳三 同新里キミ 同松田ムネ 同照井淺 同菊池節夫 同昆盛男 同菊池ムメ 同菊池ハツ 同石橋壽男 同工藤英郎 同小原芳郎 同瀨川光一 同葛卷サダ 同河村精一 同柄内眞太郎 同池戸秀太郎 同柄内ワカ 同淺沼慶雄 同阿部ナミ 同阿久津成雄 同福島縣兵衛 同松崎ヤス 同正木愛 同松田ヨシ 同多田トヲ 同今野セツ 同熊谷トヨ

○綾織尋常高等小學校 訓長阿部市吉 訓笹村忠 同佐々木方 同菅野セツ 同阿部矩子 專訓小原武治

○新崎尋常小學校 訓長菅野本藏 訓菊池福雄 同小原フミ 山口尋常小學校 訓長瀨川秀誠 訓高橋二郎 同昆ミツ

○上鱒澤尋常小學校 訓長阿部市治 訓大平クニ

○鱒澤尋常高等小學校 訓長山蔭松雄 尋訓菊池金男 訓大橋亥佐男 尋訓金澤キミ

○迷岡分教場 尋石龜判司 代教石龜テドリ

○小友尋常高等小學校 訓長水口玉吉 訓照井健次郎 尋訓小菅アイ 代教及川シノブ 同河原木正三

○鷹鳥屋分教場 尋訓日下サト 准訓昆隆

○鮎貝分教場 尋訓龜井幸悟 代教菅原シゲノ

○長野尋常小學校 訓長木村瑛造 准訓關チカ

○宮守尋常高等小學校 訓長高室武八郎 訓五菅原繁勝 同

熊谷詩郎 同市川ソデ 同石井すみ 同上關富美 尋訓吉田昌藏 代教菊池八郎太 校醫柏原耕一

○上宮守尋常高等小學校 訓長(欠) 訓南部利幸 同本田正二 同照井ツルエ

○塚澤尋常小學校 訓長齋藤松次郎 訓福田タキ

○鹿込尋常小學校 訓長小笠原六郎 訓熊谷マツ

○達曾部尋常高等小學校 訓長中居朝男 訓木下祐一 同阿部忠男 同大矢ミノリ 同佐藤要四郎 訓赤坂季 代教川目美富 校醫横川眞雄

○中齋尋常小學校 訓長大矢明三 尋訓佐々木興八 同佐々木マツ

○附馬牛尋常高等小學校 訓長佐々木卓良 訓松本信繁 尋訓齋藤勇治 訓高橋タツ 代教沖館ハツネ 同佐々木利專 訓小原二三 訓金盛典 同休職藤川トヨ

○東禪寺尋常小學校 訓長新田庄五郎 訓小石川耕三 同及

川クマ
○小出分教場 代教始閣精太郎 同始閣ウメヨ

○松崎尋常高等小學校 訓長津田吉之助 訓葛卷武 尋訓小笠原露 訓石橋アイ 尋訓新山義視 代教鈴木喜四郎

○駒木尋常小學校 訓長諏訪眞鷹 准訓菊池カツ

○土淵尋常小學校 訓長新田雄貞 訓立花精太郎 尋訓男澤キエ 訓島山敬一 同武田孝一 同池戸フミ 尋訓工藤ミチ 代教眞角金松 同館林青雄

○柄内分教場 訓村上キミ 尋訓村上昌三

○山口分教場 訓菊池敬重郎 代教關昆リフ

○飯豊分教場 尋訓岩崎健三

○琴畑分教場 代教熊谷亮一

○青笹尋常高等小學校 訓長岩井留之助 訓佐々木清志 同外川一五郎 同和田大城 同佐々木正三 同白石友夫 尋訓岩井マキ 同昆タマエ 專訓佐々木ミキ

○中澤尋常小學校 訓長松尾吉

○千歲分教場 准訓柏喜七
○小白濱尋常高等小學校 訓長水沼孝太郎 訓苗代橋秀志 同千葉モトエ 尋訓井上八郎 訓小野忠男 同武田耕一郎 尋訓小濱孝 訓大谷まつ子 同花輪ツヤ子 尋訓山崎玉太郎 專訓花淵善也 同齋藤久治郎 代教河東マサエ 訓互野一

○大石尋常小學校 訓長菅野嘉七 訓木川田慶太郎 代教菅野ケイ

○上閉伊郡
○遠野尋常高等小學校 訓長鈴木兼三 訓三浦榮 同鱒澤徳三 同新里キミ 同松田ムネ 同照井淺 同菊池節夫 同昆盛男 同菊池ムメ 同菊池ハツ 同石橋壽男 同工藤英郎 同小原芳郎 同瀨川光一 同葛卷サダ 同河村精一 同柄内眞太郎 同池戸秀太郎 同柄内ワカ 同淺沼慶雄 同阿部ナミ 同阿久津成雄 同福島縣兵衛 同松崎ヤス 同正木愛 同松田ヨシ 同多田トヲ 同今野セツ 同熊谷トヨ

○綾織尋常高等小學校 訓長阿部市吉 訓笹村忠 同佐々木方 同菅野セツ 同阿部矩子 專訓小原武治

○新崎尋常小學校 訓長菅野本藏 訓菊池福雄 同小原フミ 山口尋常小學校 訓長瀨川秀誠 訓高橋二郎 同昆ミツ

○上鱒澤尋常小學校 訓長阿部市治 訓大平クニ

○鱒澤尋常高等小學校 訓長山蔭松雄 尋訓菊池金男 訓大橋亥佐男 尋訓金澤キミ

○迷岡分教場 尋石龜判司 代教石龜テドリ

○小友尋常高等小學校 訓長水口玉吉 訓照井健次郎 尋訓小菅アイ 代教及川シノブ 同河原木正三

○鷹鳥屋分教場 尋訓日下サト 准訓昆隆

○鮎貝分教場 尋訓龜井幸悟 代教菅原シゲノ

○長野尋常小學校 訓長木村瑛造 准訓關チカ

○宮守尋常高等小學校 訓長高室武八郎 訓五菅原繁勝 同

○釜石尋常高等小學校 訓長佐藤賢次郎 訓佐々木忠治 同百濟晃雲 同藤田光太郎 同堀内長造 同佐野長助 同藤井松男 同高橋芳雄 尋訓竹林俊雄 訓太田キエ 同河村英一 同駒ヶ嶺重勝 同高橋五郎 同木村政藏 同山田定男 同千葉由松 同岩間徳太郎 尋訓野ミエ 同林和夫 尋訓川村喜助 同齋藤アヤコ 訓典寺喜三郎 同加藤春雄 同臺野健藏 同田村幸次郎 專訓佐々木ツルノ 同菊池マ 鈴木千代 專訓東梅實枝 尋訓八重樫眞道 訓金澤アヤ 同伊藤正一 同金崎吉平 同沖耕一 同平塚輝一 同鈴木キヌ 同菅原チヅ 同新沼キヌ子 同吉田ノブ 專訓右田しづ 尋訓志田光子 專訓鈴木キヨ 代教阿部信 同佐々木四郎 同新里チヨ 同中谷良治 同門澤みつ 同八卷壽美 同岩淵むつ 同阿部ゆき

教育關係——小學校——上閉伊郡

教育關係——小學校——上閉伊郡

○釜石第二尋常小學校 訓長高橋定之進 訓齋藤金之助 同菊池忠義 同佐藤惠孝 同菊池フジ 同櫻野寧 同右川清光 訓百濟チヨ 同吉田善吉 同村上留次郎 同豐岡安造 同田面木貞夫 同千葉正吉 同田千二 同花坂恭平 同佐藤金治 尋訓千葉タマ 田村チヤ 代教岩館敏子 校看婦佐々木マサエ 校醫佐野象藏 同黒澤六郎 同佐藤長松 同渡邊圭次 同佐々木又八

○釜石第三尋常小學校 訓長小野寺文之進 訓中市孝一郎 同沼倉彦八 同佐々木省藏 同菊池一三 同菊池幸三 同野澤玉喜 尋訓佐々木せい 訓石龜克巳 同鶴田秀吾 同佐々木榮也 尋訓伊藤貞雄 訓千葉二三司 同佐藤豊 同島山豊吉 同菊池實 同上田繁 同宮川重郎 尋訓野澤カツ 訓千枝末三 同四戸チヨ 同高橋成 同阿部正三 同奥寺マサコ 同淺沼君榮 同小笠原のぶ 同佐々木繼彌 代教小黒澤モト 訓休職四戸幸平 平田尋常小學校 訓長朝倉猛雄 尋訓浦津守雄 訓朝倉ト

○白濱尋常小學校 訓長佐々木忠七 代教田中勇太郎 同菅原敏 鶴住居尋常高等小學校 訓長倉田耕造 訓小松實 同後藤忠志 同今野武記 尋訓千葉正平 代教千田善喜 同小山馨 尋訓沼崎榮 同藤原セン 訓上林千代 兩石分教場 尋訓小笠原一郎 室濱分教場 訓金澤隆平 箱崎尋常高等小學校 訓長道又三郎 訓金崎孝忠 代教小國仁右衛門 尋訓道又トミ 訓千田キミ 白濱分教場 訓宮館金見代 教及川チヨ 橋野尋常高等小學校 訓長田村貞一 訓小水内長太郎 同佐々木三郎 同小笠原壽美 同小水内梅子 代教三浦平右

○横内分教場 訓小笠原清悦 中村分教場 准教千葉亮壽 栗林尋常高等小學校 訓長石川俊雄 訓大洞盛 尋訓伊藤清見 訓千葉タマキ 尋訓日下さと 准訓諏訪妙子 大槌尋常高等小學校 訓長熊谷正志 訓金崎節郎 同佐々木俊平 同金崎藤枝 同後藤勝郎 同菊池イト 同高橋長吉 同小國四郎 同吉田米太郎 同菊池勇夫 同大久保貞 同蛇口連造 尋訓黒澤教平 同菊池利直 訓三浦キン 同蛇口孝之助 同道又正雄 同加藤ミツ 同谷藤ハナ 同鈴木千恵 尋訓煙山アイ 代教小國愛 同遠藤金作 訓菅原武志 一ノ渡分教場 訓金濱庸三 同金濱かしは 准訓三浦良一 安波尋常小學校 訓長小國郡治 訓伊藤甲子郎 同瀬川七三男 尋訓前川勝夫 同伊藤キネ 同里館フテ 代教道又美津子

○遊梨分教場 尋訓松橋正路 小訓松橋日三

○吉里々々尋常高等小學校 訓長藤本覺 訓及川興毅 同藤本ナリ 同金崎昇 同小本福次郎 同菊池悦 尋訓松本誠 准訓伊藤要助 代教田中仁一 赤濱分教場 訓金崎環 尋訓前川松藏 同後藤緑 金澤尋常高等小學校 訓長中村久五郎 訓三輪又太郎 同村上孝 同中村ツヤ 代教高橋幸子

○中山分教場 准訓野見武 長井分教場 代教山田仁三郎 私立釜石鑛山大橋尋常高等小學校 訓長金野九十郎 尋訓小笠原利雄 訓村上一視 尋訓千枝ハジメ 校醫堀米保藏

○下閉伊郡 宮古尋常高等小學校 訓長石川耕一 訓鈴木久哉 同堀田正郎 同下山義雄 同藤目ヤヘ 同橋場英治 同山村三郎 同欠畑猛夫 同佐々木五郎

小笠原ヒデ 同和美作太郎 同上館勝 同松田武夫 尋訓大内サン 訓藤根百代 同中川博 同花館一郎 同佐々木リツ 同藤島忠平 同中村一 同鈴木光吾 同澤田貞一 尋訓中澤壽人 同齋藤アヤ 訓中島康吉 同永井庄藏 同木村尙文 同濱村半藏 同藤澤字吉 同高橋時四郎 同工藤一 同山内深藏 同鈴木千代 尋訓及川清 尋訓川原田ミツ 訓漆澤ツイ 同及川アサ 代教内館平七 訓堀江タツ 同豊川禮子 同大久保キヨ 代教鈴木トキ 同佐藤ヒデ 訓中島雄次郎 校醫松野松治 校齒醫松橋精一 校看婦三浦さだ

○宮古分教場 訓田鎮勝郎 同鈴木直子 同中川實 同鳥居永三 同小原和夫 同伊東ヤエ 尋訓中島トクエ 宮古商業專修學校 長石川耕一 教大澤悦二 同吉田道郎 同松田萬右衛門 助教山村三郎 教師佐々木理左衛門

○鐵ヶ崎尋常高等小學校 訓長東海林堅吉 訓山根吉郎 同種幸平 同佐々木安治 同澤内勇三 同下山巖 同菅野孝一 同堀田チエ 同金矢克夫 同小丸恒夫 同豊川壽子 同山崎フチ 同増井二郎 同高橋圭六 同花海キサヨ 同佐々木正人 同野崎哲郎 同田鎖ヤエ 尋訓中島三郎 同沼崎秀之助 訓高橋光枝 尋訓田畑きせ子 同高平愛子 准訓木村正志 代教菊池勇治 校醫道又元吾 校看婦三浦さだ

○山田尋常高等小學校 訓長藤岡悦郎 訓福士精太郎 同沼崎德受 同鈴木洋一郎 同佐藤善一 同佐々木忠吉 同築田梧樓 同久保田源左衛門 同高橋作兵衛 同重茂俊 同伊藤淳一 尋訓鳥居新六 訓佐々木元二 同武藤福壽 尋訓昆悌志 訓關キヨ 同馬場澄 同小田島チエ 尋訓山崎勝郎 尋訓北向西治 同昆庸一 代教山根イシ 同平田クエ 校醫關安太郎 岩泉尋常高等小學校 訓長昆忠太郎 訓關口慶三 同前角地誠 同熊谷一 同河野正 同菊池義雄 同福士宏 同八重忠 同三桧上ソメ 同佐々木敏 同福士美津江 尋訓佐々木詳吉 訓和美しげ 同三船スエ 尋訓前原正當 准訓高山勝 代教早野トキ 同阿部丑藏 訓休職水野文郎 同月出分教場 尋訓箱石九助 代教箱石シヅ 猿澤分教場 尋訓箱石文治 代教箱石ユウ 乙茂分教場 准訓佐々木進 代教川澄子 本田分教場 代教熊谷三郎 同佐々木ノリ 二升石尋常小學校 訓長有原信一 訓有原ナヲ 校醫大石基一 松橋分教場 尋訓佐々木祐次郎 代教佐々木イト 崎山尋常高等小學校 訓長島山松助 訓駒木定勝 准訓菊池春三郎 同佐藤やよひ 校

教育關係——小學校——下閉伊郡

教育關係——小學校——下閉伊郡

- 尋訓佐々木太郎 同小笠原ハナ 尋准田代ヤス 代教和久井昇 同山口俊
- 小成分教場 尋准佐藤泰夫
- 中里尋常小學校 訓長齋藤鐵郎 尋訓池澤政雄 准訓菊地ツトミ 代教佐々木雄傳
- 中島分教場 尋訓山本彦太郎 代教竹花セツ
- 田野畑尋常小學校 訓長山野目萬之助 專訓永澤實則 訓及川邦夫
- 七瀧分教場 代教小松倉定治 同熊谷サタエ
- 羅賀尋常小學校 訓長折笠磨訓大澤雄三郎 尋訓加藤金吾 代教折笠テル
- 机分教場 尋訓中島繁雄 代教島山エンメ
- 岩濱尋常小學校 訓長及川哲尋訓鈴木清子 同山口芳郎
- 猿山分教場 代教山本秀行 同牧原タミ
- 鳥越尋常小學校 訓長田中六之丞 專訓關口孝平 代教中島政雄 同山崎チヤ
- 沼袋尋常小學校 訓長菊池五藏 准訓佐々木定男 代教菊池クニ 同平野正郎
- 甲地分教場 代教川村善助
- 普代尋常高等小學校 訓長大坪豐 訓橋場堅三 同伊藤榮二 同星山美代 尋訓横田宇助 代教伊澤潤次 准訓大森ミト 代教大坪君子
- 黑崎分教場 代教野月平進太郎 同福士エイ 訓中村林平
- 堀内尋常高等小學校 訓長石川修司 訓野田口貞雄 尋訓石川ウラ 准訓柏木義雄
- 鳥茂渡尋常小學校 准長關仁太郎 訓柴内正雄 代教關アサ
- 安家尋常小學校 訓長菊池玉治 准訓菊池チヨセ 代教島山喜利 助教菊池秀男
- 大平分教場 准訓竹花剛
- 川口分教場 代教沼里貞雄
- 有藝尋常小學校 訓長閉伊盛代教山本ヒサ 代教大森正三
- 肘葛分教場 代教岩淵羊治 同岩淵スキ
- 下有藝分教場 代教高橋進男
- 同閉伊ノブ
- 鼠入分教場 訓巢内隆
- 小川尋常高等小學校 訓長中村半二郎 訓西井信男 同千葉芳雄 同川村恒二郎 代教下村チギ 同竹内チウ 同山内幸男 同工藤嘉代子
- 門尋常高等小學校 訓長中村勇平 訓工藤郡司 同中村吉郎 尋訓中村タカ 訓岡田せき 代教平井謙三
- 中澤分教場 尋訓竹花政巳 准訓竹花ヒデ
- 國見分教場 代教杉澤吉五郎 同杉澤スケ
- 三田貝分教場 代教島山隆雄 准訓島山ウメ 代教畑山宗一郎
- 大川尋常高等小學校 訓長關口慶三 訓大久保福藏 尋訓田代勝郎 准訓中村源太郎 代教三田地時郎 准訓八重樫シロ
- 淺内尋常小學校 訓長墓目義雄 准訓墓目サタ 同及川眞尙
- 釜津田尋常小學校 訓長藤澤
- 九郎 代教菅野孝雄 同坂下順 島山とし
- 山口尋常高等小學校 訓長高津信夫 同石井勝雄 同小川武司 准訓川原田ミツ
- 近内分教場 代教佐々木恒夫
- 龜岳尋常高等小學校 訓長千葉萬之丞 尋訓佐々木源助 代教横田テル 校醫佐々木茂樹
- 落合出張所 尋准浦野要太郎
- 佐羽根分教場 代教佐々木忠一郎
- 千德尋常高等小學校 訓長澤田理兵衛 尋訓中屋權治 訓横坂勇平 同志久内シマ 同堰合信夫 同古館フツ 代教千葉久 同佐々木律子
- 花輪尋常高等小學校 訓長晴山機智雄 訓小笠原充 專訓關良助 訓中村五郎 同白間武八郎 同藤田徹郎 同沼田カチヨ 同飛澤正見 代教關口ノブ
- 牛伏分教場 准訓横田關右衛門 代教小笠原キミエ
- 老木分教場 代教佐々木武夫

- 平分教場 准訓山村勇一 代教木村清四郎
- 茂市尋常高等小學校 訓長長澤新 訓眞壁健一郎 准訓橋場信一 同長澤イウ
- 養目尋常高等小學校 訓長及川儀十郎 訓高橋啓吾 同岡田サヨ 尋訓及川サカエ 尋准高橋誠 代教澤田文衛
- 腹帶尋常小學校 訓長赤沼孝太郎 代教赤沼静子
- 刈屋尋常高等小學校 訓長野田綾吉 訓大星哲也 同野崎武之 同古館直之 同大星ハツ 尋訓西野賢次郎 代教佐々木マキ
- 和井内尋常小學校 訓長菊池朋安 訓館林功雄 代教三川汪 代教太田仁子
- 川井尋常高等小學校 訓長晴山芳男 訓小澤四男 同佐々木與太郎 准訓小山眞 訓晴山カネ 准訓佐藤一三 准大森らめ
- 古田分教場 准訓宮守毅 代教宮守すゑの
- 箱石尋常高等小學校 訓長村上貞治郎 訓仲正路昭康 同
- 岡田フヨ 准訓田代忠郎
- 横澤分教場 准訓及川喜代治 代教橋場キク
- 川内尋常高等小學校 訓長田代忠藏 訓波岡晋 同松山茂三 同桐原美代
- 夏屋分教場 准訓佐藤幸健 代教佐藤チヨ
- 田代尋常高等小學校 訓長佐々木俊郎 訓清水清三郎
- 門馬分教場 准訓日保田巖 代教日保田サタ
- 小國尋常高等小學校 訓長道又雄一 訓久保田孝 同田頭大善 代教佐藤憲重 專訓道又ヨシ
- 大仁田分教場 准訓廣野君平 代教荒田三弟 同廣野あきゑ
- 江繁尋常高等小學校 訓長西塔庄太郎 訓西塔カウ 同佐藤敦 尋訓石川ナホ 同鷹羽昌次郎
- 尻石分教場 代教本堂杵太郎 准訓小原ヒサ
- 磯鷲尋常高等小學校 訓長藤根卓彌 尋訓及川義男 訓晴山トク 同新沼伊勢治 同花
- 館崎 同野口健造 專訓伊東サワ 代教飛澤吉幸 同川原田尙城 校醫石川喜二郎
- 高濱分教場 訓伊東榮次郎 同菅原文雄 准訓岩間藤八郎 尋訓細川ノブ
- 白濱分教場 尋訓粒針盛 同小林キミ
- 重茂尋常高等小學校 訓長昆清次郎 訓館洞福太郎 同和久日出丸 同中村清吾 同半井享 代教奥田清治 訓重茂ミヤ 准訓齋藤チヨ
- 鶴磯分教場 尋訓中村徳兵衛 代教中村ハル
- 千鷲分教場 尋訓昆傳次郎 准訓大下キクノ
- 川代分教場 尋訓菊池正三郎 代教菊池シマ 校醫加賀山寅雄
- 津輕石尋常高等小學校 訓長駒井鐵城 訓西野定治 同太田金吾 同高橋純男 尋訓沼里吉一 同石村清次 同昆きよう子 同盛合タミ 專訓中島覺壽 准訓佐々木悦兵衛 校醫佐藤守信
- 赤前尋常小學校 訓長佐藤源嗣 尋訓湊政治 准訓石村千代同昆タツ 訓休職中島玄 同校醫佐藤守信
- 豊間根尋常高等小學校 訓長和山浩二郎 訓根子ケイ 同竹花武夫 同昆良次郎 尋訓菊池春市 同熊谷了 同貫洞三枝 尋訓石橋昇 代教佐々木源一 校醫三善暢
- 荒川尋常小學校 訓長橋場武二郎 訓村上芳治 同于田勝一 代教佐々木一郎 同大澤園子
- 大澤尋常高等小學校 訓長佐藤六藏 訓堀内喜八郎 同昆陸郎 准訓一條清 代教樹田四郎 專訓竹内喜美男 訓紺野モモヨ 同坂下ヨシ 專訓千代川リヤ
- 織笠尋常高等小學校 訓長波岡茂樹 訓木田富治郎 同荒木田義男 同佐藤龜一 同竹内ハナ 尋訓昆順一郎 同上 野トシ 代教村上富子
- 白石分教場 尋訓昆鐵郎
- 船越尋常高等小學校 訓長鈴

教育關係—小學校—九戶郡

木忠次郎 訓小笠原二三男
尋訓朝倉義治 訓野崎繁雄
同菊池仁 同長沼貞代 同山
崎真佐 專訓黑澤美和 尋訓
岩間恭次郎 同山本キミ 代
教加藤惠太郎 同荒谷功二
同中村いそ 校醫三浦寅三
○大浦尋常小學校 訓長後藤茂
次郎 訓菊地高夫 同根子兵
衛 准訓後藤レン
○九戸郡
○久慈尋常高等小學校 訓長矢
幅矢未人 訓松山哲夫 同木
和一 同高山要一 同佐藤安
同千葉弘見 同皆川粕造 同
久慈榮輔 同佐藤佐次郎 同
小笠原八十吉 同兼田ツル
同三船ヤス 代教田高ミサ
訓三船イソ 同和田ヨシ 同
夏井トキノ 准訓昆野登 代
教休職宮澤麟太郎
○畑田分教場 訓山火信一郎
○久慈湊尋常高等小學校 訓長
橋二郎治 訓島山良七 同佐
々木利男 尋訓久慈要三 訓
橋八千代 同西千代 代教菅

原典子
○枝成澤尋常小學校 訓長奧寺
定邦 代教奧寺フカ 校醫黑
田半三郎
○長内尋常高等小學校 訓長晴
山福一郎 訓久慈三郎 同砂
子由次郎 專訓及川清四郎
代教岩城末三 專訓長内トス
代教兼田サダ
○大尻分教場 尋訓宮古安藏
代教本間義輔 同宮古キノエ
○小久慈尋常高等小學校 訓長
田口三郎 訓川村源三 同阿
部精一 同谷地英一 同松尾
重雄 同豊巻俊夫 同吉田ミ
キ 尋准砂子ハル 代教宮古
宗一
○宇部尋常高等小學校 訓長宇
部行一 訓宇部秀雄 同佐藤
儀八 同千葉義政 同君成田
七三 專訓田中一二 訓中野
チエ 專訓岩淵はしめ
○久喜尋常小學校 訓長大澤清
助 訓太田代禎吉 同佐々木
正三 校醫高橋正之
○小袖尋常小學校 訓長笠水上
軍次郎 尋訓大橋榮八 代教

笠水上ナヲ 校醫高橋正之
○野田尋常高等小學校 訓長關
良江 訓村田忠雄 同田中文
太郎 同大澤トヨ 同石杜勇
次郎 同米内富治 訓金野正
藏 尋訓大澤ヒサ子 訓武田
チヨ 尋訓岩間一郎 訓岡本
敬子 尋訓工藤キヨ 准平谷
ミヨ 同太田一義 校醫川原
文作
○横合分教場 尋訓佐々木一郎
准橫澤田タカ
○玉川尋常小學校 訓長柴田哲
郎 代教柴田さだ
○戸鎖尋常高等小學校 訓長島
山國雄 訓小野寺義孝 代教
伊藤シモ
○木賣内尋常小學校 訓長久慈
直江 代教久慈キヨ
○端神尋常小學校 訓長田口利
平 代教田口トキヲ
○深田尋常小學校 訓長坂川三
太郎 代教竹中アヤ
○川井尋常高等小學校 訓長佐
々木尙同 訓金澤文男 同山
崎シゲ 尋訓佐藤重光
○小國尋常小學校 訓長齋藤佐

藏 訓石田三郎 代教齊藤タ
マ
○霜畑尋常高等小學校 訓長村
田善也 訓中居四郎 同馬場
登美 准訓佐藤三郎 代教上
有谷ヤイ
○戸呂町尋常小學校 訓長桐野
茂人 訓桐野セツ
○鑿尋常小學校 訓長大崎甚五
郎 代教大澤四郎 同大崎ノ
メ 校醫古川小寅
○日野澤尋常小學校 訓長久慈
三男也 准訓山崎六郎 代教
皆川カナ
○荷輕部尋常小學校 訓長千葉
四郎 尋訓兼田忠三郎 代教
堀内禎光 同千葉光 代校醫
古川小寅
○來内分教場 尋訓澁川養藏
○大川目尋常高等小學校 訓長
三船樹治 訓齋藤忠雄 同向
川原逞吉 同三船チヨ 同中
野ツタ 准訓佐々木平松
○根井分教場 代教宇部正助
同宇部巴
○山口尋常小學校 訓長關孝和
訓巖峨政雄 准訓村田愛子

三七〇

○平山尋常小學校 訓長橋本文
次郎 訓森勝實 尋訓新井野
豐吉 訓小原ミノル 代教小
向源一
○夏井尋常高等小學校 訓長巖
峨勇三郎 訓新井野松藏 代
教榎木定次郎 准訓巖峨キシ
校醫伊藤敏郎
○川代尋常小學校 訓長宇部正
五郎 代教太田トキ
○濱待尋常高等小學校 訓長岡
本英一 訓工藤太郎治 同岡
本トク 尋訓本館文三 訓宇
部盛一 尋訓鳥谷壽江 訓一
戸チヨ 代教宇部吉哉
○麥生尋常小學校 訓長照井佳
七 准訓森岩善次郎 代教多
賀はつ
○中野尋常高等小學校 訓長村
田貞藏 訓及川眞 同皆川正
志 同高橋祐平 代教佐藤寛
藏 訓城戸トモ 同小林智恵
子 准訓中野キヨ 校醫島崎貞
子
○小内尋常小學校 訓長三浦
春雄 訓破石堯澄 同安藤ツ
サ 校醫島崎貞
○種市尋常高等小學校 訓長下

町七之藏 訓中野八次郎 同
名須川三郎 同吉田耕一郎
尋訓典傳三郎 訓近藤敬藏
同皆川ウメ 代教小井口はつ
同中島マサ 同長内ちか
○平内尋常小學校 訓長鎌倉寛
造 訓小倉義尊 同鶴飼六三
尋訓三川ミサヲ
○角濱尋常高等小學校 訓長皆
川啓藏 訓村田正一 同高橋
光榮 同皆川スゲ
○城内尋常高等小學校 訓長内
澤喜祖治 訓靜山久一 同中
目兵次 同村田リキ 專訓惡
原喜一
○大和尋常小學校 訓長金野敬
佐 訓日澤圭一 同中村登盛
代教日澤ヤチヨ
○宿戸尋常高等小學校 訓長羽
行常雄 訓小田小三郎 同久
燕直一 同村田健一 同高橋
守郎 同安藤清藏 同及川み
ね 代教齋藤エス
○大野尋常小學校 訓長川村善
太郎 訓下大澤要吉 同成田
忠夫 同田高三郎 同梅恒久
尋訓島山繁夫 專訓柏木岩吉

訓川村フミ 尋訓尖戸ツキ
准訓山崎キツ 代教小西トミ
エ 同川又貞次郎
○林郷尋常小學校 訓長奧寺祐
三 代教森澤正三 同奧寺タ
ケ
○帶島尋常小學校 訓長高橋榮
一 訓高橋ミヤ
○水澤尋常小學校 訓長島山幸
吾 訓島山タイ 校醫向井田
五郎
○向田尋常小學校 訓長小野寺
政男 訓皆川福松 代教小野
寺ユリ
○小輕米尋常小學校 訓長安田
誠二 專訓大原重業 同下大
澤サタ 代教和賀四郎
○圓子尋常高等小學校 訓長小
林進 訓大富文代 同島野文
男 同林健治 代教川村賢太
郎
○寶川尋常小學校 訓長宮本和
合 准訓藤原フサミ
○米田尋常小學校 訓長山田久
賢 訓山田ミサホ 代教澤山
吉郎

○江刈尋常高等小學校 訓長吉
田秀雄 訓上沖豐三郎 准訓
岩泉浩太郎 專訓伊藤モリエ
尋訓柏原盛治 准訓鎌田清之
進 代教吉田綾子
○五日市尋常高等小學校 訓長
大光成五郎 訓小向一三 同
大澤勝郎 尋訓晴山良一 代
教柴田ツヤ 同遠藤像八
○馬淵分教場 尋訓大平三三
專訓松坂ワカ
○輕米尋常高等小學校 訓長菊
池安五郎 訓金山三之丞 同
村田貞行 同三上由藏 同本
田利吉 同鈴木正友 同永井
光治 同荒田政四郎 同久保
田ヨシ 同植木梅香 同中村
キク 專訓齋藤元 尋訓兼田
直榮 同中野サタコ 代教藤
島茂 同中村ナミ 同工藤ゆき
長倉分教場 准訓古里準太
代教古里ナミ
○高家尋常小學校 訓長菅喜三
郎 訓館下勝見 代教菅リツ
○上館尋常小學校 訓長岩泉慶
作 訓佐藤正 同小笠原武
代教岩泉ナヲ 校醫玉懸謙治

教育關係—小學校—九戸郡

三七一

教育關係——小學校——二戸郡

- 増子内分教場 准訓海邊政章 訓海邊マサヲ
- 笹渡尋常小學校 訓長鈴木茂一 尋訓本宮勝次 代教鈴木タミエ
- 江刺家尋常高等小學校 訓長北田政太 訓近藤新吉 同原質朗 同村井ツヤ 尋訓佐々木由太郎 尋准畑中サツ 代教澤田セツ
- 細谷分教場 尋訓佐藤嘉吉
- 晴山尋常高等小學校 訓長阿部徳藏 訓黒澤壽郎 尋訓小野寺幸三 訓小川キヨ
- 野場分教場 代教小笠原賢三 同柴田カツエ
- 觀音林尋常高等小學校 訓長田口勇次郎 休職 同晴山重孝 同山本ノブ 尋訓小野寺民次郎 代教横島健一 同古館ミヤ 校醫及川泰雄
- 山内尋常高等小學校 訓長晴山誠孝 訓坂川善之助 尋訓小笠原勝郎 同虎戸コト 代教小笠原二郎 同古川ミツ
- 大清水分教場 尋訓久保弘勝 小准平熊雄 代教中村キミ
- 伊保内尋常高等小學校 訓長前田禎伍 訓木内武夫 同山本信行 同太田代ツヨ 同伊藤ツマ 尋訓十文字熊吉 准訓村山義和 代教菊池惠子
- 長興寺尋常小學校 訓長近藤安六 訓中屋舖仁太郎 同近藤ツナ 代教馬淵榮一
- 前田尋常高等小學校 訓長讓原善太郎 尋訓觸澤徳三郎 訓大澤重三郎 同外館理平 同侯野キク 代教足澤たつ
- 山根分教場 代教藤澤耕一 同藤澤チエ
- 宇堂口尋常小學校 訓長及川三郎右衛門 准訓小野政夫 尋訓千葉葛蒲
- 葛巻尋常高等小學校 訓長大澤耕作 訓佐々木剛一 同河野潔 同西田伴次郎 同佐藤惺 尋訓小山重郎 同熊谷良雄 訓高橋圭助 同三浦克也 同大澤イセ 同三浦幾子 同豊口チエ 同駒井トシ 尋訓府金トミ
- 星野分教場 尋訓石田一雄
- 吉ヶ澤分教場 准訓田村元吉 代教吉澤タマヘ
- 代教田村泰子
- 小田尋常小學校 訓長遠藤慶治 訓三浦不二雄 准訓兼田マツ 校醫近藤明達
- 小屋瀬尋常小學校 訓長千葉泉 訓野木正夫 尋訓小澤清治 准訓田中館愛子 校醫近藤明達
- 二戸郡
- 福岡尋常高等小學校 訓長菊池和生 訓佐藤松次郎 同太田隆吉 同上原孝司 同藤田廣 同櫻田實 同菅野千代子 同宮野テイ 同南館省一郎 尋訓高橋捷夫 訓八田セキ 同築田喜一郎 尋訓北田善三郎 訓藤村二郎 同阿部イワ 同金田一イシ 同吉田キクエ 同中村ツヤ 同久保ヒサ 專訓石村マツ 同相馬瀧次郎 訓上平久次郎 同小田島與六 同堀野尋常小學校 訓長菊池清一 代教菊池うめ子
- 仁左平尋常小學校 訓長佐藤一造 訓菅原孝尋 尋訓井上
- 大萩野分教場 准訓戸田忠彦 同佐藤ツル
- 坂本尋常小學校 訓長小山茂樹 訓小山トメ
- 白鳥尋常小學校 訓長荒田秀次郎 尋訓荒田ナミ
- 金田一尋常高等小學校 訓長菊池節太郎 訓唐木誠次郎 同關本ヨシノ 同村上讓右衛門 同駒ヶ嶺健三 尋訓小野達雄 訓昆七太郎 同小川チヨ 尋訓山屋ミヨ 訓休職和山喜一 校醫矢野正生
- 野々上分教場 訓後藤軍治 代教田中館正 同後藤ヤス
- 長川尋常小學校 訓長戸來眞訓原慶吉 尋訓黒澤睦子
- 釜澤尋常小學校 訓長小野寺一二 准訓小野寺ミネ 休職佐藤源八
- 舌崎分教場 尋訓高橋聖三 同高橋ハギ
- 海上分教場 准訓觸澤聖設 尋訓佐藤トミエ
- 米澤尋常小學校 訓長宮野六

三七二

仁郎 山田セツ

- 郡 訓高橋五郎 同竹原貞子 准訓赤前悦子 代教前澤フク 訓若松忍
- 上斗米尋常高等小學校 訓長坂本省三 訓工藤省吾 同松田チヨ 代教千葉盛 校醫藤井惠
- 川代分教場 准訓古館善太郎 同太田タイ
- 根森分教場 代教齋藤本治 同稻森リセ
- 下斗米尋常小學校 訓長柴内八郎 尋訓沼田俊三郎 專訓十文字トミ
- 金田一川分教場 尋訓太田原儀助 准訓太田原いき
- 一戸尋常高等小學校 訓長江六前常吉 訓佐藤長次郎 同田中金作 同田村治三郎 同山火敬次郎 同佐々木重郎 同松本五郎 同島崎博 同櫻純茂雄 同菊池誠二 同菊池正巳 同刈屋恭三 准訓村井四郎 訓及川ノブ 同金子あ
- 同中島ミエ 同山崎九二
- 井 同沼田ミチヨ 同大西タカ 同平船ミツ 同五日市サ
- 同南館壽子 代教田頭つや 校醫山崎喜久藏
- 石切所尋常高等小學校 訓長竹内次郎 訓瀬川勇吉 同國分キミ 同十文字儀勝 同平茂次郎 同本宮正榮 准訓佐藤權太郎 訓小川ハナヨ 同小原絢子 尋訓久慈サヨ 代教新毛義一
- 上里分教場 尋訓淺倉圭治 代教久保田助四郎
- 村松分教場 准訓佐藤忠功
- 鳥越尋常小學校 訓長江六前正人 訓氏家正 尋訓江六前トメ 同柴田たけ 代教稻葉慶三郎
- 檜山尋常小學校 訓長掛川孝平 訓槻館清吉 同掛川トミ子 代教平野清
- 來田尋常小學校 訓長目時定一 代教小田野健一
- 岩館尋常小學校 訓長佐川國雄 訓佐川チヨ 代教山内清
- 根反分教場 准訓戸來正 同同松浦ツル
- 中里尋常小學校 訓長田口圓之助 准訓館定一 專訓今野ミサヲ
- 鳥海尋常高等小學校 訓長(欠) 訓神子田義衛 尋訓今野政行 代教鈴木キチ 同上村チヨ
- 出ル町尋常小學校 訓長小野信一 准訓佐藤實吉 專訓佐藤イヨ
- 小友尋常小學校 訓長佐々木繁郎 訓大村次信 尋訓佐々木サダ 訓休職小野寺平作
- 女鹿尋常小學校 訓長菊池義平 尋訓玉懸孝吉 訓玉懸ヨシノ 代教外岡てる
- 小島谷尋常高等小學校 訓長林源三 訓駒嶺正 同中島太藏 同鶴川三夫 同外岡勝造 同山火四郎 尋訓小笠原義美 代教及川春生 同田村成一 訓本堂フミ 同金子君江 同田中館ハチエ 同外岡トシエ 尋訓佐藤セイ
- 小繫分教場 代教鹽谷初太郎 同平井イチ 同南館智恵
- 奥中山尋常小學校 訓長竹田龜治 訓下村武三 同辛良夫 同大田トキ 代教御堂徳四郎 校醫楢貝周
- 中山分教場 訓秋濱みつ 准訓秋濱三郎
- 字別分教場 代教小田島庄次郎
- 平棟尋常小學校 訓長小野正人 訓小原盛 專訓小野トヨ
- 平棟託兒所保母 龜田絲子
- 落合分教場 代教西堀岩松 同西堀ミエ
- 姉帯尋常高等小學校 訓長梅垣鼎三 訓菊池盛 同高田繁治 同藤村キヨ 同戸田キノ
- 面岸分教場 代教神永千太郎 同中村イノ
- 冬部尋常小學校 訓長小山田善吉 訓大畑惣太郎 尋訓川村七郎 代教皆川キヨノ 同中野三五郎
- 田野尋常小學校 訓長平昌治 訓鈴木勝治 代教菅野立子
- 御返地尋常高等小學校 訓長田口雄橋 訓高橋莊治 同田村哲郎 同稻田清志 同鎌倉敬助 同松本シカ 代教館野トシ 同和島キツヨ
- 似鳥分教場 訓戸田忠臣

教育關係——小學校——二戸郡

三七三

農林關係

○福田分教場 尋訓阿部安平
○足澤分教場 尋訓春日川繁治
○山田分教場 尋訓齋藤嘉一郎
○淨法寺尋常高等小學校 訓長
若松德四郎 訓關誠一 同中
村武 同小山田英一 同佐藤
コヨシ 同吉田政幸 同山田
ミチ 准訓鈴木重一郎 同關
サタ 專訓伊藤亮一 同八幡
トセ
○太田分教場 專訓吉田義一
同菊池克憲
○岡本尋常小學校 訓長坂本末
藏 同一條雄 同泉澤巖 同
工藤マサ 代教橫井明
○川又尋常小學校 訓長佐藤安
信 准訓大泉半藏 同宮野マ
キ 代教上平忠孝 校醫高橋
慶次郎
○大嶺尋常小學校 訓長小田島
雷太郎 訓八重樫文次郎 同
村田廣 同山本サタ 同高橋
勸三 代教小田島トシ 訓休
職出堀正征
○淺澤尋常小學校 訓長小野直
雄 准訓佐藤吉藏 專訓生出
こはる 校醫木村謹三

○荒屋尋常高等小學校 訓長小
澤寬平 訓大川伸一 同室野
健吾 同田藤專五郎 同高橋
チヨ 同柴田キミ 同下村き
み 同香川ナカ 代教菊池勇
同伊藤信男 同照井ヒサ
○畑尋常小學校 訓長高橋晋三
郎 訓玉川茂 同阿部利郎
准訓藤倉チヨ 代教高橋ミサ
ホ
○細野分教場 訓小堀喜久男
代教小堀アイ
○五日市尋常小學校 訓長田口
喜久男 訓小野テル 同菅原
誠一 尋訓勝又雄一郎 專訓
生出こはる
○田山尋常高等小學校 訓長遠
藤種八 訓佐藤新助 同千藤
憲雄 同瀨川昇 同米川明子
尋訓小原繁見 准訓小澤サカ
校醫金澤良貞
○兄畑分教場 尋訓澤整 訓佐
々木定光 專訓澤勇子
○日泥分教場 專訓古川正見

農林關係

農林省農事試驗場東北小麥
試驗地(盛岡市外中野村)
主任
主 任
七 級 正六 技師 柿崎 洋一
四 級 正七 技師 鈴木 眞三郎
九 級 屬 足立 顯
六 級 屬 神林 正男
五 級 技手 原 敏
四 級 技手 木戸 三夫
三 級 助手 大谷 庄太
二 級 井上 明
一 級 井伊 澄
北村 英一
武智 公市
橫山 與美行
開田 龜夫
砲兵少尉 敏夫
正八 西 野谷 和吉
勳八 相野 谷 要五郎
勳八 稻田 正長
井上 正
關 幸
岩 本 武
業手 林 勇
日一、六〇

農林省種馬育成所

日一、二〇 大澤 五郎
○農林省種馬育成所
(岩手郡瀧澤村)
所長 技師兼任農林技師
三等一級(加賜年六〇) 勅任待遇
陸軍騎兵大佐 佐原 敬二
從四勳三功五 馬係
育 井上 征五郎
技手 岡井 重雄
四 級 屬 井上 征五郎
三 級 屬 岡井 重雄
二 級 屬 岡井 重雄
一 級 屬 岡井 重雄
騎兵少尉 遠藤 作太郎
助手 正八 勳七 宮澤 雄治
月七〇 勳八 吉田 子之助
月六五 勳八 山本 岩雄
月六〇 勳八 篠原 圭介
月五五 長井川 貫一
月五五 新井 貫一
月五五 高宮 忠夫
月五五 加藤 實榮
月五五 丸橋 米吉
月五五 佐藤 周助
月五五 烟中 互三
月五〇 上田 信一
月五〇 中矢 成富

月四七 勳七 原田 木好
月四七 勳八 加藤 林治
月四〇 金子 久夫
月四〇 東 政信
月四〇 耕 作 係
技手 石田 計敏
相馬 久三郎
四 級 屬 佐藤 宗男
三 級 屬 佐藤 宗男
二 級 屬 佐藤 宗男
一 級 屬 佐藤 宗男
○岩手種馬所(岩手郡厨川村)
所長 種馬所技師三等二級
從四勳四岡村 貞二
庶務 係
三 級 種馬所屬 戶 島音人
月六五 雇 沼田 保利
醫務 鳴託 田 領 右門
種 馬 係

六 級 種馬所技手杉本 二郎
月八〇 助手 佐藤 信治
月六〇 市川 四郎
月四三 永友 登
三 級 種馬所技手安惠 政雄
耕 作 係
林野關係
○帝室林野局東京支局盛岡出張
所 (盛岡市日影門外小路)
所長 技師 高田 覺三
技手 矢野良三 山田辰秀
田中巖 武居喜太郎 松下久
米男 佐藤亨一 小幡榮一
的場三郎 技手補石坂彌四郎
山田孝俊 技師 堀川惣三
郎 木俣秀雄 山田義三郎
橫田貞雄 片桐一二 三瓶義
信
○青森營林局(青森市沖館)
局長 技師 三等一級
正五勳三 藤葉 可省
庶務課長 五等五級
事務官 從六 綿貫 藤太郎
○久慈營林署(九戸郡久慈町)
署長 技手 島海 弘次
屬工藤文太郎 技手菅原佐平
治 田崎甚八 森林主事山口
助次郎 奧寺留吉 熊谷豐吉

村田耕作 佐々木信 岩淵文
雄 雇員 綱島虎雄 久保恒雄
近藤四郎 及川務
○沼宮內營林署
(岩手郡沼宮內町)
署長 山林事務官 北田 重美
屬淺利才作 小岩佐與治 技
手秋元左右次 梶原貞藏 小
松六郎 森林主事竹谷金四郎
樋口保次 田澤清吉 古屋半
介 齋藤文次郎 平石鶴治
安食巖 雇員 熊谷 一郎 相馬
力太郎 武石光男 北本兼松
瀧口慶藏 山本涉 府金佑吉
懸田了 菊地正治 小野武之
助 柴親良 森雄二 溝上學
○宮古營林署(下閉伊郡宮古町)
署長 技手 加納 英一
屬龜山泰 五代儀多助 技手
長井常強 平野利一 森林主
事武川榮三郎 伊達勉 小向
文質 鳴託員 山口 一郎 雇員
中村留五郎 佐藤貢 佐々木
龍男 橫山森太郎 高橋福二
阿部隆治
○川井營林署(下閉伊郡川井村)
署長 技手 新田 功

屬曾我部梅吉 久米田萬吉
技手岡田甚五郎 森林主事月
井福一 佐々木重雄 鳴託員
佐藤正雄 齋藤五郎 小田中
秀治 雇員 鈴木喜一 仁木利
之 遠藤亮市 小坂正雄 佐
藤德藏 近藤八郎 阿部繁
雄 內海正
○岩泉營林署(下閉伊郡岩泉町)
署長 屬 竹森 熊次郎
屬笹勝男 技手 黒川清吉 森
林主事 柳平孫藏 高田省司
古寺丑藏 鳴託員 佐藤彦治
雇員 高山五郎 三輪忠男 佐
々木茂祐 黒木安志
○盛岡營林署(盛岡市内丸)
署長 山林事務官 小熊 計太郎
屬及川長七 技手 上野茂十郎
北山隆三 田中平八郎 森林
主事 島山竹藏 物井君八 秦
泉寺萬治 北島良助 植月猛
雇員 佐川勝彌 勝山榮吉 野
崎源次郎 中野清吉 清水源
太郎 平井良一 川口秀男
○雫石營林署(岩手郡雫石村)
署長 技手 新井 米三郎
屬百井正 玉山榮治郎 近藤

農林關係——營林署

農林關係—營林署—遞信關係

芳次郎 技手矢島耕吉 金森一雄 森林主事山口久一 小野新藏 高木乙彦 吉田健治 山本丑藏 澁谷民藏 囑託員石龜守人 雇員漆原辰之助 佐藤要次郎 柴田爲之助 坂井久一郎 高橋健二 上村隆一 渡部良吉

○川尻營林署(和賀郡湯田村) 署長 技手植田守 屬伊藤廣三郎 佐藤留吉 技手鈴木良雄 森林主事鎌田常藏 佐藤稔 小山喜右衛門 水間千賀雄 早川巖 荒子之助 囑託員草彌義一 片岡哲藏 雇員小川敬三郎 大内一男 藤原恒雄 高橋保藏 文屋敦二郎 佐藤仁三郎 西村竹雄 菅野武 佐藤正明

○高田營林署(氣仙郡高田町) 署長 技手竹內義三郎 屬菅原善助 日下龜吉 佐々木角治 森林主事佐藤安吉 渡邊英祐 熊谷清次郎 高橋武 雇員坂牛彦吉 佐々木良治 庄司三郎 大友和義 村田利平 安藤雄憲

○庶務課 四級 遞信書記兼赤澤正次郎 月六一 遞信書記 菊池長壽 月五一 遞信書記 阿部弘美 月三九 遞信書記補戶島千秋 月三六 遞信書記 阿部留五郎 ○郵便課 四級 遞信書記 增子光吉 主事兼監查員 佐々木佐次郎 五級 同 井上由之 六級 主事 井上由之 月七〇 同 岩根謹太郎 月五九 同 岡本眞輔 月五八 同 岡本眞輔 月五五 遞信書記補櫻田專太郎 月五一 同 市原知臣 月四九 同 古館武吉 月四八 同 杉本喜助 月四七 同 八重畑吉太郎 月四六 同 齊藤治右衛門 月四五 同 鈴木寛二 月四四 同 工藤克郎 月四三 同 小西金太郎 月四二 同

三七六

遞信關係

○盛岡郵便局 局長 七等 七級 通信事務官兼遞信局事務官 從七勳七田中末次郎

月四一 同 田中館德藏 月四〇 同 大矢正 月三九 同 齋藤夏乃 月三五 同 菅野哲男 ○電信課 課長 眞柄慎一郎 三級 通信書記 綱千友治郎 四級 主事兼監查員 公木平仁太郎 五級 主事 同 藤村政次郎 月六八 同 加藤哲郎 月六四 同 川村忠 月六〇 同 清水春治 月五九 同 名郷根清 月五八 遞信書記補松本忠吉 月五六 同 桑原慶太郎 月五五 同 藤澤五郎 月五二 同 久保田武 八重樫功 八木良吉 熊谷初雄 澤口博 菅原守雄 小野騎 菊池作十郎 月四六 同

月四四 同 大洞又右衛門 月四三 同 渡邊豐 月四二 同 宮田升五郎 月四一 同 工藤典久 月四〇 同 小野寺誠夫 月三九 同 富田幸一 月三八 同 晴山壯一郎 月三七 同 菊地榮一 ○電話課 課長 三級 通信動八 吉田武四郎 三級 技手 吉田典五郎 月七〇 通信動七 吉田典五郎 主事兼監查員 五級 遞信局技手 岩崎靜一 月五七 主事 同 渡邊三郎 月六一 遞信書記補長内二 月五一 同 橫澤專三郎 ○保險課 課長 四級 遞信書記 菅原臣二 主事兼監查員 六級 同 佐々木耕次郎 月六〇 同 久喜寅太郎 月五九 同 大澤正助 月五一 遞信書記補高木仁

月四八 同 佐々木久一郎 月四七 同 前田富士雄 月四四 同 開米次郎 月三八 同 赤坂仁太郎 月三五 同 正八 八重樫晴朗 ○分課未定 遞信局書記補 大波章 兼通信書記補 岩手縣三等局長會 會長 遠野郵便局長從七勳八村上 德三 副會長 久慈郵便局長正七勳六嶋正一 幹事 長摺澤郵便局長正七勳六加藤惣吉 顧問 山田郵便局長(高等官七等待遇)從六勳六八木萬次郎 第一區幹事 平館郵便局長八重樫傳次郎 改良部長盛岡材木町局長勳八菅林利助 業務部長盛岡驛前局長勳七關政次郎 獎勵部長沼宮内郵便局長正七佐藤啓

第七區幹事 大橋郵便局長佐々木四郎 改良部長栗橋郵便局長正七勳七菊地文左衛門 業務部長宮守郵便局長勳七佐々木貫登 獎勵部長岩手上郷局長勳八松橋孫助 第八區幹事 宮古郵便局長勳八

郵便局

三七七

鐵道關係—盛岡運輸事務所

三八〇

驛長 書記三 助川 敏男
 豫備助役 雇五〇 兒玉 進
 出札掛 雇日一、四三金 武 彦
 驛務助手兼豫備助役 雇月六〇
 引地 文雄
 〇脇澤 驛
 驛長 書記五 小丸 賴重
 〇小友 驛
 驛長 書記五 小野寺 德兵衛
 驛手 雇月五九 石川 伊三郎
 〇細浦 驛
 驛長 書記四 佐藤 寅之助
 豫備助役 雇月六二相 澤 協
 驛手 雇月五六 立木 末治
 〇下船渡 驛
 驛長 書記五 佐藤 雄三郎
 〇大船渡 驛
 驛長 書記三(效績章)岩淵 清治
 豫備助役 雇月五五新妻 三男
 出札掛 雇日一、四五小野 善兵衛
 貨物掛 雇月五三 平塚 幸三
 驛務助手兼豫備助役 雇月五八 小山 善治
 〇盛 驛
 驛長 書記四 丹野 寅之助
 助役 雇月五八 志賀 正雄
 〇一關機關庫
 主任 技手二勤八 高橋 吉松
 助役 書記五 蜂谷 壽三郎
 技手四佐藤完禧 技手四長田官
 次 技手四飯塚元治
 事務員 鐵道手月八二本宮一
 雇月六四小野寺直見 雇月六一
 松谷榮治
 技術員 雇月六〇小澤仁
 機關手(庫內勤務)技手勤八齋藤
 鐵道手月九三橋本正治 鐵
 道手月八五(氣仙沼)遠藤善助
 鐵道手月八二佐藤勇男
 機關手 技手四(九七)(效績章)
 千葉慶之助 技手五千葉幸一郎
 技手小岩繁太郎 技手六島貫菊
 一郎 技手六小野寺竹治 鐵道
 手月九三及川貞吉 鐵道手月九
 一 佐々木定治郎 鐵道手月八八
 (効績章)菅原直三郎 鐵道手月
 八二吉田耕八 鐵道手月八三小
 島寅治 鐵道手月八二千葉西吉
 鐵道手月八一細川幸作 鐵道手
 月八〇菅原辰造 雇月八〇佐々
 木和平 雇月八〇高橋高志 雇
 月八〇岩淵儀四郎 雇月七九小
 野寺政雄 雇月七九熊谷新次郎
 雇月七八積田三鬼之進 雇月七
 三大和金之助 雇月七三熊谷惣
 一郎 雇月七二小野寺芳美 雇
 月七一阿部金藏 雇月七一齋藤
 碩朗 雇月六九阿部健吉 雇月
 六九小野寺鏡男 雇月六八中川
 房男 雇月六八酒本幸藏 雇月
 六八高倉隆幸 雇月六五小野寺
 右左美 雇月六五勤八佐藤直治
 雇月六五千葉誠 雇月六四小野
 寺與市 雇月六二阿部盛吾 雇
 月六二中野一 雇月六〇石川源
 一郎 雇月六〇江本清久 雇月
 六〇門馬富代 雇月五八小山儀
 一郎 雇月五八阿部助壯 雇月
 五八正八野中忠吾 雇月五八鈴
 木長治郎 雇月五八小林章介
 雇月五六及川昌三 雇月五六高
 橋泰治 雇月五六仁志米吉
 機關手見習 雇日一四七鈴木武
 機關助手 雇千葉正 同吉田四
 郎 同本田英吾 (大船渡)菅原
 貞次郎 同小岩弘 同豐村豐實
 同佐藤峻 同千葉喜男 同千葉
 三郎 同熊谷一郎 同菅原忠雄
 同佐藤汀 同阿部慶治 同佐々
 木直一 同菅原繁 同三浦吉藏
 同清水井好雄 同駒形辰雄 同
 吉田正治 同永井登 同永野義
 男 同菅原善八 同千葉敬之
 同千葉章三 同鈴木松之進 同
 土居四一 同小野寺新一 同渡
 部菊治 同小野寺勝雄 同狩原
 貞雄 同中野清 同那須勇 同
 酒井幸一 同千葉長一 同佐藤
 力 同安部明 同勤八森武 同
 石川中郎 同菅原榮 同千葉一
 十 同小野豐太 同岩本德藏
 同駒米榮記 同金野新之助 同
 齊藤一 越沼親尾
 機關車検査掛 技手六村上喜興
 男 技手六鈴木貢 技手六及川
 堅夫 技手月七一佐藤重之 技
 手月七〇生井金藏
 機關車検査掛助手 菊池善見
 技工長 鐵道手月八〇星花武治
 技工 福本石五郎 同增田伊七
 同千葉榮男 同田中正治
 諸機運轉手 日野利一 同佐藤
 寅次郎 同菊池武夫
 〇盛岡運輸事務所
 (盛岡市下厨川)
 所長 五等五級 久保田 重孝
 副所長 從 六

主任 書記四級 井上 正忠
 書記三 佐々木幸次郎
 四(購買支部主任)瀨川 喜代治
 五 花田 新吉
 六 伊藤 定男
 六 及川 直臣
 六 津輕石小太郎
 六 安藤 軍治
 六 國井 榮三郎
 六 齋藤 喜之丞
 事務員 雇月八〇米澤末吉 同六
 一高橋倉太郎 同六〇藤井貞一
 同五九(宮古)大坪孝 同五六貝
 守廣 同五一(黑澤尻)佐藤卓郎
 同五〇細川贊平 同五〇市川俊
 男 同四九小林廣 日一、三二
 十文字才次郎 同八五目時ハル
 營業掛
 主任 書記二級 堀澤 禎藏
 書記三 正八 藤田 恒幸
 四 長野 榮治郎
 四 鈴木 市治
 五 伊東 誠
 六 梅 森 光
 六 後藤 助七
 月七二 重石 勝衛
 月七一 高橋 孝雄
 鐵道關係—盛岡運輸事務所
 主任 技手二級 武藤 忠雄
 書記二(二七)從七勤八紺野 政路
 月六三 小坂 敬吉
 同六一 小山田 清
 同六〇 太田 一男
 事務員 雇月五四小原勉一
 三級 技手 高橋 重八
 四 工藤 久治
 五 高橋 介次郎
 月六七 菅原 茂
 主任 書記一級勤六
 (効績章)板橋 九十郎
 書記三 村松 滉
 四 小針 久吉
 四 眞田 壽
 月七一 松田 正夫
 同六九 高谷 三九郎
 同六六 佐々木 平八
 同六三 高橋 孝雄
 同六〇 高松 良次
 同六〇 盛岡電力區 矢野 利正
 事務員 雇月七三高木專二郎 同四
 七澤田米次 同四五澤藤善兵衛
 〇盛岡車掌所
 主任 書記三級 岩井 賢太郎
 助役 書記月六二 吉川 武敏
 書記六 正八 豐田 竹司
 同七 勤八 金田 兼藏
 車掌(內勤)雇月五二小原吉郎
 同五〇戶塚甚三郎 同四九谷藤
 清
 車掌(運轉)書記月六二工藤祐雄
 雇月六四宮勇次郎 同六二引地
 民藏 同五九正八黑澤忠雄 同
 五九川上浩四郎 同五八白澤喜
 平治 同五七岩井茂治 同五七
 千田不二夫 同五七戶來俊平
 同五六高原孝次郎 同五五桐生
 俊夫 同五五菅野二郎 同五四
 猪原吾郎 同五四長澤覺兵衛
 同五二鈴木善次郎 同五二金田
 一義雄 同五二甲斐吉伊 同五
 一寺下末太郎 同五〇田鎖久策
 同五〇竹田萬次郎 同五〇熊谷
 春男 同四九小岩忠一 同四九
 野中政次郎 同四八五十嵐興忠
 治 同四八熊谷修武 同四七高
 橋喜雄 同四七五市定八 同
 四六萩野謙造 同四五小野寺清
 龍 同大庭啓壽 同佐藤清 同
 吉田常治 同牛崎榮二 同白坂
 太一郎 同佐藤榮一 同馬場喜
 一 同千葉行一 同小田鳥賢一
 郎 同千田慶五郎 同伊藤一三
 同遠藤知則 同高橋清一郎 同
 小笠原春治 同高橋省吾 同村
 瀨節雄 同佐藤昌浩 同梅内石
 太郎 同根子幸爾
 車掌(客扱)雇月五七阿部藤治
 同五六多田義隆 同五〇川崎邦
 義 同四六上田一郎 同四五小
 野寺豐
 車掌(荷扱)書記六(効績章)神練
 兵 鐵道手月七五川村政治郎
 同七三勤八一戶昌壽 同七二
 (効績章)阿部國治 同六九千葉
 芳見 雇月六八柳橋千久治 同
 六五菊池末吉 同六四菅原清三

三八一

鐵道關係——盛岡運輸事務所

郎 同五九駿河允 同五九鎌田
重兵衛 同五九佐藤鐵夫 同五
八崎山美三郎 同五八猪股善太
郎 同五七服部環 同五二齋藤
庄太郎 同四九杉山一郎

東北本線各驛

○陸中折居驛

驛長 書記五 田村 俊吾
助役 雇月五七 十田 喜代治

○水澤驛

驛長 書記三 伊藤 忠造
助役 書記月六一 出町 銀次郎
雇月五九 小笠原 甚助

豫備助役 雇月五八 佐藤武雄 出
札掛兼電信掛掛 雇月五二
菊池朝男 同四七 佐藤勝雄

改札掛兼出札掛電信掛掛
雇月一、三 七千葉謙二

小荷物掛 雇月五一 鈴木 七郎

貨物掛 書記四 小野富治 書記
月六三 菅原正視 雇月六一 萩原
市右衛門

○金ヶ崎驛

驛長 書記四(九七)坂本 菊雄
助役 書記月六一 竹 澤 浩
○三ヶ尻信號場

驛長 書記月七一 舞石 助男
助役 雇月五〇 江戸 義雄

○黑澤尻驛

驛長 書記二(効績章)野田金次郎
助役 書記月六四 佐藤 恒次
助役 書記月六四 佐々木孝二郎

同 雇月五九 鎌田 六三
豫備助役 雇月六二 大山 三二郎

同 同五八 小櫻 半藏
出札掛兼電信掛掛 雇月一、四九早
坂泰祐 同日一、二三 橋内定雄

出札掛兼改札掛電信掛掛 雇月四七
千葉健一

運轉掛兼助役 雇月五五 木村 正美
改札掛 雇月一、二四 加藤 春吉

小荷物掛 雇月一、四四 阿部久肆
貨物掛 雇月五五 藤田善五郎 同
五一 佐々木卯吉

驛務助手 雇月四九 小菅幸藏
同日一、三〇 登島高志

車號掛 鐵道手月六八(効績章)
小林善吉 雇月四八 工藤權次郎

操車掛 雇月六四 種市愛吉 同
四八 田中省吾 同四六 都島嘉平
治 同、五一 加藤竹三

信號掛兼運轉掛 雇月六一 田中
富藏 同四六 鎌田政三

電話掛 雇月九五 來々々 同

八九及川ム
○村崎野信號場

驛長 書記七 八木澤茂助
助役 雇月五四 田中 利三

○花巻驛

驛長 書記二 加藤 敏夫
助役 書記月六〇 清水 忠一
助役 雇月六四 倉成 敬之助

同 雇月六四 倉成 敬之助
豫備助役 書記月六〇 佐々木 市助
出札掛兼電信掛掛 雇月五
〇 佐々木久助 同日一、四四 高橋
純治

改札掛 雇月一、一八 山 隆
改札掛兼電信掛掛 雇月一、二九 渡
邊虎男

小荷物掛 鐵道手月六四 松田守
次郎 同日一、四八 坂本佐市
貨物掛 雇月六〇 平實雄 同五
四 石川鐵次郎 同日一、三〇 高
橋廣

驛務助手 雇月五三 南館一造
驛務助手兼運轉掛 雇月五二 高橋
貞

○二枚橋驛

驛長 書記五 村岡 廣
助役 書記月六二 佐藤 留治
出札掛兼運轉掛 雇月一、三〇
佐々木德藏 同日一、二八 佐々木

佐次郎
○石鳥谷驛

驛長 書記四 菅原六七八
助役 雇月五九 東海林十三弘
出札掛兼電信掛掛 雇月一
二九 佐藤久雄 同日一、二九 都澤
猛

○日詰驛

驛長 書記三 宮 孝次郎
助役 書記月六六 菊池吉五郎
出札掛兼電信掛掛 雇月五
五 照井計太郎 同日一、一八 石
澤馨

○矢幅驛

驛長 書記四(九七)高橋 駒藏
助役 書記月六三 都 鳥 直
出札掛兼電信掛掛 運轉掛 雇月四
七 岡崎勇徹 同日一、一八 佐々
木正治

○仙北町驛

驛長 書記三 近江 淳
助役 書記月六九 永井長次郎
出札掛兼電信掛掛 雇月四七 金田一
文雄 同日一、三〇 柴内正也
出札掛兼電信掛掛 運轉掛 雇月一、
三五 藤澤清志

小荷物掛 雇月五〇 加藤德次郎

貨物掛 鐵道手月六三 佐藤新一
郎 雇月五三 大原清三郎 驛務
助手 雇月一、三七 藤澤萬次郎

○盛岡驛

驛長 主事(七等待遇)書記一級
(効績章) 柿苗 完三
助役 書記五 葛西 勇五郎
同 六 横堀 東一

同 月七一 長谷川政治郎
豫備助役 書記月六六 小畑 一男
雇月五六 米澤茂一郎

庶務掛 書記月六一 泉山清次郎
雇月四八 菅田真次郎
出札掛 書記四 七堀口治太郎
雇月七一 齋藤正人 同五二 木幡
一三 同五二 石川時藏 同日一
二六 松島勇藏

改札掛 雇月五五 月館正三郎
同四八 菊池庄一 同日一、三四
庄司真一 同、三〇 金濱真次
小荷物掛 書記三 澁田大藏 雇
月五五 山口政司 同五三 小野寺
確郎 同四六 高橋誠志

貨物掛主任 書記五 小田島軍平
貨物掛 書記七 古川源次郎 雇
月六〇 北川政雄 同五五 工藤松

大郎 同四九 阿部一雄 同四六
澤田馬次郎 同四五 登米正幸
同日一、三四 上川武

貨物掛兼豫備助役 書記月七二
高柳俊造

電信掛 主任 書記六 崑野謹司
電信掛 雇月五四大 江愛次郎
同五〇 田中竹次郎 同四八 工藤
操二 同四五 宮田幸一 同日一
三五 山口幸作 同、三〇 佐藤
文彦 同、三〇 藤井清五郎

同、三〇 小原信三 同、二二 三
村井正一 同、二二 關善治郎
同、一、二七 鎌田勝右衛門 同、一、
一二 西條覺彌

驛務助手 雇月五四 兒玉武司
同五二 熊谷圓吉

運轉掛 書記月七二 工藤松太郎
同六九 金子寅次郎

運轉掛兼助役 書記六 中田鐵太
郎 書記月六四 戶來角造

車號掛 鐵道手月七四 及川伊兵
衛 同六八 八三 浦芳太郎 雇
月五七 高橋喜代治 同日一、二
四 竹田元次郎

操車掛 鐵道手月七五 野中谷藏
雇月六三 瀧村專藏 同六二 福島

助三郎 同五九 中村賢吉 同五
五 佐藤清之 同五〇 澤瀨忠次郎
同四六 關根七右衛門

信號掛 鐵道手月七五(効績章)
小川恒 雇月五九 天沼彌太郎
同五九 吉田彦次郎 同五九 小笠
原金太郎 同五五 田上正成 同
四八 藤原久次郎 同四八 山本重
三郎 同四八 佐藤昌二 同六八
齋藤甚之助

電話掛 雇月九七 村野タカ 同
九二 遠藤キミヨ 同九〇 神フク
同八四 熊坂キク

○厨川驛

驛長 書記五 米田 八郎
助役 書記月六二 小泉 命助
○瀧澤驛

驛長 書記三(効績章)川井小一郎
助役 雇月五一 宮野甚右衛門
○好摩驛

驛長 書記四 平野 正三
助役 書記月六一 鎌田 三兒
豫備助役 雇月五七 菊池 金良
出札掛電信掛 雇月一、三〇 桑
添榮 同日一、二九 長村義三
貨物掛 雇月一、一九 長村義三
操車掛 雇月五〇 山口敬一郎

信號掛兼運轉掛 雇月五八 野々
村常吉 同四六 立山千代吉

○岩手川口驛

驛長 書記四 伊藤 弘
助役 雇月五七 小關 正治
出札掛兼電信掛 日雇一、二九
門間茂一
出札掛兼電信掛運轉掛 雇月一、
三〇 藤枝忠惠

○沼宮内驛

驛長 書記(効績章)川崎 儀八
助役 雇月五九 吉田傳次郎
同 同六四 宮野 武親
豫備助役 書記月六三 伊藤 政勝
出札掛兼電信掛 雇月六〇 小野
寺榮 同日一、三五 熊谷儀一
貨物掛 同日一、三六 坂下安兵
衛

驛務助手 雇月五一 苗代澤金次郎
操車掛 雇月一、五二 旭澤德八郎
操車掛兼運轉掛 雇月六三 竹田
金次郎 同五七 民部田平二朗
同五五 中澤千太郎

○御堂信號場

驛長 書記月七三 日景 豐三
助役 雇月五六 神山 榮吉
驛手兼運轉掛 雇月五一 澤瀨佐

鐵道關係——盛岡運輸事務所

鐵道關係——盛岡運輸事務所

市郎 同四八府金竹松
 ○奧中山驛
 驛長 書記六勳七朝 岡 蕃
 助役 書記月六三田中 好喜
 出札掛兼電信掛 雇日一、三〇
 村中正四郎 同一、二九日下仁
 平

○小繫驛
 驛長 書記五 佐々木長太郎
 助役 雇月五八 新山 重兵衛
 ○小鳥谷驛
 驛長 書記三 柳澤 政次郎
 助役 雇月五九 澤口 嘉吉
 出札掛兼電信掛 雇日一、三五
 松田正勝 同一、二八松本昌喜
 驛手 同月五三岩館鐵男

○一戸驛
 驛長 書記二勳七佐藤專右衛門
 助役 書記月六七佐野川源一郎
 同 同六四 松本 勇次郎
 豫備助役書記月六六金田一敏武
 出札掛兼電信掛 雇月五一漆澤
 陽 同日一、二八佐藤勝雄 貨
 物掛 鐵道手月七七佐々木專五
 郎
 操車掛 鐵道手月七一鹿口金作
 雇月六九一井石松 同六二昆留

○金田一驛
 驛長 書記五 久 我 隆
 助役 書記月六三高田 德次郎
 出札掛兼電信掛 雇日一、一〇
 田口元喜
 出札掛兼電信掛 運轉掛雇日一、
 三三概館武治

○橫黒線各驛
 ○江釣子驛 都谷森 正吉
 驛長 書記六
 豫備助役雇月五七小野寺 富吉
 ○藤根驛

○田山驛
 驛長 書記五 高橋 大次郎
 ○兄畑驛 田中 良雄
 ○湯瀨驛 中 哲男
 驛長 書記月七三松本
 ○小豆澤驛 東一
 豫備助役書記月六四根田龍二郎
 ○陸中花輪驛
 驛長 鐵道手月七一
 正八 北川 錦哉
 豫備助役書記月空小岩 忠一

○盛岡機關庫
 主任 技手三 武田 常太郎
 助役 書記三高久覺治郎 技手
 三佐藤德三郎 同四佐藤信衛
 同四小山田直美 同四福士精一
 同五穴戶義治 同六佐々木仙太
 事務員 雇月六三八重樫彌右衛
 門 同五三藤原直治 同五一田
 山喜七 同五〇齋藤與助 同四
 九松田重夫
 技術員 雇月六二佐藤久良 同
 五六工藤勇
 機關手(庫内勤務)技手四(九九七)
 荒屋新町中村與助 鐵道手月八

○上米内驛
 驛長 書記四(九九)小野 茂雄
 驛手 雇月五五四戶清也
 ○大志田驛
 驛長 書記六 村山 權太
 信號掛兼豫備助役雇月五五關本
 善助
 信號掛兼運轉掛 雇月五〇吉田
 音松

○淺岸驛
 驛長 書記月七三長 澤 吉太郎
 豫備助役雇月六二工 藤 祐雄
 信號掛兼豫備助役 雇月四八五
 日市八兵衛
 信號掛兼運轉掛 雇月六一小林
 仁藏

○區界驛
 驛長 書記月七一藤原 鐵郎
 豫備助役雇月五六的 場 喜作
 ○松草驛
 驛長 書記五 福 島 傳
 ○平津戶驛
 驛長 書記六 近藤 勝雄
 豫備助役
 雇 月六一 松橋 千代治
 ○川内驛
 驛長 書記六 工藤 馬助

三八四

豫備助役雇月三六中村 已代治
 ○箱石驛
 驛長 書記月七三三坂 慶雄
 ○陸中川井驛
 驛長 書記月七〇原田 耕一
 豫備助役雇月五七高橋 千英
 ○腹帶驛
 驛長 書記月七三佐々木 德彌
 ○茂市驛
 驛長 書記五 佐々木 銷
 豫備助役雇月五七遠藤 義一
 出札掛雇日一、三六 鈴木 武志
 ○墓目驛
 驛長 書記月六九三好 成己
 ○千徳驛
 驛長 書記五 砂金 令幸
 豫備助役雇月五七 窪田 美郎
 ○宮古驛
 驛長 書記三 菊地 喜代治
 助役 書記七 齋藤 正吉
 同 雇月六三 佐藤 忠治
 出札掛兼電信掛 雇日一、四一
 吉田助治郎 同一、二三花田朝
 郎
 改札掛 雇月四七駿河吉一
 小荷物掛 雇日一、一九二瓶尙久
 貨物掛 書記月六二佐藤重次
 鐵道手月六九勳七阿部市太郎

○赤坂田驛
 驛長 書記月六九鈴木 勝三郎
 ○荒屋新町驛
 驛長 書記四 野村 元衛
 豫備助役雇月五九田村 市太郎
 出札掛兼電掛 雇日一、二五佐
 藤重藏

○田山驛
 驛長 書記五 高橋 大次郎
 ○兄畑驛 田中 良雄
 ○湯瀨驛 中 哲男
 驛長 書記月七三松本
 ○小豆澤驛 東一
 豫備助役書記月六四根田龍二郎
 ○陸中花輪驛
 驛長 鐵道手月七一
 正八 北川 錦哉
 豫備助役書記月空小岩 忠一

○盛岡機關庫
 主任 技手三 武田 常太郎
 助役 書記三高久覺治郎 技手
 三佐藤德三郎 同四佐藤信衛
 同四小山田直美 同四福士精一
 同五穴戶義治 同六佐々木仙太
 事務員 雇月六三八重樫彌右衛
 門 同五三藤原直治 同五一田
 山喜七 同五〇齋藤與助 同四
 九松田重夫
 技術員 雇月六二佐藤久良 同
 五六工藤勇
 機關手(庫内勤務)技手四(九九七)
 荒屋新町中村與助 鐵道手月八

○上米内驛
 驛長 書記四(九九)小野 茂雄
 驛手 雇月五五四戶清也
 ○大志田驛
 驛長 書記六 村山 權太
 信號掛兼豫備助役雇月五五關本
 善助
 信號掛兼運轉掛 雇月五〇吉田
 音松

○淺岸驛
 驛長 書記月七三長 澤 吉太郎
 豫備助役雇月六二工 藤 祐雄
 信號掛兼豫備助役 雇月四八五
 日市八兵衛
 信號掛兼運轉掛 雇月六一小林
 仁藏

○區界驛
 驛長 書記月七一藤原 鐵郎
 豫備助役雇月五六的 場 喜作
 ○松草驛
 驛長 書記五 福 島 傳
 ○平津戶驛
 驛長 書記六 近藤 勝雄
 豫備助役
 雇 月六一 松橋 千代治
 ○川内驛
 驛長 書記六 工藤 馬助

鐵道關係——盛岡機關庫

三八五

鐵道關係—盛岡機關庫—宮古機關庫

三八六

崎重男 同六八江釣子吉成 同
 六七小澤清憲 同六七野中常吉
 同六七齊藤康成 同六七伊東章
 同六七小野宇八 月六六北田久
 三郎 同六六上野發雄 同六五
 (荒屋新町)寺田賢一郎 同六四
 宮崎他人次郎 同六二兼田勘次
 郎 同六二吉田三治 同六二淺
 沼仁左衛門 同六二田中一郎
 同六二河田竹藏 同六一沼田久
 吉 同六〇(荒屋新町)狐崎一郎
 同六〇(荒屋新町)菊田一善 同六
 〇石垣貞市 同六〇小田彌八
 同六〇名久井斌 同六〇(荒屋
 新町)佐藤美重 同五八鶴見勝
 治 同五八橋本忠治 同五八谷
 藤巖 同五八小國初太郎 同五
 八立花力也 同五八佐藤吉美
 同五六齋藤篤治郎 同五六佐藤
 正巳 同五六柴田榮次郎 同五
 六橫山千代松 同五六伊藤博
 同五六堀内末藏
 機關手見習 松川金治 田代源
 之助 石川新藏
 機關助手(庫内勤務)兼合圖手高
 原末吉
 機關助手 北田久次郎 菊田由
 之助 大志田富治 久保田芳太
 郎 川村丑藏 高橋榮吉 蛇口
 彌太郎 熊谷幸一 及川駒太郎
 中川金之助 山内健二 川井政
 郎 川井金之助 千葉市右衛門
 出堀育夫 重茂光雄 谷口德太
 郎 音石政一 八重樫勝己 井
 上與五郎 岩花勇太郎 小野寺
 豐 藤澤福治 高橋源吉 濱田
 一夫 橋本正治 池田潤二郎
 岩井花德哉 中居正治 藤澤文
 二郎 内藤三郎 角掛德次郎
 中山鐵藏 多田善右衛門 藤澤
 孝助 願法長吉 志田正一 加
 藤清一郎 平館藏吉 高橋鐵三
 郎 小原駒次郎 齋藤愛之助
 廣田庄助 高橋才太郎 佐々木
 省二郎 谷藤岩太郎 高橋七兵
 衛 吉田千太郎 蒲澤吉雄 丹
 治政雄 齋藤鐵雄 佐々木久壽
 高橋常治 高橋健一 阿部七郎
 菊池勝英 内藤勝郎 松島徹郎
 郎 太田三郎 中塚彌助 松岡
 直見 岩淵英雄 赤坂權藏 黒
 澤文二郎 菅原精 佐々木吉道
 根田幸一郎 山本喜七 川村榮
 四郎 藤村藤十郎 新山勝己
 谷藤正一 高橋善三郎 足澤仁
 三郎 音石良一 伊勢直見 佐
 藤三郎 佐々木雷藏 熊谷友二
 齋藤三郎 佐々木雷藏 熊谷友
 二 齋藤三郎
 機關車検査掛 技手六佐藤賢之
 介 同六川村勝彌 同六動八佐
 藤敬夫 同六中島勇治 同六小
 原義雄 同月七四千葉實 鐵道
 手月九〇動功七上田小次郎同
 機關車検査掛助手 鐵道手月九
 三(効績章)小坂安五郎 武田幸
 一 高橋松之助 吉田音吉
 合圖手 吉田鶴松 中塚彌三郎
 佐々木雄治
 諸機運轉手 佐々木權太郎 高
 橋三太郎 吉田末吉
 諸機運轉手兼合圖手 根子幸一
 炭水手世話役 谷藤兼藏 矢羽
 々民次郎
 炭水手 田中德藏
 技工長 鐵道手月七七阿部善吉
 技工 鐵道手淵澤私二男 太田
 秀直 小菅廣治 瀨川慶之助
 金田一德太郎 高橋熊太郎 田
 村市太郎 諏訪三郎 中村仁太
 加藤金六谷 藤留吉 井上三五郎
 ○黒澤尻分庫
 機關手(庫内勤務)履月七三野崎
 正治
 ○宮古機關庫
 主任 技手三 茂泉 喜代治
 助役 書記月七〇小田島慶太郎
 技手四鈴木保次 同四山田榮
 専務員 履月六六杉田仁太郎
 技術員 技手月七〇三浦十三雄
 機關手(庫内勤務) 技手五杉本
 保五郎 鐵道手月七六村野井安
 兵衛
 機關手 技手大越惣吉 細越清
 三郎 鈴木勝吉 佐々木政人
 渡邊太利吉 土田德次郎 齋藤
 勇五郎 小林尊代松 佐藤源太
 郎 佐々木理左衛門 狐崎清一
 大澤爲八 大橋安藏
 機關助手(平津戸)細川初太郎
 機關助手 大星千代松 米澤三
 右衛門 遠藤庸治 川村吉郎
 熊谷孫惣 沼田廣治 石澤清
 谷藤德三郎 中村治兵衛 渡邊
 庄一 武藤與太郎 山田惣助
 細田德藏
 機關車検査掛 技手五三三四郎

機關車検査掛助手 履月七四小

盛岡電所

○盛岡電所
 主任 技手三 齋藤 孜
 助役 書記(兼)盛岡電力區助役
 穴戸利正 技手五更科二夫
 事務員 齋藤利男 技術員 柄内民
 雄 車電手 島守石三 矢羽々文吉
 ○青森運輸事務所
 所長 副參事 五等四級
 從六勳六(効績章)河村 勝治
 久八線
 ○種市驛
 驛長 書記四(九七)
 (効績章)野中彌左衛門
 出札掛兼豫備助役松井 辰三
 ○陸中八木驛
 驛長 書記五 八木橋 壽雄
 豫備助役 雪田 慶三
 ○陸中中野驛
 驛長(兼)書記
 陸中八木驛長 八木橋 壽雄
 出札掛兼助役中野渡重次郎
 ○侍濱驛
 驛長 書記六 武田川 辰藏
 ○陸中夏井驛
 驛長 書記五 今 七太郎
 ○久慈驛
 驛長 書記四 加藤 菊松

豫備助役書記月七泉谷 金藏

七一山田治 月六九秋山幾夫

出札掛 馬場 貞吉
 出札掛兼電信掛 福島 政五郎
 貨物掛 猪内 泰
 ○盛岡保線事務所
 (盛岡市下厩川)
 所長 四等六級 小川 藤三郎
 事務掛 正六勳六 小川 藤三郎
 書記 書記三 小村 直治
 三 從七勳八 柄本 春彦
 四 雨谷 眞一
 六 久保 敏介
 月七四 柴崎幸太郎 月六七林
 定雄 月六三小笠原碌三
 事務 履
 月七〇勳八菅野千代吉 月五五
 中野忠吉 月五二城澤盛男 月
 五二澤口利三 日一、〇四武藤
 ウメ
 機關方 履月五五伊東 恒吉
 技工手 履月七六澤野 末吉
 土木掛
 主任 技手一 正八中澤七太郎
 技手二鈴木喜太郎 三圓子得二
 郎 四加藤博 五鈴木教一 月

七一九 齋藤軍平 (兼)盛岡通
 信區主任村田庚子郎
 技術 履
 月六七 勳八 齋藤 正六
 月五九伊藤久四郎 月五九林部
 林藏 月五九橫堀義美 月五八
 尾形秀雄 月五〇根田政藏 月
 四六中島義男 日一、三五小林
 正二郎
 建物掛
 主任 技手三 宮川 專藏
 技手 四 逸見米雄 月六八工
 藤正 技術履月五九齋藤準
 黒澤尻保線區
 主任 技手三 梅澤 彌富
 助役 書記七 大溪 三美
 技手 月六七 細川 春男
 専務員 履月五五 岡村 延雄
 保線手 (水澤)勳八(旭)石川長
 次郎 (花卷)工藤清之助(横川
 目)松本秀男(和賀仙人)南館甚
 七 (黒澤尻)日景平三
 建築手 履月五五及川正 月五
 五西田德藏 營林手履(兼)盛岡
 保線區營林手古川貞明

鐵道關係—盛岡保線事務所

三八七

鐵道關係—盛岡保線事務所

線路工手長 (花卷) 佐藤生吉 黑澤尻 小田島市藏 (陸中折居) 勳八三宅太輝 (三ヶ尻) 平小八郎 (金ヶ崎) 淺沼春松 (水澤) 千田幸五郎 (横川目) 高山仁左工門 (大荒澤) 勳八菊地忠次郎 (二枚橋) 阿部常司 (村崎野) 及川久吉 (岩澤) 小野權藏 (藤根) 八重樫作治郎 (陸中大石) 伊藤福藏 (和賀仙人) 村上喜代治 (江釣子) 佐藤定男

三田村市太郎 建築工手長 月七〇片方喜次郎 雇月五八見瀧利州 營林工手長 雇月五四 古川 貞明 線路工手長 (盛岡) 木坂吉五郎 (矢幅) 川村文治郎 (小岩井) 下村留之助 (上米内) 勳八山形勘之助 (日詰) 勳八下越田喜代治 (好摩) 山本萬之助 (上盛岡) 竹田惣太郎 (橋場) 勳八(旭) 佐々木春松 (石鳥谷) 田子太郎 (大志田) 大橋清太郎 (北日詰) 加藤三五郎 (瀧澤) 片方喜兵衛 (栗石) 横手喜太郎 (仙北町) 千葉米吉 (厨川) 立花仁太郎 (大釜) 日向榮五郎

日一、三〇稻荷市郎 技術員 (兼) 北高岩 盛岡保線事務所土木掛秋山幾夫 雇 (兼) 北高岩 伊藤久四郎 保線手 (兼) 金田一 野田頭文治郎 (沼宮内) 勳八高橋重藏 (與中山) 勳八村里茂助 (一戸) 中居巳吉 (三月) 栗山二吉 建築工手長 雇月六三猪川剛一 雇日一、四一熊谷三郎 營林工手長 (兼) 盛岡保線區營林手 古川貞明 線路工手長 (與中山) 中島三之助 (一戸) 板恒圓之助 (小島谷) 石田德次郎 (岩手川口) 竹田綱吉 (米澤) 西野三太郎 (北福岡) 染野寅吉 (金田一) 細沼吉三郎 (日詰) 佐藤留次郎 (劍吉) 庭田銀之助 (小繫) 田子龜吉 (三月) 吉谷地權之 (諏訪平) 岩澤久 (北高岩) 種市七之助 (沼宮内) 立花綱三 (御堂) 福澤留 線路工手 (小島谷) 鎌倉治郎吉 (金田一) 黑澤安次郎 (劍吉) 柳町助藏 建築工手長 (兼) 北高岩 盛岡保線區建築工手長 鈴木萬太郎

三八八

倉庫手 立花市郎 〇宮古保線區 主任 技手三 小出 忠良 助役書記六 原田丑吉 技手五 片方岩喜治 事務員雇月五二齋藤崇逸 技術員雇 (兼) 盛岡保線事務所土木掛林部林藏 保線手 (宮古) 淺利恒彌 (陸中川井) 鈴木仁右工門 (平津戸) 佐藤長三郎 (區界) 宮本秀治 建築工手雇月五二菅原正徳 雇月五〇田中清志 線路工手長 (箱石) 千葉長松 (川内) 藤原善五郎 (茂市) 田村末太郎 (宮古) 熊谷與三郎 (松草) 讚岐祐藏 (腹帶) 吉谷地又吉 (區界) 高橋友治 (平津戸) 岩本權太 (養目) 高橋平八 (淺岸) 工藤仁太郎 (陸中川井) 小原勇 〇荒屋新町保線區 主任 技手三 川口 爲之助 助役 書記月五九石川久吉 技手七阿部邦敬 事務員雇月四七前澤武治 保線手 (荒屋新町) 勳八小野三治 (岩手松屋) 及川亥助 (陸中花輪)

高橋二郎 (兄畑) 澤口孝太郎 建築工手長 (平館) 勳八旭野里善吉 (田山) 松坂末太郎 (龍ヶ森) 高橋五太郎 (岩手松尾) 及川千代吉 (陸中花輪) 竹田隼人 (荒屋新町) 菊地彦左工門 (大更) 及川今朝治 (兄畑) 田村左右太 (湯瀨) 遠藤長五郎 (赤坂田) 山本要助 (横間) 工藤末次郎 (柴平) 松澤三郎 線路工手長 (龍ヶ森) 熊谷萬次郎 木工手 雇月七二 石澤 政治 倉庫手 雇月四七 谷藤仁太郎 盛岡通信區 主任 技手三 村田 庚子郎 助役 書記六野坂初太郎 技手四 (九九七) 工藤 正技手月七四 (盛岡) 澁谷總治 技手月六九 (黑澤尻) 正八横田哲也 技手七 (一戸) 小坂養太郎 技手七 (荒屋新町) 平野房之助 雇月六七 (宮古) 小林寅一 雇月六三鈴木新之丞 雇月六一紫桃芳實 事務員雇月五八高橋正辰 雇月五二高橋資郎 技術員雇月五六上垣光二 雇月

五三正八加藤利雄 雇日一二一 丸林長太郎 閉塞機手 雇月六九 (宮古) 勳八佐藤四郎吉 雇月六五 (盛岡) 齋藤長吉 月五二 (黑澤尻) 中里富七 雇月五〇 (盛岡) 平間孝壽 雇月五〇 (荒屋新町) 小野寺定雄 閉塞機助手 (盛岡) 片桐實 (盛岡) 岡色川智雄 通信工手長 (盛岡) 勳八谷藤千五郎 (一戸) 瓜田榮三郎 (黑澤尻) 工藤仁太 (荒屋新町) 中村留吉 (宮古) 壽文字佐太郎 〇盛岡工場 (盛岡市下厨川) 工場長 技師四等五級 正六杉山 一男 庶務掛 主任書記二 廣澤辰治 書記 四竹林谷衆 月六八正八千葉定家 月六七遊座毅 事務員 雇日九五宮コウ 計算掛 主任書記三小川由三 書記六森重茂治 月七〇六本木與吉 事務員 月六〇駒井保三 第一技術掛 主任技手三 伊藤新次郎 技手 月七四下田正 月七四高芝猛雄 技術員 月七二岩井武司 月四九大和田三郎

(兼) 第二技術掛 武田和木生 第二技術掛 主任 (兼) 技手第一 技術掛主任兼工場検査場主任 伊藤新次郎 技手 五大門庄之助 (兼) 第一技術掛下田正 技術員 月七六武田和木生 月六一齋藤米藏 月五六菊地長一郎 月五三中村三五郎 日一、三五伊藤正三 〇盛岡鐵道治療所 主任 鐵道醫年二、七七〇從六 武者 林十郎 醫員 鐵道醫月一五平山周藏 助手雇月六五勳八 西川鐵五郎 藥劑員囑託月手二〇 長谷川芳野 事務員 雇月五七 大形清次郎 看護婦 雇月五七 杉村 キミ 雇月四五久保田セ 雇月四五平賀七一 木工職場 主任 技手三 齋藤 健一 助役鐵道手月一〇〇佐々木林作 技術員 技手月七四佐々木正雄 技手月七三太田悌也 鐵道月九四 (効績章) 勳八 上川 榮七 鐵道手月九〇勳八 上野 喜助

雇月八一佐藤吉太郎 雇月七七 小川忠兵衛 雇月六二野川吉藏 雇月五一君成田藤吉 雇日一、三五瀨川福太 機關手雇月七四 多田 農夫 工場技工 雇月五八 中村安之助 雲石長治 川村孫太郎 森良 德太郎 宮末吉 煙山長次郎 伊藤長次郎 谷藤光太郎 鈴木豐次郎 中村兼五郎 山口長次郎 田村好太郎 中村由松 齋藤清次郎 高橋儀助 田中盛一 郎 竹田仁太郎 大沼德次郎 大坪季治 作山茂富 野澤留吉 工藤重次郎 小笠原六太郎 晴山逸郎 村上谷藏 旋盤職場 主任 技手四 河野 峰雄 助役 鐵道手月八二阿部勇一 技術員技手月七三武田融 (兼) 工場職場小藤孫四郎 雇月五九 春日恒郷 雇月五七星山一二 五郎 赤松久吉 佐藤圓次郎 小林市太郎 藤原仁三郎 多田耕夫 向井田重助 谷藤金平

鐵道關係—盛岡保線事務所

鐵道關係—盛岡保線事務所

大澤丑松 大里由五郎 阿部一 吉田源吉 高木專太郎 鐵工職場 主任(兼)工機職場主任近野廉爾 助役 鐵道手月八七 中村清助 技術員 技手六島田啓資 鐵道手月八〇工藤末吉 雇月五九工藤達明 雇月五一齋藤好弘 工場技手 松崎義雄 菊地忠五 小笠原萬吉 古川金太郎 平川勝治 吉田善太郎 佐々木彌助 工藤金太郎 佐々木傳次 室野德次郎 渡邊岩太郎 下田貫藏 谷藤熊太郎 工藤龜之助 塗工職場 主任 技手四 齋藤 榮 助 役 雇月六七木 村 馨 技術員 雇月五〇遠藤 松雄 工場技手 赤沼友次郎 土村初太郎 上野喜惣治 小林金太郎 西根市之助 新藤重助 吉田辰之助 石田末吉 小畑文治 工機職場 主任 技手四 近野 廉爾 助 役 鐵道手月八一藤原德太郎 技術員 技手六小藤孫四郎 雇

月七四上野啓藏 雇月五六小笠原敏 諸機運轉手雇月五八勝田春松 電機手雇月八七勤七澤口長作 電機助手雇月五六勤七藤村恒吉 機關方助手 雇月七〇沼宮內與五郎 雇月六〇中村清 倉庫手 中村巖 高橋藤吉 工場技手 吉田仁太郎 中野清太郎 佐々木榮次郎 木村榮次郎 龜田森次郎 根守省三 主任 書記二勤八 川村 四郎 事務員 書記月七二佐藤清十郎 鐵道手月八四兼平嘉助 鐵道手月八〇古澤末次郎 雇月七五吉島五郎 雇月六四長澤攀 技術員 雇月六〇佐々木義信 雇月五九菅野敬吉 倉庫手 齋藤喜六 渡邊勢太郎 遠藤萬助 加賀谷良逸 工場工手長 雇日三二田上要助 工場工手 雇日二二三齋藤熊治 主任(兼)技手第一技術掛主任第 二技術掛主任 伊藤 新次郎

工場検査手 技手古達竹一 鐵道手月九〇山瀬豐 鐵道手月八七(效績章)谷藤留藏 鐵道手月八六吉田與四郎 鐵道手月八一松尾德太郎 鐵道手月八〇(效績章)佐藤龜治 雇月七七金田一勝太郎 雇月七六佐々木市太郎 雇月七三藏本清一郎 雇月七三大釜善五郎 雇月六〇田館光男 雇月五〇青木公威 盛岡市役所 (盛岡市内丸) 市長 年三、〇〇〇 大矢馬太郎 助 役 年一、八〇〇 伊東與一郎 收入役 年一、六〇〇 安原 慶吉 主事 年一、三〇〇(休職) 正五勤六 遠藤 邦之輔 年一、三〇〇從七 小田島 政藏 年八四〇正七勤六佐川 盛造 技師 年二、〇〇〇 田口 傳七郎 年一、六〇〇從七勤八 田口 傳七郎

三九〇

六級上 增田 勇 七級下 金田一 勝藏 雇 月四三 齋藤 重藏 月四〇 砂子澤 清吉 臨時雇日給一、三〇 内堀 頼尾 〇教務衛生課 課長 主事 小田島 政藏 書記 三級上 東海林 末吉 (兼)月一五 玉内 民藏 六級下 勤七 田中 留三郎 七級上 勤七 松岡 直太郎 七級下 勤七 菅野 修三 (兼) 上飯坂 直美 九級上 勤八 栗谷川 惣平 十級下 河邊 榮一郎 雇月四二 小山田 東洋 雇月三八 佐藤 文男 雇月二〇 川村 政三 月一 白澤儀右衛門 臨時雇日給一、三〇 高八卦 與八 〇産業課 課長(兼)主事 佐川 盛造 書記六級下正八勤八 八級下 佐々木清次郎 八級下 佐羽内忠兵衛 九級上 江刺家 憲條 九級上 平原 三郎 盛岡市役所

技手六級下勤七 奥寺 福三郎 〇財務課 課長 主事 佐川 盛造 書記五級下從七勤七立花文太郎 (兼) 七級上勤八功七柴田 勤次郎 七級上 勤八 下山清右衛門 七級 勤七 中村 龜治 小 林 基 佐々木辰五郎 八級上 勤八 北川 義見 八級下 勤八 北川 貢 八級下 勤八 藤澤 末吉 八級下 勤八 吉田 千太郎 八級下 勤八 太田代 恒三 八級下 勤八 杉村 吉哉 八級下 勤八 藤 田 治 八級下 勤八 清水端 金太郎 八級下 勤八 千葉 勇七 八級下 勤八 古館 源吉 九級上 勤八 吉田 芳太郎 九級上 勤八 佐久山孝之助 九級下 勤八 佐藤 善藏 九級下 勤八 高橋 初藏 十級上 勤八 齊藤 謙三郎 雇 月三二 藤村 德松 雇 月三〇 高橋 勇作

〇會計課 課長 收入役 安原 慶吉 書記 四級下 根守 常吉 六級下 勤八 長田 喜七 六級下 勤八 武田 運藏 七級下從七勤六 小林 基 九級上 勤八 清水端 金太郎 (兼) 九級上 勤八 村井 勝太郎 九級上 勤八 野澤 省一 九級上 勤八 齋藤 謙三郎 (兼) 雇月三〇 高橋 善藏 雇月二五 高橋 顯三 雇月二四 高橋 勇作 雇月二四 北川 敬子 雇月一七 吉田 卜 〇都市計畫課 課長(兼)技師 太田 勇太郎 書記 六級上 佐藤 種次郎 技手 五級下 中島 安得 囑託(無給)盛岡高農助教 山本 實

三九一

盛岡市役所

三九一

公共團體組合

掃除巡視 月五七大矢 智將

月五五 尖戸 金吾

月四五 葛宅 一

○盛岡市職業紹介所

(盛岡市内丸)

所長(兼)助役 伊東 與一郎

事務員月五三勳八上田 喜代司

月四七 勳八 松本 久靜

月三二 松島 元吉

臨時雇日給一、〇〇 龜ヶ森佐次郎

日給、五五 菊地 清

○盛岡市民病院院

(盛岡市内丸)

院長 年三、六〇〇

市醫師 鳥畑 鴻一

醫師、市醫師月五 藤井 清三

調劑員、市藥劑師月七五

鎌田 清吉

事務員月四五 樹村 佐次郎

月三七 福田 正吉

看護婦月三五 近藤 トシ

月二八 戸塚 ミキ

細菌検査助手兼看護婦

藤澤 ハナ

○盛岡市診療所

(盛岡市内丸)

所長(兼) 鳥畑 鴻一

醫師、市醫師月三〇野村 實

月二〇〇 大内 二郎

調劑員、市藥劑師

月五〇 鈴木 新一

事務員月四五勳七本堂 耕造

月二五 大林 テル

月二五 吉田 キン

看護婦見習日給、四〇

高橋 ウメ

日給、四〇 漆戸 克子

日給、四〇 齋藤 雪子

調劑員見習日給、三〇

阿部 カヨ

長岡 サト

○盛岡市公益質屋

(盛岡市内丸)

所長(兼)助役 伊東 與一郎

事務員(兼) 根守 常吉

月五八 荒川 勳次郎

月四二 田中 昌

月二八 佐藤 宇平

○名譽職市參事會

小笠原 三吉

零石 庄太郎

根子 恭介

戸塚 勇助

松島 齋助

芳賀 功

水原 友次郎

平井 三郎

宮 善次郎

上野 庄一郎

○日本赤十字社岩手支部

(盛岡市内丸)

支部長石黒英彦 副長淵上房太

伊藤謹二 幹事東海林豊治 戸

田吉 師岡健四郎 高野忠男

大森新陸 鈴木菊男 伊藤正

小田久耕 商議員大矢馬太郎

村井昌八 菊池慶次郎 佐々木

藏 小田島五郎 昆清藏 三田

義正 佐藤清二郎 藤川清助

主事高橋小兵衛 書記深澤富藏

神貞次郎 葛但志 菅原凡夫

小野寺庄七郎

○愛國婦人會岩手支部

(盛岡市内丸)

支部長石黒萬千代 顧問石黒英

彦 相談役子爵田村不顯 松本

五左衛門 副長淵上道子 小山

鶴子 三田テル子 參與淵上房

大郎 小山知一 伊藤謹二 主

事(兼)高橋小兵衛 書記今野民

彌 同龜井久治 同加藤愛二

(兼)同深澤富藏 雇川村一

○岩手縣農會(盛岡市内丸)

會長石黒英彦 副會長藤井省吾

技師兼幹事福士進 技師大森堅

彌 熊谷二郎 技師大野清司

小原忠 書記中山松四郎 技師

兼書記久保田正 書記補松本八

重子 稻田憲次郎 立花武 伊

藤正治

○産業組合中央會岩手支部

(盛岡市内丸)

會長知事石黒英彦 副會長經濟

部長小山知一 佐々木保五郎

理事長經濟更生課長高瀬五郎

理事福士進 有限責任盛岡信用

組合 保證責任大迫信用購買利

用販賣組合 保證責任愛宕信用

購買販賣利用組合 保證責任湯

本信用購買販賣利用組合 保證

責任小山信用購買販賣利用組合

農林主事原田吟平 保證責任岩

手縣購買販賣組合聯合會 農林

主事佐藤公一 保證責任幸郷信

用購買販賣利用組合 主事南長

俊 菅原長之助 主事補石井義

魚糺工場主任菅原直 大船渡倉

庫主任菅原順平 大槌魚糺工場

主任事務取扱竹花毅

○盛岡商工會議所議員

(盛岡市内丸)

池野三次郎 岩手製綿株式會社

代表兼田逸郎 赤澤多兵衛 藤

原德太郎 平野金八 石川孝一

吉田勇次郎 盛岡瓦斯株式會社

代表者岡田喜助 藤田三藏 荻

野謙三 一ノ倉則文 岩手林業

株式會社代表者小泉多三郎 福

士善太郎 實業貯金株式會社代

表者龜島重治 盛岡合同運送株

式會社代表者石川伊助 村井源

三 福田春治 川村松助 岡田

源太 玉置敬一 小川貞三 合

資會社東興者代表者帷子康一郎

濱田四郎 株式會社宮重商店代

表者宮田隆太郎 川村清助 株

式會社盛岡貯蓄銀行代表者安彦

要 盛岡電燈株式會社代表者加

勢清雄 南部土地株式會社代表

者千葉省二郎 理事石川參太

▲顧問 小山知一 久保田重孝

大矢馬太郎 板井贊次郎 三田

義止

○岩手縣信用組合聯合會

(盛岡市大通)

理事幸郷信購販利組長理事佐々

木休次郎 中内信購販利組長理

事千田稻城 大迫信購販利組長

理事高橋繁造 玉里信販購利組

長理事菊池和太郎 岩泉生糸信

購販利組長理事佐々木保五郎

盛岡信組理事龜島重治 金ヶ崎

信購販利組長理事佐藤重恭 宮

古信組長理事藤德右衛門 監

事園子信購販利組長理事坂本勝

公共團體組合

○岩手縣購買販賣聯合會

(盛岡市大通)

三 中里信組長理事佐藤慶四郎

一戸大正社信組長理事金子太右

衛門 摺澤信販購利組長理事佐

藤正吉 盛町信組長理事鈴木章

助 釜石共濟病院組長理事東西

兵衛 水分信販購利組長理事鷹

々木休次郎 專務理事千田稻城

主事阿部林次郎 主事補小原勇

吉 同工藤喜代見 同佐藤重夫

同吉田贊次郎 同坂順三 同

千葉榮一 同稻田善太郎 同安

ヶ平ハルイ 水澤出張所主事菊

池榮市 主事補鈴木豊 指導事

務囑託盛岡市駐在産業組合指導

員缺 日詰町駐在同佐々木貞一

花巻町駐在同高橋俊雄 黒澤尻

町駐在同渡邊長純 水澤町駐在

○岩手水産社(盛岡市内丸)

組合長小石季一 主事市川清

技師囑託一ノ瀬福巳 主事補佐

藤菊之助 書記谷地敏夫 菅原

良吾 履徳田春江 姫神丸船長

稻川治平 同機關長大久保圭太

郎 同無線電信士中島武三郎

海英丸船長 恒三 同機關長攝

待子々次郎 同無線電信士大井

喜平 宮古魚糺工場主任事務取

坂山崎權三 同技術主任吉田實

釜石駐在所主任小林格三 米崎

公共團體組合

三九三

公共團體組合—主要會社

▲役員 會頭加勢清雄 副會頭 龜島重治 常議員池野三太郎 同平野金八 同小泉多三郎 同石川伊助 同川村松助 同帷子康一郎

○和賀郡中葉地整理組合

(和賀郡黑澤尻町) 組合長伊藤治郎助 組合副長日下謙三郎 池田幸七 齋藤四郎 評議員澤藤幸治 伊藤繁治 高橋七右衛門 菊池市太郎 八重樫利康 高橋慶五郎 中野收三 技師日下謙三郎 書記後藤市五郎 及川順造 小原榮治 澤藤次郎 鈴木巖 技師太宰健治 技師宇方好 技師補片方光男 助手平賀萬三 清水喜代松 臨時雇三浦欣四郎 臨時筆耕小關八重子 阿部スエ 吉田リキ 辰口幸子 佐藤紀 土田節子

○鹿妻穴堰普通水利組合

(盛岡市菜園) 管理者地方事務官師岡健四郎 主事兼書記工藤文吾 技手五十嵐健藏 土木書記西野恒吉 土木技手遠藤熊之助 書記補大里茂雄 書記補福島彌榮治

主要會社

○岩手殖産銀行 (盛岡市紺屋町) 重役 取締役頭取板井贊次郎

常務取締役渡邊榮次郎 同安彦要監查役子爵田村不顯 同伯爵南部利英 主事大里種雄 中市陸造 井上和次郎

格 事務員佐野峰市郎 同三浦繁治 同熊谷誠一△爲替係 係書記太田謙太郎 書記佐藤憲治 同松島春治 同大矢初郎 同太田福彌 同阪正雄 同佐藤庄太郎 同濱田源吉 事務員千葉信雄 同阿部精介△出納係 係長書記川村福松 書記及川吉次郎 同藤村正吉 事務員小西仁藏 同鹿澤權一郎 同郷古哲二 見習佐々木啓三 同佐々木トモ△計算係 係長書記千葉慶雄 書記千葉進三 書記補中村清一 事務員外山義勇△材木町支店 支店長書記齋藤克郎 書記渡邊健治郎 書記補大村順一 同細川正一 事務員松原妙△仙北町支店 支店長書記小原捷吉 書記八重樫茂 事務員菊池欣之助△沼宮内支店 支店長書記澤田豐 書記岡田與喜治 事務員駒木春雄△日詰支店 支店長書記田中利兵衛 書記藤村八兵衛 事務員工藤勝藏△花卷支店 支店長書記岡田善治郎 書記千葉豐治 同中野庄一郎 書記補菊池常夫 同菊池富 同吉田克定 事務員高

松昌次郎 同菱谷政男 見習佐々木陸夫△石島谷支店 支店長書記藤原義俊 書記乙部半次郎 書記補千藤德三郎△黑澤尻支店 支店長書記鈴木三郎 書記小原直人 書記補小松貞之進 同相澤義雄 同阿部勝男 見習和野内健次△土澤支店 支店長書記新妻武郎 書記補河野忠志 同鎌田正八△水澤支店 支店長書記加賀順藏 書記佐藤俊作 同菅野常三郎 書記補鈴木仁 同山形誠一 同三浦三男 事務員菊池定吉△前澤支店 支店長書記漆戸操二 書記八幡正 書記補高橋武松 事務員鈴木一三△岩谷堂支店 支店長書記淺沼治郎 書記外館博 書記補小松原榮吉 同伊東大三郎△一關支店 支店長書記中川甚平 書記照井四郎 同尾上清薫 同若生勳三郎 書記補加藤健祐 事務員二階堂正人 同三浦健二郎△千厩支店 支店長書記小笠原重藏 書記中島政藏 同佐藤直司 見習牧野三郎△大原支店 支店長書記岩間貞一 書記鈴木三雄△盛

主要會社

支店 支店長書記村谷忠吉 書記菊池義雄 同佐々木守彦 見習千葉敬三 △高田支店 支店長書記釜津田禮三 書記脇坂八三郎 同志田郁郎 書記補伊東正太郎△遠野支店 支店長書記梅里千代太郎 書記青山久次郎 書記補小井口伍六 事務員四戶清吉 同下川原軍三△釜石支店 支店長書記菅沼金八 書記星川庸三 同工藤定吉 同平野庄一 同菊池林太郎 同大沼直 同小川盛 事務員吉田勇一 同佐藤武△大槌支店 支店長書記小山俊雄 書記工藤榮藏△宮古支店 支店長書記小野寺秀雄 書記藤村孝之助 同古川昌助 同佐藤久人 同工藤喜一郎 書記補阿部長造 事務員鈴木幹雄△山田支店 支店長書記吉田博 書記道又大助 同阿部敏夫 事務員吉田四郎 △岩泉支店 支店長書記佐々木德治 事務員佐々木清光 同小原喜八郎 見習工藤安彦△久慈支店 支店長太田藤三郎 書記晴山多次郎 書記補川村四郎 見習野場嘉三郎△福

○岩手貯蓄銀行

(盛岡市肴町) 重役 取締役頭取伊東四郎 取締役安彦要 同佐々木卯太郎 同兼支配人淺香敏夫 監查役渡邊榮次郎 同大里種雄 行員△庶務係 係長山蔭裕 同佐々木正介 同奈良ミヨ△預金係 譽田政雄 同齋藤隆藏 同今野豐 同圓子美代子△代理店係 係長田鎖清士 同小川正三 同八重樫てる子△貸付係 係長那須川勝治 同佐々木善次郎△外務係 監督太田代忠隆 同佐羽内勇△計算係 係長熊澤耕三 同大川良男 △出納係 係長心得長

○岩手無盡株式會社

(盛岡市内丸) 取締役社長 吉田庄四郎 取締役鈴木恒 同菅野伊太郎 同萩田甚助 同山邊英太郎 同佐藤喜八 監查役佐々木德太郎 同高橋篤四 同一ノ倉則文△本店副支配人 鎌田賢三 鈴木孫八郎 佐藤勇吉 加藤四郎 岩部孝 佐藤庸一 金澤吉昇 小田島安太郎 村井精造 宮田仁一郎 吉田源太郎 三浦武夫 山本兵四郎 及川勳 栗谷川幸吉 小笠原專太郎 上野榮太郎 岩井利夫 一條菊藏 菊池宗光 佐藤セツ 小笠原正二 村井アヤ 中村千代吉 川邊康夫 中澤カヨ 宮田ミヤ 訪藤アキ 千葉治右衛門 星信壽 富岡吉郎 松原石五郎 昆庄藏 佐々木ニキ 關山清次郎 梅内薫 箱崎力 高畑健次 吉田文造 村井靜子 中里コト 猪原正持 宮藤村嘉右衛門 阿部徳治 中村清三 小林チエ 照井ハル 野川七郎 阿部金太郎 吉田三郎 長澤弘泰 赤澤アヤ 中村

主要會社

ハナ 高橋千代太郎 今野純一 高橋トミ 佐竹アイ 佐藤イサ...

潔 大森七郎 石川忠松 多田永作 五市正 八重樫カヨ...

左一 菅原勇三郎 後藤文吉 及川洋出 遠藤清人 佐藤庫男...

盛岡工場長 今井省三郎 同事主任中村吉郎 同現業主任原太郎...

主要會社

昌夫 監查役三神禮助 同伊藤金六 同佐々木碩治 同齊藤龜...

△氣仙沼支店津谷出張所主任千葉三郎 三浦正平 佐藤英記...

支店長參事 松岡益雄 主事荒木一夫 主事補後藤秀△庶務係...

吉 書記野澤義則 書記補澁谷憲助 同義沼謙作 同横田英一...

主要會社

課長技師藤村哲之 技手坂口豐 同大貫富藏 技手補後藤一夫 同中鉢三郎 雇生田喜芳△壓延 課長技師村井信平 同川村 吟次郎 技手三浦利太郎 同青 山正造 雇白川茂一郎 同樹澤 久一 同安藤富次 同齋藤信男 △化工課 課長技師長崎博 技 手若山富助 同保坂鐵二 技手 (兼)山本祐二郎 技手補中田真 治 同谷井利一 雇野口七藏 同宮原正元△工作課 課長事務 取扱技師(兼)今坂義雄 技師小 川雷太郎 同明石久米藏 技師 補平山豐藏 同淺野良一 技手 北山喜太郎 同下瀬川弘 技手 補野田政治 同兼加藤勝雄 同 久慈誠治 同田村耕一 雇北野 豐吉 同熊谷晃次郎 同桑畑順 三 同正生定雄 同吉田次三郎 同川崎由太郎△技術課 課長技 師細井市藏 同根本竹之助 技 手緒方正一 同(兼)北山喜太郎 同富永在寬 同田井寬一 同佐 藤彦吾 同別所秀雄 同山本祐 二郎 同柏木政俊 書記補小川 茂治 技手補大久保惣三郎 同

上田司郎 同鈴木武 同(兼)田 村新一 雇田中雄一 同(兼)吉 田次三郎 同鈴木清吾 同谷口 則忠 同吉富二郎 同千葉惣助 同平賀良一 同藤井伊太郎 ○川口荷札株式會社 (盛岡市日影門外小路) 取締役社長 田島貞雄 取締役 佐藤二郎 同平野金八 取締役 支配人其田末五郎 監查役池野 三次郎 同王置敬一 ○南部土地株式會社 (盛岡市元園町) 取締役社長 三田義正 常務取 締役白井定民 取締役村上德三 同國分市郎 同原誠 同菊池儀 兵衛 監查役小泉多三郎 同三 田俊次郎 同菅野伊太郎 同菊 池長右衛門 支配人千葉省二郎 社員大村兼次郎 同大矢岡右 ○安田銀行盛岡支店 (盛岡市吳服町) 支店長 大熊貫二 支店長代理 垂井朝明 石井清一 千田辰之 助 松本道一 大星春治 木村 達也 岡山獻橋 小山武夫 高 橋正一郎 馬場駒雄 小野清市 郎 松本幸三 柳澤秀生 大矢

辰子 太田律 內村英子 田村 トミ 藤澤ヤヘ 石洞忠治郎 鈴木三郎 ○松尾鑛業所(岩手郡松尾村) 所長兼運輸課長、勞務課長 林 知義 經理課長兼倉庫課長小郷 松郎 探礦課長野村松三 選礦 課長古川實治郎 製鍊課長心得 鈴木正光 土木課長山田直則 警視課長板倉悠 分析課長心得 山本弘 醫院主席西田安正 小 學校長 佐藤要一郎 大更荷扱 所主任熊谷時五郎 小岩井農場(岩手郡零石村) 場長戸田務 △本部事務主任山 田長三郎 清水一敏 小石川隆 小原孝藏△育牛部 主任縣誠 島山璋 葛原貫一 小池英治 △育馬部 主任石塚榮五郎 菅 原磯右衛門 大下内直吉 玉置 輝四郎 菊池重治郎△耕耘部 主任鈴木彌助 川村貞助 影山 信一 姥名啓四郎 山本惠吉 杉下長一△樹林部 主任時葉支 察 北浦隆治 石橋正一 柳原 甚之助△小學校 宮梯次 荒屋 勇吉

三九八 ○盛岡電燈株式會社 (盛岡市紺屋町) 取締役社長 加勢清雄 常務取 締役松崎了四郎 同田島貞雄 常勤取締役竹川久仁 同一戸三 矢取締役金田一光 同宮澤直治 同菊池長右衛門 同取締役佐藤 金兵衛 同小林光次 監查役佐 々木勇吉 同三田義一 同千葉 幾治郎△囑託 相談役鈴木巖地 方相談役三鬼鑑太郎 同宮澤政 次郎 同市野川周助 同阿部晃 同柳田豐治 同高橋寬城 同永 澤龜次郎 庄司易五郎 成田實 佐藤保藏 渡邊文五郎 鎌田英 治 伊藤多雅司 滑川惣太郎 大内永太郎 加賀鶴造 栗原源 藏小澤喜三郎 法律顧問平井三 郎 顧問宮口竹郎△秘書係(兼) 秘書係主任三浦玉藏(兼)書記 金田一次郎 吉秘書係書記駒形 俊夫 技師長主任技術者橋川祐 一△總務課 課長主事渡部嘉 吉△庶務係 係長書記及川 覺美 同金田一次郎吉(兼)書 記駒形俊夫 書記山本常雄 雇荒木政吉 同大川忠夫 同柳

田孝子 臨時雇橋本サキ 同赤 澤憲次 同宮孝 同久保田トシ ○營業課 課長技師黒田房治 營業係主任主事補長澤雄二 同 典寺喜代治 技手佐藤定藏 同 記佐藤亥三郎 同横澤慶三 雇 太田勘一 臨時雇近藤光枝 同 駒嶺キヌ 同藤村キミ△料金課 課長書記渡邊嘉吉 囑託鈴木要 吉 調定係(兼)係長技師黒田房 治 書記藤原タマ 書記補高橋 正八 雇似島正八 同勝又武 同 同東海林榮次郎 同中野季 同 山内ハツ 同一戸ミサオ 臨時 雇中村孝一郎 同澤目ナヲエ 同 同松本春彦 同中村エイ △集 金係(兼)係長書記村松武雄 同 書記厨川善助 同小澤利助 同 國安輝義 雇鎌田九兵衛 同伊 藤三治 同松崎孫治郎 同中村 吉郎 同藤川貫四郎 同高橋幸 藏 同藤澤德次郎 臨時雇太田 文次郎 同千葉二郎 同徳田彌 左衛門 同梅津喜代太 △整理 係 主任心得書記村松武雄 同 二双石雪松 同三瓶清辰 雇大 釜安太郎 同赤澤善次郎 臨時

雇立花賢吉 同星川新三郎 藤 澤重次郎 同沼田景三 同高橋 源治郎 電工長澤米藏△經理課 課長書記松原忠七 倉庫係主任 書記柴内專治 同小山田三五郎 同坂本四郎 書記補金田一哲郎 同 雇小原慶三郎 同飯岡慶三 同 黒澤岩雄 △會計係 主事松原 忠七 同生駒孝七郎 同小笠原 軍兵衛 同工藤芳之助 同中 村貞司 同森田積郎 雇鶴飼四 郎 同鈴木精一 同吉田善助 臨時雇菊池康 △電氣課 課長 技師館内三郎 技手鈴木洋三 技手長澤寛 同川目美喜造 同 川村秀二 書記補菊池五郎 雇 佐々木啓吾 臨時雇平澤節子 發電係 主任技師館林功平 技 手齋藤好平 技手補古館正一 同 同栗谷川熊次郎 運轉手加賀屋 銀治 雇小澤昌一 同泉田新平 內線係 主任技手遠藤甲一 同 松岡忠雄 同根田萬太郎 同佐 藤萬太郎 技手補中里健次郎 檢査係 主任一戸貞記 同佐々 木元吉 技手補鈴木繁道 △土木 係係長技師補千田彦吉 同島山

藤太郎 同片岸養吾 雇深澤富二 雄△線路課 課長技師中黒秀和 外線係 係長技師山下山四郎 技手志和嘉兵衛 同山屋政太郎 同田村勇 同小川五三郎 雇八 重樫榮六 電工長鈴木市三郎 電工三浦七郎△發電所 築川發 電所運轉手吉田理八△葛根田發 電所 主任技手米倉政胤 技手 補土樋滿平 運轉手沼宮内定八 同小笠原勘十郎 同齋藤善次郎 雇正木昌一郎 △岩根橋發電所 主任技手豐山善太郎 技手補小 原福三雇 高橋貞治 同佐藤伊 勢穂△黃金山發電所主任技手永 山帶壽 技手補東根清次郎 雇前川忠雄 同中村一雄 同下 斗米與五郎△栗橋發電所 主任 技手太田豐藏△鷲ノ瀧發電所 兼主任技手太田豐藏 技手補渡 邊六郎△附馬牛發電所 主任技 手前川重太郎 木齋藤信四郎△ 橋野自働發電所 技手飛澤直久 △釜石火力發電所 技手佐々木 政吉 同田村長治 技手補星林 一△盛岡火力發電所 技手伊山 嘉三 技手補小瀬川深治 同大場

佐吉 臨時係長吉田三藏△變電 所 三ツ家變電所主任技手惟子 一郎 雇同照井萬太郎(兼)技手 補栗谷川熊次郎 雇佐々木貞藏 △零石變電所 佐藤萬太郎大 △荳生變電所主任 技手大畑秀 武△好摩變電所 細田三九△郎 散宿所 沼宮内散宿所書記補荒 川彌七郎好摩散宿所 雇高橋林 平△零石散宿所書記補大村留吉 吉田兼五郎△徳田散宿所 昆野 善太郎 臨時△田中萬藏○花卷 支店 支店長書記杉田左一 技術主任技手小野寺定芳 書記 澤田藤吉 同照井正一 書記補 谷地管右衛門 同高松秀太郎 雇瀨川貞藏 同岡山菊雄 同伊 藤八五郎 同佐藤靜治 同菊池 幸六 同八森通雄 同高橋徳助 同小瀬川菊松 臨時雇高橋雄藏 同菊池弘 同高松誠一 同大橋 勝雄 給仕齋藤一雄 電工長谷 藤丑五郎△花卷變電所 主任心 得技手川村秀三 技手補野崎與 三 雇山形頑次郎 同菅原憲一 同山萬善一○土澤散宿所 △菊 池庄次郎○遠野支店 支店長書

主要會社

主要會社

記藤原幸次郎 同高木喜一同増
子浩一 書記補高砂子賢一兼技
手村上清一 雇熊谷正三 兼同
高橋正雄 同沼里篤雄 同菊池
長市 臨時雇松田茂雄 同三浦
定吉 同水内好藏 同高橋清志
同松田長二郎△遠野變電所 主
任技手村上清一 雇高橋正雄
岩根橋散宿所 臨時雇松本彌七
宮守散宿所 臨時雇古館長八△
釜石支店 支店長技師小川時雄
書記菊池末藏 同鈴木鯉三郎
同山元喜市技手柄内定雄 雇川
端喜太郎 同太田眞一 同佐野
松雄 同杉田親信 同藤村確
鈴子變電所 主任心得技手佐藤
藤助 雇菊池富美 大橋變電所
運轉手阿部龜太郎 大橋散宿所
四ノ宮永治郎 栗橋散宿所 及
川善四郎○宮古支店 支店長書
記兼技師荒川毅一書記菊池鏡五
郎 同三浦逞三 同長岡賢藏
技術主任手奥村啓三 書記補
菊池英二 雇佐々木惣三郎 同
伊香勇治 同鈴木七郎 同永山
帶秀 臨時雇中島長一郎 同門
屋運吾 電工長佐藤茂助△宮古

變電所 山田變電所 遠藤留藏
平井賀散宿所 佐々木滿内 佐
々木隆治 田老散宿所 杉下市
太郎 津輕石散宿所 大槌篤平
重茂散宿所 里館銀造△平館營
業所 主任心得書記補大釜德治
雇高橋三郎△日詰營業所 長
書記佐々木久三郎 技術主任技
手内堀頼人 書記小笠原菊藏
書記補平井德治郎 雇長岡徳兵
衛 同咲山永助 同中村政造
同前澤與惣治 臨時雇白崎健一
郎 同鷹嘴幸一 同細川重次
△日詰變電所 兼技手内堀頼人
技手補工藤貞四郎 志和散宿所
書記補堀田貞藏 雇新里直治吉
田圓次郎 大迫散宿所 臨時雇
吉田音一郎 同武藤萬次郎 石
鳥谷散宿所 書記補佐藤文助
臨時雇遠藤清志 △秋田支店
支店長技師内藤貞三 技師坂水
弘 書記栗田恒吉 同加賀由藏
同薄葉清一 同伊藤徳治 同龜
谷慶四郎 技手佐藤勇太郎 臨
時雇渡邊儀一郎 雇岡マサ 同
栗谷ハル 同佐藤千代子 同池
田とくえ 同森川トミ 臨時雇

寺門道雄 △下臺發電所 主任
心得運轉手細川吉太郎 同市川
彌之助 運轉手見習津島直治
同能村忠平
○盛岡無蓋株式會社
(盛岡市吳服町)
取締役社長 本宿家勝 常務取
締役字部政文 取締役川村善吉
同東徳太郎 同東千藏 中市陸
三 監査役澤口瀧治 同吉田與
四郎 社員田中正一郎 川村與
八 小川直之助 松崎公平 長
沼重任 澁谷直吉 杉田長吉
鈴木ミサ 丹野耕作 野村清美
阿部吉太郎 村上彦太郎 岡田
正之助 松本清 吉澤田國雄
似鳥寅之助 小澤吉勝 西村清
信 村井俊治 藤田幸一 川村
祐吉 田鎮雄三 鈴木龍夫 豊
川正郎 藤岡邦三 菊池喜太郎
菅原金四郎 藤岡保三 宮澤弘
藤原正六 菅野喜助 井上三五
郎 武田勉 横田三郎 吉井庫
之輔 原正康 内藤幸吉 宇夫
方重九郎 綾戸清一 稻荷場喜
兵衛 龜森九兵工 舟越節 女
鹿宗吉 細川完吾 遠山徳三

佐々木哲夫 鷹羽秀雄 田吉芳
哉 水端キミ 村井忠 遠山尙
三 鈴木マキ 星合喜久雄 松
坂登八郎 宇夫方健一 小田島
静子 一戸千代 久保吉雄 佐
々木テル 米内五郎 八木周夫
村田義雄
盛岡食品市場株式會社
(盛岡市菜園)
常勤取締役 上野正一郎 取締
役佐々木竹次郎 同齋藤梅次郎
同中村嘉八 同佐々木權太 同
藤田喜平 同佐々木徳太郎 同
大坪順八 常勤監査役佐々木清
治郎 監査役佐々木六太郎 同
泉山幸太郎
○盛岡倉庫株式會社
(盛岡驛前)
取締役社長 箱崎圭助 取締役
松田忠太郎 同引地豊吉 同吉
田庄四郎 監査役三浦淳吉 支
配人久慈伴藏 副支配人野々村
典
日本赤十字社岩手支部病院
(盛岡市内丸)
病院長兼産婦人科醫長醫博秋葉

隆 副院長兼外科醫長醫博鈴木
退輔 内科醫長醫博青木主計
小兒科醫長醫博南出英憲 耳鼻
咽喉科醫長醫博門脇善次 眼科
醫長醫博横田義雄 物理療法科
醫長池田隆 産婦人科副醫長醫
博八木義一 藥劑長鳴川末男
事務長葛博 醫員松澤清 同工
藤愛子 同菅野英二 同館野治
同安岡準三 同磯谷健夫 同木
下誠美 同柳澤確二 調劑員和
田福太郎 同内館權次郎 同矢
幅順一 書記井上友徳 同藤原
茂介 同岩間伸貞 同渡邊彌三
郎 同村上八兵衛 技手八角修
同佐藤安友 助手佐藤誠 田鎮
清 同佐々木俊介 同川村市兵
工 同佐藤重次 同竹田仁太郎
看護婦長蜂谷カツ 同澤田キヌ
看護婦安本ミツ 同嶽間澤スエ
同菱川ハツ 同小野イト 同伊
東イク 同菅原トシコ 同藤か
せ同 佐々木ヨシ 關口スノ
同久慈サダ 同柄木キミ 同長
尾かつ 同元木トミエ 同中村
文子 同伊藤キクエ 同山本と
よ 同田山ソメ 同船越正代
同鈴木ハルミ 同藤井やゑ 同
伊藤まつ江 同高橋悦 産婆齋

藤アイコ 同及川いつみ 同坂
田サツキ 同矢鳥トシ 同三宅
キイト 同駒込ツタ 同木村千
歳
財団法人岩手醫學專門學校
附屬醫院(盛岡市内丸)
理事 三田俊次郎 院長兼佐藤
宮内科部長醫博佐藤三千三郎 二
醫博工藤祐三 内科醫博木村圭
一 外科部長醫博副島鎮雄 整形
外科部長三木威勇治 産科婦人
科部長醫博小暮健一郎 小兒科
部長醫博根本四郎 皮膚科泌尿
器科部長醫博増田六之助 眼科
部長桐澤長徳 耳鼻咽喉科部長
醫博金野巖 神經病精神科部
長醫博三浦信之 物理療法科部
長足澤三之助 齒科部長多田清
藥劑部長福田鐵雄 事務長笹間
政吉 第一分院岩手サナトリウ
ム院長醫博二宮敬治 第二分院
神經精神科岩手保養院院長醫
博三浦信之
○有限責任購買利用組合盛
岡病院
(盛岡市紙町)
組合長理事 柴内魁三 専務理

事林誠三 理事上村勝爾 同川
村松助 同四戸熊藏 同福田春
治 同藤山勇助 同福田善孝
同正木泰作 監事福士進 同室
岡翁三 石川金次郎 同佐藤民
三郎 同鷹木嘉右工門 院長兼
内科小兒科醫長醫博敷波義雄
外科醫長醫博寺内孝二郎 耳鼻
咽喉科醫長醫博伊吹峻三 産婦
人科醫長醫博石母田文彦 眼科
醫長高橋美成 齒科醫長川井ミ
サホ 藥劑科部長角掛千松 主事
佐々木次郎 醫員遠藤一雄 同
小原有造 同又重常雄 同細川
久喜 同岩泉まさ子 同吉田哲
男 同舟山博 同千田ハシメ
藥劑師安本シツエ 看護婦長菊
池エキ 沼宮内診療所主任大江
利雄 志和診療所主任鈴木正三
郎
○花巻共立病院
内科醫長小兒科副院長醫博草刈
兵衛 醫員大島公男 外科醫長
耳科鼻科院長醫博佐藤隆房 醫
員飯田研三 同三上俊治 産科
婦人科副院長醫博深町朗安 醫
員森良夫 眼科醫長沼野春枝レ
トングン主科任飯田研三 技手

盛川秀吉 藥局長内山八十榮
○和賀病院
内科小兒科醫長院長醫博 佐藤
宗樹外科花柳病科醫長副院長高
巢三四一 耳鼻咽喉科醫長藤原
東一郎 産婦人科醫長院長主齋藤
丈太郎 物理療法科醫長布佐忠
且 レントゲン科技手富士誠藏
藥局長工藤アイ
○診療組合一關病院
内科小兒科醫博 院長山本弘行
産婦人科副院長醫博須原耕三
外科皮膚科醫博矢吹四郎 耳鼻
咽喉科鈴木始 眼科藍原權次
藥劑科光成桂一 産婆看護婦長
曾根ヤス 分院松川診療所 高
橋昌造 前澤診療所高橋貫吉
黄海診療所小原幸 猿澤診療所
澤口常助
○有限責任購買利用組合
(氣仙病院)
組合長理事鈴木不章助 専務理事
菅原齋三郎 主事宮城勝治郎
院長醫博湊谷武夫 内科醫博湊
谷武夫 小兒科佐藤哲郎 外科
耳鼻科高橋龍雄 藥局鈴木助太
郎 看護婦兼産婆婦長成田シゲ
看護婦兼産婆鶴岡キネ
四〇一

公立病院

昭和十一年十一月十五日(順音十五) 郷土の人々

昭和十一年十一月十五日(順音十五) 査調月一十年十和昭

一、本人名録は郷土出身の縣内外に活躍してゐる人々を掲載し便宜上、姓名―本籍(出生地)―學歷―現職―現住の順で略記した。

一、本人名録は社會各方面から絶大の信用を有する故、正確と最新を期するため、掲載各位は今後御轉職御轉居の節は必ず岩手日報社編輯局調査部へ御一報賜はり度い。

ア

- 青木 周三 盛岡、盛中東大英法科、貴族院議員横濱市長、東京市中野新井塾師四九五
- 青木 俊治 盛岡、帝大植木園、東京市本郷區動坂町六七
- 相坂 運吉 盛岡、東京市電氣局主事、東京、三鷹村深大寺三八六〇
- 赤澤 徳治 佐世保海軍工廠造兵部検査官兼佐世保海軍々需部員海軍中佐
- 赤澤 亦吉 盛岡、盛岡信用組合長、盛岡市吳服町二
- 赤澤多兵衛 盛岡、商工會議所議員、盛岡市穀町二九三
- 赤坂 善七 和賀、赤坂病院長、東京市赤坂區水川町五
- 淺沼徳之助 盛岡、前古河會計課長、東京市牛込區仲町三
- 淺利 三朗 東磐長島、關中東大獨法科、前栃木縣知事、日本鋪道會社々長、東京市澁谷區靜山原宿二ノ一七〇ノ二〇
- 秋篠 藤馬 花巻、盛中東京高商、富山縣立富山商業學校長、富山市堀端町九
- 栗野健次郎 一關、二高名譽教授、仙臺市北六番丁一七六
- 安積伊之助 岩手、辯護士東京市麴町區飯田町四ノ二
- 新谷 三郎 盛岡、松江高校教授、松江市西茶町四五
- 阿部 勝雄 西磐、海軍軍令部出仕海軍大佐(軍縮會議全權隨員として滯英中)留守宅東京市目黒區綠ヶ丘二三二〇
- 阿部 勇七 稗貫、宮野目開業醫、盛岡市仁王一〇〇
- 阿部文二郎 前澤、東大獨法科、行政裁判所評定官兼内閣法制局參事官、中央大學教授、東京市麻布區廣尾町七九
- 阿部 五郎 盛岡、滿洲國實業部
- 阿部 金剛 盛岡、洋畫家東京府下碓村喜多見成城二八一
- 阿部福三郎 前澤、第七師團經理部三等主計正(在滿)留守宅東京市杉並區阿佐ヶ谷五ノ三二
- 阿部美樹志 一關、工學博士、東洋セメント會社社長東京

イ

- 著取締役麻布區宮町十番地村 支配人、福島市曾根田一ノ市 阿部益三助 一關、開業醫 陸軍二等軍醫正、盛岡市開運橋 阿部修一郎 盛岡、古河礦業合資會社、東京市杉並區天沼一ノ二四七
- 阿部 溫知 一關、東大獨法科、辯護士、東京市京橋區木挽町一ノ五
- 阿部 末吉 稗貫、東北帝大工學部助教 盛岡、鹿島組臺北支店長
- 阿部 豐 稗貫、東大法科、鑛山監督局書記官札鑛山監督局鑛政課長、市中野區上沼袋町二ノ二一〇
- 阿部 千一 稗貫、朝鮮總督府道事務官慶尙北道内務部長(洋行中)
- 阿部 孝 高知高校教授 高知市同校内
- 阿部 早苗 東磐井、遞信局事務官熊本遞信局勤務
- 阿部永之進 江刺、工兵第八大隊副官工兵大尉、盛岡市 阿住 久 水澤、福島貯盛岡市會議員、盛岡市油町
- 石川 登盛 東磐井、東大政治科、朝鮮火災保險會社長、京城府蓬萊町四丁目
- 石川 榮輝 盛岡、盛中東大工科、都市計畫地方委員會技師、東京市
- 石川 信 盛岡、海軍中佐艦政本部々員、相州逗子町櫻山一〇八四
- 石川 國幹 日詰、開業醫陸軍二等軍醫正、東京市澁橋區柏木一八五
- 石川 哲郎 花巻、東大醫科、醫博東北帝大教授、仙臺市北六番丁一二三
- 石川 志一 一關、北海道事務官、北海道廳後志支廳長、事務官、北海
- 石川 武男 日詰、東京高校囑託步兵大尉
- 石川あや子 日詰、九段精華高女教諭
- 石川金次郎 盛岡、辯護士盛岡市會議員、盛岡市油町
- 石川進十郎 盛岡、日本國家社會黨總理、東京市澁谷區千駄ヶ谷三丁目五三七
- 石川 一郎 盛岡、京大醫科、京大外科研究室、京都市上京區岡崎西福ノ川一
- 石川 伊助 盛岡、岩手商會常務、盛岡市茅町三四
- 石川 嘉七 盛岡、縣會議員、盛岡市會議議長、盛岡市茅町二五
- 石川 文雄 盛岡、日本電力、大阪府下豊能郡箕面村牛町三五一
- 石井喜兵衛 和賀澤内、元裁判所長、仙臺市二本杉通り四ノ二
- 石井壽太郎 和賀澤内、明治法律學校、長野地方裁判所長
- 長野市花咲町(官舎)
- 石井 虎秋 上閉伊、盛中東大醫學部、開業醫、長野縣上飯田町
- 石田 收藏 盛岡、東京農業大學教授
- 板澤 武雄 遠野、東大國史科、學習院教授、東京市杉並區高圓寺小澤二六
- 板垣征四郎 盛岡、陸軍大學、關東軍參謀副長、陸軍少將、新井、新發屯安路(留守宅東京市世田谷區北澤四ノ五九〇)
- 板垣 政秀 盛岡、盛中京大醫科、醫博九州帝大醫學部教授福岡市平尾淨水池前
- 板垣 盛 盛岡、横須賀第七驅逐隊、海軍中佐
- 板垣 四郎 盛岡、青葉軍醫長兼分隊長、海軍々醫大尉
- 伊藤敏二郎 盛中、盛岡高農、鳥取高農助教、鳥取市立川一ノ一〇五
- 伊藤 源助 和賀江釣子、マレーゴム公司取締役、東京市小石川區大塚仲町四一
- 伊藤東一郎 花巻、國民文庫刊行會主事、東京市本郷區千駄ヶ木町五〇
- 伊藤東二郎 花巻、國民圖書會社、東京小石川區原町一五
- 伊藤 隆藏 伊藤工務所主東京市麻布區霞町二三
- 伊藤九万一 和賀、盛中京大獨法科、東海鋼業會社、九州

イ

郷土の人々(伊・井・市・飯・入・岩)

若松市濱八番町五丁目
 伊藤重次郎 花巻、美術看
 板師、東京本郷區弓町一ノ二六
 伊藤源右衛門 稗貫、開業
 醫、旭川市三條通九丁目
 伊藤 辰治 東磐井、東京
 藥專教授、東京府王子町下十條
 一ノ四七
 伊藤 敦子 和賀、小山田、
 盛岡高女東京音樂學校、ソプラ
 ノ歌手、東京市世田ヶ谷區上馬
 町一ノ七二七
 伊藤 孝吉 和賀、東大工
 學部、埼玉縣商工技師川口鑄物
 工業試驗場長、東京市大森區馬
 込町東四ノ二六八
 伊藤治郎助 黒澤尻、盛岡
 協信重役多額納稅者、和賀郡黒
 澤尻町
 伊藤 亮一 江刺、醫博滿
 洲醫大藥物學教室研究室、奉天
 船副參事、横濱市鶴見區東寺尾
 一六一八
 伊東圭一郎 盛岡、東朝調
 査部長、東京市澁谷區千駄ヶ谷
 三丁目五三八 東磐井、マ
 伊東貞四郎 レイゴム公司、東京市世田ヶ谷
 區北澤二ノ一四
 伊東宗三郎 江刺、醫師、
 青森市新町一三一
 伊東與一郎 東黄海、盛岡
 市助役、盛岡市天神町
 伊保内富彌 盛岡、建築技
 師、東京市小石川區小日向臺町
 一ノ四四
 井上 環 盛岡、陸軍中
 將(豫)東京府下千歳村祖師ヶ谷
 四二七
 井上 鐵也 盛岡、海軍主
 計大尉、吳海軍航空隊主計分隊
 長
 市村 省三 盛岡、東京府
 立七中教諭、東京市小石川區音
 羽町五ノ一七
 一戸 三矢 盛岡、盛岡市
 會議長、花巻溫泉常務外數會社
 重役、盛岡市加賀野一六
 一戸 二郎 盛岡、大藏省
 營繕管財局、東京府下吉祥寺八
 丁目三一五二
 一戸隆次郎 盛岡、京大理
 科、第三高等學校教授、京都市上
 京區吉田町上大路三五
 一ノ倉則文 和賀、小山田
 盛中高農、盛岡商工會議所、市
 會議員、盛岡市下小路
 一條 節郎 盛岡、鹿島組
 助役
 一野邊省三 東大醫科、開
 業醫、青森縣野邊地町
 飯塚 直彦 盛岡、醫博京
 都醫科大學教授、京都市同校内
 飯岡 龍雄 盛岡、東北帝
 大工學部、日本麥酒鐵泉會社東
 京工場、埼玉縣北足郡横曾根村
 同社々宅
 入間野武雄 水澤、東大政
 治科、大藏書記官專賣局販賣部
 長、東京市本郷區駒込曙町一一
 岩淵 平介 東磐井、黄海、
 東京高蠶、東京高等蠶糸學校教
 授(勅任待遇)東京市瀧野川區西
 ヶ原一七四
 岩淵 經夫 工兵第二大隊
 附、福島商業蠶業學校服務工兵
 少佐福島市
 岩淵喜平治 前澤、仙臺市
 會議員、立町通五
 岩淵喜宗治 稗湯本、在原
 區會副議長、東京市荏原區上神
 明町三八四
 岩淵 保 一關、小坂鐵
 山冶金課長、小坂鐵山山役宅
 岩淵 榮男 水澤、岩手日
 報社支配人、盛岡市菜園高砂町
 岩淵 信 東磐井長島、
 臺南警寒部柔道師範六段
 岩崎準次郎 盛岡、秋田營
 林局技師計畫課長、秋田市山本
 町一七
 岩間 四郎 盛岡、芝浦製
 作所技師、東京市品川區南品川
 八四〇
 岩動 康治(炎天) 紫波、
 醫師、埼玉縣原市町
 稻田 昌植(男爵) 花巻、
 貴族院議員
 明治二三年生 男爵佐藤昌介
 (前北大總長)の二男、稻田男
 爵家の嗣子となり大正九年襲
 爵、大正四年札幌農學校(北
 大の前身)卒業、東京外語教
 授を経て大正十四年貴族院議
 員(互選)に當選す、スキー界
 の權威者、東京市澁谷區青町
 一五

四〇四

信部次長

信部次長、東京市世田ヶ谷區世
 田ヶ谷二ノ一、一七二
 稲村 賢三 盛岡、盛中京
 大理科、住友伸銅管會社、大阪
 市天王寺區茶臼山町一一一
 池田 清秀 盛岡、三井物
 産參事、東京市麻布區筈町二八
 池田 龍爾 盛岡、日本畫
 家、東京市荒川區日暮里町八四
 池野三太郎 盛岡、盛岡商
 工會議所議員、盛岡市香町六四
 泉 國三郎 遠野、辯護士
 縣會議員 上閉伊郡遠野町
 泉 直 水澤、泉工務
 所主、東京市本郷區妻戀町
 泉山幸太郎 盛岡、東京特
 許印刷(株)事務、東京市牛込區
 津久土町一七
 今里 茂雄 盛岡、東大經
 濟科、日本郵船會社長崎支店、
 長崎市常盤町四同社内
 今淵 重雄 氣仙、第七師
 團副官歩兵大尉、旭川市
 上田 常記 盛岡、藤田銀
 行常務、大阪府下池田町室町十
 番丁
 上田 常隆 盛岡、京大政
 治科、大阪毎日支局、朝鮮京城
 府孝子洞一六四ノ一
 上田芳一郎 盛岡、東大史
 料編纂所、東京市杉並區阿佐ヶ
 谷二ノ五五六
 上野 廣一 岩手、洋
 書家、神奈川縣葉山町上山口
 上野 敏三 岩手、海
 軍航空本部教育部員海軍大佐、
 神奈川縣葉山町山口
 上野 芳男 一關、關中東
 京高師、東京高等學校教授、東
 京市澁谷區幡ヶ谷本町一ノ二二
 上村 勝爾 盛岡、東大林
 學科、林博盛岡高農校長、盛岡
 市上田官舎
 上村 才六 盛岡、漢詩講
 座主幹、神奈川縣逗子町櫻山二
 一〇六
 内村安太郎 盛岡、東大醫
 科、醫博陸軍一等軍醫正開業醫
 盛岡市仁王六九
 内村 一三 二戸、福岡、滿
 洲國國務院民政部警察司新京祝
 町二ノ十一
 梅津 芳三 花巻、横濱市
 役助、
 梅津 誠介 花巻、武藏工
 科學校常務理事、東京市品川區
 大崎町
 梅村 賢作 稗貫、辯護士
 東京市淺草區新富町一〇
 梅村新五郎 稗貫、東大獨
 法科、辯護士、東京市日
 本橋區濱町三ノ五九
 梅本 郁藏 北大農科、北
 海道拓殖銀行、札幌市南十四條
 西八丁目
 海野 斐藏 盛岡、九大工
 科、鹿島組朝鮮出張所長、朝鮮
 京城府旭町一ノ七二鹿島組出張
 所
 海野 精盛 盛岡、歩兵第
 五十聯隊附長野縣諏訪中學校服
 務
 氏家 謙曹 水澤、東大理
 科、早大教授、東京市小石川區
 第六天町二六
 白井 定民 盛岡、盛中東
 大工科、南部土地株式會社常務
 東京府下碓村喜多見成城八
 宇部 四雄 九戸、歩兵第
 五十九聯隊附步兵中佐
 宇部 政文 九戸、盛岡無
 盡會社常務取締役、盛岡市吳服
 町
 遠藤 後一 前澤、東大獨
 法科、滿洲國電信電話株式會社
 營業部長
 遠藤 精一 前澤、逓信省
 燈臺局書記官監理課長兼東京逓
 信局書記官兼任臺灣總督府交通
 局參事、東京市目黒區綠ヶ丘二
 三七六
 遠藤顯五郎 前澤、麻布逓
 信講習所勤務、東京市目黒區上
 目黒町二五九四
 遠藤 政直 盛岡、盛中東
 京高工、工博横濱高工教授(勅任
 待遇)横濱市神奈川區桐畑一九
 遠藤 春山 九戸、歩兵第
 二十聯隊附步兵中佐、京都福地
 山町
 遠藤邦之助 盛岡、盛中白
 岡高農修、盛岡市産業課長、盛
 岡市

工

郷土の人々(池・泉・今・ウ・上・内・梅・氏・白・宇) (工・遠)

四〇五

郷土の人々(一) (遠・江) (才) (小)

岡市上田組町一 遠藤 政和 盛岡、皇道館
東京市牛込區矢來町 江刺 幸彦 盛岡、東大獨
法科、朝陽印刷社長、東京市蒲
田區蒲田雜色町八〇

才

小野清一郎 盛岡、法博東
大法學部教授
明治廿四年盛岡市に生る、大
正八年東京帝大法科卒業、司
法官試験となり東京地方裁判
所検事、同八年東京帝大助教
授となり、フランス、パリ法科
大學を主としドイツ、アメリ
カ等に留學し、教授となる刑
事訴訟法學界の新進學徒又佛
教學者としても名あり
(東京市本郷區弓町一ノ二五)
小野 二郎 盛岡、東大工
科、東京市土木局建築課長、東
京中野區本町通六ノ一四
小野 弘介 盛岡、盛中東
大醫科、醫博小野病院長、小樽市
花園町大通
小野寺直助 前澤、盛中九

四〇六

小野田 正 江刺、米里、
日本電報通信社理事、東京市澁
谷區代々木宮々谷一五一四
小野 喜一 盛岡、富山縣
隊區司令官歩兵大佐
小山 卓郎 盛岡、盛中東
北醫大、醫博開業醫、盛岡市大
手先
小山 卓郎 盛岡、日本體
操學校教頭、東京八王子市寺町
二四
小山田光一 盛岡、東大獨
法科、農林事務官蠶糸局東京市
荏原區中延町二三一
小澤 恒一 黒澤尻、早大
教授、東京市中野區高根町二八
小澤佐重吉 水澤、辯護士
東京市澁谷區幡ヶ谷六二九ノ二
小保内虎夫 二、福岡、東大
文科、東京高等學校教授、東京
市荏原區幡ヶ谷六二九ノ三
小田 喜作 東大文科、秋
田縣立大館高等女學校長、秋田
縣大鹿町向町一〇
小田 久耕 和、小山田、
盛岡高農修、岩手縣社會教育主
事、盛岡市馬場小路三

社々長、東京市杉並區高圓寺町
九九三

小原 哲子 盛岡、川村女
學院(舊姓下斗米)東京市牛込區
早稲田町五五

小笠原寛三 盛岡、洋畫家
東京市澁橋區諏訪町四〇

小笠原定文 福岡、小笠原
醫院、東京市淺草區猿屋町一七

及川古志郎 盛岡、海軍大
學校、海軍兵學校長、第三艦隊
司令官長海軍中將、東京市澁橋
區西大久保三ノ九一

及川 吳郎 盛岡、盛中美
術學校、洋畫家、東京市澁橋區
西大久保三ノ九一

及川 奧郎 盛岡、天文臺
技師、東京市外三鷹村東天文臺
官舎

及川 徳助 江刺、瀨、東大
獨法科、東京控訴院部長、東京市
大森區田園調布町二ノ八三六

及川 恒忠 花巻、慶應義
塾修、慶大教授、東京世田ヶ谷
下馬町引澤一ノ二四三

及川 啓次郎 和賀、東京府
立二中教諭、東京市杉並區荻窪

郷土の人々(小) (及) (太) (大)

三ノ一三五 及川幸五郎 岩谷堂、東大
醫科、醫博、東北大學醫學部生理
學教室
及川孫右衛門 稗貫、在仙
縣人會幹事、仙臺市北二番丁通
三三ノ二
及川 邊 盛岡、東大工
科、大藏省營繕管財局技師、東
京市大森區田園調布町
及川 文吾 和賀、盛中美
術學校、洋畫家、東京市杉並區
西荻窪六四七
及川 規 江稻瀨、辯護
士、神奈川縣岩手縣人會副會長
橫濱市神奈川區宮前一ノ二五
及川 善實 江刺、東大經
濟科、神戸市三井物産船舶部、
神戸市再度第三一ノ三〇
太田孝太郎 盛岡、早大政
經科、前盛銀頭取、盛岡市加賀
野文化小路
太田 幸郎 前澤、三井信
託、東京市澁谷區原宿町一七〇
ノ二六
太田 達人 盛岡、東大理

科、東京市杉並區松庵北町八一

太田 實 東磐、醫師、東
京市本郷區菊坂町一〇〇

太田代唯六 盛岡、東大理
科、理博桐生高等工業學校教授
桐生市今泉町七〇三

太田代謹郎 盛岡、小樽新
開社監査役

太田代善八郎 盛岡、肥料
商縣人會顧問、福島市五日町二

大鷹正次郎 黒澤尻、東大
獨法科、滿洲國日本大使館一等
書記官、(宅)東京市大森區田園
調布三丁目三六ノ二

大鷹仁太郎 黒澤尻、日大
齒科、開業、東京市赤坂區新町
四ノ八

大矢馬太郎 盛岡、盛岡市

明治三年生る、中村俊太郎の
伯父にして同廿二年先代五歳
の養子となる、同廿四年以來
岩手縣會議員、同議長、盛岡
市長、同市會議長、同名譽職
參事會員に擧げられ又曩に貴

族院議員、衆議院議員に選ば
れ後縣政界の長老として閑地
にあつたが昭和九年二度目の
盛岡市長に擧げらる
(盛岡市加賀野久保田)
大矢半次郎 盛岡、盛中東
大獨法科、大藏書記官、大藏省
主稅局國稅課長、東京市本郷區
駒込片町一〇ほの八號
大泉 辰四 西磐井、第百
銀行常務、東京市目黒區下目黒
町四〇六
大友 喜一 福岡、學習院
教授、東京市豊島區目白町學習
院内
大友 喜作 二福岡、東京
日日新聞社校正部長
大松澤文平 金ヶ崎、佐世
保鎮守府附佐世保海軍工廠會計
部購買課長海軍主計中佐
大森 新陸 石鳥谷、岩手
縣地方事務官、下閉伊支廳長、
宮古町官舎
大森 堅彌 石鳥谷、岩手
縣農會技師、盛岡市仙北町
大森勝太郎 盛岡、早稻田
中學校教諭、東京市小石川區關

四〇七

郷土人々才(大・思・萩・乙・岡・折)カ(鹿・葛・加・柏・金・川)

口町一七

大木 敦子 稗貫、青山女
學院教諭、東京市目黒區上目黒
一六

大島 隆吉 盛岡、淺野セ
メント會社、東京市神田區猿樂
町二ノ一

大沼幹三郎 紫波、盛岡高
農修、滿洲國國務院實業農務司
技正、新京國務院實業部農務司

大橋 秀治 花卷、醫博岩
手縣防疫醫、盛岡市上衆小路二
八

恩田 鐵彌 盛岡、東大農
學科、農博東京農業大學理事、
東京市澁谷區原宿一ノ一五

萩田 甚助 岩谷堂、民政
黨若手支部長縣會議員、膽江電
力重役、江刺郡岩谷堂町

乙部 孝吉 盛岡、盛中東
大理科、東京女子高等師範教授
(勅任待遇) 東商大講師、東京
市杉並區高圓寺一ノ四九一

岡本 一巳 盛岡、明大法
科、代議士(栃木縣選出) 東京
市、長崎町荒井一八九三
岡田太郎太 盛岡、東大英

法科、再製樟腦會社、神戸市野
崎一ノ七七

折居 隆 稗貫、病院長、
旭川市一條通十一丁目
折居辰治郎 花卷、函館區
裁判所檢事兼函館地方裁判所檢
事

カ

鹿島 精一 盛岡、工學士
鹿島組社長
明治八年盛岡に生る、同廿二
年東京帝大工科(土木科)卒
業、鹿島組の創立者鹿島岩藏
の養嗣子、家業を繼承して鐵
道の養嗣子、家業を繼承して鐵
道其他の土木請負業に従事。
東京商工會議所議員。養子守
之助(明二九生)氏は法學博士
である。(東京市小石川區關
口町二〇七)

葛西 萬司 盛岡、帝大建
築科、工學博士建築設計家、東
京市瀧野川區中里町二七五
葛西 勝彌 盛岡、東大獸
醫科、農博、北里研究所獸醫部

市助役、川崎市旭町一ノ四一
菊池 陽三 大阪憲兵隊大
手前分隊長憲兵少佐、兵庫縣武
庫郡若屋三條良牛一二五
菊池 篤三郎 釜石、東大法
律科、盛岡地方兼區裁判所判事
盛岡市加賀野田中二

菊池 謙治 遠野、造兵廠
技師、東京市小石川區指ヶ谷町
一四六
菊池 武直夫 前澤、北大農
學部教授、北海道札幌郡琴似村
川添

菊池 貢 江刺、醫博海
軍司令部出仕、海軍少將、東
京市世田ヶ谷區上馬町二ノ一二
一七
菊池 捷二 東北大學醫科、
東北大學醫學部熊谷内科、仙臺
市外記丁通三八
菊池 大三郎 東磐井、花卷
溫泉主任、花卷溫泉社宅
菊池 武雄 盛岡、洋書家
四谷第六小學校、東京、吉祥寺
一八七五
菊池 良樹 東磐井、薄衣、
福島縣立岩瀨農學校長、福島縣

須賀川町
菊池 徳志 遠野、日本大
學學生主事、東京市本所區松井
町三ノ二一
菊池 知勇 東、澁民、岩
師、歌人ぬはり社、東京市豊島
區巢鴨六ノ一四七〇
菊池 達郎 遠野、辯護士
東京市芝公園二一〇ノ八
菊池 梓 スマトラ興業
取締役外數會社重役、北海道上
川郡清水村
菊池 慶次郎 紫波、早大修
學、九十銀行取締役外數會社重
役、紫波郡徳田村
菊池 浩介 東大工科、日
本銅管會社、東京澁谷區五三三
菊池 齋 東大醫科、醫
博陸軍一等軍醫、金澤市山砲第
九聯隊醫務室
菊池 眞郷 東大法科、臺
灣銀行、在外(宅東京野方町江
古田一四八鳥羽方)
菊池 千秋 東磐井、奧玉、
京大醫科、醫博士々呂醫院、宮崎
縣東臼杵郡土々呂港土々呂病内
院
菊池 貫一 東磐井、長野

市助役、川崎市旭町一ノ四一
菊池 陽三 大阪憲兵隊大
手前分隊長憲兵少佐、兵庫縣武
庫郡若屋三條良牛一二五
菊池 篤三郎 釜石、東大法
律科、盛岡地方兼區裁判所判事
盛岡市加賀野田中二

菊池 謙治 遠野、造兵廠
技師、東京市小石川區指ヶ谷町
一四六
菊池 武直夫 前澤、北大農
學部教授、北海道札幌郡琴似村
川添

菊池 貢 江刺、醫博海
軍司令部出仕、海軍少將、東
京市世田ヶ谷區上馬町二ノ一二
一七
菊池 捷二 東北大學醫科、
東北大學醫學部熊谷内科、仙臺
市外記丁通三八
菊池 大三郎 東磐井、花卷
溫泉主任、花卷溫泉社宅
菊池 武雄 盛岡、洋書家
四谷第六小學校、東京、吉祥寺
一八七五
菊池 良樹 東磐井、薄衣、
福島縣立岩瀨農學校長、福島縣

須賀川町
菊池 徳志 遠野、日本大
學學生主事、東京市本所區松井
町三ノ二一
菊池 知勇 東、澁民、岩
師、歌人ぬはり社、東京市豊島
區巢鴨六ノ一四七〇
菊池 達郎 遠野、辯護士
東京市芝公園二一〇ノ八
菊池 梓 スマトラ興業
取締役外數會社重役、北海道上
川郡清水村
菊池 慶次郎 紫波、早大修
學、九十銀行取締役外數會社重
役、紫波郡徳田村
菊池 浩介 東大工科、日
本銅管會社、東京澁谷區五三三
菊池 齋 東大醫科、醫
博陸軍一等軍醫、金澤市山砲第
九聯隊醫務室
菊池 眞郷 東大法科、臺
灣銀行、在外(宅東京野方町江
古田一四八鳥羽方)
菊池 千秋 東磐井、奧玉、
京大醫科、醫博士々呂醫院、宮崎
縣東臼杵郡土々呂港土々呂病内
院
菊池 貫一 東磐井、長野

キ

菊池 第三 盛岡、盛中東
大法科、前宮内式部官、東京市
淀橋區西大久保四六六
菊池 壽人 紫波、東大國
文科、一高名譽教授、東京市小
石川區久堅町五八
菊池 賢次郎 遠野、盛岡高
農、獸醫博盛岡高農教授、盛岡
市仁王小路六八
菊池 勇夫 遠野、東大佛
法科、九大法文學部教授、福岡
市鳥飼六丁目六〇八
菊池 彌左衛門 和賀、川崎

市助役、川崎市旭町一ノ四一
菊池 陽三 大阪憲兵隊大
手前分隊長憲兵少佐、兵庫縣武
庫郡若屋三條良牛一二五
菊池 篤三郎 釜石、東大法
律科、盛岡地方兼區裁判所判事
盛岡市加賀野田中二

菊池 謙治 遠野、造兵廠
技師、東京市小石川區指ヶ谷町
一四六
菊池 武直夫 前澤、北大農
學部教授、北海道札幌郡琴似村
川添

菊池 貢 江刺、醫博海
軍司令部出仕、海軍少將、東
京市世田ヶ谷區上馬町二ノ一二
一七
菊池 捷二 東北大學醫科、
東北大學醫學部熊谷内科、仙臺
市外記丁通三八
菊池 大三郎 東磐井、花卷
溫泉主任、花卷溫泉社宅
菊池 武雄 盛岡、洋書家
四谷第六小學校、東京、吉祥寺
一八七五
菊池 良樹 東磐井、薄衣、
福島縣立岩瀨農學校長、福島縣

須賀川町
菊池 徳志 遠野、日本大
學學生主事、東京市本所區松井
町三ノ二一
菊池 知勇 東、澁民、岩
師、歌人ぬはり社、東京市豊島
區巢鴨六ノ一四七〇
菊池 達郎 遠野、辯護士
東京市芝公園二一〇ノ八
菊池 梓 スマトラ興業
取締役外數會社重役、北海道上
川郡清水村
菊池 慶次郎 紫波、早大修
學、九十銀行取締役外數會社重
役、紫波郡徳田村
菊池 浩介 東大工科、日
本銅管會社、東京澁谷區五三三
菊池 齋 東大醫科、醫
博陸軍一等軍醫、金澤市山砲第
九聯隊醫務室
菊池 眞郷 東大法科、臺
灣銀行、在外(宅東京野方町江
古田一四八鳥羽方)
菊池 千秋 東磐井、奧玉、
京大醫科、醫博士々呂醫院、宮崎
縣東臼杵郡土々呂港土々呂病内
院
菊池 貫一 東磐井、長野

郷土の人々才(川・笠・釜・鴨・加・菅)キ(菊)

四〇八

法科、札幌鐵道局庶務課長
川井寛次郎 盛岡、東大獨
法科、東京區裁判所檢事

川口 秀基 盛岡、東部硫
酸販賣會社專務、神奈川縣鎌倉
町極樂寺砂子坂四二一
川口 浩 盛岡、醫博、
平塚市新宿四一三
川上登喜二 水澤、長崎醫
大教授、長崎市同校

川島 明八 二、福岡東大
林學科、鹿兒島高農教授、鹿兒
島市荒田町二〇七〇
川邊 眞藏 和賀、東京日
日新聞社、東京府下三鷹村下連
雀六一

川村 次郎 盛岡、陸軍築
城本部員工兵少佐、東京市
川村 誠三 稗貫、東北堂
主人、盛岡市中ノ橋通リ
川村清次郎 盛岡、岩手縣
建築技師、盛岡市十三日町
川村兼五郎 和賀、十二箇、
東京市視學、東京市大森區大森
本町一ノ五一
川村 次郎 盛岡、蒲田診
療所主、東京市蒲田區蒲田町八

市助役、川崎市旭町一ノ四一
菊池 陽三 大阪憲兵隊大
手前分隊長憲兵少佐、兵庫縣武
庫郡若屋三條良牛一二五
菊池 篤三郎 釜石、東大法
律科、盛岡地方兼區裁判所判事
盛岡市加賀野田中二

菊池 謙治 遠野、造兵廠
技師、東京市小石川區指ヶ谷町
一四六
菊池 武直夫 前澤、北大農
學部教授、北海道札幌郡琴似村
川添

菊池 貢 江刺、醫博海
軍司令部出仕、海軍少將、東
京市世田ヶ谷區上馬町二ノ一二
一七
菊池 捷二 東北大學醫科、
東北大學醫學部熊谷内科、仙臺
市外記丁通三八
菊池 大三郎 東磐井、花卷
溫泉主任、花卷溫泉社宅
菊池 武雄 盛岡、洋書家
四谷第六小學校、東京、吉祥寺
一八七五
菊池 良樹 東磐井、薄衣、
福島縣立岩瀨農學校長、福島縣

須賀川町
菊池 徳志 遠野、日本大
學學生主事、東京市本所區松井
町三ノ二一
菊池 知勇 東、澁民、岩
師、歌人ぬはり社、東京市豊島
區巢鴨六ノ一四七〇
菊池 達郎 遠野、辯護士
東京市芝公園二一〇ノ八
菊池 梓 スマトラ興業
取締役外數會社重役、北海道上
川郡清水村
菊池 慶次郎 紫波、早大修
學、九十銀行取締役外數會社重
役、紫波郡徳田村
菊池 浩介 東大工科、日
本銅管會社、東京澁谷區五三三
菊池 齋 東大醫科、醫
博陸軍一等軍醫、金澤市山砲第
九聯隊醫務室
菊池 眞郷 東大法科、臺
灣銀行、在外(宅東京野方町江
古田一四八鳥羽方)
菊池 千秋 東磐井、奧玉、
京大醫科、醫博士々呂醫院、宮崎
縣東臼杵郡土々呂港土々呂病内
院
菊池 貫一 東磐井、長野

市助役、川崎市旭町一ノ四一
菊池 陽三 大阪憲兵隊大
手前分隊長憲兵少佐、兵庫縣武
庫郡若屋三條良牛一二五
菊池 篤三郎 釜石、東大法
律科、盛岡地方兼區裁判所判事
盛岡市加賀野田中二

菊池 謙治 遠野、造兵廠
技師、東京市小石川區指ヶ谷町
一四六
菊池 武直夫 前澤、北大農
學部教授、北海道札幌郡琴似村
川添

菊池 貢 江刺、醫博海
軍司令部出仕、海軍少將、東
京市世田ヶ谷區上馬町二ノ一二
一七
菊池 捷二 東北大學醫科、
東北大學醫學部熊谷内科、仙臺
市外記丁通三八
菊池 大三郎 東磐井、花卷
溫泉主任、花卷溫泉社宅
菊池 武雄 盛岡、洋書家
四谷第六小學校、東京、吉祥寺
一八七五
菊池 良樹 東磐井、薄衣、
福島縣立岩瀨農學校長、福島縣

須賀川町
菊池 徳志 遠野、日本大
學學生主事、東京市本所區松井
町三ノ二一
菊池 知勇 東、澁民、岩
師、歌人ぬはり社、東京市豊島
區巢鴨六ノ一四七〇
菊池 達郎 遠野、辯護士
東京市芝公園二一〇ノ八
菊池 梓 スマトラ興業
取締役外數會社重役、北海道上
川郡清水村
菊池 慶次郎 紫波、早大修
學、九十銀行取締役外數會社重
役、紫波郡徳田村
菊池 浩介 東大工科、日
本銅管會社、東京澁谷區五三三
菊池 齋 東大醫科、醫
博陸軍一等軍醫、金澤市山砲第
九聯隊醫務室
菊池 眞郷 東大法科、臺
灣銀行、在外(宅東京野方町江
古田一四八鳥羽方)
菊池 千秋 東磐井、奧玉、
京大醫科、醫博士々呂醫院、宮崎
縣東臼杵郡土々呂港土々呂病内
院
菊池 貫一 東磐井、長野

市助役、川崎市旭町一ノ四一
菊池 陽三 大阪憲兵隊大
手前分隊長憲兵少佐、兵庫縣武
庫郡若屋三條良牛一二五
菊池 篤三郎 釜石、東大法
律科、盛岡地方兼區裁判所判事
盛岡市加賀野田中二

菊池 謙治 遠野、造兵廠
技師、東京市小石川區指ヶ谷町
一四六
菊池 武直夫 前澤、北大農
學部教授、北海道札幌郡琴似村
川添

菊池 貢 江刺、醫博海
軍司令部出仕、海軍少將、東
京市世田ヶ谷區上馬町二ノ一二
一七
菊池 捷二 東北大學醫科、
東北大學醫學部熊谷内科、仙臺
市外記丁通三八
菊池 大三郎 東磐井、花卷
溫泉主任、花卷溫泉社宅
菊池 武雄 盛岡、洋書家
四谷第六小學校、東京、吉祥寺
一八七五
菊池 良樹 東磐井、薄衣、
福島縣立岩瀨農學校長、福島縣

須賀川町
菊池 徳志 遠野、日本大
學學生主事、東京市本所區松井
町三ノ二一
菊池 知勇 東、澁民、岩
師、歌人ぬはり社、東京市豊島
區巢鴨六ノ一四七〇
菊池 達郎 遠野、辯護士
東京市芝公園二一〇ノ八
菊池 梓 スマトラ興業
取締役外數會社重役、北海道上
川郡清水村
菊池 慶次郎 紫波、早大修
學、九十銀行取締役外數會社重
役、紫波郡徳田村
菊池 浩介 東大工科、日
本銅管會社、東京澁谷區五三三
菊池 齋 東大醫科、醫
博陸軍一等軍醫、金澤市山砲第
九聯隊醫務室
菊池 眞郷 東大法科、臺
灣銀行、在外(宅東京野方町江
古田一四八鳥羽方)
菊池 千秋 東磐井、奧玉、
京大醫科、醫博士々呂醫院、宮崎
縣東臼杵郡土々呂港土々呂病内
院
菊池 貫一 東磐井、長野

市助役、川崎市旭町一ノ四一
菊池 陽三 大阪憲兵隊大
手前分隊長憲兵少佐、兵庫縣武
庫郡若屋三條良牛一二五
菊池 篤三郎 釜石、東大法
律科、盛岡地方兼區裁判所判事
盛岡市加賀野田中二

菊池 謙治 遠野、造兵廠
技師、東京市小石川區指ヶ谷町
一四六
菊池 武直夫 前澤、北大農
學部教授、北海道札幌郡琴似村
川添

菊池 貢 江刺、醫博海
軍司令部出仕、海軍少將、東
京市世田ヶ谷區上馬町二ノ一二
一七
菊池 捷二 東北大學醫科、
東北大學醫學部熊谷内科、仙臺
市外記丁通三八
菊池 大三郎 東磐井、花卷
溫泉主任、花卷溫泉社宅
菊池 武雄 盛岡、洋書家
四谷第六小學校、東京、吉祥寺
一八七五
菊池 良樹 東磐井、薄衣、
福島縣立岩瀨農學校長、福島縣

須賀川町
菊池 徳志 遠野、日本大
學學生主事、東京市本所區松井
町三ノ二一
菊池 知勇 東、澁民、岩
師、歌人ぬはり社、東京市豊島
區巢鴨六ノ一四七〇
菊池 達郎 遠野、辯護士
東京市芝公園二一〇ノ八
菊池 梓 スマトラ興業
取締役外數會社重役、北海道上
川郡清水村
菊池 慶次郎 紫波、早大修
學、九十銀行取締役外數會社重
役、紫波郡徳田村
菊池 浩介 東大工科、日
本銅管會社、東京澁谷區五三三
菊池 齋 東大醫科、醫
博陸軍一等軍醫、金澤市山砲第
九聯隊醫務室
菊池 眞郷 東大法科、臺
灣銀行、在外(宅東京野方町江
古田一四八鳥羽方)
菊池 千秋 東磐井、奧玉、
京大醫科、醫博士々呂醫院、宮崎
縣東臼杵郡土々呂港土々呂病内
院
菊池 貫一 東磐井、長野

郷土の人々(キ・金・切・清・貴)ク(工・久・熊)ケ(煙・見)

縣技師

菊地市之助 盛岡、漆器雜

貨輸出商、佛領印度支那トシキ

ン縣ハノイ市

龜卦川英吾 大原、醫師在

仙臺市空堀町

三九

龜卦川浩 東磐、東大政

治科、横須賀市助役

北川 魏 盛岡、盛中盛

岡高農、農林技師農林省山林局

勤務東京市小石川區自由御殿町

一〇六

北川喜三郎 盛岡、青森縣

七戸實科高等女學校長、青森縣

上北郡七戸町

木村 榮 水澤、東大星

學科、理博緯度觀測所長帝國學

士院會員、膽澤郡水澤町官舎

木村 雄山 岩手、三井家

清泉學寮幹事、東京市澁谷區若

木町二

木村 雄治 黒澤尻、日本

自動車株式會社の井販賣所、

東京市丸の内三四四〇

金田一京助 盛岡、盛中東

大言語科、文博東京帝大文學部

助教授國學院大學教授、アイヌ

研究家、東京市杉並區成宗三三

二

金田一國士 盛岡、元盛岡

銀行頭取、盛岡市上衆小路

金田一光 盛岡、盛電、

外敷會社重役盛岡大清水小路三

三七

城戸孫右衛門、紫波、宮内

省主馬寮囃託獸醫監

切田 太郎 盛岡、盛中東

京高商、臺北高等商業學校長、

臺北市千歲町二丁目官舎

清岡 博見 盛岡、醫博、

上海四路福民病院

狐崎 武夫 岩手、フオツ

クストン電機製造工場主、東京

市澁谷區向山七九

貴島 龍男 大原、川崎造

船技師、東京市澁谷區向山三五

二八一

工藤 祐定 盛岡、盛中東

大政治科、日本光學工業會社取

締役、東京市淀橋區西落合一ノ

二八一

工藤 祐直 盛岡、盛岡農

學校長、盛岡市上田

工藤 祐三 盛岡、醫博、岩

手醫專教授、盛岡市上田高農正

門下

工藤 祐造 盛岡、辯護士

盛岡市菜園

工藤 豪吉 盛岡、陸軍少

將(豫)明倫會、東京市杉並區大

宮前五丁目一九一

工藤 久三 盛岡、隱戶特

務艦長海軍中佐、鎌倉材木座二二

工藤 又治 盛岡、廣島縣

立加計實業女學校長、廣島縣山

縣郡加計町

葛 博 盛岡、日赤岩

手支部病院事務長、盛岡市米内

久慈直太郎 盛岡、盛中東

大醫科、醫博日赤病院産院長東

京市澁谷區惠比壽通り一ノ二

久慈 學 盛岡、盛中東

大佛法科、愛知縣書記官學務部

長、名古屋市東區七曲町

久慈 寛一 盛岡、盛中東

亞同文書院、青島新聞社營業局

長青島葉陽路八號

久慈 眞三 盛岡、大阪製

煉案式會社事務、兵庫縣武庫郡

精道村若屋

久保 彌生 沼宮内、盛岡

裁縫女學院主、盛岡市菜園

久保田晴光 稗貫、盛中京

大、醫博滿洲醫科大學教授、奉

天市淺間町

久保田鐵三 稗貫、久保田

商會主、東京市目黒區上目黒五

九八

熊谷直三郎 一關、東大醫

科、醫博、東京市杉並區高圓寺

下屋敷五三七

熊谷辰治郎 高田、日本青

年館主事、東京市目黒區大岡山

二四

熊谷 源七 氣仙、實業家

在京氣仙人會長、東京市日本橋

區元柳町三

栗谷川泰助 盛岡、醫專、

長野縣小諸町田村病院院長

煙山 專太郎 盛岡、早大教

授、東京豊島區駒込六ノ八三六

煙山 八重子 盛岡、愛の家

理事

煙山 二郎 盛岡、大阪放

四一〇

送局放送部長、大阪市天王寺區
上本町九丁目
見坊 兼光 盛岡、農林技
師農林省農務局勤務、東京市豊
島區池袋七八五

コ

國分 壽郎 二戸、京大醫
科、醫博國分病院長、東京市青
山町六ノ四七

國分 謙吉 二戸、國分農
場主、岩手郡瀧澤村

國分 喜一 福岡、陸奥電
力常務、二戸郡福岡町

小林 茂雄 盛岡、盛中仙
臺醫專、醫博小林醫院盛岡醫師

會長、盛岡市仁王小路

小森 吉助 盛岡、海軍少
將(豫)小松侯家令、東京市澁谷

區常磐松一〇二小松侯邸内

小泉多三郎 盛岡、市議商
工會議所議員岩手林業重役、中

央映畫劇場社長盛岡市大澤川原

小指 義雄 盛岡、日大中
學部柔道師範、東京國分寺村本

多二一九

幸野 岩雄 岩谷堂、岩手

郷土の人々(コ)國・小・幸・駒・後・郷・五・近・金・昆(サ)齋

師範修、福島師範學校教諭附屬
小學校主事、福島市五老内五
駒木嘉太郎 二戸、近衛輔
重兵大隊副官輔兵大尉、東京市
後藤 一藏(伯爵) 水澤、
米國留學、貴族院議員天龍川電
力外會社重役、東京市麻布區三
軒家町五三

後藤 市藏 大槌、東大政
治科、南部伯爵家顧問、東京市
麻布區龍土町五二

後藤 清造 石鳥谷、盛中
早大商科、日本電力常務、富山
縣黒部宗奈月

後藤 清郎 石鳥谷、盛中
東大政治科、岩手日報社取締役
理事(主筆)盛岡市加賀野久保田

郷古 潔 水澤、盛中東
大法科、三菱重工業常務取締役
神奈川縣大船町山の内六四五

五味 清吉 盛岡、洋畫家

近藤 一二 京大理科 成
城高等學校教授、東京府下成城
高等學校

金 貞次郎 遠野、福島地

方裁判所判事部長福島市裁判所
官舎
金野 巖 千厩、醫博、
岩手醫專教授(耳鼻喉科)、盛
岡市丸内三田横丁

昆野恒太郎 遠野、東大獸
醫科農獸醫博朝鮮總督府獸疫血
清製造所長、朝鮮釜山府外岩南
里

サ

齋藤 實(子爵) 水澤、
海軍大將(豫)首相前官禮遇

安政五年岩手
縣に生る、明
治一五年海軍
少尉任官同三



九年同大將に昇任、其間侍從
武官、秋津洲及嚴島の艦長を
勤め、海軍の大御所たりし大
將山本權兵衛伯の信任を得て
海軍次官に進む、同三九年一
月西園寺内閣成立の際に海軍
大臣に親任、薩人にあらずし
て海相となつた者は彼が最初
である。大正三年の春のシ

メンス事件に山本内閣が引責
總辭職を行ふに當つて辭職、
次いで豫備編入、大正八年原
内閣の時朝鮮總督に任じ同一
四年子爵に陞り(明治四〇年
男爵を授けらる)昭和二年第
二次軍縮會議に首席全權とし
てジュネーヴに出張、同九年
九月歸朝、次いで總督辭任、
樞密顧問官に親任、昭和四年
八月濱口内閣の懇請に依り再
度朝鮮總督に親任、同六年六
月辭職、同七年五月、五・一
五事件後大命を拜して非常時
舉國一致内閣を組織し廟堂に
立ち九年七月桂冠、號卓水。

春子夫人(明六生)は子爵仁
禮景嘉氏の伯母遞信省技師齋
藤齊氏はその嗣子である。(東
京市四谷區仲町三ノ四四)
齋藤 齊 水澤、東大理
科、簡易保險局技師、東京市四
谷區仲町三ノ四四
齋藤 俊平 高田、前和歌
山縣内務部長、東京市麻布區新

四一一

都土の人々(佐・酒・里・坂・柵)

網町一ノ五三
齋藤 斐章 水澤、東京高師、東京高等師範學校教授(勅任待遇) 東京市小石川區白山御殿町一〇七
齋藤 允 水澤、齋藤斐章氏長男、仙臺區裁判所判事
齋藤 睦郎 花卷、平營林署長、福島縣平營林署
齋藤 丈太郎 黑澤尻、黑澤尻病院長、和賀郡黑澤尻町
佐藤 昌介(男爵) 花卷、北大名譽教授
安政三年花卷町に生る、明治十三年札幌農學校卒業、後アメリカに留學して農政經濟を研究す、歸朝後札幌農學校教授となり、同廿七年同校長に任ぜられ大正八年北海道帝大創立と同時に總長となり、昭和五年辭職、同三年華族に列せられ男爵、農學博士、現に北海道帝大名譽教授(札幌市北一條東七ノ一)
佐藤 庄四郎 盛岡、東大佛法科、ハルピン總領事官宅東京市大森區田園調布町下沼部一九

(ハルピン新市街義州街二五)
佐藤 佐一郎 水澤、東大獨法科、濱松區裁判所判事、靜岡縣濱松區裁判所內
佐藤 欽一 東、黃海、京大法科、瀧野區裁判所檢事、兵庫縣保保郡瀧野町
佐藤 卓造 花卷、海軍中將(豫)東京市中野區上原町三一
佐藤 充 盛岡、東北大理科、農林省水産試驗所技師、東京府下玉川村奥澤
佐藤 強介 一關、東大理科、海軍火藥廠爆藥部々員、海軍造兵大佐
佐藤 俊美 水澤、海軍中佐出雲副長
佐藤 駿一 東磐井、盛岡東大政治科、西脇銀行支配人、東京市麻布區筈町一七五
佐藤 二郎 盛岡、九十銀行取締役支配人、盛岡市匠鷹小路
佐藤 良平 東、摺澤、元代議士多額納稅者、東磐井郡摺澤村板橋區練馬南町二ノ三六五
佐藤 瑞彦 水澤、自由學

院主事、東京島豐區目白上り屋敷一〇九
佐藤 續 水澤、農林省金澤米穀事務所長、金澤市三間道六八官舎
佐藤 潔 水澤、東大獨法科、辯護士、京城府本町三ノ一二一
佐藤 忍 一關、東大獨法科、辯護士、東京市神田區錦町三ノ一
佐藤 壯夫 氣仙、京大醫科、高田病院、氣仙郡高田町
佐藤 哲夫 氣仙、九大醫科、盛其立病院院長、氣仙郡盛岡町
佐藤 富治 西磐、東北大工科、文部省實業學務局、東京市世田ヶ谷區松原二ノ六八二
佐藤 松之丞 九大工科、製鐵所二瀬出張所、福岡縣嘉穂郡幸町袋第一坑
佐々木省三 盛岡、陸軍通信學校教官同校研究部員兼海軍通信學校教官步兵少佐、東京杉並區馬橋同校內
佐々木次郎三郎 一關、東大醫科、駿東病院長、沼津市添地町一五一

四二二
佐々木林治郎 下閉、東大農科、農博東大農學部助教授東京千駄ヶ谷四八三
佐々木哲郎 花卷、岩手中學校長、盛岡市下小路
佐々木保五郎 岩泉、縣會議長、岩手縣繭絲組合理事會長
下閉伊郡岩泉町
佐々木休次郎 岩、太田、岩手縣購販賣聯合會理事、岩手太田村
佐々木實高 西、平泉、喜多流謠曲教授、西磐井郡平泉村中尊寺
佐々木光綱 盛岡、內務省土木局囑託、東京市目黒區中目黒町四ノ一四六三
佐伯 郁郎 江刺、內務省圖書課、東京市外千歲村下祖師ヶ谷一二二三
笹間 政吉 盛岡、岩手病院事務長、豫歩兵中佐、盛岡市下小路
笹村庄七郎 遠野、東大經濟科、正金銀行シャトル支店、在外(宅遠野町笹村善治方)
酒井 夏治 一關、第八十

八銀行常務、一關町櫻街
里見 淳(山内英夫) 盛岡、東大英文科修、文士神奈川縣鎌倉町西御門六五
坂牛直太郎 東大英法科、辯護士、小樽市入舟町九ノ一
坂水 潔 黑澤尻、盛岡東大工科、盛岡加賀野坂水 悟郎 黑澤尻、步兵少佐滿洲國興安總警務課長、新京俱樂部大一號住宅
柵山茂三郎 沼宮內、福中東北大理科、精華化學工業會社兵庫縣武庫郡魚崎町横屋二四〇
柵瀨 信平 西磐、京大醫科、醫博大邱醫院、朝鮮大邱府三笠町醫院官舎
澤田 藤一郎 花卷、盛中、醫博、九州帝大助教授、在外
澤田 洪憲 下閉、東大獨法科、辯護士、神奈川縣岩手人會長、橫濱市中區太田町六ノ七六
澤藤 幸治 黑澤尻、黑澤尻町長、和賀郡黑澤尻町

志賀和多利 金ヶ崎、日本大學、代議士、元鐵道參事官、埼玉縣浦和町本太
獅子内謹一郎 盛岡、上盛岡驛長、盛岡市加賀野新小路
清水七太郎 盛岡、洋畫家
東京市板橋區練馬町貫井七七三
四戸友太郎 盛岡、新近在鄉軍人聯合分會長商工會議所副會頭、岩手縣人會長、新京朝日通一七
七戸 綏人 盛岡、齒科醫東京市小石川區白山御殿町三七
島 善隣 種實矢澤、北大農學部助教授、札幌市外藻岩村圓山
島川 直英 九戸、東大獨法科、山梨縣書記官總務部長
島池 威雄 盛岡、東大理科、浦和高等學校教授、埼玉縣浦和町塚越四〇一八ノ一
柴内 魁三 盛岡、岩手縣首座學校長、盛岡市平山小路
柴内 保次 盛岡、警視廳衛生技師、東京砧村喜多見三三二ノ六
柴内 猛 盛岡、山口縣

農林技師、山口市清水二二四五
柴田兵一郎 沼宮內、沼宮內町長、岩手郡沼宮內町
白石 八郎 千厩、眞岡區裁判所判事
白井 成允 盛岡、盛中東大哲學科、京城大學法文科教授
京城府三坂通一四二、一九
白井 武 盛岡、盛中京大理科、遞信技師、遞信省工務局勤務東京市目黒區原町一二二五
下長根 澄 盛岡、盛中早大、東京日々新聞內國通信部部長、東京市淀橋區西落合一ノ二六三
下斗米直昌 東大理科、理博廣島文理科大學助教授(米國留學中)
下斗米政昌 北大農科、臺灣總督府技師肥料檢查所長、臺北市文武町四ノ四
下河原政治 盛中、京大醫科、眼科開業醫、別府市別府南町下六六
下飯坂 元(水澤) 咸鏡北

道警察部長、朝鮮咸鏡北道鏡城郡羅邑官舎
新藤 武 盛岡、岩手縣女子師範學校教諭、盛岡市大澤川原小路袋町
新藤多喜男 盛岡、騎兵第十五聯隊中隊長
東海林明二郎 西中里、第八十八銀行取締役會長、西磐井郡中里村
庄子 勇 東、折壁、間島總領事館領事、支那間島龍井村

菅原 佐平 一關、東大醫科、海軍々醫少將、佐世保海軍病院長兼佐世保鎮守府軍醫長、佐世保鎮守府官舎甲三號
菅原 公平 一關、東北大理科、久原鑛業、北海道石狩國札幌郡篠路村沼ノ端
菅原 恒覽 一關、東大工科、日本鐵道工業會社理事長、東京市淀橋區柏木八五八
菅原 信治 東黃海、岡山縣女子師範學校長、岡山市同校

シ

郷土の人々(サ(柵・澤)シ(志・獅・清・七・鳥・柴・白・下・新・東・庄)ス(菅))

四一三

郷土の人々(ス・鈴・杉・須・角) (セ・關・瀨)

菅原 清 一關、辯護士、東京市在原區小山町三三
鈴木 巖 盛岡、元代議士、盛岡市新庄さいかち坂
鈴木 彦郎 盛岡、大衆作家、東京市品川區大井出石町五



法、盛岡地方裁判所判事、盛岡市丸内官舎
杉村陽太郎 盛岡、法博、駐伊大使
明治一七年盛岡に生る、同四年東京帝大法科卒業、外務省に入り大使館参事官、國際聯盟帝國事務局長となり昭和二年新渡戸博士の後を承け常設國際聯盟事務局事務次長としてジュネーブに駐在、爾來國際聯盟理事會で大いに活躍し殊に同八年帝國が聯盟脫退前後の活躍振りにはその外交手腕に折紙を付けられるに至つた。同九年駐伊大使に任ぜらる。昭和二年「海運國際制度論」の著述に依つて法學博士の學位を授與さる。水泳及柔道に長ずる。(留守宅東京四谷區須賀町二四)
杉村英三郎 盛岡、鴻池信託會社東京支店長、東京大森區入新井宿二一九五
杉本昌五郎 盛岡、東洋拓

殖會社参事、相洲豆子櫻山一〇九九
杉本 彪 遠野、東北醫大、醫博福岡病院長、二戸郡福岡町
諏訪 哲郎 盛岡、東大理科、商工省燃料研究所技師、埼玉縣川口町燃料研究所官舎
須藤 参治 西磐、成蹊高等學校教授、東京府下吉祥寺公園通二〇二五
角南 春洋 江刺、東北醫科、東北醫大熊谷内科、仙臺市北三番丁一〇〇

關 登 盛岡、關商店(株)社長(羅紗洋服)、東京市澁谷區目黒鷹番町八六
關根 鑿藏 西磐井、土木技師、東京市目黒區安原文化住宅二五七
關口藤右衛門 盛岡、酒造家多額納稅者、盛岡市仙北町
瀨川彌右衛門 花巻、貴族院議員滿洲製麻株式會社重役、稗貫郡花巻町
瀨川 嘉助 黑澤尻、代議士、名古屋市中區御器所町古市場八
瀨川孫兵衛 近衛輔重兵大
瀨川重兵少佐
瀨川德太郎 盛岡、三菱鑛業技師、東京大森區入新井町新井宿山王二六二五
瀨川德次郎 盛岡、東邦機械工業所長、東京市澁橋區角舎七四二
瀨川 壽郎 盛岡、東京基督青年會理事青山學院理事、東京市大井町字原五三七七
瀨川 深 花巻、盛岡、大醫科、開業醫、濱松市元城一

二六 清野 耕治 膽澤、第四高等學校教授、金澤市仙石町同校内
添田 孚 盛岡、第二師團司令部附步兵中佐、仙臺市曾根 登 一關、開業醫
東京市赤坂區榎坂町四
相馬 半治 二戸、明治製糖社長、東京市芝區伊皿子五二

ソ

高橋壽太郎 下閉伊、千徳、代議士豫海軍少將、東京市目黒區自由ヶ丘一二二
高橋 康文 岩、平館、盛岡京大經濟科、盛岡高農教授、盛岡市舊櫻山
高橋 昌二 盛岡、盛中京大工科、秋田鐵專教授(教頭)、秋田市手形谷地町二五
高橋佐太郎 盛岡、東大工科、豫陸軍少將、奉天造兵所、奉天裁町一七
高橋 武夫 稗矢澤、盛中

タ

東大經濟科、滿洲銀行常務、大連市西公園町三ノ一
高橋 純一 東大理科、理博東北大理學部教授、仙臺市東二番丁一五〇
高橋 立身 膽相去、慶大教授、東京市目黒區大岡山二四
高橋 勳 スム 東磐井、東大獨法科、辯護士、東京市小石川區原町二二ノ一
高橋 富吉 一關、東京産業會社專務、東京市小石川區久野町二七
高橋 實晴 和、湯田、實業家、東京市下谷區御徒町一ノ三
高橋 實光 岩、平館、日大法科、辯護士日本辯護士協會常務理事日暮里町會長、東京市荒川區日暮里町八ル一四七
高野 長春 水澤、東大獨法科、岐阜縣書記官學務部長岐阜縣廳内
高野 長徑 水澤、東大醫科、高野醫院、膽澤郡水澤町
高平小太郎(男爵) 一關、東京市目黒町五六六
高原 龜三 盛岡、青山學

郷土の人々(添・曾・相) (タ(高・田))

セ

關 正一 盛岡、豫陸軍少將、千葉市登戸二八一
關 太一 盛岡、大倉高商教授、東京市品川區大井森前五四三五
關 春治 一戸、法政大學校友會主事、東京市牛込區納戸町三六
關 權次郎 盛岡、盛中青山學院、東奧義塾教頭、青森縣弘前市

院教授、東京市澁谷區並木町七
高原 孝輔 盛岡、醫博高原病院、東京市澁谷區千駄ヶ谷南前四七〇
高瀬 實昌 稗湯口、日本興行常務、東京市下谷區中根岸町四六
高原藤太郎 盛岡、東京府立第二中學校長、東京市豊島區長崎南町一ノ一八九六
田中館愛橋 福岡、理博貴族院議員、東大名譽教授

田中館要橋 福岡、盛中東大醫科、醫博青森竹浪醫院、青森市寺町
田中館秀三 福岡、東北帝大講師、仙臺市
田村 丕顯(子爵) 一關、舊一關藩主、海軍少將(豫)
明治八年十一月生、同二十年家督を相続し襲爵、米國に渡り三十三年同國海軍兵學校を卒業し、歸朝後海軍少尉に任じ海軍少將に累進す、其間練習艦隊參謀、東宮武官、薩摩艦長、橫須賀防備隊司令兼海軍艦政本部技術會議員等に歴補し大正十四年八月海軍軍令部出仕仰付られ同年十月豫備役となり郷里に歸つて岩手殖銀重役六原青年道場長に推され今日に至る。(一關廣街)
田島彦太郎 盛岡、陸軍大學校、奉天特務機關、騎兵中佐(宅東京市中野區桃園一七)
田丸 節郎 盛岡、盛中東大化學科、理博東京工大教授附



安政三年福岡町に生る、明治十五年東大理學部卒業、同二十一年英、獨に留學電氣磁氣學を研修し、同二十四年歸朝東大教授に任じ理學博士となる、現在は東大名譽教授にして同時に貴族院議員、航空評議會員等の諸公職にあり帝國學士院會員又軍用輕氣球飛行機の科學的研究及びメートル制採用論ローマ字國字論で有名である。(東京市小石川區雜司ヶ谷町一四四)



四一四
四一五

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)

郷土の人々(田・武・多・立・足・達・丹) 子(千・) テ(出)



明治十一年盛岡市下臺に生る同三五年東京高商専攻部

ト

ト 明治十一年盛岡市下臺に生る同三五年東京高商専攻部

三谷町二〇

三谷町二〇 戸羽 亨 氣、小友、海産物貿易商小樽若手縣人會々長

斗ヶ澤純也

斗ヶ澤純也 盛岡、東京貯蓄目黒支店長、東京市品川區上大崎二ノ五七六

富田 碎花

富田 碎花 盛岡、日大、詩人、兵庫縣武庫郡精道村蘆屋

卒業外務省に入り、公使館書記官(支那及米國駐在)を経て大正七年大使館参事官、歐洲大戦後最初の本邦代表者として獨逸に赴任、同一〇年八月瑞西に開催の國際聯盟會議第二回會議に於ける帝國代表隨員同年十月ワシントン會議全權委員に命ぜらる。同一二年五月外務省アジア局長、同一三年外務次官、昭和三年駐米大使に歴任、日米親善に功あり八年十二月歸朝す十年七月日濠親善使節として濠洲及ニュージランドに派遣さる。元北大教授農學博士葛西勝彌氏はその實弟である。(留守宅東京市世田谷玉川尾山町九六)

照井長次郎 盛岡、滿洲重要物産組合書記長、大連市山縣通一九四

照井 潤三 盛岡、米國留學、パリトン歌手、東京市目黒

郷土の人々(照) ト(柄・榎・東・鳥・苦・斗・逸富・遠) ナ(南・長)

郷土の人々(照) ト(柄・榎・東・鳥・苦・斗・逸富・遠) ナ(南・長)

郷土の人々(照) ト(柄・榎・東・鳥・苦・斗・逸富・遠) ナ(南・長)

郷土の人々(照) ト(柄・榎・東・鳥・苦・斗・逸富・遠) ナ(南・長)



明治四十年九月生る、一條實孝公の養弟となり昭和四

南部 利英(伯爵)

南部 利英(伯爵) 盛岡、長瀬直太郎 下閉、湘南縣人會長、海軍中將(豫)、神奈川縣返子町山の根四五九

長瀬直太郎

長瀬直太郎 下閉、湘南縣人會長、海軍中將(豫)、神奈川縣返子町山の根四五九

郷土の人々(照) ト(柄・榎・東・鳥・苦・斗・逸富・遠) ナ(南・長)

郷土の人々(照) ト(柄・榎・東・鳥・苦・斗・逸富・遠) ナ(南・長)

郷土の人々(照) ト(柄・榎・東・鳥・苦・斗・逸富・遠) ナ(南・長)

名郷土の人々(長)(永)(名)(中)

道會社、千葉縣船橋町九ノ一ノ 町一ノ一

一四〇 長瀬 道郎 盛岡、宮城縣

加美農學校長、社會教育主事、宮城縣學務部教育課

長澤 慶郎 盛岡、東大工

科、日立鑛山、茨城縣日立鑛山探鑛課

長澤 忠助 盛岡、東大工

科、都市計畫地方委員、會技師、兵庫縣廳内都市計畫兵庫地方委員

長岡 半六 日詰、ハルビ

ン總領事館副領事、滿洲國吉林省哈爾濱新市街義州街日本總領事館内

長岡六之助 盛岡、日本キ

リンビール會社技師、鎌倉扇ヶ谷三八〇

長岡保太郎 盛岡、盛中東

大佛法科、協調會參事、東京市品川區五反田町六ノ四五二

永田 巖 稗貫、東大工

科、東京電氣會社技師、東京市大森區馬込町東一〇三七

永澤 毅一 一關、東大工

科、神戸高工教授、神戸市板宿

野村 ハナ 紫、彦部、日本

女子大學教授、東京府下碓村奈根七九五

野村 岳陽 盛岡、山形高

等學校教授、山形市小白川町同

野村益太郎 日詰、盛中、

東大動物科、理博東北帝大教授

仙臺市土樋一七五

野々村良哉 盛岡、乾倉庫

出張所長、東京市目黒區碑文谷一五一

野田 哲夫 東大理科、三

菱航空機會社、名古屋市南區豐田町字西宮三〇五二

野澤 文彦 盛岡、盛中東

大獨法科、行政裁判所評定官、東京市板橋區板橋三ノ六〇二

野坂 直治 盛岡、長野縣

技師、

野坂 孝吉 盛岡、富山縣

技師、經濟部耕地課勤務、富山縣堀端町一一

野邊地慶二 盛岡、盛中東

大醫科、醫博内務技師内務省衛生局防疫官、東京市豊島區池袋丸山一五六二

四一八

軍技術會議員、海軍大佐、東京市目黒區原町一三五二

中島 愿三 盛岡、茨城縣

技師耕地課長、茨城縣廳内中島 四郎 盛岡、扶桑分

隊長海軍機關大尉

中野幸之助 盛岡、東大工

科、仙臺鐵道局山形運輸事務所

中野 保興 紫波、辯護士

辯理士、東京市豊島區西巢鴨二ノ二五

中野 武男 盛岡、橫濱中

央郵便局長、橫濱市中區北仲通

新渡戸孝夫 盛岡、ジャパ

ンタイムス主筆編輯長、東京府

下碓村奈根上ノ臺

新渡戸琴子 盛岡、愛の家

理事、東京府下碓村奈根上の臺

新里文八郎 遠野、京大英

文科、東京商科大学豫科教授、東京市杉並區西高井戸一ノ九二

似鳥 吉藏 水澤、第三日

南道官舎

箱石 朝政 盛岡、燃料協

會常務理事、東京市澁谷區代々木初臺町四七五

林 敏之 二戸、福中海

軍大學校選科、舞鶴要港部工作部機關中佐、京都府舞鶴町

林 成三 二戸、盛岡病

院事務長豫歩兵大佐、盛岡市馬場小路

花坂 長閑 盛岡、陸軍被

服本廠技師兼陸軍省經理局技師

東京市赤坂區青山南町六ノ八三

花坂吉兵衛 盛岡、吳鎮守

府相模教師、吳市北迫町二一四

島山耕一郎 上、達會部、

對馬艦長海軍大佐、相州稻岡町

島山英三郎 盛岡、岩手縣

道路技師、盛岡市鹿島下

島中 大輔 西、山目、特許

局事務官特許局、審判官

島中恒次郎 西、中里、三井

物産參事、東京市小石川區大塚

町一一四嘉納方

島村嘉兵衛 東大政治科、

長野縣警視特高課長、甲府市白

町官舎

四一九

刊通信社長、東京市麴町區三年

町二

似内秀次郎 花巻、醫師、東

京市目黒區上目黒九七二

西野 陸夫 盛岡、内務省

社會局技師、東京市瀧野川區瀧

野川六九七

西野陸奥太郎 盛岡、京大

獨法科、朝鮮總督府判事補成興

地方法院判事城府竹添町三丁目

五ノ二三

西海枝 盛岡、ニガラ

イ堂正教時報主事東京市四谷區

南寺町三四

二宮 敬治 盛岡、醫博岩

手醫專教授附屬醫院二宮内科部

長、盛岡市加賀野久保田

針生 久助 岩谷堂、旅館

業在仙縣人會常任幹事、仙臺市

國分町五〇

晴山 省吾 前澤、京大理

科、廣島高等師範教授、廣島市

東千田町同校動物學教室

晴山 直吉 黒澤尻、晴山

製作所長、東京市芝區白金三光

町一五九

橋本 喜助 花巻、多額納

稅者、稗貫郡花巻町

橋本八百二 日詰、洋書家

東京市世田ヶ谷區代田町六四

四

橋本 ハナ 日詰、八百二

氏夫人、洋書家、同

橋元 昌矣 膽澤、東大星

學科、東京天文臺技師、東京府

下北多摩三鷹村大澤東京天文臺

官舎

半澤 耕實 岩谷堂、盛中

東大政治科北大農科、東京外國

語學校教授、東京市杉並區和泉

町四八〇

馬場 義也 盛岡、盛中東

大政治科、前平塚市長、東京府

四一九

下碓村成城北

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

四一九

七

平賀 正巳 稗貫、樺太廳
技師眞岡林務署長、樺太眞岡町
林務署官舎
平賀 良藏 稗貫、京大物
理科、京城帝大豫科教授、京城
府青葉町一ノ三
平澤 昌一 花卷、住友銀
行總務課長、東京市麻布區本村
町三三
平澤 政三 花卷、盛中東
大電氣科、芝浦製作所技師、東
京市品川區五反田五ノ五七ノ七
平澤 眞 花卷、北大農
政科、大同生命保險常務、兵庫
縣武庫郡精道村芦屋中の内
平澤 幹 水澤、東大政
治科、三菱礦業會社總務部副部
長、東京市大森區田園調布四ノ
一〇七
平野維一郎 盛岡、陸軍工
兵學校教導隊下士官候補者隊長
兼同校教官同校研究部々員千葉
縣松戸町神田一〇六九
平野郷治郎 花卷、成興衛
成病院院長兼歩兵第七十四聯隊附

二

二等軍醫正
平田驥一郎 盛岡、元東省
特別區行政長官公署首席顧問吉
林省參事官、大連市星ヶ浦黒石
磯
廣瀨 爲久 和賀、代議士
京濱電力常務外數會社重役、東
京市赤坂區青山南町六ノ一〇三
日澤剛太郎 盛岡、東大工
科、鹿島組電氣部長、東京市目
黒ヶ上目黒一〇
戸來 三郎 盛岡、木曾主
計長兼分隊長海軍主計大尉
子泥 亦吉 東磐井、歩兵
第三十一聯隊中隊長歩兵大尉、
弘前市
菱沼 一 飛行第六聯隊
附航空兵中佐
二見 直三 盛岡、東大獨
法科、北海道廳土木部長
藤井兵四郎 盛岡、下志津
陸軍飛行學校材料廠長兼同校教
官同校研究部々員航空兵中佐、
東京立川

7

藤島信太郎 盛岡、高知營
林局計畫課長、高知市西弘小路
同局
藤島亥治郎 盛岡、東大建
築科、工博東京帝大教授、東京
藤島龜太郎 盛岡、芝浦製
作所取締役、東京市芝區竹谷町
一ノ二三
藤島谷五郎 盛岡、前岩手
無盡支配人、盛岡市小新路
藤原 喜藏 水澤、東大獨
法科、朝鮮製紙會社常務
藤原 善二 紫波、北大農
長、岩手縣技師殺物検査所長、盛
岡市志家幸町
藤倉 一夫 東、長島、關
中東大醫學部、醫博東大藥學教
室、東京市本郷區十駄木町五〇
藤根 吉雄 盛岡、北海道
農事試験場技師、帶廣農事試験
場官舎
藤根 壽吉 福岡、滿洲國
々務院總務廳國道局長新京大和
ホテル
藤田 參也 盛岡、專修大
學教授、東京市瀧野川區中里六

四二〇

淵澤 寛造 盛岡、東大工
科、三田商店東京支店長、東京市
澁谷區豐澤町九
古館市太郎 福岡、東京高
商、橫濱高商教授、東京市小石川
區同心町二五
古館善次郎 福岡、滿洲醫
大附屬醫院藥劑長、奉天市淺間
町四ノ九
古田岩三郎 氣、矢作、第二
延山小學校長、東京市荏原區小
山町五九三
古川 浩 花卷、日本大
學教務課主事、東京市本郷區駒
込千駄木町四九
深澤 省三 盛岡、洋畫家
東京市外吉祥寺一八七五
深澤 紅子 盛岡、洋畫家
省三氏夫人
麓 鼎 水澤、古河電
氣工業會社支配人、東京市荏原
區小山町四九四
船越 文教 和、土澤、東大
文科、神奈川縣立橫濱第一高等
女學校長、橫濱市神奈川區岡野
町一縣立高女官舎

へ

蛇口 哲三 盛岡、盛中盛
岡高農、秋田縣農林技師、秋田縣
廳内
逸見 羊一(舊姓山内) 大
原、大阪電氣局庶務課長、兵庫
縣武庫郡芦屋

マ

松岡 四郎 盛岡、富山縣
書記官經濟部長富山市
松岡 忠一 花卷、盛中東
大農科、宮崎高等農林學校長宮
崎市船塚町官舎
松岡 信男 稗貫、東大政
治科、橋本汽船會社、神戸市平
野矢部町二六三
松田重五郎 遠野、鹿兒島
縣種畜場長、鹿兒島縣給良郡敷
根村
松島小三郎 盛岡、東技書
店取締役、京都市伏見區深草正
覺町九ノ二三
松橋 宗二 盛岡、南部家
々扶、東京市淀橋區諏訪町四二
松川 安世 東、松川、歩兵
第四聯隊東北中學東北商業服務
歩兵大尉、仙臺市
松川 清吉 東、松川、北海
道帶廣警察署長警視、北海道帶
廣町

ホ

堀田 孝藏 花卷、合同運
送重役、仙臺市五番丁二一
堀合 正男 盛岡、辯護士
東京市澁谷區南町平臺二二
堀越 千代 日詰、和洋女
子專門學校長、堀越女學校長、東
京市麴町區飯田町三ノ一五
細川 久 紫波、縣會議
員、志和村長、紫波郡志和村
本田 公男 東、薄衣、平壤
地方法院部長判事、朝鮮平壤府
本堂平四郎 西磐、東京ラ
ヂオ株式會社社長、東京市麴町區
富士見町六ノ八
本正 信藏 膽澤、盛中、東
北大工學專門部、道路技師、栗石
川工營所長、盛岡市長町一九六

ニ

三神 正藏 一關、醫博和
賀病院院長、和賀郡黒澤尻町諏訪
町
三田 義正 盛岡、東京學
農舎、岩手林業南部土地各社長
外數會社重役、盛岡市内丸三四
三田 定則 盛岡、醫博東
大教授
明治九年盛岡に生る、同三四
年東京帝大醫科卒業同助教授
次いで教授となる、法醫學及
血清學界の權威である、大正
三年醫學博士となる(東京市
目黒區三田町四〇)
三田俊次郎 盛岡、東大醫
科、岩手醫專校長岩手産婆看

三

護婦學校長、盛岡市内加賀野三
三田 テル 盛岡、岩手高
等女學校長、盛岡市内加賀野小
路
三田 藤吾 花卷、青森縣
立中學校長、青森市
三浦 直道 盛岡、岩手縣
衛生技師、盛岡市日影門外小路
三浦 密成(舊名道哉) 九
戸、北大農科、關東廳果樹組合
大連市聖德街三ノ二三〇
三船 久藏 久慈、大日本
武德會範士(講道館七段)東京市
四谷區永住町二
三島 駒治 水澤、女子職
業學校主、仙臺市清水小路三
三宅 二一 善通寺衛戍病
院長一等軍醫正
皆川 弘一 東、藤澤、第六
師團軍醫部三等軍醫正、熊本市
皆川庄五郎 東、藤澤、甲府
聯隊區司令部々員、歩兵中佐
宮手 敬治 東磐井、アド
パイス通信社長、東京市杉並區
阿佐ヶ谷六ノ一九五
宮崎 道郎 紫波、縣社八

郷土の人々(宮) ム向(村) モ(本・森) ヤ(八・山)

幡宮社司、紫波郡見前村

宮本 元

空廠造兵少佐、神奈川縣三浦郡田浦町

法科、朝鮮總督府判事京城地方

本宿 家全

法院長、京城府西小路町官舎六

本宿 清太郎

宮 操子

本宿 一郎

東京市四谷區坂町九六宮操子舞踊研究所

本宿 一郎

南洞 孝

本宿 一郎

庫株式會社專務取締役、奉天市八幡町一三

本宿 一郎

森 深覽

森 一郎

大文科、石川縣立金澤第二中學校長、金澤市御徒町四ノ二

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

森 多里

森 一郎

四二二 山屋 他人 盛岡、海軍大



慶應二年盛岡市に生る、明治十九年海軍兵學校、同三十二年海軍大學校を卒業二十一年海軍少尉に任じ爾來第四艦隊參謀長、海軍教育本部第一部長兼第二部長、海軍大學校長、海軍々令部次長、第一艦隊司令長官、聯合艦隊司令長官、横須賀鎮守府司令長官等に歴任、輝く經歷を有し海軍大將たり、往年海軍部内に於ける山屋戰術即ち「丁字戰法」「乙字戰法」創始したことは最も著名な話である。長男太郎(明三三・二生)は海軍少佐である。(東京市世田谷區下北澤八三四)

向井田長純 盛岡、南部家々扶、東京市淀橋區諏訪町四二
村井權次郎 紫波、歩兵中佐、岩手中學校、岩手縣立工業學校服務
村木 維夫 九戸、東大文科、前二高教授、仙臺市北七番丁一六一
村上 勝郎 二戸、東北醫科、醫博福岡病院長、二戸郡福岡町
本宿 哲郎 盛岡、海軍航

吉田文一郎 盛岡、盛中東大林學科、東京營林局利用課長
東京市本郷區西片町一〇(一)一
七 吉田伊兵衛 盛岡、農試廳江分場長、江刺郡岩谷堂町
萬 富治郎 和、土葉、東大政治科、前佐賀縣內務部長、東京市蒲田區蒲田町二五
渡邊榮治郎 和、二子、岩手殖産銀行常務、盛岡市下小路四ノ一

岩手縣町村大觀

岩手日報社 調査部 昭和十年十一月一日現在

岩手郡

○沼宮内町 (沼宮内局) (二) 四番

△沿革 本町は岩手郡の北部に位し、盛岡市より九里、東

郷土の人々(弓・遊) ヨ(横・芳・米・吉) ワ(渡)

北本線上野驛より三百五十哩の地點にあり、北上川水源地に近く、四方御堂村に隣接し、天正年間沼宮内民部の領地だったが九戸政實に征せられ南部氏の領域に歸し爾來、代官

所の置かれた地である、明治二十二年四月一日町村制實施の際町制を施行す
【現況一斑】△人口四、一五一人△戸數六七二戸△面積〇、八方里△大字名沼宮内、江刈

四二三

岩手縣町村大觀——岩手郡

柴田大次郎 米田善治 柴田陸三 佐々木專八 澤田勤兵衛 柵山毅一郎 齋藤儀兵衛 上野彌太郎 在郷軍人分會長正八佐々木繁三 青年團長箱石愛造 女子青年團長武田彩吉 消防組頭齋藤儀兵衛 農會長柴田兵一 產馬畜産組合長高橋直記 家畜保險組合長同人 信用組合長柴田兵一 養蠶實行組合長同人 岩手殖産銀行支店長澤田豊 煙草販賣所長祖父尼清治 開業醫佐々木浩吉 謝向榮盛岡病院沼宮内分院長大江利雄 常設館高橋山口清治 旅館上路旅館上路彌太郎 柴十旅館柴田十助 高橋旅館北野チタ 料理店吉田屋吉田巳之松 翠月高橋チヨ 沼福寺藤澤嶺道 大蓮寺工藤英山 郷社稻荷神社役員天理教會北岩手宣教所柏田元次郎

○玉山組(玉山二九番)

△沿革 本玉山村は明治二十二年町村制實施の際上田村の盛岡市に屬せる分を除きたる

(宇棟森、小野松、小島澤、松屋敷、黒石野、岩脇、上赤平、下赤平、達會部、黒岩及川又、日戸玉山)の三村を併せて玉山村となした。藪川村は山岳多く戸口少いが往昔より獨立村にして分合等ありし事なく明治二十二年町村制實施の際に資力乏しく單獨に一役場を設置する能はず玉山村と組合役場を設くるに至つた

【現況一斑】△人口(玉)一、七六〇人、(藪)四三二人△戸數(玉)三七八戸(藪)一三五戸△面積(玉)四、八五六方里(藪)一三、七一二方里△大字名玉山村川又玉山山上田日戸、藪川村には大字なし△生産高總額(玉)二二九、八三一圓(藪)二七、八八二圓△昭和十年年度豫算總額二、九七四圓

△沿革 元陸中南岩手郡新庄村同淺岸村、同加賀野村の三村だつたが明治二十二年二月右三村を合併して岩手郡淺岸村となり現在に至る

○太田村(盛岡局)

【現況一斑】△人口二、三三三人△戸數三〇〇戸△面積八方里△大字名川目、築川、根田茂砂子澤△生産高總額一五〇、三七〇圓△昭和十年年度豫算總額一、一五〇圓

吉田長七 吉田忠太郎 大平政治 佐々木三太 細矢仁右衛門 細矢長右衛門 下村末藏 砂子澤三太郎 在郷軍人分會長關田源藏 川目青年團長吉田久作 川目女子青年團長村井秀磨 築川森林消防組合吉田長七 農會長吉田利左衛門 築川信用購買販賣組合長佐々木三太 築川青年團長川村好延 築川女子青年團長赤坂福治 根田茂同千葉磨 砂子澤同小笠原仁助

○中野村(盛岡局)

【現況一斑】△人口二、八二二人△戸數四五六戸△面積〇、三七八方里△大字名中野、東安庭、門△生産高總額一九五、四四一圓△昭和十年年度豫算總額一八、六一七圓

△沿革 明治維新廢藩之際盛岡縣となり戸長を置き戸籍を管し戸長副戸長百姓代をして一般村務を取扱はしめたり、其後仙北町に戸長役場を設け仙北町村外八ヶ村の事務を取扱たるも明治二十二年町村制の實施に伴ひ本宮村、下鹿妻村、向中野村、仙北町村の四ヶ村合併して夫々大字名となし茲に村名を本宮村と稱し現今に至る

○本宮村(盛岡局)

【現況一斑】△人口三、八八九人△戸數六七五戸△面積〇、六三九方里△大字名本宮、下鹿妻、向中野、仙北町△生産高總額三四七、二二二圓△昭和十年年度豫算總額四七、〇八四圓

△沿革 其の開創年代詳からざるも舊藩主南部公累代の領土にして世々藩主御用米の生産地にして領内に其の名を得たり、明治十二年一月四日南岩手郡となり後町村制實施に伴ひ村名を太田村と稱し自治制の施行を見るに至る更に同二十九年三月郡を改め岩手郡となり現今に至る

【現況一斑】△人口四、二二八人△戸數六三九戸△面積一、一九平方里△大字名上太田、中太田、下太田、猪去、上鹿妻△生産高總額四一二、八五二圓△昭和十年年度豫算總額四五、〇五九七圓

岩手縣町村大觀——岩手郡

岩手縣町村大觀——岩手郡

耶 勳八箇澤德藏 田具興藏 在郷軍人分會長織田一 男子青年團長村上哲男 女子青年團長館澤壽太郎 消防組頭勳八佐々木佐次郎 農會長館澤繁次郎 信用購買利用組合長佐々木休次郎 産婆村上ゆき 熊谷タキ 神職勳七山口大吉 曹洞宗大松院上田嶺道 村社熊野神社勳七山口大吉 村社熊野神社勳七山口大吉 村社愛宕神社勳七山口大吉 村社八幡神社鈴木道男

○御所村 (栗石局四番)

△沿革 岩手郡の西南部に位し東は岩手郡太田村紫波郡不動村水分村に境し南は稗貫郡湯本村に界し西は和賀郡澤内村北は御明神村栗石村と接し東西五里南北四里にして廣漠たる僻村である

【現況一斑】△人口四、七五三人△戸數六三〇戸△面積一四方里△大字名、繫西安庭、南畑鶯宿△生産高總額一八二、七六八圓△昭和十年度豫算總額三五、〇三一圓

村長高橋清 助役高橋廣吉 收

入役高橋助三郎 村會議員青山眞吉 村田愈一 米澤三太 米澤與右衛門 細川嘉章 細川吉太郎 徳田嘉門 細川與左衛門 石川藤次 瀬川房治 三河與三郎 在郷軍人分會長高橋金六 男子青年團長桐野聞二 女子青年團長高橋清 消防組頭高橋清次郎 農會長高橋清 産業組合長高橋清 産婆高橋タロ 繫温泉旅館愛善館 日東館 御所閣 藤倉神社 山祇神社

○御明神村 (栗石局二番)

△沿革 嘉永三年佐々木盛綱が奉ぜし御劔を木村太郎四郎が携へ近江より出羽に下向の折龍川を渡渉當村に赴く時水勢強く流失せし御劔をこゝに安置し後承元元年源實朝が世に社を建立しこの村を近江明神村と稱してゐたが何時となく訛りて御明神村となる

【現況一斑】△人口三、五九〇人△戸數五五二戸△面積一二方里△大字名上野、御明神、橋場△生産高二九一、七〇二圓△昭和十年度豫算二五、一

田留之助

○瀧澤村

△沿革 岩手郡の略々中央に位し東方は厨川村に隣し北上川を隔て、玉山村に相對し南に栗石川を以て太田村御所村に接し西は西山村、栗石村に北は田頭、大更、澁民各村に相連接して東西三里半、南北六里の面積である

【現況一斑】△人口五、九二七人△戸數八五五戸△面積十四方里△大字名大釜、篠木、大澤鶴飼、瀧澤△生産高總額二七一、二〇三圓△昭和十年度豫算總額三一、八五〇圓

村長柳村兼吉 助役收入役澤目岩治郎 村會議員田沼甚八郎 武田三五郎 吉清水金太郎 土井尻隆 武田三右衛門 三上孫太郎 澤村孝作 齋藤勝三 高橋權四郎 石川善五郎 石川勇太郎 下田直太郎 上野善太郎 岩井清 角掛吉太郎 柳村兼吉 柳村清吉 高橋松太郎 在郷軍人分會長井上專次郎 青年團長田沼甚八郎 農會長田沼甚八郎

八〇圓

村長下川原金藏 助役勳八白木善次郎 收入役築場春治 村會議員小田中末作 勳八新里貞治 上野與惣右衛門 四ツ家重高 岩持義孝 谷地重之助 米田清藏 勳八功七四ツ家萬次郎 南里澤與吉 曲谷地惣次郎 山津田竹松 千葉源二 在郷軍人分會長南黒澤定吉 青年團長築場春治 女子青年團長及川直巳 消防組頭岩持義孝 農會長小田中末作 衛生組長岩持覺治 信用購買組合長小田中末作 養蠶實行組合長長内七五郎 橋場製材行組合長長高見三藏 橋場運送合資會社長福井實 森林消防組頭勳八中村千代治 小學校長青年學校長正七及川直巳 駐在巡查川村重次郎 橋場驛長本館福太郎 産婆觀音堂みき 國見旅館石塚鶴松 料理店みよし天瀬榮作 村社多賀神社谷地重之助 第一拓殖訓練所 盛岡高等農林學校演習林 同經濟農場 國見温泉

○西山村 (栗石局三番)

○厨川村 (盛岡局)

△沿革 往昔工藤氏の領域で厨川城がありその開拓は古い明治維新後八ヶ村戸長役場の管理だつたが明治二十二年町制實施の際に際し上厨川、下厨川、平賀、新田、土淵の四大字を以て形成した大正二年六月十日盛岡市區改正に依り下厨川の一部を盛岡市に編入す

【現況一斑】△人口四、九二六人△戸數九〇四戸△面積一方里四九七△大字名上厨川、下厨川、平賀新田、土淵△生産高總額一七八、〇〇〇圓△昭和十年度豫算總額二八、四五〇圓

村長 (缺)、助役近谷英太郎 收入役伊東喜一郎 村會議員高橋嘉太郎 石川留次郎 小松初次郎 井上慶次郎 山内富三郎 藤田源太郎 加藤藤吉 從七中島安太郎 小原忠兵衛 工藤松

四二六

【現況一斑】△人口四、〇二六人△戸數六一〇戸△面積一二方里△大字名長山、西根△生産高總額三三五、八六五圓△昭和十年度豫算總額二六、三〇九圓

村長上野石太郎 助役堂前龜治 收入役高前田喜茂 村會議員中川廣吉 上野勘六 岡本壽司 村上三郎 野中千助 葉上恒太郎 山崎喜壽郎 柿木義雄 篠村幸次郎 中村信吉 矢幅新一郎 櫻田長五郎 在郷軍人分會長矢幅新一郎 西山青年團長下田政彌 消防組頭小田與惣治 農會長上野勘六 信用購買販賣利用組合長上野石太郎 土工森林組合長上野石太郎 養蠶實行組合長上野石太郎 放牧組合長上野石太郎 森林消防組頭四ツ家軍一郎

○栗石村 (栗石局一番)

△沿革 栗石郷は古來瀟石と謂ひ岩手郡の西端に位し其の境圍は今の四ヶ村(栗石、西山、御明神、御所)を以て變ることがない瀟石郷の名は興

國二年「白河結城文書」に見えたのを始めとし「藩翰譜伊達行朝勤王事歴」等に依つて文治の頃まで溯ることが出来る併しながら文治以前は何等據るべき文献がない

【現況一斑】△人口三一八八人△戸數五四五戸△面積二方里△大字名一二△生産高總額一七一、八七九圓△昭和十年度豫算總額二八、八九七圓 村長生内琢造 助役勳八正木泰作 收入役大和富太郎 村會議員諏訪廣衛 長坂徳助 山田長三郎 築場市右衛門 本郷宗幸 勳八石塚吉郎兵衛 生内靖士 高橋精造 高橋寅吉 正八平井謙三 堀合庄次郎 川村徳次郎 在郷軍人分會長勳八正木泰作 青年團長生内琢郎 女子青年團長久慈孝子 消防組頭樋口長次郎 農會長勳八生内定美 開業醫田口博 安本仁藏 旅館上野キチ 佐々木勝藏 料理店石塚吉郎兵衛 諏訪ツカ 廣養寺平井龍三 臨濟寺渡邊綱久 永昌寺藤本捷紀 郷社三社座神社笹

岩手縣町村大觀——岩手郡

四二七

太郎 佐藤眞雄 田中鏡一郎 在郷軍人分會長藤田万次郎 土淵青年團長伊東佐左衛門 土淵女子青年團長帷子甚四郎 消防組頭從七中島安太郎 農會長佐藤眞雄 厨川信用購買販賣利用組合長田中鏡一郎 同衛生組合聯合會長鏡一郎 同西部農事實行組合長伊東佐左衛門 下厨川共同作業組合長山内富三郎 曹洞宗天昌寺岩崎琢宗 村社厨川稻荷神社菊地吉彌 村社神山神社齋藤新太郎

○川口村 (川口局)

△沿革 明治六年以前は百姓代あつたが同五年これを戸長と改め役場を村扱所と稱した同十五年沼宮内と役場を合併したが町制實施後戸長を改め村長とし管轄區域を今日の如くした、同四十二年現在の位置に役場を設置す

【現況一斑】△人口四、二九五

郷部落の三區に大別す△生産高總額一八七、五九五圓△昭和十年年度總額一二、一三二圓

村長 助役高田善次郎

收入役千葉富太郎 村會議員佐藤喜右衛門 久保松太郎 圓子伊三郎 引木清次郎 工藤幸太郎 宮手多夫 菊宿清次郎 瀧本勘次郎 和田富藏 佐藤長十郎 鹿討兵三 山崎甚太郎 在郷軍人分會長正八帷子五郎 青年團長正八瀧川清志 女子青年團長勲八菅原大吉 消防組頭鹿討兵三 農會長久保松太郎 信用購買販賣利用組長圓子伊三郎 養蠶實行組長佐藤喜右衛門 養蠶實行組長高橋清左衛門 合同運送會社長久保倉吉 旅館久保倉吉 岩崎權十郎 明圓寺藤本東岩 稻荷神社千葉重次郎

○卷堀村

△沿革 明治二十六年卷堀村馬場村、永井村、好摩村を合し川口村の内寺林をも合併して卷堀村とし、村役場を大字卷堀に置き今日に及ぶ

【現況一斑】△人口三、七六三人△戸數五二二戸△面積三万三三三△大字名卷堀、馬場、永井、好摩、寺林△生産高總額一八八、一五〇圓△昭和十年年度豫算總額二三、四二九圓

村長勲八齋藤熊太郎 助役村山百治 收入役高橋喜三郎 村會議員齋藤熊太郎 村山百治 龜井直教 成島忠三郎 高田勇 工藤愛國 工藤定平 佐々木新太郎 八重畑重八 千葉寛造 榊澤久五郎 在郷軍人分會長正八工藤愛國 青年團長正八同人女子青年團長從七井上嘉之助 消防組頭龜井直教 農會長勲八齋藤熊太郎 卷堀耕地整理組長同人 卷堀東養蠶實行組長村山百治 卷堀西養蠶實行組長龜井直教 馬場養蠶實行組長小綿孫次郎 卷堀信購買利組長工藤愛國 開業醫八角野 齒科齋藤井賢造 旅館高田イト 村社卷堀神社正八工藤愛國 村社森崎稻荷神社同人

○遊民村 (三三番)

【現況一斑】△人口三、四一七人△戸數五〇三戸△面積五万三三三△大字名遊民、芋田、門前寺、下田、川崎、松内△生産高總額三七一、七九八圓△昭和十年豫算總額二九、〇五三圓

村長竹田佐太郎 助役沼田友太郎 收入役花坂作兵 村會議員一戸直人 福田久太郎 沼田吉衛 立花末次郎 駒井太兵衛 沼田清次郎 荒屋岩太郎 高橋寅之助 島山廣治 坂本與左衛門 竹田宗右衛門 岩崎寅吉 在郷軍人分會長沼田權次郎 男子青年團長伊五澤文作 女子青年團長下田シゲユ 消防組頭沼田吉衛 農會長駒井太兵衛 産業組合長同人 綿羊組長沼田清次郎 寶徳寺遊座孝節 喜雲寺 駒形神社高橋寅之助 愛宕神社同 八幡宮同

○大更村

【現況一斑】△人口四、九九九人△戸數七〇一戸△面積二万五五四△生産高總額三二二、〇六〇圓△昭和十年年度豫算總額

額三三、〇〇六圓

村長小武方寅次郎 助役井上晃一 收入役工藤進義 村會議員工藤彌兵衛 藤原榮吉 高橋六郎 裴岩徳次郎 工藤與次郎 伊藤吉美 正八小原榮太郎 田村謙六 正八日戸久彌 鈴木宗八 島山要吉 田村一三 在郷軍人分會長正八日戸久彌 男子青年團長正八日戸久彌 女子同小武方寅次郎 消防組頭工藤彌兵衛 農會長正八立花喜兵衛 養蠶實行組長正八小原榮太郎 信用購買販賣利用同佐々木仁太郎 第一區農事實行組長工藤重吉 第四區同伊藤吉美 第五區同井上晃一 第六區同日戸廣治 第七區同島山要吉 第八區同田村一三 第二三區同遠藤仁太郎

綿羊組長正八立花喜兵衛 郷軍岩手郡聯合分會長正八立花喜兵衛 岩手郡聯合青年團第三區會長日戸久彌 大更合同運送株式會社社長正八高田勇 産婆廣島ミサ 旅館立花好枝 料理店久慈治三郎 村社八坂神社正八工藤

愛雄 大更酒造合名會社長里館政治郎 衛生組長高橋六郎 華果出荷組長高橋六郎 郵便局長工藤又次郎 大更驛長渡邊孔平 大更尋高小學校長藤澤秀字澤小學校長高橋兵庫

○田頭村

【現況一斑】△人口三、三二三人△戸數五〇六戸△面積一五里五分△大字名 田頭、平笠△生産高總額(昭和九年度)二七八、〇四三圓△昭和十年年度豫算總額一八、一三三圓

村長泉澤信吉 助役勲八舟見辰太 收入役加藤榮三郎 村會議員伊藤芳太郎 遠藤善之助 松村治助 高橋孫太郎 遠藤福松 高橋彌四郎 藤原茂吉 伊藤卯七 工藤榮三郎 工藤佐次郎 工藤壽太郎 在郷軍人分會長平野孝三 田頭青年團長吉田谷五郎 平笠同吉田義雄 消防組頭川村賢次郎 農會長正八三田村實 田頭村養蠶組長佐々木善助 平笠信購買利同高橋忠次郎 田頭村衛生同佐々木善助 田頭村綿羊同加藤榮三郎 田頭村養

鶏同杉本長八 産婆武田テル 曹洞宗東慈寺駒ヶ嶺泰明 曹洞宗吉祥寺丹内宗海

○松尾村

△沿革 舊南部藩に屬し沼宮内代官所の支配だったが明治二十二年町制實施に際し松尾、野駄、寄木の三ヶ村を合併

【現況一斑】△人口六、八三四人△戸數一、一一二戸△面積一五方里△大字名松尾、野駄 寄木△生産高總額三、三〇六、九八一圓△昭和十年年度豫算總額四三、一四二圓

村長中村四郎 助役島山刈男 收入役 村會議員高橋直記 村井末太郎 村井菊治郎 工藤仁太郎 佐々木友彌 松尾久米吉 乙部園馬 高橋勝五郎 高橋幸三 田村午吉 根守善次郎 高橋福次郎 高橋彦松 高橋岩 高橋與七 菊池文四郎 高山要之助 在郷軍人分會長高橋吉三 松尾青年團長高橋喜四郎 松尾鑛山同鎌田耕一 消防組頭島山刈男 農會長島山刈男 野駄信購買利組長高橋幸三

松尾信購買利同田村正三 松尾村養蠶實行同島山刈男 松尾郵便局長八重樫保衛 松尾鑛業所々長林知義 松尾鑛山郵便局長小郷松郎 鷲連寺山内大雲 普明堂高橋鐵真

○平館村 (平館局)

【現況一斑】△人口二、七九四人△戸數四七六戸△面積一五里強△大字名平館、堀切△生産高總額(昭和九年度)八一、三一三圓△昭和十年年度豫算總額

村長正八勲六猪川傳次郎 助役(缺) 收入役高橋新作 村會議員大釜徳治 小林勇 田村泰次郎 工藤直吉 八重樫傳次郎 勲七小林寛 松浦徳彌 津志田榮吉 高橋金平 田村寛一 井上喜久治 勲八田村新太郎 在郷軍人分會長正八勲六猪川傳次郎 平館青年團長上野雄一郎 平館女子同松浦操子 消防組頭高橋寛城 農會長松浦徳彌 平館養蠶實行組長勲七小林寛 平館農事同小林勇 本平同正八

勲六猪川傳次郎 篠目同田村勇造 堀切同松浦徳彌 森子同勲八佐々木榮八 平館運送合同合資會社長高田勇 田中製材所工場長田中徳三郎 十和製材所工場長十和田傳一郎 開業醫菊池道治 獸醫正八勲六猪川傳次郎 同勲七小林寛 産婆遠藤ミユキ 旅館勲六市川武雄 高橋吉郎 大泉院井上見明 松龍寺田村良禪 郷社八幡宮米澤武

○寺田村

【現況一斑】△人口二、九四二人△戸數四五〇戸△面積五方里△大字名寺田、性子、上關 荒木田△生産高總額(九年度)八五、三〇〇圓△昭和十年年度豫算總額一七、三〇〇圓

村長浦部竹松 助役田村清尙 收入役伊藤安五郎 村會議員佐々木謙次郎 田村倉松 田村光之 遠藤潔 遠藤與三郎 遠藤正志 津志田善之助 小野寺芳太郎 中村角助 中村勇 田村岩吉 在郷軍人分會長田村多八 青年團長中村吉太郎 消防組頭遠藤謙次郎 農會長遠藤潔 寺田村産業組長小野寺芳太郎

岩手縣町村大觀——紫波郡

寺田養實行同遠藤壽次郎 新田農事同佐々木巳之助 斗内農家組合長伊藤甚右衛門

○一方井村

△沿革 舊藩時代南部二十六代信直公が一方井輪臺城に生れた當時から數十年間は一方井刑部の所領であつたが其の後或は沼宮内代官所屬となり或は寺田村と聯合役場となり明治二十二年に至り現在の獨立の自治團體となる

【現況一斑】△人口二、八七六
△戸數三七五戸△面積三方里△大字名一方井、土川、黒内、葉木田、坊、黒石△生産高總額七九、八五四圓△昭和十年度豫算總額二二、一五四圓

村長勳七田村貞庸 助役(缺)
収入役田村政次郎 村會議員遠藤兼松 千葉健次郎 遠藤熊 今松金藏 千葉忠衛 武田與光 三浦半左衛門 帷子辰太郎 千葉喜兵衛 田村貞庸 田村治右衛門 田中圓之助 在郷軍人分會長遠藤小吉 男子青年

團長北村巖 女子青年團長北村巖 消防組頭千葉忠衛 農會長田村貞庸 信用販賣購買利用組合長三浦半左衛門 一方井養蠶實行組合長田村貞庸 黒石同丹内松右衛門 今松農事實行組合長今松三右衛門 黒石同遠藤善藏 輪臺同田村貞庸 館邊同武田與光 産婆田村サヲ 寶積寺四戸秀雄 松長根峰神社 日枝神社

○御堂村 (沼宮内局)

△沿革 沼宮内戸長役場區域沼宮内の一部江刈内、大坊、五日市戸長役場區域五日市、御堂、久保戸長役場區域久保、子抱を合して御堂村とす

【現況一斑】△人口四、六八一
△戸數六六四戸△面積八方里五分△大字名御堂、沼宮内五日市、江刈内、久保、子抱大坊△生産高總額三二一、一三三圓△昭和十年度豫算總額四一、一三九圓二〇錢
村長田村榮太郎 助役(缺)
収入役遠藤善八 村會議員田村

紫波郡

藤吉 福森清吉 柴田榮八 渡三太郎 細野重之 畑山徳松 治稻村俊太郎 高橋與五郎 岩崎太十郎 佐々木榮助 久保一男 在郷軍人分會長佐々木彌右衛門 水堀青年團長民部田清吉 五日市同旭澤 久保同久保一男 岩瀬同細野清八 水堀自警團長田村榮太郎 中央同新堀勝彌 犬袋同山口榮次郎 農會長田村榮太郎 同御堂信用購買販賣利用組合長田村榮太郎 御堂養蠶實行組合長高橋谷五郎 村社白旗神社 八幡神社 北上山御堂觀世音正覺院阿部亮演

○日詰町 (日詰局九番)

△沿革 明治二年七月盛岡藩に屬し同三年八月盛岡縣に屬し同四年第五大區第四番扱所(十、十一、十二、十三、十四十五小區六小區)に編せられ同十二年日詰新田、平澤、櫻町の三ヶ村戸長役場を置き同十七年七月日詰新田外九ヶ村戸長役場となつた同二十二年

四三〇

二月從來の日詰新田櫻町の内(上川原、下川原)を合併して日詰町と稱し今日の行政を採用するに至つた。

【現況一斑】△人口二、三二八
△戸數四五八戸△面積〇、二一四方里△大字名日詰新田櫻町△生産高總額一八七、一四九圓△昭和十年度豫算總額三七、五〇六圓

町長從六勳五藤根新太郎 助役從七橋本善太 収入役佐々木末三 町會議員万石六太郎 内城隆徳 堀内孫右衛門 大森芳郎 渡邊長三郎 勳八志村市助 從七橋本善太 馬場毅 田村丹次郎 木村不二男 高橋與三郎 飯島覺重郎 在郷軍人分會長從七橋本善太 男子青年團長從七勳八遠藤祿郎 女子青年團長同遠藤祿郎 消防組頭高橋與三郎 農會長菅原元次郎 中央農事實行組合長從六勳五藤根新太郎 信用組合長從七橋本善太 養蠶實行同藤原重藏 報國婦人養蠶實行同橋本ツタ 紫波牛馬市場株式會社社長今野良治 銀行支店

長田中利兵衛 煙草販賣所長佐藤信一 開業醫木村雄藏 木村不二男 内城隆徳 産婆伊藤イワ 内城ヒノ 白梅館平井直衛 旅館中村金助 本野旅館本野シヨウブ 美濃屋旅館關シゲ 料理店(長澤屋)藤福重太郎 川芳菅原久雄 末弘佐々木末太郎 來迎寺岩瀨吉雄 勝源寺渡邊雲堂 藥師神社長谷川三三

○古館村 (日詰局)

△沿革 往昔志波城及斯波氏の居館址のあつた所、明治三年盛岡縣に屬し同五年岩手縣と改稱し紫波郡に屬し第六區會所及び日詰扱所の取扱を受く、同三年二月新田外三ヶ村併合高清水寺戸長役場を置き同十七年日詰新田外九ヶ村戸長役場を置き同廿年町村制實施と共に古館村と改稱す
【現況一斑】△人口一、九三八
△戸數二九九戸△面積〇、七方里△大字名二日町新田、高木寺、中島、陣ヶ岡△生産高總額二〇八、四三八圓△昭和十年度豫算總額一三、二八

五圓

村長正八高橋文三郎 助役横澤季吉 収入役加藤憲太郎 村會議員横澤徳四郎 加藤甚九郎 菊池岩松 本田久太郎 勳八中野祖源 勳八長谷川寅藏 正八勳六水本重右衛門 川村武雄 猪原慶藏 正八高橋文三郎 長谷川省三 在郷軍人分會長歩軍猪原清造 古館青年團長永井道正 古館女子青年團長石杜辰郎 消防組頭勳八村上七五郎 農會長水本仁藏 保證責任古館信購販利組合長横澤季吉 産婆水本しづの 猪原カツ 長岩寺瀨川巖雄 本誓寺永井道正 村社走湯神社長谷川三三 無格社木宮神社 善念寺池田豊道 蟠龍寺中野祖源

○徳田村 (矢幅壹番)

△沿革 以前徳丹と稱し先住民族の部落だつたが明治元年松代藩取締となり三年七月盛岡縣と、五年五月岩手縣に屬し十七年東西徳田外六ヶ村の合同戸長役場を置かれ二十二年二月七日徳田村と改稱し本

日に至る

【現況一斑】△人口四、四五七
△戸數六一六戸△面積一、七五方里△大字名高田、藤澤東徳田、西徳田、間野々、土橋、北郡山△生産高總額(九年度)四九五、七二一圓△昭和十年度豫算總額(經常部)二七、一五一圓〇五錢(臨時部)六七、三〇一圓八〇錢、計九四、四五二圓

村長勳八金子長次郎 助役川村長十郎 収入役川村幸次郎 村會議員昆善太郎 昆善重郎 名郷根徳太郎 宮廣安 齋藤梅吉 齊藤義一 菊池慶次郎 谷村久四郎 川村賢治 細川伊治郎 照井正太郎 金子莊一 在郷軍人分會長水本隆三 男女青年團長廣田勘次郎 消防組頭昆威夫 農會長昆威夫 産業組合長金子長次郎 徳田郵便局長菊池民右衛門 産婆吉田キヨ 吉田エン子 高橋ミサホ 高傳寺高田大賢 八幡神社藤原清一郎

○見前村 (盛岡局)

△沿革 維新後一時眞田藩取締所の支配を受け明治二年盛岡藩となり三年盛岡縣同五年岩手縣となる行政区の改革あり其の後五大區二番扱所となり明治十七年七月東見前外十一ヶ村戸長役場となり二十二年町制實施に至りたるものなり。
【現況一斑】△人口三、六〇〇
△戸數五一〇戸△面積〇、八〇二方里△大字名津志田、(河久保、野田、津志田、中島) 東見前(下通、見前町、古館) 三本柳(百目木、權現堂、幅、野中、明戸上下、伊田、笹森大道西) 西見前(上通、館、久保屋敷、下谷地、上谷地)△生産高總額三五〇、〇〇〇圓△昭和十年度豫算總額二七、七一〇圓三四錢
村長吉田萬次郎 助役藤川助次郎 収入役熊谷愛助 村會議員吉田耕一郎 鈴木甚九郎 藤澤正之助 藤澤眞一 武藤文一 吉田龜藏 熊谷末藏 吉田勘之助 藤川勇助 根田倉治 藤澤

岩手縣町村大觀——紫波郡

岩手縣町村大觀——紫波郡

德次郎 鈴木伊定 在郷軍人分
會長正八藤澤多喜藏 男子青年
團長藤川勇助 女子同動八多田
倉次郎 消防組頭吉田健次郎
農會長藤川勇助 産業組合長藤
川勇助 開業醫吉田甚幸 産婆
藤川マツ 鈴木イヨ 清水寺松
田貫參 大國神社 平野神社
北野神社

○飯岡村 (盛岡局)

△沿革 遠く藤原氏の臣飯岡
氏と稱する豪族の據る所とな
り後斯波に屬して元龜年間に
及び叛するの故を以て同三年
四月攻略せられ南部氏に歸し
たりと云ふ、南部藩政時代は
上飯岡下飯岡飯岡新田羽場は
志和郡飯岡通に永井湯澤は向
中野通に屬し明治以後元年十
二月真田戸田兩藩の取締とな
り二年從來の「通」を改めて部
上田部令所管となり明治廿
二年町村制施行以て六大字を
飯岡村と稱す
【現況一斑】△人口四、六〇四
人△戸數六九三戸△面積一方

○煙山村 (矢幅局)

【現況一斑】△人口三、七五四
人△戸數六一八戸△面積二、
三六方里△大字名赤林、廣宮

里七四△大字名下飯岡、上飯
岡、飯岡新田、羽場、湯澤、
永井△生産高總額五三三、四
三三圓△昭和十年年度豫算總額
四六、六六四圓

村長三上善左衛門 助役兼平定
衛 收入役藤澤嘉榮治 村會議
員勳八平館勝承 佐々木榮太郎
勳八小笠原伊太郎 藤澤彌次郎
熊谷元正 三上善左衛門 中村
儀助 中村長次郎 淺沼清五郎
淺沼倉治 川村喜太郎 川村一
三 在郷軍人分會長小笠原善一
郎 飯岡青年團長佐藤泰次郎
永井同田村佐次郎 消防組頭淺
沼清五郎 農會長小笠原善一郎
飯岡信購販組合長三上善左衛門
飯岡村衛生同村上篤藏 養蠶實
行同三上善左衛門 養鶏同三上
善左衛門 長善寺晴山儀眺 秋
葉神社鈴木道男 多賀神社宮崎
道郎

○不動村 (矢幅二番)

△沿革 天正十六年南部信直
公の所領となり享保二十年太
田村は徳田通りに白澤、室岡、

澤、煙山、上矢吹、下矢吹、北
矢幅、又兵衛新田、南矢幅△
生産高總額二一七、〇一六圓
昭和十年年度豫算總額四三、三
〇三圓

村長吉田悌二郎 助役小笠原喜
平治 收入役立花林三郎 村會
議員小笠原謙吉 吉田久四郎
藤井徳治 笹森大助 沼田喜藏
正八高橋理左衛門 勳七山本善
五郎 山本徳次郎 上杉松兵衛
昆源太 在郷軍人分會長正八沼
田小次郎 煙山青年團長正八寶
木長次郎 煙山女子同正八同人
消防組頭橋藤左衛門 農會長吉
田悌二郎 矢幅信用購買販賣利
用組合長細川重三 岩手縣藥工
品販賣利用同佐々木正耕 産婆
齋藤ムツ 旅館東陽館菊池イネ
とみたや田口トミ文化食堂小笠
原喜代助榮庵 藤原キヨ 實相
寺佐々木清明 大木神社室月途
夫 白山神社 熊野神社

○赤石村 (日詰局)

△沿革 延暦年間坂上將軍本
郡に入るや志和城を築きて夷
族を討つに及び大和民族の此
の地に來往し降つて安元の頃
より文治まで比爪氏の所領と
なり南部藩に屬し明治三年盛
岡縣に屬し同四年小區を置か
れた當時平澤十二小區櫻町、
北日詰は十小區南日詰、犬淵
は十一小區後戸長役場となり
明治廿二年町村制實施と共に
五ヶ村を合併して赤石村を置
かれ現在に及べり
【現況一斑】△人口三、三二〇
人△戸數五六二戸△面積一方
里△大字名櫻町、北日詰、南
日詰、平澤、犬淵△生産高總
額四〇、〇〇〇圓△昭和十年
年度豫算總額二七、六四三圓
村長荒木田長藏 助役山口泰治

女子同泉山賢英 消防組頭菅原
武夫 農會長菅原武夫 勳八望
月途夫 本淨寺石龜琢道 龍泉
寺泉山賢英

○水山村 (志和局一番)

△沿革 本村は元宮手外六ヶ
村に分れ南部藩に屬し居たが
明治十二年一月宮手外二ヶ村
と小屋敷外三ヶ村に分離して
各長役場を置いた、同十七年
八月宮手外二ヶ村は上平澤外
四ヶ村と小屋敷外三ヶ村は北
傳法寺外三ヶ村に合し一方上
平澤に一方は北傳法寺に各戸
長役場を置かれ町村制實施に
當り前記の宮手外二ヶ村及南
傳法寺三ヶ村は更に合併して
水山村と改稱し現今に至る

○志和村 (志和局二番)

△沿革 紫波郡の西南隅に僻
在し南は稗貫郡石鳥谷町に連
り西北は岩手郡御所村に接し
北は水山村東は赤石村に隣れ
り地勢東西に長く南北に短し
西方一帶の地は山嶽重疊し往
々人跡の至らざる所あるも東
方の地は田野大に開けた廣約
三里餘、廣袤約一里餘、周圍約
十一里、面積二方里二分二厘
を有す

【現況一斑】△人口二、七二五
人△戸數四三三戸△面積二、
二七七方里△大字名上松本、
外澤、宮手、下松本、吉水、小
屋敷、南傳法寺△生産高總額
二二五、二七〇圓△昭和十年
豫算總額二一、六二七圓
村長坂本鉄治 助役正八谷地館
要一 收入役勳七鷹木松太郎

岩手縣町村大觀——紫波郡

岩清水、北傳法寺、和味の五
ヶ村は北傳法寺通に屬す共に
徳田代官所の所轄となる維新
の鴻圖に依り明治元年直隸と
なり同五年壹月縣名岩手と改
稱後數次の町村編成の改廢あ
り明治二十二年町村制實施と
共に和味北傳法寺岩清水室岡
太田白澤の大字を合併して不
動村と稱す。

【現況一斑】△人口男一、七二
九人女一、七八七人計三、五
一六人△戸數五二〇戸△面積
四、一五方里△大字名和味、北
傳法寺、岩清水、室岡、太田
白澤△生産高總額二〇〇、七
一七圓△昭和十年年度豫算總額
二六、八九二圓
村長細川重三 助役室岡壽正
收入役藤原英一 村會議員藤原
隆人 細川重三 菅原武夫 正
六勳五菅原庄一郎 勳八室月途
夫 菅原長右衛門 白澤平四郎
佐々木淳一郎 村松彌助 細川
市太郎 室岡耕造 高橋興四郎
在郷軍人分會長正六勳五菅原庄
一郎 男子青年團長野澤孫次郎

○赤石村 (日詰局)

【現況一斑】△人口五、六〇一
人△戸數八八九戸△面積三、
三七方里△大字名上平澤、稻
藤、土館、片寄△生産高總額
二六一、八二二圓△昭和十年
年度豫算總額四一、四三一圓
村長勳八細川久 助役阿部久
收入役中山三太郎 村會議員阿
部久 同細川榮三郎 同高橋長
兵衛 同浦田長三郎 同澤田徳
三郎 同藤尾七三郎 同堀田貞
藏 同高田勳次郎 同杉浦吉五
郎 同小田中善七 同高橋善八
郎 同小田中勝 藏同田口重之助
同佐藤八十八 同小田中三郎
同熊谷助太郎 在郷軍人分會長
正八咲山政治 志和村青年團長
勳八細川久 消防組頭細川久
農會長細川久 志和森林保護組
合長同人 志和村道路保護同
人 志和備荒貯金同人 志和
村信用購買販賣利用同堀田貞藏
志和製糖製造合會社長阿部重次
郎 上平澤製糖製造合會同小田中
ムメ 合名會社志和酒造同佐藤
八十八 高橋酒造店工場長高橋
勳四郎 開業醫鈴木正三郎 産
婆渡邊ツタ 旅館出口眞道 料
理店松野モト 齋藤ミドリ 田

郡 收入役藤原善次郎 村會議員 勳七高野仁左衛門 勳八築田久作 齊藤勘太郎 長谷川佐太郎 勳八長谷川長兵衛 長谷川市郎 中里龜藏 鎌田善作 瀧浦丹治郎 大沼喜右衛門 勳八高橋茂吉 高橋松太郎 在郷軍人分會長勳八阿部庄右衛門 男子青年團長箱崎雄一 女子青年團長阿部金右衛門 消防組頭勳八長谷川長兵衛 農會長鎌田寅吉 産業組合長長谷川佐太郎 衛生同業田由松 開業醫岩動正雄 旅館美濃屋旅館關チヨノ光澤寺藤崎光章 覺王寺岩動秀存 縣社志賀理和氣神社長谷川三三

○彦部村 (日詰局)

△沿革 明治五年盛岡縣を廢して岩手縣と改まりたる際は元彦部村大卷村星山村の三ヶ村とも第十區會所の取扱を受け同八年遠山扱所の取扱を受く同十二年彦部村に大卷村星山村二ヶ村に戸長役場を置き大吠森村の幾部は大吠森村草刈村二ヶ村戸長役場の管轄同

十七年更に星山外六ヶ村戸長役場の設置に際し其の治下となり町村制實施の際彦部村大卷村星山村及大吠森村の幾部併合して現在の彦部村となる
【現況一斑】△人口二、八二二人△戸數四〇七戸△面積一、〇五九平方里△大字名彦部、大卷、星山、大吠森△生産高總額(昭和八年)二四五、八五五圓△昭和十年年度豫算總額(一般會計)二九、七七七圓
村長瑞七佐藤定八 助役橋本長造 收入役山賢次郎 村會議員山久次郎 阿部長次郎 瑞七佐藤定八 近谷亥太郎 川村次郎 正八瑞六阿部友治郎 橋本惣八 阿部久兵衛 佐藤權右衛門 田畑峰治 石川鉄治郎 阿部與吉 在郷軍人分會長石川孝一郎 男子青年團長籠福六太郎 女子同生内多藏 消防組頭佐藤米次郎 農會長正八瑞六阿部友次郎 彦部耕地整理組合長瑞七佐藤定八 大卷同旭八吉田與吉 信購販利同近谷亥太郎 牛乳共同處理同正八瑞六阿部友

治郎 綿羊同正八旭六佐藤長四郎 青馬同佐藤岩松 彦部村佛教會長森田亮淳 産婆田畑スゲ鈴木サノ 高全寺平井龍三 正養寺石ヶ森教岳 長徳寺森田亮淳 愛宕神社百澤神社橋本賢道堤島神社森神社八重島孝文
○佐比内村
△沿革 往昔本村は岩手郡に屬し弘仁二年稗羅郡に屬し建久元年志和郡に屬し延元二年志和城主斯波家長の族川村喜助本村に居館して之を領し川村氏館を失ひて南部氏の領となり寛永四年遠野南部の所領となり以て明治維新に至れり明治二年盛岡藩同三年盛岡縣同五年岩手縣管轄となる
【現況一斑】△人口二、二九八人△戸數三〇二戸△面積一方里△生産高總額一〇一、〇七〇圓△昭和十年年度豫算總額一、五七八圓七一錢
村長佐々木善治 助役沼田輝三 收入役島山智 村會議員多田恵一 藤井小治郎 石杜春松 佐木々善治 高橋武治 橋本作之丞

堀切禮八 佐々木佐太郎 石杜彌太郎 蒲原宮松 勳八畑山久太郎 高橋源五郎 在郷軍人分會長藤原喜市郎 青年團長高橋元一 女子同藤尾壽治 消防組頭松坂賢三 農會長堀切禮八 佐比内信用販賣購買利用組合長堀切一三 芳澤中屋敷砥ヶ崎耕地整理同堀切禮八 中屋敷貞債整理同石杜富藏 芳澤同沼田輝三 佐比内共榮同金田一廉助 産婆工藤ウメ鳳仙寺藤井莊山 熊野神社北村伍八
○赤澤村
△沿革 斯波孫三郎詮直古地を失ふに當り南部氏の領となり後亦家臣藤井糖塚の領地となつたが明治六年同所を盛岡市川原町圓光寺に置かれて其の支配を受く同八年頃遠山正音寺に第六大區十二小區二番扱所を設け戸長を置く同十二年彦部、大卷、星山、佐比内と分れて戸長役場を置かる同十七年赤澤村外五箇村戸長役場とす、町村制實施に際し佐比内村は獨立し山屋村は乙部

村より分れて本村と合す

【現況一斑】△人口二、七〇六人△戸數三六六戸△面積三方里△大字名赤澤、舟久保、紫野、遠山、北田、山屋△生産高總額一四八、五〇〇圓△昭和十年年度豫算總額一七、五四四圓五八〇

村長阿部平太 助役中村直太郎 收入役工藤淺吉 村會議員内村福壽 平館長藏 菅原久左衛門 佐々木徳太郎 阿部平太 似里常彌 大角小作 藤原由藏 工藤清藏 古澤末吉 中村直太郎 吉田巳之助 在郷軍人分會長工藤清藏 男子青年團長工藤喜三郎 女子同阿部平太 消防組頭内村福壽 農會長大角小作 産業組合長藤原由藏 白石郷倉同工藤淺吉 赤澤同池田權治 遠山同中村直太郎 山屋同菅原久左衛門 白石農事實行組合長佐藤國藏 赤澤同池田權治 牛ヶ馬同藤原三太郎 舟久保同工藤平吉 紫野同工藤喜三郎 遠山同西野義七郎 北田同阿部忠治 山屋同福田藤八 産婆遠山サダ

岩手縣町村大觀——紫波郡

工藤トク 正音寺稻田泰堂 郷社白山神社遠山三郎 村社青麻神社遠山三郎 村社山祇神社遠山三郎
○長岡村 (乙部局五番)
△沿革 明治三年盛岡縣に屬す明治五年岩手縣と改稱し東長岡、西長岡は第七區會所の取扱を受け明治八年乙部扱所の取扱を受け同十二年一月二ヶ村併合して長岡村戸長役場を置き同十七年星山外六ヶ村戸長役場の取扱を受く同二十二年四月東長岡村、西長岡村朽内村、水澤村、江柄村、草刈村、大吠森七ヶ村併合して現今に至る

【現況一斑】△人口二、〇八四人△戸數三一二戸△面積一方里九六△大字名東長岡、西長岡、朽内、北澤、江柄、大吠森、草刈△生産高總額一五〇、〇〇〇圓△昭和十年年度豫算總額一三、二七〇圓
村長從七福田善孝 助役北田春松 收入役工藤福治 村會議員藤原徳三郎 横澤直治 勳八北

○乙部村 (乙部局一番)

△沿革 明治七年東長岡、西長岡、朽内、江柄、北澤、手代森、黒川、犬ヶ生、山屋の各村と共に上田通り第六區三小區乙部一番扱所の所管となり同十二年乙部村役場の所管となる同十八年乙部村外七ヶ村(手代森、黒川、大ヶ生、朽内、江柄、北澤、山屋)戸長役場の管する所となり同二十

二年乙部、手代森、黒川、大ヶ生の四ヶ村を併合して乙部村と稱す。
【現況一斑】△人口四、二八九人△戸數六六四戸△面積三、四七二方里△大字名乙部、大ヶ生、黒川、手代森△生産高總額四七九、四二八圓△昭和十年年度豫算總額二四、一八六圓

村長佐々木圓太郎 助役佐々木富太 收入役北田勝三郎 村會議員佐々木善藏 佐々木兼吉 佐々木源八 佐々木富太 北田孫次郎 北田重雄 藤原石雄 重石甚八 北館惠佐吉 樋澤嘉右衛門 吉田慶次郎 田屋富次郎 在郷軍人分會長樹澤長藏 青年團長佐々木善一 消防組頭佐々木富太 農會長佐々木初太郎 信用組合長福田健吉 手代森耕地整理同北田重雄 住友合資會社大ヶ生鐵業所支配人一色準一郎 開業醫福田耕陽 産婆北田エキ 瀧源寺下斗米玄光 如法寺近藤良光 大寺院澤口周悟 村社館林神社

稗貫郡

○花巻町 (花巻局)

△沿革 地名「花巻」の由来兒鳥紀成蝦夷日記(文化五年二月)の一節に和賀河は船豐澤川は橋、こを過ぎて花巻の里にやどる

町政區劃町村制實施以前は元の花巻川口町根子の三ヶ町村を一戸長役場の下に統べて諸政を施行し居たりしが後三ヶ町村各自に役場を設けて分立するに至り大正十二年郡制廢止と共に其年六月根子村先づ花巻川口町の區域に編入せられ次で昭和四年四月花巻町も亦合併の機運に到達し茲に再び三ヶ町村一團となりて町勢の發展に努むることとなり時に町名を花巻町と改めたり

佐藤忠治 松田忠太郎 高橋金太郎 高瀬新太郎 鳥理三郎 阿部彌太郎 小原政治 小瀨川貞次郎 菅原重信 宮澤重次郎 在郷軍人分會長正八平賀網之助 花巻青年團花城支會長正八勳七三田憲 同南城支會長菊池喜兵衛 同花巻支會長正八押切恭次 花巻消防組頭高瀬新太郎 花巻川口町農會會長梅津善次郎 花巻町同松田忠太郎 南城信用購買組會長伊藤彌太郎 有限責任花巻水道利用組會長阿部圓藏 有限責任花巻信用組會長小原政治 松屋合名會社社長瀨川彌右衛門 合資會社松野屋商店菊池彦次郎 花巻同運送株式會社々々長小原政治 合資會社岩田洋服店岩田勳助 同今弘商店高橋弘次郎 同高善商店高橋善次郎 同三星製材所菊池一郎 同綠會瀨川彌右衛門 同丸十魚店熊谷重吉 同似内吳服店似内久藏 伊藤合名會社社長伊藤正吉 同高橋商店高橋源次郎 花巻製製造合名會社社長佐藤秀六郎 同

四三六

宮澤商店社長宮澤直治 縣稗ラムネ製造合資會社社長大内榮助 花巻製綿株式會社社長市野川周助 梅津合資會社々々長梅津東四郎 株式會社箱崎主店社長箱崎庄吉 同東華長會社社長新田久藏 花巻製氷株式會社々々長熊谷新次郎 岩手鹽賣捌合名會社々々長宮澤善治 花巻酒造合資會社々々長佐藤協三 合名會社花盛印刷株式會社々々長三鬼鑑太郎 合資會社瀨川商店瀨川兆次郎 株式會社岩手殖産銀行花巻支店長岡田善次郎 株式會社盛岡銀行花巻支店長佐藤顯三 株式會社第九十銀行花巻支店長鎌田定之助 盛岡電燈株式會社花巻支店長杉田佐一 煙草販賣所長粉川昇 花巻共立病院院長佐藤隆房 平澤醫院院長平澤保之 中島醫院院長島米八 藤井醫院院長藤井謙藏 工藤醫院院長工藤軍司 和田耳鼻咽喉科醫院院長和田文次郎 菅野齒科醫院院長菅野金一郎 金野齒科醫院院長金野英三 高橋齒科醫院院長高橋俊作 里見齒科醫院院長

○石鳥谷町 (石鳥谷局)

△沿革 元盛岡藩の領地明治四年廢藩置縣の改革となり明治七年まで區制第十區管轄なるも明治八年第八大區第一小區域となり好地村外四ヶ村の組合にして取扱所を好地村に置く同十二年扱所を改めて戸長役場とし好地村大瀨川村寺林村の三ヶ村を以て一の戸長役場を置き同十六年改正に依り先の組合五ヶ村の外に大興寺村長谷堂村松林寺村富澤村の四ヶ村を合併し九ヶ村となりて好地村外八ヶ村の一ノ戸長役場を好地村に置く町村制施行と共に中寺林村八幡村を分離して好地村とし昭和三年十月一日町制施行と共に石鳥谷町と改稱

○大迫町 (大迫局)

△沿革 大同年間既に部落を爲してゐた、明治三年盛岡縣郡山郡令所の支配下となり同四年大迫、龜ヶ森、内川目、外川目、佐比内の五ヶ村として祠堂を置き同五年第八區部内となり戸長役場を設けられ郡制改正により第七大區第一番所を置く、同十二年稗貫郡役所の支配となり町村制施行と共に大迫内外川目の三ヶ村組合村役場を置いたが同廿五年組合村を分離して大迫町單獨役場とす

收入役赤坂良三 町會議員西川慶之輔 一井祥三 立花宗吉 村田幸之助 伊勢雄太郎 島萬次郎 島民之助 平澤富次郎 若柳惣吉 山田英知 高橋繁造 在郷軍人分會長梅津善次郎 青年團長梅津善次郎 副青年團長小川浩 女子青年團長及川軍平消防組頭平澤富次郎 農會會長高橋繁造 副農會會長西川慶之輔 稗貫郡產馬畜産組會長島萬次郎 大迫産業組會長 高橋繁造 大迫醬油株式會社々々長西川慶之輔 岩龜製糸合名會社岩龜半藏 宮守自動車株式會社々々長島萬次郎 大迫タクシー合資會社々々長梅津米藏 養鶏組會長島萬次郎 養豚組會長高橋繁造 實費診療院龜山醫院 龜山敬執 富山醫院 富山剛 産婆佐々木ハチヨ 加藤サカ 劇場旭座佐々木千太郎 旅館石川豊太郎 櫻井稻造 富澤儀三郎 料理店小野リミ 吉田ヤス 到岸寺住職昆野秀賢 妙琳寺同衣更着大心 村社愛宕神社々々掌山影廣治

岩手縣町村大觀——稗貫郡

里見禮子 大平醫院長大平貞治 産婆佐藤ヒデ 小田島トメ 山田シヅエ 成島カツ 伊藤クマ 木村カメ 佐々木トキエ 川守ハツ 劇場朝日座瀧田健吉 劇場中央座平賀千代吉 常設館花巻座佐藤賢太郎 旅館野野房三 (北田屋)細川義郎 (藤木)志村儀三郎 (伊藤八)伊藤八五郎 (中島)鎌倉ヒデ (鎌田)鎌田慶次郎 (後藤)後藤慶次郎 (丸善)高橋健吉 (川口)谷川三五郎 (柏屋)藤井吉太郎 料理店富久屋(公會堂)木村イツ 精養軒大木英治 萬福佐々木朋三 萬梅小西ミエ 順覺寺藤枝正雄 廣隆寺谷地益雄 自性院齋藤恭賢 雄山寺豐卷宗峰 瑞興寺四戸雪峰 妙圓寺林義教 圓通寺伊藤千光 宗青寺佐藤大峰 圓城寺小野九峰 松庵寺佐々木芳山 光徳寺鎌倉又典 安淨寺藤館泰山 長久寺佐藤元勝 尊念寺山折哲教 勝行院(管理者)谷地益雄 馳帶稻荷神社稻田龍二 鳥谷ヶ崎神社稻田龍二 諏訪神社平賀政五郎 藥師神社稻田龍二 稻荷神社阿部重壽 愛宕神社

四三七

岩手縣町村大觀——釋貫郡

額四三、八五一圓

町長關庄三郎 助役勲八板垣傳三 收入役八重樫六郎 町會議員八重樫寅藏 藤原脩二 橋善六 關庄三郎 熊谷米藏 勲八板垣春治 鎌田宇助 勲八板垣傳三 菊池善次郎 照井源之丞 菊池正次郎 在郷軍人分會長步少松本万右衛門 男子青年團長關庄三郎 女子同横澤愛子 消防組頭横澤志郎 農會長藤原脩二 好地信用組合長菊池善次郎 石鳥谷産業同勲八板垣春治 煙草販賣所長藤原義俊 病院及開業醫三又宮次郎 荻野一二 獸醫從七高橋敬一郎 齒科醫鈴木憲三郎 産婆三又リサ 佐々木キミヨ 石守座鎌田宇助 旅館大森本店同支店 料理店(末廣) 島山國太郎 同川村俊郎 よしのや藤原よし江 (新龜や)加藤常次郎 (梅縁)金屋ワキ (壽)小西サメ (竹のや)菊池トミ 福盛軒佐々木レン 熊野、山祇、米斗利澤稻荷神社鎌田耕造 大興寺住職山瀬文宗

○内川目村組合村

【現況一斑】△人口内川目村三、七八一外川目村二、二四七人△戸數内四七、外二五二戸△面積内九方里六八二外四、二六二方里△生産高總額内二一、九八五外一〇、九三九圓△昭和十年年度豫算總額内一七、〇三七外一〇、四六七圓 村長勲七瀨川伊佐吉 助役勲八伊藤金太郎 收入役藤原敬造 内川目村會議員勲七藤原良英 佐々木甚一 伊藤乙松 伊藤金雄 藤原富佐 小松己代松 伊藤彌作 松田金藏 藤原庄助 桐田茂右衛門 勲八藤原金松 藤原左右治 外川目村勲八佐々木長次郎 佐藤健藏 佐藤久五郎 佐藤春藏 佐々木善藏 高橋竹藏 佐藤喜藏 瀨川慶助 淺沼芳藏 佐々木忠見 佐々木長作 在郷軍人分會長内川目村吉田喜助 青年團長小松久佐 女子同蒲田佐代治 自警團長勲八伊藤金太郎 農會長勲八伊藤金太郎 産業組合長勲八伊藤金太郎 頁

四三八

債整理同佐々木岩松 同佐々木直人 勲八伊藤金太郎 同小松久佐 同勲八島山盛 養蠶組合會社長伊藤敬次郎 同阿部源東種子耕作同組合長松田金藏 同藤原瀧美 同小松己代松 綿羊同阿部清九郎 産婆山影ハナ 内川目村桂林寺佐々木良傳 縣社早池峰神社司山陰廣司 外川目村在郷軍人分會長佐藤忠治 青年團長佐々木直幸 女子同佐々木マキエ 自警團長佐藤久五郎 農會長淺沼芳藏 産業組合長瀨川伊佐吉 負債整理同佐々木勝太 養蠶組合長佐藤久五郎 同多田己之松 種子耕作同佐藤喜藏 産婆佐藤エス外川目村宗通寺衣更着大心 寺衣更着大心

○龜ヶ森村

【現況一斑】△人口二、七八六人△戸數二八七戸△面積一、四万四里△生産高總額八、五〇〇圓△昭和十年年度豫算總額一、二〇、五四圓 村長菊池武一 助役山崎正 收

○新堀村 (石鳥谷局)

△沿革 郡の北部に位し南は八重畑村北は紫波郡彦部村東は龜ヶ森村西は北上川を境として石鳥谷町に連る従前關口村外七ヶ村戸長役場の管理町村制實施に際し新堀村の地區改村を分離して新堀村の地區改正を爲し今日に及べり 【現況一斑】△人口二、七二一人△戸數四四七戸△面積一、一六方里△大字名新堀戸塚△生産高總額一七五、九九〇圓△昭和十年年度豫算總額二二、五五九圓

村長鈴木金吾 助役藤原佐七 收入役高橋佐左右衛門 村會議員谷藤惣次郎 佐藤信 似内理八 鈴木金吾 佐々木三藏 佐々木三五郎 鈴木福松 高橋萬次郎 谷村久太郎 佐々木治右衛門 勲八鎌田留次郎 藤原友藏 在郷軍人分會長勲八大沼治右衛門 青年團長八重樫芳之丞 女子同古澤忍 消防組頭高橋定吉 農會長藤根俊隆 産業組合長正八佐藤明治 産婆佐々木ミナ 同鈴木コンノ 神職佐藤周右衛門 金剛寺、新仙寺、長善寺、觀音寺、神社八幡宮、同諏訪神社

○八重畑村 (石鳥谷局)

△沿革 北上川東岸に接し北東は新堀村及龜ヶ森村に連り南方矢澤村及和賀郡小山田村と隣接し西南北上川を隔て、八幡村及宮野目村に對す 【現況一斑】△人口三、〇一二入△戸數四九〇戸△面積廣袤東西二、五里南北三、〇里面積一、七四二方里△大字名八重畑、關口、瀧田、五大堂、

岩手縣町村大觀——釋貫郡

東中島、猪鼻△生産高總額二五五、三七〇圓△昭和十年年度豫算總額一九、一三七圓

村長大竹三郎 助役中村其一 收入役佐藤正 村會議員尾形喜代治 小原由五郎 中村萬六 大竹公直 小原忠治 佐藤直治 晴山榮 晴山萬次郎 繼枝彌平 太 工藤敬次郎 川村深松 千葉俊一 在郷軍人分會長勲八繼枝仁太郎 青年團長工藤敬次郎 同菊池操 農會長工藤敬次郎 八重畑村信購販利組合長大竹三郎 救民保護會長大竹三郎 大留、中留、曾市留、水利組合管理者大竹三郎 森林保護組合長大竹三郎 職工同大竹三郎 開業醫工藤敬次郎 正法寺住職小原諦教 光勝守同佐藤智猛 廣濟寺同川守田慧曉 寶壽院同藤原良學 熊野神社社掌佐々木織

○矢澤村 (花巻局)

△沿革 舊藩時代には安徳通りに屬す始めは各村に肝煎ありて之れを治めしが後ち高木外四ヶ村聯合して聯合戸長役

場となり高木村に置く町村制實施と共に併合して矢澤村と稱す

【現況一斑】△人口五、九七三人△戸數九三五戸△面積三六方里△メートル五△大字名矢澤幸田、高松、高木、東十二丁目 生産高總額二九六、一二四圓△昭和十年年度豫算總額三九、二二三圓 村長佐藤一郎 助役佐藤善 勲八川村京吉 收入役佐藤義高 村會議員佐藤龜治 佐藤忠内 勲七功六中島敬八 押切正 熊谷長左衛門 正八菊池森治 正八小原新大 佐藤一郎 勲七松田升次郎 佐藤精一郎 菅原圓藏 佐藤奎吾 佐藤磯一 渡邊彌右衛門 川村典治 高橋信多田左兵衛 在郷軍人分會長多田久吉 矢澤青年團長正八鬼柳茂太郎 矢澤女子同正八鬼柳茂太郎 消防組頭佐藤昌男 農會長正八小原新大 矢澤信用購買販賣利用組合長熊谷長右衛門 矢澤村衛生同佐藤右兵衛 産婆小田島タカ 同富澤トクエ 同

○八幡村 (石鳥谷局)

【現況一斑】△人口二、六八六人△戸數四〇六戸△面積〇、七九五方里△大字名八幡、中寺林、南寺林、江曾、小森林、黒沼、西中島△生産高總額二三一、〇八七圓△昭和十年年度豫算總額二二、三三二圓 村長勲七柳原傳悦 助役菊池良治 收入役勲七功七玉山留吉 村會議員玉山忠兵衛 玉山恵一 永井祐次 大原正藏 高橋道藏 勲七島山郁之助 似内貞治 小田島三郎右衛門 勲八大原清助 晴山一二 勲七柳原傳悦 在郷軍人分會長小瀨川健一 青年團長從七勲七玉山倉吉 女子同從七勲七玉山倉吉 消防組頭大村

四三九

岩手縣町村大觀——稗貫郡

久助 農會長玉山忠兵衛 産婆 首藤忍 料理店榮賀利亭 光林 寺住職三井泰俊 神職鎌田耕造

○湯本村 (花巻温泉局)

△沿革 元花巻部會所に屬し三番扱所を捫ノ目に置き湯本捫ノ目、猿澤、金矢、二枚橋、臺小瀬川、西宮野目ノ八ヶ村を管轄し第四番扱所を大興寺に置き大畑、北湯口、糠塚、南寺林、松林寺ノ五ヶ所を管理し次で(湯本、臺、二枚橋)小瀬川、金矢)狼澤、捫ノ目、西宮野目(糠塚、北湯口)(大畑南寺林)の五ヶ所に戸長役場を設けたが町村制の實施と共に十ヶ村を大字とし現在の如く湯本村の行政區域を爲す

八動六阿部哲之助 收入役勤八八重樫定吉 村會議員中島良藏 高橋龍藏 伊藤庄太郎 藤原久市郎 鎌田志田口 鎌田伊勢吉 鎌田巖三 筑後丑三 勤八佐藤清助 高橋友乙 高橋仁太郎 小瀬川金吾 千葉守一 小田島靖夫 小田島道治 勤七杉村松之助 戸田善治 在郷軍人分會長正八動六阿部哲之助 男子青年團長高橋政右衛門 女子同富手ミヤ 消防組頭小瀬川金吾 農會長正八杉村孫左衛門 無限責任産業組合長勤七杉村松之助 花巻温泉同加勢清雄株式會社花巻温泉電氣鐵道會社加勢清雄 開業醫千葉雄司 同小田島道治 旅館花巻温泉松雲閣、千秋閣、花盛館、蓬萊館、臺温泉阿部ホテル 中島同、松田屋、樂知館、金矢ホテル、花巻温泉料理店和良久、久津奈、喜多田家、春日家、臺温泉山口家、萬歳亭、松山寺正八住職瀨川月峰 郷社八坂神社社掌鎌田宮司 村社羽山同小田島快道

○宮野目村 (花巻局)

△沿革 往古蝦夷の住める地にして田村鷹征夷大將軍として本村北部大字葛に方八丁を築き城を構へて陸奥を支配したり、其の後稗貫郡主に支配せられ南部公の領土たりしも明治五年岩手縣となり町村制施行に際し現在の大字の九ヶ村を合し宮野目村とす

【現況一斑】△人口三、八一三人△戸數五六二戸△面積一、二方里△大字名西宮野目、東宮野目、葛、田力、庫理、柏葉、上似内、下似内、北飯豊△生産高總額二〇一、一七五圓△昭和十年年度豫算總額二二、四二四圓 村長小野崎正三 助役鎌田幸吉 收入役高橋熊治 村會議員勤八高橋彦助 勤八阿部儀兵衛 勤八阿部松之助 齋藤義憲 小田島耕一 櫻田小次郎 高山政右衛門 高橋吉右衛門 高橋武瀨川一三 布佐昌平

○湯口村 (花巻局)

△沿革 大同年間坂ノ上田村鷹當地に來り三祠を祭り現在の太神宮熊野八坂の三社なりと云ひ傳ふ、天文二十四年山陸中納言爲家の子三河守爲重瀨川城に居り其臣釋貫氏家臣に湯口大藏と云ふものありて居住す明治七年當時の行政區第六番扱所を圓萬寺に置き現在の十大字を管轄し、同十一年四戸長役場に置き町村制實施と共に湯口村役場を置く 三田仙平最初の村長にして現在の遊坐傳次郎は十一代目

【現況一斑】△人口六、一六二人△戸數八七二戸△面積九方里△大字名湯口、西晴山、上根子、中根子、圓萬寺、膝立、鍋倉下し澤、鈴、豐澤△生産高總額四一〇、五〇五圓△昭和十年年度豫算總額七七、一六二圓 村長遊坐傳次郎 助役久保田喜三 收入役櫻木久四郎 村會議員高橋萬治 藤井德之丞 照井喜助 藤井源藏 高野橋金藏

平賀清助 鎌田與太郎 高橋良一 阿部晃 阿部覺兵衛 島山幹三 小山田正三 勤八島山三郎 藤原敬八 佐々木正耕 遊坐俊次郎 在郷軍人分會長高橋市太郎 男子青年團長谷藤源吉 女子同阿部晃 農會長佐々木正耕 湯口信用購買販賣利用組合 長照井市太 湯西火防同佐藤政吉 産婆中村イソ 志戸平温泉旅館久保田逸郎 大澤同小原多助 鈴温泉藤三 旅館藤井三右衛門 同藤德同藤井德之丞 同藤友同藤井友次郎 同安淨寺同藤立泰山 西鈴温泉宮澤善治 淨樂寺住職照井眞喜 熊野神社社掌平賀政五郎 八坂同佐藤正雄

○太田村

△沿革 明治七年十二月迄西太田村東太田村と稱す、同八年七月第八大區七番扱所を置く、同九年三月第八大區六番扱所湯口村に合併せらる、同十二年一月太田村戸長役場を置く(民選戸長)同十七年八月圓萬寺外七ヶ村戸長役場を置き合併す、町村制實施太田村

役場を置く

【現況一斑】△人口三、〇三〇人△戸數四四〇戸△面積三二方里△生産高總額一三七、四一二圓△昭和十年年度豫算總額五七、六七五圓 村長正八神武男 助役勤八佐藤喜代太郎 收入役藤原登 村會議員高橋初太郎 佐々木新吉 折居儀八 神異香 清水賢龍 戸來市五郎 藤原喜代治 高橋義雄 勤七安藤長五郎 安藤清藏 在郷軍人分會長正八神武男 男子青年團長藤原登 女子同岩館庄一 消防組頭勤八佐藤喜代太郎 農會長清水賢龍 信用購買販賣組合長佐藤直治 農産加工販賣利用同清水賢龍 開業醫太田越 産婆太田マサヨ 昌觀寺住職神異香 清水寺同清水賢龍 太田神社社掌安藤新八

和賀郡

○黒澤尻町 (黒澤尻局)

△沿革 黒澤尻町と稱するに至つたは康平年間安部頼時

五男正任が今の西磐井郡萩莊村上黒沼より移りて里分川岸に居城するに當り前住地の地名に因み黒澤尻柵と名稱したるに起りしと云ふ、爾來藤原秀衡和賀主馬頭等の所領を経て南部藩に屬し慶長六年に藩命によりて本町を建設し萬治二年新町を建設し爾後黒澤尻代官所の所在地たり維新革命に際し江刺縣より盛岡縣に屬し更に岩手縣となり町村制實施に當り黒澤尻里分村、町分村、北鬼柳村の組合を設立し里分を合せて黒澤尻町と爲す

【現況一斑】△人口一〇、〇三二人△戸數一、七八八戸△面積〇、八五方里△大字名町分里分△生産高總額五九三、四七七圓△昭和十年豫算總額一六、三三一圓 町長澤藤幸治 助役中島宗七 收入役澤藤彌兵衛 町會議員伊藤治郎助 川邊小四郎 古川忠實 片方波治 菊池政司 小笠原由松 郡司種三 木村新次郎

○鬼柳村

【現況一斑】△人口二、五一八人△戸數三八一戸△面積約一方里△大字名上鬼柳、下鬼柳

岩手縣町村大觀——和賀郡——和賀郡

△生産高總額一二四、五九五
△昭和十年年度豫算總額二
二、四六七圓

村長勳七功六高橋興次郎 收入
役星德太郎 村會議員佐藤金之
坂 遠藤鶴右衛門 柏葉令治
勳七功六高橋興次郎 高橋安三
館川市太郎 高橋長八 鈴木哲郎
高田孫吉 勳八菅原市太郎 筒
與助 在郷軍人分會長須川直治
鬼柳村男子青年團長須川直治
鬼柳村女子同千田キヌ 消防組
頭鈴木哲郎 鬼柳信用購買販賣
利用組合長及川勘太郎 正覺寺
住職池田道功

○岩崎村

△沿革 明治二十二年前は岩
崎村煤孫村山口村岩崎新田村
の四ヶ村たりしを一括して今
日の岩崎村とす

【現況一斑】△人口五、六一〇
△戸數八六六戸△面積八方

高橋甚太郎 小原初太郎 小原
喜兵衛 加藤勝之助 高橋善右
工門 武田市五郎 在郷軍人分
會長高橋庄作 藤根村聯合青年
團長櫻井久 消防組頭加藤清吉
農會長高橋德孝 産業組合長加
藤勝之助 開業醫高橋藤作 産
婆折居リチ 旅館かどや加藤七
右工門 料理店笹間屋根子富藏
支那そばや紀室房吉 光林寺岩
岡智見 稻葉神社菊池慶藏

○江釣子村 (黒澤尻局)

△沿革 維新前は和賀川北部
十五ヶ村は黒澤尻通りと謂ひ
黒澤尻に代官所あり、其の支
配下に置かれた、明治五年岩
手縣と改まる、明治十三年郡
を東西和賀郡に分離に當り東
和賀郡に編入せられ、明治二
十二年町村制執行と共に上江
釣子、下江釣子、新平、滑田
鳩岡崎、北鬼柳の六ヶ村を以
て一村を組織、江釣子村と稱
し越て明治三十年東西和賀郡
を再び併合せられ、和賀郡と
改稱現在に至る、昭和七年四
月一日新に十五區制と爲す。

岩手縣町村大觀——和賀郡

清 收入役高橋秀雄 村會議員
高橋菊藏 高橋要作 川口彌平
太 高橋忠之助 工藤定一 高
橋幸造 小田島榮治郎 高橋繁
太郎 高橋嘉八 武田佐助 高
橋徳松 高橋萬治 佐々木孫太
郎 和田豊治 高橋源太郎 高
橋直吉 千田清吉 在郷軍人分
會長小林良一 山口青年團長工
藤定一 煤孫同高橋萬右衛門
岩崎同藤原辨二 消防組頭佐々
木隆八 農會長八重樫哲夫 山
口西部農事實行組合長高橋要作
山口東部同工藤定一 煤孫同高
橋作左衛門 岩崎同小林良藏
岩崎新田同伊藤安治 仙人鑄物
工場長福田喜市郎 夏油温泉旅
館高橋直吉 岩崎村慶昌寺住職
高田孝道 同泉徳寺同高屋禪學
村社二前社掌欠員

○横川目村 (横川目局)

△沿革 維新前南部氏の領地
にして横川目堅川目二村をな
し各村に肝煎所ありて之れを
支配明治二年横川目に村長あ
り花巻部令署の所轄たり同七

【現況一斑】△人口六、一四七
△戸數九五〇戸△面積一方
里一〇三△大字名上江釣子、
下江釣子、滑田、新平、鳩岡
崎、北鬼柳(行政區十五ヶ區)
△生産高總額(昭和九年)二六
一、五一七圓△昭和十年年度豫
算總額(八月末日現在)一〇
三、二六五圓

村長勳八高橋侃 助役八重樫重
治郎 收入役菊池與右工門 村
會議員伊藤孫兵衛 伊藤俊次
小原賢三 小原要助 渡邊清吉
高橋清榮 高橋久吉 石川勘之
助 高橋孫吉 伊藤村吉 勳八
八重樫榮藏 八重樫忠作 高橋
辰太郎 藤原源三郎 後藤長男
松岡孫兵衛 小原直太 藤枝福
次郎 在郷軍人分會長勳八菊池
重五郎 江釣子男子青年團長菊
池與右工門 江釣子女子同從七
勳八小田島忠太郎 消防組頭高
橋重四郎 農會長從七折居明輔
衛生組合長高橋岩松 江釣子信
用購買販賣組合同從七折居明輔
五條丸農事同菊池與右工門 納
税同高田米藏 平和自動車商會

四四二

年戸長と改稱し岩手縣に屬す
同八年十大區七十區四番扱所
の所轄となり同十二年一月横
川目、堅川目二ヶ村より成れ
る村役場の管轄に屬し同十七
年八月に至り横川目、堅川目、
長沼、藤根、後藤五ヶ村戸長役
場に編入せられしが町村制の
實施と共に横川目堅川目を以
て横川目村とす

【現況一斑】△人口四、一五八

△戸數六九三戸△面積七、
六方里大字名横川目、堅川目
△生産高總額三六〇、六五三
圓昭和十年年度豫算總額六二、
六二八圓二八錢

高橋長藏 製材所長佐藤丑松
開業醫伊藤繁治 江釣子婦人會
長從七勳八小田島忠太郎 江釣
子村社會教員委員會會長八重樫重
治郎 江釣子郵便取扱所長正八
高橋忠七 産婆及川シゲミ 料
理店(末廣)瀨川メキ (一力)高
橋リシ 全明寺小笠川秀孝 通
來寺石田景因 江釣子神社高橋
勘四郎 八坂神社高橋孝全 ⑥
齋藤運送店主齋藤徳次郎 ⑦江
釣子運送店主八重樫重治郎

○笹間枝 (笹間局)

△沿革 本村南笹間、中笹間
北笹間(俗に三笹間と謂ふ)は
元笹間と稱する一村なりしも
後分ちて三村とす其年代詳か
ならず維新前までは南部氏の
領域にして明治元年十二月直
屬となり陸中國に入る明治二
年江刺縣三年盛岡縣に編入五
年岩手縣に入る町村制實施の
際前記三ヶ村に轟木、枌内、
横志田、尻平川の四村を併合
して現在笹間村となる。

【現況一斑】△人口四、二八一

組合長小原專三郎 第一横川目
養實實行同照井廣治 同電氣組
合長照井作松 下村森林保護同
佐藤甚平 横川目森林保護同菊
池六郎 衛生組合長菊池良平
同納稅組合同菊池甚五郎 神樂
島納稅同菊池恂孝 横川目運送
會社長相澤岩松 保證責任開業
醫小原源雄 横川目村信用販賣
購買利用組合長菊池金藏 横川
目信用購買同照井源九郎 産婆
菊池タカ 小田島スミ 旅館横
黒館小原傳八(かどかみ)小原
乙治(金盛堂)及川清四 料理
店(丸八)八重樫圓次郎(改新
亭)伊藤清吉(昭和亭)小原ハ
エ(萬佐久)高木トキ 神職伊
藤龜次郎八坂神社高橋久一 白
山神社清水辰之助

○藤根村

【現況一斑】△人口三、二〇〇人
△戸數四八〇戸△面積二方里
△大字名藤根、長沼、後藤△昭
和十年年度豫算總額一九、五七圓
村長池田幸七 助役加藤清吉
收入役菊池庄右工門 村會議員
菊池忠藏 池田幸七 伊藤仁左
工門 高橋伊作 高橋彌右工門

人△戸數六七八戸△面積八、
九方里△大字名 中笹間 南笹
間、北笹間、轟木、枌内、横
志田、尻平川の七大字に分つ
△生産高總額(昭和九年生産)
二三四、九六九圓△昭和十年
年度豫算總額三一、八五八圓

村長八重樫利康 助役伊藤昌三
收入役伊藤悦治 村會議員清水
東海 本館權太郎 八重樫熊次
郎 佐藤理助 高橋耕一 高橋
丹次郎 高橋良八 長野忠次郎
八重樫作兵衛 伊藤市太郎 小
泉三藏 阿部榮太郎 在郷軍人
分會長伊藤市之丞 笹間村青年
團長八重樫卯藏 笹間村女子同
藤枝忠雄 消防組頭小原忠敬
農會長照井一郎 産業組合長猫
塚四郎 養鶏同高橋傳太郎 養
蠶實行同高橋喜代志 新興養蠶
實行同小原曰三 開業醫高橋丹
次郎 産婆本館やゑ 神山アイ
料理店(さゝや)八重樫末次郎
(小田中)小田中廣志 東光寺清
水東海 延明寺藤本正道 八幡
神社福山比良夫 内室稻荷神社
八重樫仁孝 將軍寺神武雄 圓

四四三

岩手縣町村大觀——和賀郡

德寺石田德盛

○飯豊村

村長太田代貞次郎

○二子村

【現況一斑】△人口二、九四三
人△戸數四六九戸△面積一方
里△生産高總額二十萬圓△昭
和十年年度豫算總額二萬三千圓
村長渡邊留吉 助役高橋謙之助
收入役及川嘉介 村會議員勳八
小笠原貞次郎 高田良治 小原
眞人 高橋嘉次郎 正八勳六中
野收三 梅木政一郎 勳七鈴木
兵次郎 勳七及川卯兵工 筒井
七太郎 及川善太郎 和賀賢次
郎 久米眞興 在郷軍人分會長
勳八小笠原次郎 二子村青年團
長高橋信太郎 二子村女子同
人 消防組頭正八勳六中野收三
農會長中野收三 二子信購販利
組合長渡邊留吉 川邊酒造株式
會社長齋藤四郎 開業醫小原眞
人 産婆小原ミサオ 金剛山遍
照寺久米眞興 梅澤山永明寺上
野昌峰 村社八幡高橋孝全 白
鳥神社齋藤左一郎

○更木村

△沿革 往古北上川は稗貫郡
高木島(今の矢澤村大字高木
並に東十二丁目をいふ)より
更木に至り東山根に沿つて流
れ後年變遷して現在の河身と
なれりと云ふ、臥牛は元更木
と一村なりしを天保十四年分
けて臥牛村を置きしが町村制
實施に當り合して一村とす。
【現況一斑】△人口二、二二五
人△戸數三八七戸△面積一、
九方里△大字名更木、臥牛△
生産高總額二三九、六一八圓
△昭和十年年度豫算總額一六、
五三九圓
村長勳八千田甚太郎 助役平野
泰司 收入役小田島定夫 村會
議員川村垣吉 藤島長次郎 藤
村耕野 澤田長太郎 正八千田
善内 平野三藏 齋藤四郎兵衛
千田慶達 福盛田乙五郎 中村
萬右工門 勳八菅原祐七 在郷
軍人分會長小田島定夫 更木青
年團長及川善八 消防組頭正八
千田善内 農會長勳八千田甚太
郎 更木信用購買販賣利用組合
長藤村耕野 更木村養蠶實行動

八千田甚太郎 更木島耕地整理
同人 更木村衛生同千田善太
郎 更木村養豚同千田胤雄 開
業醫澤間澤昌壽 産婆松山ヨネ
千田マリナ 永昌寺吉田行戒
正覺院 菅原神社松山重治 新
山神社遠藤重治郎
○立花村
村長小田島嘉平
○中内村 (土澤局二番)
△沿革 郡の東部に位し東は
本郡谷内村に南は江刺郡福岡
村及本郡立花村西は更木村に
接し北は猿ヶ石川を狭みて東
部十二箇村に相對す而して地
勢岡槽起伏し其の間九ヶ部落
を爲せり即ち現大字之れであ
るが町村制實施の際聯合して
中内村を成す。
【現況一斑】△人口二、七九〇
人△戸數四四七戸△面積二方
里弱△大字名 中内、南成島、
小通、落合、毒澤、浮田、駒
籠、石持、宮田△生産高總額
二四一、三五〇圓△昭和十年
年度豫算總額一七、二三五圓
村長藤井省吾 助役千葉喜久造

四四四

收入役勳七小原京藏 村會議員
勳八佐々木淺吉 藤井省吾 青
木寛三 正七勳六青木重之助
小原辰澄 薄衣寅吉 千田保治
千田五六 日下藤五郎 昆孫左
工門 佐々木省三 千田佐次郎
在郷軍人分會長勳七佐々木門藏
中内村青年團長下坂耕平 中内
村女子同藤井省吾 消防組頭正
七勳六青木重之助 農會長佐々
木省三 保証責任中内村信購販
利組合長千田稻藏 開業醫正七
勳六青木重之助 同千田五六 産
婆小田島サワ 曹洞宗常泉寺伊
藤千成 村社熊野神社勳七佐々
木門藏 村社幸神社伊藤徳五郎
○谷内村 (土澤局三番)
△沿革 本村は元中内村外十
八ヶ村戸長役場に所屬し夫々
職務し來る處明治二十二年町
村制實施に當り本村十、大字
を一括し現在の谷内村と改め
られた現在の行政区は十、大
字を九區に分つ。
【現況一斑】△人口四、八〇七
人△戸數七百二戸△面積八方

里△大字谷内、鷹巢堂、小友、
館迫、晴山館迫、町井、砂子
小原、倉澤、田瀬以上十大字
なり△生産高總額三二六、三
〇〇圓△昭和十年年度豫算總額
二五、七七〇圓
村長小原實道 助役勳七多田喜
七 收入役下林孫市 村會議員
小原千幸 勳八伊藤泰治 小原
長藏 多田孫吉 勳八菊池俊治
中島一二三 菊池資郎 勳八菅
谷二朗 勳八朝倉正左衛門 古
澤全志 阿部政藏 多田一郎
在郷軍人分會長正八菅野直喜
谷内村男女青年團長小原實道
消防組頭菊池資郎 農會長菊池
理郎 倉澤信用販賣利用組合長
大松吉見 谷内信用販賣購買利
用同小原實道 福藏寺鷲盛祖淳
興禪寺古澤全志 御社丹内山神
社從七小原兄磨

○十二箇村 (土澤局一番)

△沿革 康平年中源頼義安部
氏征討の際現八幡社境内に上
刺の筒矢十二本を立て、戦勝
を祈願せし由來に因り村名を
十二箇矢村と稱へた、後十二

岩手縣町村大觀——和賀郡

箇村と改稱す明治三年は土澤
町、十二ヶ村、東晴山村、安俣
村、北成島村の一町四ヶ村に
分ち村に肝煎、町に檢斷あり
て事務を取扱つた、明治四年
四月村に村長、副村長百姓代
を置き第九區會所の所轄とな
り後八年第十一區一番扱所
を淨光寺に設く同十三年十二
ヶ村役所を十二ヶ村に置き同
十七年十二ヶ村東晴山村、安
俣村、北成島村、上小山田村
下小山田村を合して戸長役場
を土澤に置かれ官選の戸長を
して之を統轄せしめらる明治
二十二年現今の十二箇村とす
【現況一斑】△人口四、三五五
人△戸數八一〇戸△面積二方
里三三二△大字名十二ヶ、安
俣、北成島、東晴山△生産高
總額四八九、八三八圓(但し
昭和八年度分)△昭和十年度
豫算總額三〇、一三七圓
村長小原多藏 助役八重樫孫太
郎 收入役從七勳六小川萬藏
村會議員勳七平野新八 同長原
久吉 同淺沼徳治郎 同中西尾
虎之助 同及川勇吉 同及川幸

太郎 同從七勳六高田善兵衛
同勳八藤本松太郎 勳七八重樫
又造 同小原彌一郎 同松原苞
同菊池桂太郎 同菊池壽郎 同
菊池英一 同正八多田源之助
同及川吉彌 在郷軍人分會長正
八多田源之助 青年團長及川全
三 女子同佐々木俊隨 消防組
頭從七勳六功七高田善兵衛 農
會長赤坂三郎 十二箇信用販賣
購買利用組合長小原通勝 十二
箇村衛生同佐藤傳八 土澤郷倉
同赤坂三郎 安俣郷倉同平野尙
次 晴山郷倉同小野寺良景 銀
行支店長新妻武郎 開業醫及川
幸太郎 平野文連 横川眞雄
石川斌 産婆小川タニ 小野寺
マサ 土澤劇場菊池三吉 旅館
(久保屋)菊池桂太郎 料理店
(中央亭)小田島一三 (瀬川屋)
瀬川源吾 (マルイ)中西ヨリ
(小櫻屋)小原孫一 (千島亭)菊
池佐藏 淨光寺福盛田好道 凌
雲寺船越元好 淨珠院諏訪徳童
成澤寺佐々木俊隨 信泉寺長谷
川慧明 仙臺孝勝寺土澤別院工
藤瑞導 筒八幡神社一ノ栗倉
白山神社同人 熊野神社小原甫
土澤ホーリネス教會長原一郎
聖和神聖會土澤支部小原トキエ

○湯田村 (川尻局)

【現況一斑】△人口九、四六七
人△戸數一、六五五戸△面積
二三方里△生産高總額(昭和
八年度分)二八〇、〇〇〇圓△
昭和十年年度豫算總額七一、四
一九圓

四四五

○小山田村 (土澤局四番)

【現況一斑】△人口二、四〇三
人△戸數四〇〇戸△面積二、
五方里△大字名、上小山田、
下小山田△生産高總額二五
〇、〇〇〇圓△昭和十年年度豫
算總額三一、三五〇圓
村長正七勳六菊池康統 助役大
坂六四郎 收入役伊藤廣八郎
村會議員菊池儀一 新田磯吉
菅原悟 大坂六四郎 菊池大藏
菅原慶夫 菅原定治 菊池武司
小田島美與治 高橋子之助 小
原後郎 志田藤萬徳 高橋滿藏
○在郷軍人分會長伊藤浩平 上
小山田青年團長及川録郎 下小
山田同多田節郎 消防組頭伊藤
浩平 農會長菊池康統 産業組
合長伊藤健夫

村長高橋榮次郎 助役菅原與作
入役小田島峻三 村會議員高
橋謙一郎 高橋榮次郎 高橋春
見 高橋利七 川村英一郎 勳
八小川末治 小松龜代司 高橋
本右衛門 菅原大藏 高橋平左
衛門 小川庄作 高橋富次郎
勳七高橋久太郎 勳八佐々木常
吉 熊澤新藏 高橋理一郎 高
橋德次郎 一人缺員 在郷軍人
分會長高橋耕一郎 場田村青年
團長高橋北民 消防組頭勳八小
林覺治 湯田産業組合長高橋榮
次郎 下前産業同佐藤廣司 羽
後銀行川尻支店長高橋泰造 開
業醫高橋北民

○澤内村

△沿革 舊藩時代南部領に屬
し大野村、新町村外五ヶ村を
合して新町に代官所を置く明
治十一年西和賀郡と稱し新町
に郡役所を置く明治十七年郡
役所を花巻に併合と共に湯田
村を分離大野外五ヶ村を以て
新町外五ヶ村戸長役場と稱し
新町に戸長役場を置く町村制
施行と同時に前記六ヶ村を併

合澤内村と新稱し越て明治三
十年東西和賀郡を再び併合和
賀郡に改稱現在に至る。

【現況一斑】△人口五、八五三
人△戸數八七六戸△面積一六
方里△大字名大野、新町、前
郷、太田、猿橋、川舟△生産
高總額三一六、六二七圓△昭
和十年度豫算總額九二、六二
一圓

村長勳八石井福治 助役加藤双
治 收入役照井春造 村會議員
石川忠四郎 泉川助松 從五勳
四泉川彌一郎 深澤勝定 勳七
功七北島勇 佐々木勳右衛門
内記定次郎 深澤茂左衛門 柿
澤喜市郎 田中重作 高橋作兵
衛 高橋官次郎 照井清 中川
錦次郎 勳八石井福治 勳八石
井貴治 吉田代策 佐々木清一
郎

膽澤郡

○水澤町 (水澤局)

△沿革 舊邑名を鹽籠と云ひ
往古は詳らかならざれ共近世

は仙臺藩公族(一門)留守氏の
封地、封内風土記に「澤水滿
巷故號此地曰水澤」とあり現
町名水澤の起因だらう、明治
維新後膽澤縣に屬し舊村鹽籠
村、北下幡村、常盤村を合し
て水澤町となり今日に到る。
【現況一斑】△人口一三、五八
七人△戸數二、七八五戸△面
積〇、六三四方里△大字名
鹽籠、常盤、北下幡△生産高
總額一、三六四、一〇九圓△
昭和十年度豫算總額一四一、
八六一圓

團長同 消防組頭佐々木泰治
農會長千葉政重 福原信購販利
用組合長岩淵熊藏 膽澤製網購
販利同大内清徳 信用組合水澤
金庫同佐々木久四郎 殖産銀行
支店長加賀順藏 煙草販賣所長
秋山信次 開業醫鈴木勇 田代
壯 及川幸五郎 松岡一雄 櫻
井文彦 千葉齋助 村上泰助
阿部信 小幡隆 佐藤坦 小見
昌壽 高野長經 産婆高橋ミヨ
シ 梅森キク 小野英 當立座
松本榮 御園座杉山喜一 旅館
(岩井屋)岩井七藏 (越中屋)青
木尙治 料理店(若松)宮澤常彌
(菊善)高橋文藏 大林寺阿部善
英 増長寺柳澤教樹 駒形神社
野村彰司 日高神社柴崎弘平
教會小出廣

○前澤町
【現況一斑】△人口六、七一
九人△戸數一、二一一戸△面積
三〇、七七七平方キロ△大字
名前澤、白鳥、稻置△生産高總
額五一六、一一三圓△昭和十
年度豫算總額六四、一三六圓
町長及川頼母 助役大内幸之進

收入役佐々木千吉 町會議員鈴
木丑吉 三浦清吉 阿部文一郎
勳七遠藤藤 佐々木松夫 佐々
木千代治 市口貞七 吉田悟郎
岩淵長一郎 及川竹治 阿部金
一郎 正七勳六功五大内清右衛
門 小野寺吉之助 中村民輔
從七勳七功七菅原義治 菊池丑
藏 在郷軍人分會長佐々木利秋
青年團長永井勝一 消防組頭及
川喜徳 農會長遠藤藤 前澤信
用組合長(代理)永井正二郎 殖
銀支店長藤戸操二 開業醫小野
寺純一 五味昇三 阿曾沼澤岩
淵亮三 五味會八郎 産婆今野
トミ 菅原スエ 旅館三浦喜吉
小宮山多作 料理店野村きくよ
石川ミキ 西岩寺 惠念寺 久
成寺 靈桃寺 願入寺 熊野神
社 白鳥神社 八穂茂神社

○金ヶ崎村 (金ヶ崎局)

△沿革 往古安倍貞任の領す
る所なりしが後源頼朝の家臣
葛西清重及伊達氏の領する所
となり正保二年大町主計此の
地に封ぜられ代々之を治め明

治維新に至る明治四年膽澤縣
に屬し村役所を置きて官選戸
長之を治む後水澤縣磐井縣に
屬し同九年岩手縣に合併自治
制實施の際西根村、三ヶ尻村
の二ヶ村を合併金ヶ崎村と稱
したが大正十四年九月町制を
布く。

【現況一斑】△人口七、三〇〇
人△戸數一、二二五戸△面積
五方里二九△大字名西根、三
ヶ尻△生産高總額三一七、九
二〇圓△昭和十年度豫算總額
八九、五九一圓

町長佐藤重恭 助役巴榮吉 收
入役渡邊金三郎 町會議員鈴木
藤右衛門 正七勳六笹井初之進
有住周平 巴榮吉 高橋繁治
氏家伊勢太郎 勳八猪苗代林四
郎 勳八千葉嘉藏 千葉米之進
勳八小野寺義治郎 勳七菅原直
定 勳八有住忠男 坂本清郎
柳市郎治 勳七功七小關巳之助
及川量平 及川利吉 英龜治
在郷軍人分會長正八佐藤龜三郎
男子青年團長同 女子同阿部元
治 消防組頭勳八大松澤千之

岩手縣町村大觀——和賀郡

農會長同 金ヶ崎信購販利組合
長佐藤重恭 川目信購販利同小
關儀藏 千葉石耕地整理同佐藤
重恭 三ヶ尻耕地整理同勳八有
住忠男 金ヶ崎合同運送株式會
社長勳八大松澤千之 大松澤合
資會社社長同 開業醫正八佐藤
龜三郎 高野一也 産婆及川キ
クノ 英イシ 大沼サダ 伊藤
ミハズ 金ヶ崎演劇館及川萬之
助 旅館平間運之助 坂本トシ
阿部榮之助 料理店菅原又藏
小笠原初太郎 法曇寺榊森良山
泰養寺大高克善 村社熊野神社
菅原購販 村社日吉神社及川直
吉

○佐倉河村 (水澤局)

△沿革 延暦年間坂上田村麿
勅命を奉じて夷賊を平定し膽
澤城を此の地に築き鎮守府を
移し浮浪四千人を移して之を
成らしむ大同二年八幡宮を勸
請し安國莊と稱す其の後幾多
の變遷を経明治維新前は仙臺
伊達藩に屬す明治十一年郡區
編成の際下河原村宇佐村滿倉

村となり下河原村外二ヶ村戸
長役場を置き町村制施行の際
更に常盤村を合併し佐倉河村
と稱し舊四ヶ村は各大字とす
【現況一斑】△人口五、六六七
人△戸數八四六戸△面積二方
里△大字名滿倉、宇佐、下河
原、常盤△生産高總額二七八、
〇一〇圓△昭和十年度豫算總
額四六、〇三八圓

村長勳七菅原小平 助役伊藤榮
五郎 收入役北郷隆人 村會議
員千田榮之助 石川彦治郎 花
山圭二郎 松本太郎左衛門 勳
八高橋利右衛門 本明榮之助
菅原熊之助 木村正太郎 勳八
青木萬作 及川大右衛門 及川
定治 岩淵良實 勳七菅原小平
菅原榮左衛門 阿部勝治郎 三
宅健治 及川長松 千田長四郎
在郷軍人分會長木村三郎 男子
青年團長從七阿部正雄 女子同
同人 消防組頭從七花山實 農
會長從七勳七及川太右衛門 産
業組合長同人 開業醫花山圭二
郎 從七花山實 産婆掃部ジャ
ウ 菊地アヤマ 熊谷やす子

岩手縣町村大觀——和賀郡

常樂寺石川春明 梅泉寺渡邊春
定 安養寺高倉大憲 縣社鎮守
府八幡神社七菅原政男

○真城村 (水澤局)

△沿革 中野村、秋成村、常
盤村に別れてゐたも市町村
制施行と同時に合併して真城
と爲す、真城村名は真城寺よ
り取る。

【現況一斑】△人口三、九六五
人△戸數五六九戸△面積〇方
里八〇一△大字名中野、秋成
常盤△生産高總額二四一、二
三一圓、一戸當四〇七圓四八
錢一人當六圓三一錢△昭和十
年度豫算總額三九、九五〇圓
村長鈴木義隆 助役七功七及
川豊治 收入役八瀨川市太郎
村會議員七功七及川豊治 佐
藤善雄 瀨川熊治 千葉寅治
千葉昌治 佐竹久藏 佐々木長
作 及川東兵衛 千葉久四郎
那須川一郎 在郷軍人分會長千
葉龜三郎 男子青年團長鈴木義
隆 女子同高梨可守 消防組頭
七功七及川豊治 農會長鈴木

義隆 信販購利組合長鈴木梧郎
蠶業同千葉龜三郎 榮果同千葉
林藏 養鷄同千葉良治 運送會
社長千葉治右衛門 産婆佐竹ミ
エ 旅館佐藤善郎 料理店菊地
留五郎 真城寺吉水應觀 長泉
寺 村社別雷神社華山長映 八
幡神社三宮玄榮 天理教會高野
保司

○姉休村

△沿革 舊藩時代下姉休村と
稱せしも廢藩置縣以來(岩手
縣)白山村の内六日入と共に
白山村と稱せり自治制實施と
共に秋成村の内上姉休と合し
六日入を白山村に譲り姉休村
と改稱。

【現況一斑】△人口二、九八八
人△戸數四六五戸△面積一方
里△大字名白山、秋成△生産
高總額(昭和九年)一五八、七
三五圓△昭和十年度豫算總額
二六、一一七圓
村長及川正巳 助役佐々木孫兵
衛 收入役佐々木至郎 村會議
員立野新精 大内盛徳 岡元多
門 大内喜藏 菊池福藏 鈴木

久吉 倉成長平 及川正巳 後
藤幸右衛門 佐々木孫三郎 勳
八功七後藤敬吉 在郷軍人分會
長勳七吉田賀吉 男女青年團長
但木秀夫 消防組頭勳八菊地敏
吉 農會長鈴木久吉 開業醫
井龜二郎

○白山村

【現況一斑】△人口二、〇三八
人△戸數三四五戸△面積一方
里△大字名白山、稻置△生産
高總額一三九、〇八九△昭和
十年度豫算總額二〇、〇四一
圓

村長勳八佐藤勘左衛門 助役勳
七功七鈴木昇 收入役勳七及川
雄司 村會議員佐藤忠作 鈴木
惣助 佐々木恭治 勳七功七鈴
木昇 及川權一郎 石川菊松
勳八岩淵孫右衛門 城本盛 吉
田政次郎 阿部良助 千葉辰藏
在郷軍人分會長佐々木禪雄 白
山男子青年團長千葉龜太郎 白
山女子同大久保キクノ 消防組
頭佐々木恭治 農會長鈴木孫一
郎 信用組合長鈴木惣助 開業
醫正八千葉清次郎 正福寺佐々

四四八

木禪雄 村社白山神社華山武男
吉田藏人 無格社白山神社華山
武男

○古城村 (前澤局)

△沿革 明治維新の頃は本村
は第十大區第三小區にして明
治二十二年町村制頒布に古城
村となる、古城の村名は郷人
の傳ふる所の往古覺龍城と稱
する城ありきと、故に古城の
村名となる。

【現況一斑】△人口(本籍人口)
三、六二四(現住人口)二、八
八五人△戸數四六一戸△面積
一方里△大字名古城、稻置△
生産高總額二七七、五一一圓
△昭和十年度豫算總額一七、
九二七圓
村長正七勳七菅原慶之進 助役
阿部亮二 收入役千葉治三郎
村會議員千田伊右衛門 千葉留
五郎 佐藤長兵衛 小野寺興右
衛門 菅原壽治 佐藤忠右衛門
高橋清一郎 阿部亮二 千葉清
太郎 千葉龜太郎 千葉良助
小野寺吉治

○衣川村 (衣川局)

△沿革 永承年間安倍倍氏八十
有餘年間居城を構えてより藤
原氏館を平泉に築くに及び藤
原氏の版圖に歸し市場並に物
見の場、攝待館の設けあつて
頗る殷賑を極めたるものゝ如
くである。

【現況一斑】△人口五、九三七
人△戸數八七五戸△面積一
〇、五八三方里△大字名上衣
川、下衣川△生産高總額四六
八、九七二圓△昭和十年度豫
算總額四七、二四五圓
村長小野寺仁左衛門 助役鈴木
篤藏 收入役後藤五郎 村會議
員佐々木後一 高橋定治 若槻
久藏 高橋庄三郎 小原忠一郎
鈴木善藏 机地重兵衛 菊地勇
三郎 高橋靱負 渡邊萬兵衛
高橋俊雄 千田庄右衛門 加藤
茂之丞 菊地金治 佐藤武徳
伊藤侃作 三浦庄一郎 小野寺
仁左衛門 在郷軍人分會長正八
高橋俊雄 衣川村青年團長小野
寺仁左衛門 消防組頭菅原喜悅

農會長小野寺仁左衛門 衛生組
合長同人 養蠶同人 開業醫
小幡行治 松山寺清水文林 雲
際寺渡邊觀龍 村社神社勳八
吉野昇 村社月山神社荒澤千里

○小山村 (小山局一番)

【現況一斑】△人口六、四一二
人△戸數九三四戸△面積三、
三六五方里△大字名東堀切、
西堀切、徳岡、二ノ臺△生産
高總額六七八、八〇六圓△昭
和十年度豫算總額四〇、〇六
〇圓
村長渡邊敏夫 助役伊藤清一
收入役鈴木繁治 村會議員本庄
權三郎 高橋今吉 鈴木俊 佐
藤太吉 及川宇七郎 佐藤用七
小野寺西藏 鈴木喜藏 佐々木
正一 岩淵寅之助 菅原慶三郎
菊地儀右衛門 千葉小平 勳八
菅原松治 佐藤喜四郎 勳八五
島新吉 佐藤庄吉 渡邊敏夫
在郷軍人分會長五島太四郎 小
山村男子青年團長渡邊敏夫 小
山村女子同安彦専松 消防組頭
五島西治 農會長五島太四郎
小山村信用購販賣利用組合長及

○南都田村

△沿革 元南下幅、都馬、東
田の三村なりしが明治二十二
年四月町村制實施の際三村を
合併して南都田村と稱せり。

【現況一斑】△人口四、五六二
人△戸數六六一戸△面積一方
里六分三四△大字名南下幅、
都馬、東田△生産高總額二五
六、三四五圓△昭和十年度豫
算總額三、八五一圓
村長高橋悦三郎 助役千田龜三
郎 收入役千葉權之進 村會議
員高橋悦三郎 千田龜三郎 石
川勘三郎 旭勳八石川榮之助
功七勳八岩城俊之助 佐々木十
一郎 佐々木幸右衛門 千田民
之丞 藤田今朝治 福田金作
猪狩新五郎 旭勳八高橋長壽
佐藤常太郎 及川定治 高橋榮
左衛門 在郷軍人分會長正八千
葉長 南都田青年團長安藤副
南都田女子同勳七菊地藤吉

消防組頭安藤副 農會長功六勳
七及川東治 南都田信用販賣購
買利用組合長石川勘三郎 養蠶
實行同菅野健藏 共榮農事同千
葉松五郎 第二區同旭勳八高橋
長壽 第四區同佐藤誠吉 自強
團同石川傳 中通同千田今右衛
門 高綱同千田正治右衛門
東田同菊地幸吉 辻同千田善次
郎

○若柳村 (若柳局一番)

【現況一斑】△人口四、八三三
人△戸數七三〇戸△面積一
四、八方里△大字名若柳、東
田△生産高總額三五八、九六
二圓△昭和十年度豫算總額三
二、八二一圓
村長龜井慶五郎 助役千葉正治
收入役勳八千田喜代吉 村會議
員千田廣吉 安倍養吉 佐々木
熊太郎 阿部榮治郎 及川久助
佐々木慶吉 村上惣五郎 小野
寺太郎 勳八村上清左衛門 小
幡直助 安倍長吉 安倍正規

○永岡村 (永岡局)

△沿革 本村歴史を尋ねるに
四四九

岩手縣町村大觀——江刺郡

奈良朝時代には永榮の一部を寺蜘蛛と稱し戸數僅に七戸あり過ぎざりしが永録三年四月二十四日之を永榮村と改め明治八年十月十七日百岡村と合して一村となり再び永榮村と改稱せり永澤村は寛喜年間以前に於て之を江差村と稱し戸數僅に九戸に過ぎざりき而して寛政五年に至りて名を永澤村と改めた明治二十三年右二村は合併して今の永岡村となつた。

【現況一斑】△人口三、二一六人△戸數四八二戸△面積四万八千八百八十八坪△生産高總額一〇〇、八二九圓△昭和十年度豫算總額二二、八七四圓

村長菅原彦太郎 助役朝倉良作 收入役松本與四太郎 村會議員 松本一太郎 勳八高橋今朝松 勳八柏山眞平 高橋長七 高橋幸吉 勳八高橋松治 小野寺隆治 菅原彦太郎 菅原善之進 高橋周藏 高橋仁太郎 小原寅松 在郷軍人分會長正八青木榮之進

永岡青年團長菅原彦太郎 消防組頭松本一太郎 農會長勳八阿部忠右衛門 無限責任百岡信用購買販賣利用組合長高橋一三郎 保證責任永岡信用購買販賣利用同動八菅原貞三郎 永徳寺農事實行同阿部今朝治 永岡寺網同高橋六助 下永澤同松本與四太郎 横澤同高橋吉男 開業獸醫阿部正二 永徳寺渡邊泰忍 生城寺川下泰禪 永岡神社高橋徳治

○相去村 (相去局六番) 【現況一斑】△人口二、二〇〇人△戸數五二九戸△面積二万八千九百八十八坪△生産高總額二八〇、二六八圓△昭和十年度豫算總額三五、四九八圓

村長千田豊治 助役桑島辨二 收入役高橋幾久夫 村會議員千田助之丞 高橋吉三郎 菊地要三郎 小野庄作 桑島宗助 千葉種吉 高橋卯吉 高橋長助 高橋定義 千田豊治 松田久誠 在郷軍人分會長正八及川傳右衛門 青年團長佐藤富造 相去女子同熊谷大治 六原女子同後藤

万之助 消防組頭小野進 農會長佐藤整治 産業組合長同人 産婆渡邊タキノ 桑島キン 二ッ森稻荷神社高橋卯吉 白山神社同人

江刺郡

○岩谷堂町 (局 四二番) △沿革 江刺郡の中心都邑にして舊村片岡、餅田、増澤を合したるもので東は玉里西は愛宕南は羽田、田原北稻瀬及廣瀬の諸村に界し東北部丘陵相連するも西南部は平野より拓けた。

【現況一斑】△人口七、〇〇〇人△戸數一、三三三戸△面積一、五方里△大字名片岡、餅田、増島△生産高總額(昭和九年)六六六、七四〇圓△昭和十年度豫算總額一六一、六〇八圓 村長依田養七 助役柏木勝雄 收入役(缺) 村會議員萩田吉五郎 柏木勝雄 菊池幸吉 及川林治 千葉綱吉 依田養七 及川榮一 菅原隆一郎 及川久

四五〇

一郎 酒匂新七 佐藤勝 近藤見方治 淺田勝次郎 勳七菊池圓治 菊池安治 及川熊吉 菅原豊之助 正八勳六菅原忠左衛門 在郷軍人分會長正八高橋兵衛 男子青年團長佐藤浩平 女子同正八勳七千葉宗一郎 消防組頭依田養七 農會長遠藤彦三郎 岩谷堂信用組合長酒匂新七 江刺中央耕地整理組合長小原善次郎 産業組合江刺病院院長依田養七 膽江自動車株式會社常務取締役菅原隆一郎 殖銀支店長淺沼次郎 開業醫菊池榮 菅原豊之助 及川幸人 遠藤恭助 及川久一郎 高橋久藏 及川直久道敏 産婆猪狩トモ 平沼トモエ 南座及川信助 旅館(竹屋)菅野こよ (菅原屋)菅原庄兵衛 料理店(及政)及川政治 (新茶)和賀新平 光明寺佐藤元惠 松岩寺與寺俊道 興性寺司東眞海 正重寺菊池良端 萬松寺菅村泰喜 蓮久寺渡邊瑞巖 鎮ヶ岡神社千葉弘 五十瀬神社同人 新山神社菅原恒

○愛宕村 (岩谷堂局) 度豫算總額一八、四一八圓 村長尾形與一郎 助役及川加一 收入役高橋敬一 村會議員藤原徳藏 佐藤慶五郎 勳八村上恭助 佐藤仁左衛門 藤波麒 千葉諒一 伊藤太一郎 北條榮四郎 阿部新家 菅原丑治 及川加一 高橋賢治 在郷軍人分會長佐々木正治 男子青年團長千田莊一 女子同本明從雄 消防組頭藤波麒 農會長北條正一 綿羊組合長及川加一 保護森林同同人 信用購買利同佐藤慶五郎 有隣農事實行組合長(寒天製造)渡邊熊治 黒山保勝會長 佐々木定吉 産婆佐々木ミン 旅館佐藤萬五郎 料理店(鶴城屋)佐藤龜治 大梅粘華山正法寺青山物外 妙見山黒山寺 村石手塚神社北川貞好 龍門山藤春院松本隆箭

△沿革 往昔江刺氏の時代に其家臣下河原氏の治下となり下河原氏の臣天間氏あり下河原氏は佐倉河村及館に居を構へ天間氏は字天間に住んでゐた現今其の遺跡と稱する處に阿彌陀堂がある。

【現況一斑】△人口四、九五九人△戸數七八三戸△面積〇、八七八方里△大字名高寺川西高寺川東、下川原、田谷、二子町△生産高總額三六一、二一一圓△昭和十年度豫算總額三一、一六九圓

西念寺加藤是峰 圓福寺菅原紹純 村社川島神社伊藤右京 清水神社伊藤左膳 ○羽田村 △沿革 江刺氏の時には田茂山に(不詳)羽黒堂に千葉氏、鶯澤には鶯澤氏、黒田助には菊池がゐた、伊達氏の時に及び寛永二十一年より寛文十一年迄御藏入とし延寶四年より宮城與右衛門の知行所となつて維新に及ぶ、明治二年江刺縣に屬し其の後一ノ關縣、水澤縣、磐井縣の管轄を経て明治八年舊村を合し羽田村と稱す、岩手縣となり始め羽田扱所(黒石田原の一部)の治下にありしが同十二年役所制となり羽田村役所同十八年聯合役場(黒石、羽田、田代)制となるや戸長役場支配に屬したが町村制實施となり獨立。

【現況一斑】△人口三、一四二人△戸數五三八戸△面積〇、八〇一方里△生産高總額二八三、四一七圓△昭和十年度豫算總額二七、五五〇圓

村長及川洋 助役岩戸清子 收入役佐藤幸作 村會議員水田和吉 正七勳七及川毅一 佐藤辰治 達下軍吉 小林今朝之助 梅原嘉藏 小野寺音三郎 勳八今野重治郎 佐藤愷一 千葉巳之吉 在郷軍人分會長正八小林清吾 羽田村青年團長達下軍吾 羽田村女子同千葉サキヨ 消防組頭達下軍吾 農會長及川松右衛門 羽田養蠶實行組合長小林今朝之助 羽田第二同佐藤恭介 中央同佐藤長助 更正同清原繁雄 草井沼同千葉五郎左衛門 水防組長梅原嘉藏 畜牛組合長佐藤與左衛門 養豚同佐藤長藏 開業醫達下軍吾 産婆八島タカヲ 旅館(菊池)菊池サキヨ 料理店(菊池屋支店)菊池サキヨ そば屋佐藤榮三郎 寶全寺上村定光 花林院中田良英 郷社出羽神社正八古玉賢治

○黒石村 【現況一斑】△人口二、三七〇人△戸數三八一戸△面積一方里七分一厘五毛△生産高總額一四四、一六〇圓△昭和十年

○田原村 △沿革 江刺郡の南東に位し延暦の昔坂上田村麿將軍東征以後の所謂大井信濃卿と想はれ豊田城主藤原氏統治下の四十一郷中原休、土屋、石山、

岩手縣町村大觀——江刺郡

大田代、小田代の合併村にして町村制施行と共に田原村と改稱し爾來村長の更代十人に及び現在に至る。

【現況一斑】△人口四、〇七〇
人△戸數六二八戸△面積三、八四三方里△大字名田代、石原△生産高總額二一五、二一七圓△昭和十年度豫算總額二八、四六八圓

村長紺野啓三郎 助役及川孝壽 收入役紺野隆 村會議員及川啓之助 阿部信吉 小野寺兼光 伊藤長藏 紺野啓三郎 菅野慶治郎 及川清 及川長左衛門 菅原武雄 高橋善吉 佐藤豊三郎 及川勇三 在郷軍人分會長 勳八小松圭一 田原村青年團長 紺野啓三郎 田原村女子同菅原カナメ 消防組頭佐藤元治 農會長菅原武雄 産業組合長紺野啓三郎 耕田寺荒川顯良 興國寺藤澤天宗 寶城寺鈴木素苗 村社五十瀨小野寺泰之進

○藤里村

△沿革 人皇第四十八代稱徳帝神武景雲三年(紀元一四二

九)坂東八ヶ國の民陸奥に移り農桑の業拓くに當り藤里地方に農業起り後次第に盛んとなり又田村磨の征夷其他幾多の變遷と共に農業の變化に依り明治維新に及び舊淺井村並に横脇村合併し現在の藤里村を構成す。

【現況一斑】△人口二、六二一人△戸數四一三戸△面積一、八七方里△生産高總額(昨年生産高にして例年より四割減なり)一五六、八八〇圓△昭和十年度豫算總額二九、三六三圓八二錢

村長小澤儀兵衛 助役及川太七 收入役菊池徳兵衛 村會議員小澤儀兵衛 及川太七 朽木喜太郎 矢作作之助 小澤豊三郎 懸田幸太郎 小澤八良 勳七及川哲右衛門 菊池傳之助 勳七菊池定之助 菊池留治 高橋菊右衛門 在郷軍人分會長小澤運治 青年團長中田龜三郎 女子同高橋清之丞 消防組頭及川太七 農會長同人 保證責任藤里村信購販利組合長小澤八良 養

會長佐伯信 信用購買販賣組合長同

○玉里村 (岩谷堂局)

△沿革 明治八年舊村角懸次丸を合併す本村名稱起源につき一つの傳説を有す、古昔此地に四郎兵衛重勝と云ふものあり白鹿を飼ひ常に之を伴ひて林間を逍遙す、鹿亦能く之に馴れて重勝の懇ふ間は角を松枝にかけて眠れり、よつて郷人此の松を角掛松と云ふ此の森を角掛森と云ひ此邑を角掛村と云ひしと葛西の頃玉崎館に次丸道海入道青篠に菊池右馬之允ありしも事蹟明ならず

【現況一斑】△人口三、〇九一人△戸數四七二戸△面積一方里七△生産高總額一二九、二八四圓△昭和十年度豫算總額五二、五三三圓
村長正七勳七高橋藤七 助役勳八及川忠治 收入役伊藤一郎 村會議員勳八菊池八郎兵衛 齋

實行組合長高橋滿二 馬匹生産同及川重三郎 開業醫境田等 産婆門間キサ 及川シモ 及川ツキ 旅館及川今朝夫 圓通寺小野天宗 西泉寺大久保祖順 村社愛宕神社菅野慶治郎 無格社河東田吾右衛門

○伊手村 (伊手局五番)

△沿革 舊仙臺領明治二年八月江刺縣に編入四年十一月一ノ關縣十二月水澤縣八年十一月磐井縣九年岩手縣に編入せられ今日に至る。

【現況一斑】△人口三、五九七人△戸數五六四戸△面積三方里一七△大字名北伊手、上伊手下伊手(何れも(舊地名)△生産高總額一七二、五三四圓△昭和十年度豫算總額七一、二四一圓
村長龜井竹治 助役及川多門 收入役 佐藤正一郎 村會議員高橋和三郎 菊池興市郎 渡邊兵三郎 佐藤喜一 菊池壽三郎 佐藤多利之助 及川多門 渡邊章榮 佐藤佐 佐藤清右衛門 佐藤利八 松本種之助 村治調

内本村は野手崎栗生澤菅生の三郷に分りて其後藤原氏葛西氏木村氏伊達氏の領となる寛永二十一年伊達氏の一族小梁川中務宗影野手崎に封せられ當地を治む爾後二百二十有餘年十一代に及び明治四年廢藩置縣と共に江刺縣置かれ本村之れに屬せり其後明治八年十月菅生栗生澤野手崎を合併して梁川村と改稱

【現況一斑】△人口本籍人口三、九八三人現住人三、二四五人△戸數五一〇戸△面積二、三四七方里△大字名菅生芳澤、栗生澤、新野野、中宿、中田、大幡、東澤目、西澤目、野手崎△生産高總額二九三、四一二圓△昭和十年度豫算總額二〇、七五九圓

村長正八佐藤總吉 助役今野哲郎 收入役菊池安治郎 村會議員及川平左衛門 勳七佐藤遠之助 今野誠一 菊井萬橋 今野久右衛門 勳八阿部久四郎 今野野慶治 正七勳七菊池金太郎 勳八菊池榮作 勳八菊池幸吉

查會長龜井竹治 同副會長及川多門 同常務委員佐藤佐 青年學校評議會會長佐藤佐 同副會長及川多門 在郷軍人分會長今野武 男子青年團長千田豊三 女子青年團長同人 消防組頭渡邊章榮 農會長及川多門 信購販利組合長勝山熊治郎 旅館菅原政虎料理 店渡邊モヨ 高林寺佐藤保三 的及寺及川眞龍 戸隱神社菅野慶治郎 八幡神社 稻田實

○米里村 (米里局四番)

【現況一斑】△人口三、七二五人△戸數六一八戸△面積四、六三一方里△生産高總額一二四、六四四圓△昭和十年度豫算總額六六、三〇〇圓
村長從七勳六佐伯信 助役小原忠藏 收入役菊池英一 村會議員後藤謙治郎 小原忠藏 佐藤寅之助 福池章平 太田喜三太 利府眞道 和田太助 佐藤恒男 千葉多利治 中山猪之藏 在郷軍人分會長佐藤寅之助 男子青年團長菊池興市 女子青年團長同 消防組頭菊池準行 農

正八佐藤總吉 在郷軍人分會長 菊池源七 梁川村青年團長阿部眞臣 消防組頭正七勳七菊池金太郎 農會長正八佐藤總吉 産業組合長桐田三代五郎 綿羊同今野哲郎 養蜂同菅原一二 開業醫角南春洋 産婆梅津ハツミ 旅館菊池恭次郎 淺沼ミツ 金性寺金盛博禪 菅生寺伊藤良介 村社松尾神社阿部眞臣

○福岡村 (口内局一番)

△沿革 葛西氏以前の沿革明ならず天文の頃江刺氏の一族口内帶刀口内を領し楓木田大炊本村の西部を領した、伊達氏の時瀬上淡路之を領し小梁川修理之に代り慶長年中藤田作兵衛之を領し正保元年に至る其後田平肥前高實之に代る萬治二年古内治太夫領主となり元祿八年中島氏封せられ以て明八年磐井縣の管制となり舊村上下口内梳木田小池水押を合併し福岡村と稱し町村制實施に際しても其儘分合なく今日に及ぶ

岩手縣町村大觀 西磐井郡

人△戸數五二五戸△面積二、一六方里△生産高總額一八三、一五〇圓△昭和十年度豫算總額三八、六七五圓
村長昆野精一郎 助役勤七小野寺運藏 收入役昆野孫四郎 村會議員昆野三之丞 昆野精一郎 勤七小野寺運藏 昆野庄右衛門 昆野將雄 早坂菊右衛門 菅野正一郎 菅野秀治 伊藤周右衛門 昆野惣左衛門 伊東宗 昆野庄治 在郷軍人分會長菅野安夫 口内男、女青年團長從七澤口瀧太郎 消防組頭昆野庄治 農會長近藤卓治 保證責任福岡村信用販賣購買利用組合長昆野庄右衛門 福岡村養蠶實行組合長近藤卓治 福岡村和紙製造同昆野英司 開業醫伊東宗 産婆早坂上 旅館(龜屋)伊藤仲四郎 宗賢寺松森旭惠 萬藏寺小野義雄 村社麓山神社從七伊東五 村社淺間神社勤七伊東直三 寶積寺菊池恭源 正行寺昆野秀英

人△戸數三九〇戸△面積一、三方里△大字名歌書、一二三ノ關、鴨澤、輕石△生産高總額一二三、五二四圓△昭和十年度豫算總額三〇、七七四圓
村長後藤博 助役菊池訣 收入役鈴木榮治郎 村會議員江川喜久治 菅野澤右衛門 菅野豊三郎 關村貞太郎 千葉雄造 千葉武夫 及川專太郎 佐々木治四郎 阿部卯三郎 菊池幸十郎 菊池高左衛門
○稻瀨村 (岩谷堂局)
△沿革 藩制時代は仙臺伊達家の領有にして倉澤村三照村下門岡村上門岡村石關村の五ヶ村なりしが維新後水澤縣治の際倉澤三照の二ヶ村合して照澤村となり下門岡上門岡石關の三ヶ村と其外二ノ關三ノ關の二ヶ村を合せて稻瀨村となる後町村制實施に際し二ノ關三ノ關を廣瀨村に他を照澤村に合し一自治區となし現今に及び稻瀨村之である

【現況一斑】△人口現在人口男二、五五六女二、六一七計五、一七三人△戸數八二三戸△面積方里二、六一二方里△大字名照澤、稻瀨△生産高總額四七二、六〇七圓△昭和十年度豫算總額三五、九五九圓
村長高橋幸作 助役菊池若龜 收入役上野貞雄 村會議員廣野嘉七 菊池省一 及川貞治 渡邊幸之進 青木賢治 菊池邦治 及川登 佐藤三藏 高橋榮作 及川正吉 高橋幸作 及川政壽郎 菊池安右衛門 及川巳代之丞 伊藤貞藏 安藤新四郎 菊池市藏 及川彪實 在郷軍人分會長高野忠作 女子青年團長小澤福治 女子青年團長同人 消防組頭岩淵精一 農會長及川貞治 信用組合長渡邊幸之進 稻瀨郵便取扱所長菊池武平 開業醫大内實 産婆菊池サダ 川サヨ 白井ミサホ 廣徳寺鈴木顯苗 正源寺及川清實 安樂寺司東眞海 極樂寺司東眞雄 如意輪寺白井憲阿 石洞寺嵯峨素田 五十瀨神社伊藤勝之進

西磐井郡

○一關町 (一關局)
△沿革 舊田村藩の治所にして天和二年田村右京太夫建顯公が茲に移封せられてより二百三十餘年連綿として維新に及んだ、舊城跡であつた今の一關公園は高崎城と云ひ昔田村將軍が征夷の際に此處に據られたと傳へられて居る
【現況一斑】△人口二〇、九九〇人△戸數二、二〇六戸△面積〇、三一方里△生産高總額五〇五、九九九圓△昭和十年度豫算總額二五二、一八四圓
町長松川昌藏 助役橋本元 西恭二 收入役山口正名 小谷嘉三郎 町會議員菊池惣 吉田政之助 菅原秀 小野寺主馬藏 佐藤綠 黒澤勤兵衛 三樹正雄 加賀徳造 今野寛 小都甚左衛門 建部正夫 松川昌藏 千葉新太郎 千葉政右衛門 菅原榮吉 大友徳之助 熊谷伊勢吉

菅野眞馨 北村清 佐藤彌吉 泉修一郎 佐藤金三郎 星源造 在郷軍人分會長柴田伊惣治 一關町青年團長龜山進吉 消防組頭遠藤三治 農會長原田卯兵衛 一關荒物商組合長小野寺吉兵衛 一關米穀商同小野寺彌平 同海産物商同若山寅之助 同金物商同加賀繁治 第八十八銀行頭取東海林外二郎 一關酒造株式會社社長菅原義雄 合同運送株式會社社長菅原榮吉 鈴木製板工場長鈴木榮三 高田製絲同高橋圓藏 岩手殖産銀行支店長中川甚平 煙草販賣所長松本正次 開業醫山本弘行 杉内庸三 林頼作 清野精美 三神禮助 産婆奥川たか 常設館經營者中野榮治 關守座齋藤幸一郎 小松館小松徳兵衛 旅館菅原清藏 清水多吉 佐々木清三郎 料理店加賀徳造 平野きわ 願成寺吉川顯雄 禪雲寺穴戸東益 正光寺北島貫一 八幡神社菊池文三 田村神社同人 日本基督一關傳道教會阿部治助 一關天主教會會アンドレデウマ 磐井組合基

岩手縣町村大觀 西磐井郡
督教會田中卯一郎 ホーリネス教會菊池高
△永井村
△沿革 本縣の南端に位し面積二方里東西一里十二丁南北一里十八丁東は北上川金流川西は夏川を以つて宮城縣に境す
【現況一斑】△三、〇一二人△戸數四五一戸△面積二方里△生産高總額二四三、〇七八圓△昭和十年度豫算總額一八、一七三圓
村長旭七功七佐藤清之進 助役佐藤市十郎 收入役佐藤武實 村會議員高橋龜治 高橋林左衛門 佐藤泰助 佐藤撰一郎 佐藤辰三郎 及川小八郎 渡邊清助 千葉勇 關肇 渡邊甚三郎 佐藤榮太夫 佐藤兵吉 在郷軍人分會長正七勤七加瀬谷左門 農會長功七旭七佐藤清之進
○涌津村
【現況一斑】△人口二、五七〇人△戸數四二〇戸△面積一方里△生産高總額一六一、八一六圓△昭和十年度豫算總額一

七〇六圓〇四錢
村長菅原市兵衛 助役正八佐藤誠之進 收入役今野眞男 村會議員荒井圓平 佐藤迂一 岩淵喜平 佐々木藤兵衛 岩淵與三郎 小野寺方助 加藤永之進 折笠博 田野崎幸右衛門 千葉岩淵常三郎 鶴浦一郎 在郷軍人分會長正八田野崎文人 青年團長岩淵耕治 消防組頭正八佐藤誠之進 農會長佐藤榮太郎 産業組合長菅原市兵衛 磐井酒造會社長佐藤佐四郎 産婆小野寺ユミ子 長善寺照井精雄 八幡神社小野龜之進
○油島村 (涌津局一番)
△沿革 舊一關領に屬し明治二年膽澤縣に屬し一關縣水澤縣岩井縣となり(上油田下油田の兩村を合せ油田村とせり)同九年岩手縣となり町村制實施の際油田、蝦島の兩村を合せ油島村と稱す
【現況一斑】△人口二、三六三人△戸數三四八戸△面積一方里〇五〇△大字名油田、蝦島△生産高總額一一〇、七〇四

圓△昭和十年度豫算總額一七四一七圓
村長佐々木碩治 助役佐藤龜治 收入役勤八遠藤專吉 村會議員小野寺二郎 二階堂直衛 高橋元衛 藤堂博 勤八阿部徳之助 武田慶助 鈴木寅之助 佐藤廣治 鈴木貞門 三浦龜五郎 在郷軍人分會長勤八遠藤專吉 男子青年團長佐々木碩治 女子青年團長鈴木みや 消防組頭佐々木碩治 農會長同人 産業組合長小野寺二郎
○花泉村 (花泉局九番)
△沿革 町村制施行の際奈良坂村と花泉村とを合せ花泉村と稱す先に明治八年水澤縣管轄たりし時清水村金森村中村の三村を合せ花泉村と新稱す
【現況一斑】△人口二、六九〇人△戸數四三〇戸△面積三方里△大字名花泉、奈良坂△生産高總額一五九、五七九圓△昭和十年度豫算總額二五、四六九圓
村長阿部平藏 助役勤七七佐藤四五五

戸市 收入役菅原力雄 村會議員加藤長十郎 菅原正左衛門 佐藤壽 佐藤左四郎 佐藤善太郎 高橋良 阿部吉郎 佐藤妙覺 佐藤孫右衛門 羽賀巳代吉 且股永左衛門 在郷軍人分會長菅原富治 男子青年團長佐藤富藏 女子青年團長若松婦美子 消防組頭正八佐々木東五郎 農會長七功七佐藤戸市 八十八銀行支店長千葉千代藏 開業醫西城久一郎 菅原泰介 齒科醫岩淵菊治 産婆佐々木ふじ 菅原たつみ 花泉座佐々木政吉 旅館佐藤虎雄 辰巳清内 阿部山三郎 料理店梅之家阿部留五郎 富久壽阿部鹿藏 泉亭阿部義三郎 敷島中屋敷タカ 胡蝶龜田ハル 徳壽院石川泥牛 寶泉寺宇津野徳田 養壽寺瀧澤惠淳 金藏寺大内道欽 村社八雲神社 々掌葛西匡身

○金澤村

△沿革 往古より本郡流郷に屬し分合改稱等したことがない維新前は一關田村藩の領内村内七部落所謂、町、飯倉、大

門、菅ノ平、中山、内澤、刈生澤にして之を十二區に分ちて行政區劃を定め區長を置く東は彌榮老松の兩村に隣り西は花泉北は眞瀧村に界し花泉驛を距る十八町
【現況一斑】△人口二、五八二人△戸數四二五戸△面積一、七四方里△生産高總額二〇七、四五二圓△昭和十年年度豫算總額二二、九五三圓
村長佐藤采藏 助役高橋寛藏 收入役小野寺美樹 村會議員勳七三浦淳吉 佐藤采藏 勳八菅原文四郎 勳八舞石吉治 阿部萬右衛門 千葉直次郎 熊谷圓藏 千葉市郎兵衛 小野寺金三郎 勳八千葉武一 勳八稻邊與市郎 高橋榮太郎 在郷軍人分會長正八村上干夫 金澤村青年團長熊谷一郎 金澤村女子青年團長福地文教 消防組頭千葉直次郎 農會長勳八舞石吉治 保證責任金澤信用購買販賣組合長勳七三浦淳吉 金澤養雞同石川登一 金澤村煙草耕作同勳七三浦淳吉 金澤酒造株式會社社長

赤澤彰 開業醫佐々木政雄 産婆小岩かめよ 寶持寺正八村上干夫 村社八幡神社金澤潔飯倉八幡神社鈴木正根

○老松村

△沿革 寺崎若見守の所領なり、岩見守没落と共に伊達氏の領となり天和二年田村藩に屬す、明治四年廢藩置縣と共に水澤縣に屬し、明治五年時村男澤村を併合して老松村と稱す水澤縣磐井縣を経て岩井縣となると共に各村に戸長役場を置く、明治十六年金澤聯合戸長役場の管下に屬し町村制實施に際し聯合役場を廢し今日に至る
【現況一斑】△人口一、八一九人△戸數一八〇戸△面積〇、七方里△生産高總額一〇二、八三二圓△昭和十年年度豫算總額一七、三六一圓
村長勳七千葉昌巳 助役千葉謙助 收入役阿部弘 村會議員熊谷綾治郎 千葉莊一郎 阿部萬右衛門 千葉昌巳 佐藤金右衛門 千葉完治 佐藤仁右衛門

千葉新作 千葉茂一郎 及川文雄 佐藤春實 在郷軍人分會長菅原卯平 男子青年團長皆川秀雄 女子青年團長佐藤俊 消防組頭佐藤金右衛門 農會長千葉謙助 開業醫千葉安治 大祥寺木村良猷 道慶寺三浦貞壽 村社豐隆神社千葉勝彦

○日形村

【現況一斑】△人口一、八〇六人△戸數二九三戸△面積一方里強△大字名大字ナシ小字は下清水、町裏、小野石畑、須釜、田ノ澤、上通、中通、下通、井戸澤、高山、中神、沼田、松田寄合△生産高總額一二六、四九〇圓△昭和十年年度豫算總額一四、〇一六圓
村長勳八小野寺篤四郎 助役小野寺正治郎 收入役小野寺五郎 村會議員小野寺篤四郎 佐藤圓治 小野寺吉之助 藤野正一郎 高橋勇 菊池萬右衛門 増子周右衛門 須藤彦治 須藤東作 加藤謙藏 千葉永吉 千葉常磐 在郷軍人分會長小野寺潔日形青年團長小野寺文治 同

女子青年團長加藤妙子 消防組頭小野寺五郎 農會長小野寺篤四郎 日形信用購買利用組合長小野寺正治郎 同養壽實行同小野寺篤四郎 中神養壽實行同千葉健三郎 沼田養壽實行同千葉一雄 縣是養壽實行同高橋勇三共養壽實行同佐藤寅雄 森林保護組合長小野寺兵藏 葉煙草耕作同増子周右衛門 北部養壽實行同加藤謙藏 開業醫千葉貞三郎 産婆千葉いし旅館千葉はるみ 村社八雲神社 無格社八雲神社

○彌榮村

【現況一斑】△人口、二〇五九人△戸數三二九戸△面積一、六方里△生産高總額二三四、八二三圓△昭和十年年度豫算總額二二、四八八圓
村長佐藤英助 助役熊谷庄治郎 收入役千葉元 村會議員佐々木小一郎 金田邦次 佐藤英助 岩淵惣右工門 佐藤毅 阿部謙治 阿部正巳 阿部寛 佐々木政吉 千葉孝一 熊谷平太右工門 在郷軍人分會長阿部貞一郎 彌榮村青年團長千葉潔 彌榮村

女子青年團長千葉卯仲 消防組頭阿部正巳 農會長阿部正巳 西風農家組合長三浦長之進 本郷同千葉潔 日向同佐々木俊直 平澤同佐々木浩 産婆阿部いさみ 長安寺佐藤雄吾 金昌寺同人 村社日吉神社石川瑞夫 熊野神社同

○眞瀧村

【現況一斑】△人口五、六七〇人△戸數七二〇戸△面積三、一二四方里△大字名三關、狐禪寺、瀧澤、眞柴△生産高總額四三七、三三〇圓△昭和十年年度豫算總額二九、六三三圓
村長渡邊養三郎 助役佐々木隆之進 收入役石川佐助 村會議員小野寺英幹 佐藤孫一 伊藤清太郎 木村幸吉 勳八蜂谷勝一 千葉政吉 阿部長七 蜂谷富之助 勳八阿部寅治 勳八小野寺登 勳八稻部平太郎 阿部千作 在郷軍人分會長正八小野寺英夫 男子青年團長伊藤亮 女子青年團長千葉きみよ 消防組頭勳八小野寺登 農會長佐々木隆之進 信購販利組合長小野

寺喜内 製筵同千葉專太郎 漁業同石川佐助 製紙同吉田鷹治 道路保護同石川佐助 村警笠原英竹 狐禪寺自警團長石川佐助 三關同千葉文一 下瀧澤同阿部惣一 産婆佐々木せん 高橋ひる 蜂徳旅館 熊養社瑞川寺 佐々木東海 光西寺 本田羽獄 長壽寺 秋元春晴 常光寺 芳川雄悟 長昌院 横山瑞殿 瀧神社藤原吉雄 教會天理教訓導阿部長藏

○萩莊村 (萩莊四〇二番)

△沿革 維新前は田村藩治下にあり明治四年廢藩後一關縣水澤縣磐井縣明治九年四月岩手縣に屬し第十一大區同年八月第十四大區第小區となり更に明治二十二年二月現在の大宇五ヶ村を合併し萩莊村となる此間自治制により五部落二十四ヶ區に別ち現今に至る
【現況一斑】△人口四、七九八人△戸數六八九戸△面積五方里△大字名上黒澤、上黒澤西方、下黒澤、市野々、達古袋△生産高總額四五二、六五五

四△昭和十年年度豫算總額三一、三〇一圓
村長勳七穂積小一郎 助役阿部徳吉 收入役勳八菅原榮市郎 村會議員佐藤清吉 佐藤半右衛門 熊谷運治 勳八千葉榮五郎 佐々木萬四郎 鈴木與四之助 沼倉助十郎 勳八金野米左衛門 石川千代太夫 伊藤廳

○巖美村 (巖美局一番)

△沿革 舊仙臺領明治四年一關縣に屬し爾後官制の變更と共に水澤縣磐井縣等に改まり明治九年岩手縣の管轄に屬し町村制實施に際し五串村(現今五串、山谷、本寺の各部落)猪岡村(現今猪岡、小猪岡、瑞山の各部落)を合併巖美村と改稱今日に至る
【現況一斑】△人口四、九七八人△戸數七四五戸△面積一二方里△大字名五串、猪岡△生産高總額二六五、三四四圓△昭和十年年度豫算總額四〇、六〇九圓
村長缺員中 助役阿部萬左衛門 收入役勳八佐藤幸三郎 村會議

岩手縣町村大觀——西磐井郡

員槻山幸右衛門 佐藤伊八 佐々木徳太郎 阿部利藏 菅原要吉 佐藤活治 佐々木雄三郎 千葉吉雄 佐藤卯一 佐藤洗 佐藤一郎 佐藤助次郎 在郷軍人分會長阿部眞治 嚴美村青年團長清水上長治 同女子青年團長西館リヨ 消防組頭槻山幸右衛門 農會長阿部萬左衛門 養蠶實行組組長同人 道路保護同佐々木雄三郎 保證責任嚴美信購販同同人 保證責任瑞山信購販同佐藤洗 西磐自動車會社長菅原東太郎 嚴美産業同佐藤三治 佐長合資同佐藤長七 開業醫阿部哲夫 産婆阿部ひて阿部ミヨシ 佐藤とみや 旅館(熊清)岩井田之助 (巴屋)黒澤馨助 料理店(嚴美莊)餘目恒吉 (浩養館)中川吉祐 長慶寺藤野惠海 龍門寺勳七小本憲悟 村社温泉神社茂庭利雄 村社駒形神社茂庭官之進

○山目村 (一 關局)

△沿革 舊仙臺領なりしが明治二年膽澤縣に屬し爾後官制の改革と共に一關縣水澤縣磐井縣等に改まり、明治十九年岩手縣の管轄に屬す、町村制實施に際し山目村赤萩村を合して山目村とす
【現況一斑】△人口六、五〇一人△戸數一、〇六五戸△面積一方里△大字名山目、赤萩△生産高總額(昭和八年度分)一八六三、四二二圓△昭和十年度豫算總額六二、二二四圓
村長阿部三之助 助役勳八村上榮四郎 收入役鈴木榮一 村會議員小野寺長吉 菅原文五郎 鈴木榮四郎 菊地太治郎 小岩専次郎 阿部金之助 千葉省三 岡本利壽治 菊地憲三 鈴木仲治 高橋清次郎 從七勳七小原倉藏 大越養吉 佐藤六郎 佐藤儀三郎 菅原勇藏 千田喜一郎 在郷軍人分會長勳七鈴木新一郎 男子青年團長佐藤一夫 女子青年團長阿部智恵 消防組頭菊地憲三 農會長阿部三之助 養蠶組組長同人 山目信用同從七勳七小原倉藏 共力信購、購販利同阿部金之助 山梅信購販同

○中里村 (一 關局)

△沿革 舊仙臺領地明治三年膽澤縣に屬し一關縣水澤縣磐井縣等に改まり明治七年岩井縣の管轄に屬す明治七年迄本郷、大林、端郷、前堀、細谷、作ノセ、樋口の七部落なりしを明治九年中里町分本郷、大林、端郷前堀の四部落を併せて中里村と稱し細谷、作ノセ、樋口の三部落を併せて川邊村と稱せり町村制の實施に際し中里村、川邊村の二ヶ村を合併して今日の中里村を成す村内の山目町は舊藩中慶長十三年驛馬場に定められ外南西部及

四五八

本吉郡の貨物集産地だった
【現況一斑】△人口昭和十年五月二十五日現在男二、一四六八女二、一三六八合計四、三八二人△戸數同七〇六戸△面積〇、八七〇方里△大字名山目、川邊△生産高總額昭和八年四六九、四二三圓△昭和十年度豫算總額四四、六四〇圓
村長正八勳六佐藤慶四郎 助役村長正八勳六佐藤慶四郎 助役村會議員東海林伸左衛門 千田作治 高橋芳男 梁川多利助 勳八吉田巳三郎 小野寺彌左衛門 鈴木萬之助 菅原謙次郎 柵瀬五一郎 小野寺作次郎 鈴木彌十郎 阿部伊平治 在郷軍人分會長從七勳七遠藤幸次 女子青年團長東海林カナメ 消防組頭東海林明二郎 農會長正八勳六佐藤慶四郎 信用組組長同人 購販利同小野寺彌左衛門 衛生同正八勳六佐藤慶四郎 照井堰普通水利同同人 株式會社八十八銀行支店長東海林明二郎 同派出所主任小松隆雄 奥羽自動車社長東海林明二郎 日本キ

○大原町 (大原局一番)

△沿革 明治三十六年町制施行す
【現況一斑】△人口七、一一六八△戸數一、〇五〇戸△面積四万八千△大字ナシ行政區(内野上中下三區、上大原上下二區、下町山口、大久保、拂川若宮、下大原、六日町、笠置、川内、中島川原町一市、立町)
△生産高總額七〇〇、五九〇圓△昭和十年度豫算總額七三、三四七圓
町長龜掛川誠三郎 町會議員加藤伊與治 金野泉助 小山久輔 中川善右衛門 菅原忠治郎 勳七千葉忠實 千葉清藏 正八金野市郎 小島亮平 鈴木精吾 佐藤仁左衛門 熊谷市右衛門 金野公三 伊東四郎 鈴木廣治 千葉逸治 小野寺德三郎 龜掛川甚藏 在郷軍人分會長正八菅原固一 大原青年團長佐藤繁治 消防組頭正八金野市郎 農會長勳七千葉忠實 信用販賣購買組合長加藤伊與治 開業醫本多清

岩手縣町村大觀——東磐井郡

ヤンドル株式會社社長同人 開業醫工藤智雄 産婆小野寺欣子 旅館(平野屋)黒川倉治(澤田)小野寺彌四郎 料理店(喜久本)小岩保治郎 永泉寺中臣亮敬 法泉寺早川本榮 村社熊野神社佐藤喜三郎 神明社同人 茂泉院鈴木覺堂 龍澤寺勳八鹽釜禪明 神職茂庭泰圓
○平泉村 (平泉局九番)
△沿革 往昔藤原氏居住の地天正十九年以降仙臺領に屬す磐井郡の内平泉、達谷、中尊寺、戸河内の四箇村なりしが明治四年廢藩置縣の際膽澤縣管轄となり當時平泉、達谷を合して平泉村とし平泉、中尊寺戸河内の三箇村とす後水澤縣所管に移り明治六年岩手縣に編入明治十年戸河内中尊寺を合せて衣關村とし町村制實施に際し平泉衣關を合して平泉村とす
【現況一斑】△人口四、九六〇人△戸數八三〇戸△面積六方里△大字名平泉、中尊寺、戸河内△生産高總額四六四、七

東磐井郡

○千厩町 (千厩局一九番)

三四圓△昭和十年度豫算總額四八、〇六八圓
村長南洞頼薫 助役鈴木省三 收入役高橋顯吾 村會議員達谷窟信亮 千葉壽治 勳八千葉安太郎 勳八高橋秀乘 勳八大崎吉四郎 鈴木喜代治 鈴木新左衛門 佐々木馬之丞 勳八千葉長治 菅原萬之助 佐々木亮逸 菅原俊治
【現況一斑】△人口五、二五〇人△戸數八七五戸△面積〇、八九方里△生産高總額九一六、二五九圓△昭和十年度豫算總額三一、六〇四圓
町長勳七千葉小平太 助役中澤賢吉 收入役千菅信 町會議員小菅俊治郎 菊地菊三郎 千葉七郎 白石俊祐 佐藤松三郎 佐藤長太郎 菅原良吉 伊藤正治 氏家健治 金野作平 菅原源三郎 松川昌見 在郷軍人分會長熊谷廣介 青年團長同人 女子青年團長從七勳七小笠原政一

岩手縣町村大觀——東磐井郡

消防組頭白石俊祐 農會長中澤賢吉 養蠶實行組合千厩第一區長及川善治郎 中澤同中澤賢吉 神子澤同 菅原良吉志 北ノ澤同 小野寺昌男 小田同 加藤利治平 木六 村上隆 青年學校長從七勳七小笠原政一 縣穀物検査所千厩出張所藤原登一 一ノ關土木管區千厩出張所川村秀三 横屋造株式會社社長佐藤秀平 岩手縣製絲株式會社工場長東條綠 八十八銀行支店長白石俊祐 殖産銀行支店長小笠原重藏 盛岡無盡支店長佐々木金五郎 岩手無盡支店長佐藤忠雄 仙臺地方專賣局千厩出張所長平賀宇兵衛 開業醫東山病院長出口恒三郎 千厩病院同遠藤敏三 三浦醫院三浦辰雄 櫻岡醫院櫻岡幾代 産婆本田五れな 伊藤シゲノ 千厩劇場名取榮五郎 旅館(中上)金野俊雄 昆野慶亨 料理店宮城家江月 松月東雲 玉川家中中央亭 大光寺千葉穀道 中澤大光寺松本修三 吉川寺 梁川覺眞 村社松澤神社

四五九

岩手縣町村大觀——東磐井郡

小山隆助 加藤祐治 産婆小山カッ 小山テル 旅館(丸善)伊東孝志 菅原誠 料理店佐賀忠八本郷ヤス 長泉寺新沼孝範 村社八幡神社大原正磨 金鳥神社宮本聖一

○藤澤町 (藤澤局九番)

【現況一斑】△人口四、八九二 人△戸數八二三戸△面積一方里六七五△大字名藤澤、西口△生産高總額二六八、六〇〇 圓△昭和十年度豫算總額四八、八八五圓 町長勳七千葉需 助役勳七千葉學治 收入役佐藤小一郎 町會議員勳七千葉需 勳七千葉學治 高等篤四 皆川哲平 皆川初太郎 皆川慶次郎 菅原貞吉 阿部平治 橋本彌充 菊池眞三 佐藤嘉平 在郷軍人分會長勳八五十嵐三五郎 青年團長阿部平治 女子青年團長齊藤智平 消防組頭勳八五十嵐三五郎 農會長勳七千葉需 藤澤煙草耕作組長勳七功七橋本彌充 開業醫勳七佐藤慶太郎 一關區裁判所出張所佐藤信

産婆小野なるみ 佐藤順子 館澤菊子 常設館商友館小野守衛旅館(丸長)高橋長太郎(八卷)八卷長吉 料理店まるせ高橋千賀子 新盛亭伊勢田ひさ 藤勢寺 彈弓院 圓融寺 玉川寺村社葉山神社 同八坂神社

○折壁村

△沿革 葛西領に屬し後仙臺藩に屬す維新後明治二年八月膽澤縣に後一關縣水澤縣磐井縣を経て同九年岩手縣に屬し磐井郡下折壁村となり濱橫澤村上折壁村釘子村の四ヶ村組合となりしが明治二十二年下折壁村濱橫澤村を合して折壁村を成したり 【現況一斑】△人口三、九七三 人△戸數六五一戸△面積二方里七九△大字名下折壁、濱橫澤△生産高總額昭和九年度一八一、〇六一圓△昭和十年度豫算總額二三、八五〇圓 村長勳八佐藤祐一郎 收入役藤代福次郎 村會議員勳七藤代吉治郎 遠藤興三郎 小山悦三郎 土屋智岳 勳八千葉儀右衛門

高橋榮四郎 正八遠藤龍 齋藤清之助 小松麻之進 勳八鈴木幸四郎 在郷軍人分會長正八遠藤龍青年團長小野寺省三 女子青年團長同人 消防組頭阿部寅雄 農會長勳八佐藤祐一郎 折壁信用購買販賣利用組合長伊東重内 煙草耕作同小山悦三郎 産婆須藤ミトリ 旅館(村喜)村上喜久治 (岩手屋)桐澤類子 龍雲寺須藤良孝 松山寺土屋智岳 縣社室根神社社司金森福壽郎 村社彌榮神社金森福壽郎

○矢越村

村長齊藤清四郎 助役渡邊精太郎 收入役小山昌見 村會議員小山喜一郎 佐藤太門 藤原初雪 千葉勘之進 及川精吾 正八菅原惟一郎 佐々木左馬之助 小岩直 須東一治郎 小野寺善三郎 吉田九平 岩淵文藏 在郷軍人分會長勳七鈴木武市 矢越村青年團長齊藤清四郎 矢越町女子同同人 青年訓練所主事鈴木惠輔藤野彬 農會長齋藤慶文矢越村煙草耕作組合長三浦武

四六〇

三郎 産業同及川善太 藤林寺瀨戸惠一 大泉寺高梨祖蔭 建高寺中島悦山 村社彌榮神社菊池東雲矢越神社同 天理教會鈴木軍治

○小梨村

△沿革 明治二十二年町村制實施に際し南小梨、北小梨、清水馬場熊田倉金田の五ヶ村を合して小梨村と稱す往昔平泉藤原氏の有に歸し其後幾多の變遷あつたが天正以前は葛西の臣小梨右馬充、千葉左近藤崎參河、千葉相模等の采邑に屬し葛西亡ぶると共に伊達氏の封地に隸し後田村下總守の采邑となりて王政維新に至る 【現況一斑】△人口三、九〇〇 人△戸數五八〇戸△面積東西一里半南北二里餘一方里九一△大字名小梨、清田△生産高總額三五二、三九八圓△昭和十年度豫算總額三二、三二二圓 村長勳七西城瀧之丞 助役菅原侃 收入役小野寺廣重 村會議員從七佐藤德四郎 尾形健吾

小野初藏 勳八島山清三郎 佐藤清右衛門 村上武彦 千田幸三郎 勳八三浦久之丞 佐々木幸四郎 穴戸悌吾 在郷軍人分會長正八西城耿 青年學校長三浦謙二 男女青年團長同人 農會長勳八三浦久之丞 煙草耕作組合長勳八菅原恭助 信用購買販賣利用組合長從七佐藤德四郎 聯合自警團長勳七西城瀧之丞 開業醫千葉誠 産婆伊藤とき子 佐々木壽子 小野寺さつき 洞雲寺西村芳雄 常樂寺松山勇 村社白幡神社佐藤勇 村社金田神社

○八澤村

村長勳七菊地運治郎 助役佐藤季男 收入役千葉清治 村會議員星惣一郎 勳八星惣助 星五彦 勳八千田亮治 勳七千葉小平太 從七島山伊勢雄 勳七菊地正吉 菊地賢治郎 皆川彦治 菅原伊左衛門 佐藤興吉 伊藤孝一郎 在郷軍人分會長從七陸軍歩兵中尉島山伊勢雄 八澤青年團長菊地運治郎 八澤女子同佐藤季男 消防組頭千葉盛治

岩手縣町村大觀——東磐井郡

農會長勳七千葉小平太 八澤信購利販賣組合長千葉小平太 開業醫成澤茂 産婆菅原たまよ 西光寺倉部豊峻 吉祥寺佐藤秀運 全昌寺佐藤巳祐 村社立石神社

○大津保村

△沿革 古昔藤原氏三代の所領後葛西陸奥守の領地となり木村伊勢守の采邑と變じ慶長以後伊達氏の封内に屬し二百六十年の久しきに至る、明治二年松平大和守の所領となる慶長の後水澤縣に屬したが同九年岩手縣に屬す町村制を實施せるに當り現在の大字舊三ヶ村を一として大津保村とす 【現況一斑】△人口三、八八八 人△戸數六二七戸△面積四方里△大字名大籠、津谷川、保呂羽△生産高總額一五八、七九〇圓△昭和十年度豫算總額四一、八七三圓 村長島山重則 助役缺員 收入役金野吉左衛門 村會議員皆川鶴太郎 皆川新吉 石田貞之進 三浦豊治 日下勉 島山隆治 三浦正雄 佐藤惠三郎 佐藤鐵

○黄海岸

治郎 首藤廉治 在郷軍人分會長菅原秀治 大津保村青年團長島山重則 大津保女子同同人 保呂羽信用販賣利用組合長皆川鶴太郎 大津保村養豚同佐藤信昌 大津保村第六區負債整理同小野寺德吉 大津保村養蠶實行同山口巖 産婆三浦よしみ 及川みつ子 龍洞院熊谷潜瀧 長徳寺吉田善教 藤源寺千葉徳山 郷社保呂羽山神社山内榮 村社神明同人 【現況一斑】△人口四、一〇九 人△戸數六三二戸△面積二方里△生産高總額二六六、五四七圓△昭和十年度豫算總額三〇、六五〇圓 村長岩淵道信 助役正八佐藤京亮 收入役佐々木文雄 村會議員岩淵要 三浦泰一郎 千葉熊右衛門 及川泰次郎 熊谷太九藏 千葉甚右衛門 佐藤春吉 菅原春吉 千葉養平 武田吉四郎 佐藤覺兵衛 岩淵喜惠治郎 在郷軍人分會長正八佐藤京亮 男子青年團長榊原孝 女子同同人 消防組頭佐藤覺兵衛 農會

○薄衣村(薄衣局十二番)

長岩淵道信 黄海信購販利用組合長同人 葉煙草耕作同阿部幸助 自警團長菅原春吉 一關病院黄海診療所醫學士小原幸 黄海郵便局長 伊東文實 産婆千葉ちよせ 旅館千葉はな 菊田幸吉 かねや 千葉こう 保壽寺膝館諦泉 長昌寺小野寺圭三 寶珠寺小野玉芳 村社葉山神社梁田慶見 【現況一斑】△人口四、四四六 人△戸數七四一戸△面積一、五二方里△生産高總額二六七、八四六圓△昭和十年度豫算總額三一、二四四圓 村長勳七高橋國治 助役勳七菊池督之介 收入役高橋利雄 村會議員勳七高橋國治 勳七廣長利吉 千葉喜三郎 千葉莊治郎 金野議造 菅原寅吉 橋本時直 山形傳 伊藤勇雄 佐藤孝七 米倉健五 在郷軍人分會長佐藤俊雄 男子青年團長佐藤繁次 女子同正八勳八千葉政吉 消防組頭金野議造 農會長勳七高橋國治 信用購買販賣利用組合

長山形傳 薄衣煙草耕作同菅原
清松 薄衣村外山同菅原盛雄
薄衣村衛生同菊田慶徳 開業醫
菊田九一 菊田吉兵衛 東山組
合病院薄衣診療所小保内宮道
産婆毛利正木 瀬上園子 松岡
ヨシミ 常設簡忠孝閣橋本孝
旅館(赤澤)千葉正義 料理店(東
洋館)菅原ナミ (岩啓館)磯貝
きぬ(梅かし)本橋孝 東安寺青
山敬司 安養寺石村智隆 浪分
神社藤元淳七郎 天理教會昆野
道四郎

○奥玉村(奥玉局二四番)

△沿革 今を去る一千二百年
神龜三年聖武天皇の朝村の鶴
ヶ峰(玉堀)より玉を堀り出し
時の鎮守府將軍大野東人に獻
じてより奥玉村と稱せり後世
に至り興、奥、音訓相近く文
字亦相似せるを以て轉訛し今
日に至る。

【現況一斑】△人口三、六一五
人△戸數六〇八戸△面積一方
里九〇七△生産高總額二七
八、六九〇△昭和十年年度豫算
總額四一、〇七三圓
村長從七太田敬義 助役鉄員

岩手縣町村大觀——東磐井郡

收入役千葉徳四郎 村會議員佐
藤貞助 千葉行助 菅原彦之
金野多左衛門 菅原市之丞 佐
藤文志助七 穴戸彰 從六勳六
菊池徳兵衛 藤野榮治 千葉哲
之助 勳七千葉東藏 藤野安之
坂 在郷軍人分會長從七太田敬
義 奥玉青年團長奏任七菊池正
人 奥玉女子同人 消防組頭太
田敬義農會長同 奥玉信用購買
販賣利用組合長勳七穴戸彰 産
婆藤野キリ子 安養寺魚住亨音
地藏院大場淨雄 村社八坂神社
奥村淨 無格社八幡神社熊谷常
穂ハリス トス正教會聖母會代表
菊池十三治

○警清水村

△沿革 本村往時濁沼寺澤佛
坂の三村なりしに之を合併し
明治九年四月警清水村と改稱
す

【現況一斑】△人口一、八四六
人△戸數二七五戸△面積一方
里△生産高總額一六九、〇四
三圓△昭和十年年度豫算總額一
七、八六七圓
村長勳八千葉襄一郎 助役千葉

岩手縣町村大觀——東磐井郡

洪實 收入役菊地誠一郎 村會
議員勳八小野寺貢 小野寺昌之
進 正八勳八菊地健雅 菊地彌
七 菅原一郎 岩崎學三郎 勳
七功七昆野三郎 千葉和太郎
菅原隆吉 伊藤榮八郎 伊藤又
五郎 勳七龜封川藤太郎 在郷
軍人分會長勳七龜封川藤太郎
男女青年團長松本敬止 農會長
勳八千葉襄一郎 信購買利組合
長同人 農事實行組合長小野寺
善助 同千葉義七郎 勳七龜封
川藤太郎 養蠶實行組合長菅原
一郎 同正八勳八菊地健雅 同
勳七龜封川藤太郎 産婆千葉た
か子 安樂寺小木益道 永樂寺
新渡戸龍見 鶯嶺庵菊地泰禪
新浪神社菅原清枝 新山神社同
人 多賀集神社同人

○門崎村

△沿革 安倍賴時平泉藤原氏
葛西清重の治下を経て清重家
臣門崎安藝更に木村秀俊蒲生
氏郷を經伊達政宗の封内に屬
し明治二年七月安藤從五位の
領となる同年贈澤縣に屬し後
一關縣登米縣磐井縣九年始め
て岩手縣の管轄に屬して現今

人△戸數四五八戸△面積一方
里七七△行政區字名中通、深
堀、岩ノ下、三室、瀧ノ澤、野平
卯入道小白、六日町、一市町△
生産高總額三六八、〇〇〇圓
△昭和十年年度豫算總額五〇、
〇〇二圓

村長松川市太夫 助役五安城秀
平 收入役松岡猛二郎 村會議
員高階八重彦 鈴木啓治郎 千
葉西藏 石川謙治 勳八瀧ノ澤
文七 小野寺徳五郎 勳七千葉
徳平 千葉丈之進 大槻義夫
正八松川長太夫 高橋喜興之助
在郷軍人分會長正八松川長太夫
青年團長伊藤太治郎 消防組頭
松川喜藏 農會長伊藤伴藏 購
販利用組合長石川道之助 煙草
耕作同勳七千葉徳平 開業醫高
橋昌造 産婆高橋きのへ 千葉
きみゑ 旅館和賀四郎右衛門
宗松寺村上全量 早間神社松川
茂

○舞川村(舞川局一五番)

△沿革 東磐井郡の西部に位
し往時舞草村相川村の二ヶ村
なりしに町村制の實施に當り

岩手縣町村大觀——東磐井郡

之を合併し舞川村と稱す、村
社舞草神社は本村舞草字大平
鎮座延喜式内將軍田村曆東征
當時勸請にして仁壽二年八月
辛巳授從五位下村社菅原神社
は嘉應二年藤原秀衡公勸請
【現況一斑】△人口四、三九七
人△戸數七一六戸△面積二、
〇三七方里△大字名相川、舞
草△生産高總額四二三、〇九
〇圓△昭和十年年度豫算總額一
〇八、二三七圓

村長伊藤徳三郎 助役佐藤彌七
收入役勳八小野寺亮助 村會議
員正八勳六内田孫彦 勳七佐藤
丈一郎 佐藤繁藏 勳八氏家榮
藏 吉家喜市郎 鈴木清若萱慶
吉 勳七佐藤興四郎 石川賢吉
舞草勇 在郷軍人分會長正八勳
六内田孫彦 舞川村青年團長伊
藤徳三郎 舞川村女子同人消
防組頭伊藤彌市 農會長正八勳
六内田孫彦 相川信購買利組合長
同舞草信購買利功七勳八千葉喜三
郎 開業醫慈惠醫學士門田峻
大越英伸 産婆内田シク 觀福
寺多門亮祐 常川寺東磐佛教會

長相澤惠勝 延喜式内舞草神社
熊谷三郎 菅原神社同

○長島村

△沿革 安倍氏、藤原氏、葛西
氏此の地を鎮せしこと其の間
約八百年、伊達氏の封土に屬
してより二百七十六年、明治
維新に至り、明治九年岩手
縣に屬してより當時役場を小
島に置き小島外、相川、舞草、
長部、赤生津、母体の村治を
行ふ町村制實施と共に六ヶ村
の組合行政區畫を割き小島、
長部の二ヶ村を合して長島村
と稱す

【現況一斑】△人口三、六〇四
人△戸數五五三戸△面積四、
九九方里△大字名小島、長
部△生産高總額二八五、二〇
二圓△昭和十年年度豫算總額一
九、四四一圓
村長從七勳八吉田隆治 助役島
山民藏 收入役三浦正親 村會
議員淺利壽三郎 千葉源一郎
千葉豊之進 高橋重一郎 猪岡
善之進 佐藤市右衛門 岩淵清
吉 勳八青木榮助 千葉直治郎

に至る。

【現況一斑】△人口二、三〇九
人△戸數三六一戸△面積一方
里二二六 △生産高總額一一
六、七三五圓△昭和十年年度豫
算總額二五、二五八圓

村長正八勳六佐藤武 助役瀧澤
千助 收入役鈴木與一郎 村會
議員佐藤勝三郎 千葉又治郎
鈴木小市郎 瀧澤芳雄 千葉丈
之助 熊谷征 千葉定治 小野
寺幸吉 佐々木慶一 小野寺新
之助 千葉保兵衛 千葉茂平
在郷軍人分會長正八勳六佐藤武
男子青年團長小野寺村雄 女子
佐藤利雄 農會長正八勳六佐藤
武 保證責任門崎信用購買販賣
利用組合長同人 門崎村葉煙草
耕作同佐々木慶一 門崎運送合
資會社金野謙造 佐藤製材工場主
主佐藤勝三郎 川崎製材工場主
菅原直太郎 旅館(松葉)小山と
し 長松山常堅寺及川英雄 石
藏山最明寺千田靈仲 村社伊吹
神社藤元淳七郎

○松川村(松川局一番)

【現況一斑】△人口二、九六六
人△戸數四九八戸△面積約三
平方里△大字名母体、赤生津
△生産高總額一七〇、九八〇
圓△昭和十年年度豫算總額二
二、一一二圓〇四

△沿革 本村はもと赤生津村
母体村の二ヶ村なりしが町村
制實施と共に合して生母村と
なす
【現況一斑】△人口三、〇五六
人△戸數四九八戸△面積約三
平方里△大字名母体、赤生津
△生産高總額一七〇、九八〇
圓△昭和十年年度豫算總額二
二、一一二圓〇四
村長勳八菊池良治 助役千葉正
市郎 收入役初貝源之進 村會
議員及川峻 三浦榮 安部精藏

初貝良一郎 千葉富之進 菊池東之進 勳八菊池良治 石川勇四郎 佐々木主計 後藤丈四郎 千葉惣治郎 在郷軍人分會長小野寺長吉 生母青年團長佐々木應助 生母村女子同正八渡邊功消防組頭勳八菊池良治 農會長同同人 生母村葉煙草耕作組合長同同人 生母村母体字南在貞債整理同同人 生母村母体字町負債整理同石川正雄 生母村赤生津第一負債整理同安部精藏 生母村赤生津第一養蠶實行同安部精藏 生母村赤生津第二養蠶實行同初貝良之進 赤生津共榮養蠶實行同佐藤新三郎 赤生津興隆養蠶實行同小野寺只七 生母村郵便局長菊池良光 生母村母体養蠶實行組合長菊池良光 生母村衛生同勳八菊池良治 淨圓寺菊池子賢 耕雲院森住靜英村社月山神社 村社八重垣神社 森森安穂 生母尋常高等小學校長正八渡邊功生母青年學校長同同人 生母少年團長同同人 生母村愛國婦人會長勳八菊池良治

生母村第五區自警團長千葉壽生母村天王自警團長千田欣市

○田河津村

【現況一斑】△人口二、一一三人△戸數三二六戸△面積二方里五五東西一里二七丁、南北一里三二丁△大字名竹澤、字夏山字横澤、字矢ノ森、字高金、字紙生里、字丸木、字矢ノ森△生産高總額一九四、七六一圓△昭和十年年度豫算總額二、三〇五、七二錢

村長伊藤軍治郎 助役高橋大藏 收入役佐藤柳平 村會議員高橋彌藏 佐藤鐵三郎 佐藤長之進 佐藤清三郎 勳八佐々木東作 中村權之進 伊藤軍治郎 那須野冬吉 菅原留三郎 堀込慶四郎 小野寺專藏 高金峻 在郷軍人分會長勳八菅原長治 男子青年團長高橋大藏 女子同松本武夫 消防組頭高橋大藏 農會長渡邊豊治 煙草耕作組合長伊藤軍治郎 養蠶實行同佐藤清太郎 同佐藤英三郎 同高金峻 第一區農事實行同高橋大藏 農事實行同佐藤長之進 第四區農

事實行同高金峻 第五區農事實行同三浦正一郎 第六、七區農事實行同勳八那須野倉之丞 第八區農事實行同菅原晋三郎 觀林寺高橋觀龍 遠應寺鈴木武資村社山ノ神社小野靜

○長坂村(長坂局三五番)

△沿革 安倍、藤原氏の所領を経て葛西の族千葉刑部頼胤の領するところとなり村内唐梅館に居城すること三百四十余年更に伊達政宗の所領となり明治維新後廢藩置縣となり後明治九年始めて岩手縣に屬す、十一年磐井郡を東西に分ち東磐井郡に入る、同十七年長坂松川猿澤田河津の四ヶ村聯合の戸長役場の所轄となり町村制實施の際自治團體になり

【現況一斑】△人口三、一三〇人△戸數五〇四戸△面積一、八三五方里△生産高總額昭和九年一八九、五一四圓△昭和十年年度豫算總額一般會計七、九、五四〇圓、特別會計一五、四〇九圓合計九四、九四九圓

村長那須新四郎 助役菅野俊治

収入役菅原金之助 村會議員菅原吉司 及川憲介 鈴木量平 岩淵新三郎 小原東七郎 吉田和吉 佐藤道右工門 勳七菅原政治郎 伊藤佐藏 勳八柄澤連治 伊藤久左工門 在郷軍人分會長佐藤兵市 長坂村男子青年團長從七勳八小原民雄 同女子同同人 消防組頭佐藤兵太夫 農會長勳八菅原正三郎 長坂信用購販利組合長鈴木梅吉 東山紙販販利同那須新四郎 長坂村煙草耕作同同人 東山興産株式會社社長松川吉之進 開業醫阿部東右工門 阿部亮定、産婆阿部京子 鈴木よし子 旅館(かぢや)菅原喜作 (鈴木屋)鈴木きん 曹洞宗安養寺勳七鈴木徳十郎 善龍寺辻村祖峰 村社熊野神社長坂香澄 無格社新山神社熊谷和助 天理教會長坂宣教所鈴木みつ

○猿澤村(猿澤局七番)

【現況一斑】△人口三、〇二〇人△戸數四八〇戸△面積二方里余△大字名伊七堂、宿の通

前、同向、大町裏、夕ボ前、地ノ

平 大久保、山瀧△生産高總額二一五、八七五圓△昭和十年年度豫算總額二三、三六二圓 村長村上正雄 收入役及川浩 村會議員及川長之助 首藤喜三郎 小野寺菊四郎 佐山徳之助 中津山雄祐 菅原小三郎 及川明仙 金傳之助 小野寺松太郎 小野寺東吉 村上正雄 在郷軍人分會長及川貞一 猿澤村男子青年團長金野留七郎 女子同金野留七郎 消防組頭及川浩 農會長中津山雄祐 道路保組組合長佐藤恂 葉煙草耕作同及川幸治郎 猿澤信用同中津山雄祐 猿澤少年道保愛同石山茂一ノ關病院猿澤診療所 産婆佐藤みわ 旅館(大正館)小野寺龜助 及川清市(田中)石川タツミ 龍泉寺新渡戸龍見 觀福寺佐伯運隆 村社猿澤神社金野觀明

○摺澤村(摺澤局一九番)

△沿革 安和年中奥玉郷より分離一關侯田村宗良の領となり明治の維新に至る廢藩置縣以來膽澤縣なり膽澤縣出張所

岩手縣町村大觀——東磐井郡

を置かる後一關縣水澤縣磐井縣等の管轄となり明治九年岩手縣に屬し本日に至る安和年中十七戸なりと云ふに享保廿年摺澤驛上町設置明治三十六年但馬崎町設置あり大正十四年大船渡線鐵道開通し二驛新設さる

【現況一斑】△人口四、〇三八

人△戸數六七三戸△面積一、六五二方里△生産高總額一九〇、二二二圓△昭和十年年度豫算總額二七、六一二圓 村長小原亮一 助役加藤福治郎 收入役和賀孝一郎 村會議員小原亨二郎 小原亮一 小原肇 金野喜平太 佐藤三治郎 飯澤武雄 加藤芳男 泉田壽 島山周治 菊池金平 菊池善雄 松川伊八 在郷軍人分會長勳八小原肇 男子青年團長菊池精一 女子團長金ふさ 消防組頭金野喜平太 農會長菊池精一 摺澤信購販利組合長佐藤正吉 葉煙草耕作同勳八加藤武八 摺澤道路保同三浦源太夫 摺澤商業同加藤芳男 横屋株式會社社長

佐藤良平 開業醫折居隆 伊藤要一 齒科醫院伊藤四郎 東山病院摺澤出張所摘要 産婆那須ハシメ 常設館東座加藤芳男 旅館(丸久)那須久四郎 (青柳)青柳文藏 料理店(不

二家)藤野源三郎 (旭軒)佐藤音吉 高健寺谷本高俊 村社八幡神社都澤眞繁 ひとつのみち教會加藤益治郎

○遊民村(大原局四七番)

△沿革 町村制施行せらるるに際して曾慶、遊民を合併村名を遊民村とす 【現況一斑】△人口三、八一四人△戸數五五七戸△面積一方里八五△大字名遊民、曾慶△生産高總額二四五、四五七圓△昭和十年年度豫算總額二一、二八一圓 村長缺 助役岩淵長兵衛 收入役勳八菊池啓輔 村會議員岩淵武治 佐藤彦三郎 須藤重助 佐藤一男 菅原孝 勳八菅原由吉 菅原文治 熊谷武司 芦育平 菊池定治 金野勇市 佐藤直 在郷軍人分會長勳八足

○興田村(大原局四八番)

【現況一斑】△人口六、四九三人△戸數一、〇七六戸△面積七方里△大字名沖田、鳥海中川△生産高總額七二六、四四三圓△昭和十年年度豫算總額八二、〇六九圓 村長伊東國輔 助役金一彌 收入役小山武 村會議員及川正之助 小山耕三郎 高橋古梁 小山剛 金一彌 千葉音治 小山友助 佐藤喜七 正八及川宇吉 武田儀三郎 伊東國輔 菊池甚四郎 佐々木助治 伊東勇 及川亮助 及川和平 伊東久四郎 下川原正夫 在郷軍人分會長正八及川宇吉 男子青年團長鈴木松治 女子同同人 消防組頭伊東國輔 農會長柏原興一 産業組合長金一彌 開業醫小原一二 山口重太郎 産婆山口マツヨ

岩手縣町村大觀——氣仙郡

旅館(玉の春)金野鐵得 (鈴木屋)鈴木郁三郎 照覺院高橋古梁 西光寺 平野紹年 龍門寺 日下禪山 安昌寺玉手禪覺 興田神社藤野眞茂

氣仙郡

○盛 町 (盛局六六番)

△沿革 天徳年間以前より高斜郡佐倉里と稱へ葛西氏の時代以後維新當時に至るまでは佐狩郷田茂山村と稱へた明治八年猪川村と合併して盛村となり町村制實施せらるるに至り猪川村と分離し町制を布き盛町と改め現在に至る

正七勳六佐々木謙之助 淺野甚助 千葉勝右衛門 鈴木傳治郎 在郷軍人分會長正八刈谷友三郎 盛青年團長伊勢東太郎 女子同安部留之進 消防組頭今野松三郎 農會長鈴木章助 保證責任盛信用組合長同盛衛生同正八勳六須藤覺三郎 盛漁業同正八刈谷友三郎 養蠶實行組合長佐々木福七 氣仙水力電氣株式會社 長中里久七 氣仙醬油同鈴木勝二 柴自動車同柴正一郎 第八十八銀行支店長佐藤源藏 殖産銀行支店長村谷忠吉 煙草販賣所長門脇孝三 有限責任購買利用氣仙組合病院院長湊谷隆雄 開業醫正七勳六佐々木謙之助 熊谷松作 大内賢二 産婆熊谷トミ 田中コノヘ 鈴木忠 西村ハル 大盛館水野英治 山田秋聲 昆野甲午郎 旅館水野豊作 (浦貞) 水野貞夫 料理店(喜福亭)櫻田金平 (菊千家)及川千代吉 洞雲寺清水孝詮 淨願寺九子隨宜村社天照御祖神社 長谷川七郎 教會ハリストス正教會管理者千葉協三 天理教盛分

教會鈴木富治

○高田町 (高田局一番)

△沿革 舊藩時代は藩の直轄にして維新前迄代官政治なりしが維新後廢藩置縣に依り制度改革し江刺縣登米縣水澤縣磐井縣宮城縣に轉屬し明治九年岩手縣の管轄となり第十六區一番扱所を本村に置き高田區一扱所を横田竹駒の五箇村を氣仙矢作横田竹駒の五箇村を統轄し官選戸長を置きたり明治十二年に至り高田村と竹駒村を合併して水上村と改稱し前記扱所を廢し各村獨立して戸長を置いたが明治十七年に再び水上氣仙矢作横田の四ヶ村聯合して本村に戸長役場を置き自治制執行と同時に水上村を分離して高田竹駒を復舊獨立せしめ高田には町政を布かれ爾來今日に至る

四六六

吉 收入役勳七新沼吾狼 町會議員菊池重藏 金野清松 磐井篤平 石川一郎 柳下重吉 金野榮吉 柴田健太郎 佐々木實三郎 勳六須知六郎 熊谷倉五郎 福田銀治郎 熊谷季貞

○氣仙町 (今泉局) (高田四二番)

△沿革 郡の南端に位し平泉藤原氏の盛時は其の勢力範圍に屬し同氏没落葛西氏之を領し天正十九年同氏亡び伊達家の管する所と爲る爾來明治維新に至る明治四年廢藩置縣となるや江刺縣に屬し爾來水澤縣磐井縣宮城縣の管轄を経て同九年岩手縣の所轄と爲り今日に及ぶ(以下本郡各町村の經過も同じ)而して本村往古は今泉長部の二部落を包容したる一村なりしが慶長年間兩村二分され明治に至り再び合併して一村と爲し大正十五年十一月町制施行

七二一圓△昭和十年度豫算總額三一、四九四圓

町長正七勳八河野俊覺 助役吉田六郎 收入役紺野新二 町會議員小友定 菅野文吾 吉田耕一 勳七佐藤與吉 米谷治右衛門 熊谷卯右衛門 勳七伊賀平七 吉田林作 佐々木音吉 熊谷金七 菅野平治 熊谷養之丞 在郷軍人分會長河野淡治郎 男女青年團長及川仙太郎 消防組頭勳七佐藤與吉 農會長正七勳八河野俊覺 氣仙町購買販賣利用組合長吉田耕一 氣仙町漁業同吉田六郎 長部養蠶實行同設樂豐治 今泉同勳七佐藤與吉 氣仙町同吉田耕一 長部運送倉庫株式會社社長伊藤勇藏 開業醫曾根留吉 菅野亨 木島作衛 及川玄秀 産婆三石ヨネ 佐々木みち 遠野ミハル 旅館(彌滿平)森平三郎 (小友屋)小友勘治郎 料理店(かねも)菅原モト (曙)村上吉雄 金剛寺加藤覺隆 龍泉寺江刺眞能 長圓寺宮城隆俊 泉増寺加藤覺隆 村社諏訪神社正七勳八河野俊覺

岩手縣町村大觀——氣仙郡

村社月山神社荒木眞水

○大船渡町 (大船渡六九番)

△沿革 明治九年岩手縣に屬し明治十二年大船渡村役場を砂子前に設置し村を治め十七年盛町に五ヶ村聯合戸長役場を置き二十二年初めて町村制を布せらるるや聯合役場を廢し村役場と改め昭和九年四月町制を布く

長後備歩兵上等兵濱田徳之進

大船渡青年團長及川庄松 同女子青年團長鈴木與吉 消防組頭佐藤平一郎 農會長漁業組合長新沼芳竹 衛生組合副組合長川原綾助 大船渡漁業同新沼芳介 大船渡魚市場株式會社社長川甚治郎 (大船渡株式會社社長任佐藤平一郎 八十八銀行大船渡出張所長伊勢與八 大船渡療院開業醫關澤修平 木平秀孝 河原秀雄 齒科醫川上悟 産婆吉田のぶ 常設館上野吉三郎 旅館(境屋)飯塚仙藏 (開港)森田子之助 料理店(朝日)高橋政一 西光寺當澤北仙 村社加茂神社長谷川七郎

○末崎村 (細浦局四番)

△沿革 戸數六〇〇戸△面積一方里 字名船河原、峰岸、細浦、内田、中野、神坂、小細浦、山岸、平林、上山、小田、高清水、鳥崎、鶴卷、大田、門之濱、小中井、西館、中森、泊里、大豆澤、大濱、山根、石濱、作澤、赤土倉 △生産高總額三五七、九六八

圓△昭和十年度豫算總額三二、一六三圓

村長山本周太郎 助役細川八百治 收入役熊上養治郎 村會議員山本周太郎 岡本源七郎 平野市太郎 近藤連 山本春吉 熊上熊之助 菅原政之進 菅原直 瀧田巖 大和田治平 村上市藏 紀室善五郎 在郷軍人分會長瀧田巖 青年團長村上作治 女子同菅原いほ 消防組頭瀧田米三郎 農會長山本周太郎 漁業組合長細川八百治 信用購買同菅原保右衛門 開業醫瀧田醫院 産婆平野よしの 上野スヘ 旅館(徳壽屋)紀室徳治 (峰岸)熊谷ミツ 料理店(松竹)遠藤ヨシヘ (松月)熊谷ミツ 麟祥寺 金良虎 長源寺谷山英完 村社熊野神社宮崎雅見 熊野神社志田榮治

○小友村 (只出局四番)

△沿革 戸數四四五戸△面積〇、六方里△生産高總額一六一、七八四圓△昭和十年度豫算總額當初二三、六一二圓 村長及川隆平 助役黃川田雄平

四六七

收入役及川男吏 村會議員吉田倉治 金澤喜代治 菅野重治郎 金濱利三郎 石川留藏 岡田卯三郎 佐藤清治郎 佐藤藤右衛門 小松正 戸羽太郎 紺野勝治 黃川田雄平 在郷軍人分會長後少尉金澤正治 小友青年團長千葉政徳 消防組頭石川留藏 農會長千葉薰次郎 小友村産業組合長紺野勝治 養蠶實行同千葉薰治郎 開業醫高橋敏佐 産婆佐藤サカエ 旅館(石川)石川留藏(土手久)及川オトス (小友ホテル)藤川藤三郎 華藏寺如山惠観 正徳寺千葉了然 常膳寺山谷英完 村社八幡神社社室海見天理教吉田テヨ

方里△生産高總額五二〇、三七三圓△昭和十年年度豫算總額七五、九〇八圓 村長佐々木大三郎 助役小松久右衛門 收入役蒲生米之助 村會議員佐々木大三郎 小松久右衛門 勳八長野保兵衛 富山吉五郎 吉田養治 勳八白井小三郎 村上初右衛門 勳八功七伊藤福治 鈴木泰右衛門 大和田新之助 勳八吉田良治郎 蒲生久雄 在郷軍人分會長蒲生米之助 消防組頭佐々木大三郎 農會長大和田新之助 漁業組合長佐々木大三郎 漁業同大和田新之助 養蠶實行組合長同大和田新之助 桐樹増殖實行同 大酒造工場長佐々木大三郎 平田酒造工場長村上延雄 惠比須屋食料品工場長鈴木金治 開業醫醫學士國枝幸丸 旅館(佐々木)佐々木忠一(大西)佐々木福治(吉田)吉田良治郎(山下)及川利吉 料理店(ひびき)千葉彌三郎 慈恩寺古山宗真 村社黑崎神社沙田芳三郎

△沿革 氣仙郡司金爲時の中山館に居りしは天文康平の頃八百年前すでに人烟の開けた所元勝木田村濱田村の二村なりしが明治八年合併して米崎村となる

△現況一斑△人口男一、五〇三人女一、四六六人二、九六九人△戸數四六六戸面積一四、七九方軒△大字名上濱田、下濱田、神田、沼田、脇の澤、勝木田△生産高總額二〇四、七三〇圓△昭和十年年度豫算總額二六、五八一圓六〇錢

△沿革 天正十九年伊達政宗の治下に屬するや肝煎を本村に置き氣仙村の大肝煎に監督せられ明治九年岩手縣に屬し今日に至る

助 下矢作同櫻田善吉 矢作村雪澤金山工場長兒玉好正 太子同渡邊賢 生出青年團長佐藤龍治 産婆千葉ソメ 旅館(天登亭)村上恭助 社寺圓城寺神原亮道觀音寺長根俊道 天照御祖神社佐々木涉

△沿革 維新の頃高田町と合して水上村と稱し戸長役場を置き事務を處理せしが明治二十二年町村制實施と共に戸長役場を廢し獨立す

△現況一斑△人口一、三二〇人△戸數二二三戸△面積〇、九六〇方里△小字名上壺、字下壺、新田、字北平、字童子、字赤畑、字館、字上細根、字細根澤、字仲の澤、字瀧の里、字相川、字大畑、字十日市場△生産高總額四六、六六八圓△昭和十年年度豫算總額三九、九二三圓

△總沿革 天正十九年伊達政宗に領せられ仙臺藩に屬し明治に至り、明治九年五月岩手縣に編入今日に至る

△現況一斑△人口二、六二六人△戸數三六五戸△面積三、一三方里△大字名堂館澤、本

岩手縣町村大觀——氣仙郡

米信購利販組合長泉田義友 中澤信購利販同水野益左工門 竹原同紺野源八郎 大股同菊池周右工門 水野自動車會社長水野正診療所長八木孝次 木炭検査所田村松五郎 登記所福田泰一 氣仙產馬組合佐々木文助 産婆多田とよみ 旅館(山内)山内まさ(金野)金野庄治(高橋)高橋勘之助(村上)村上久五郎 △料理店(よしの) 關吉五郎 淨福寺多田祐念 滿藏寺岡本宣勇 光勝寺根來有 淨德寺中里法貫 天照大祖神社瀧本恒五郎 立石神社同 青年學校長松野一郎 島山一 世田米鑛業所高橋市太郎 世田米鑛業事務所成田龜治 青部金山澤田千代喜 津付鑛山村田孝治

○下有住村 (一四番)

△沿革 有住とも「鳴石」とも云ひ或は「有石」と轉訛し何時の頃よりか「有住」と轉訛せるものと云ふ鳴石と刻まれたる古碑は今尚ほ本村字父の土の長河にあり定置年月不詳確信し難しと雖舊南部藩人は最近まで「有石」と稱せしと云ふ昔氣仙川の上流、有住附近)を鳴石川といひ下流を鳴瀨川と稱せしこと古書にも見ゆ今尙氣仙川一名鳴瀨川と稱す、葛西氏頃まで上下の區分なし伊達氏の時分離の説あり文治七年二十四郷に分たれ有住も亦分れて各一郷をなしたり相原支直氏の氣仙風土草に依れば三十ヶ村と云へるは有住を上下に分たず三十三ヶ村と云へる七ヶ村に砂居地、波路上を加へた明治九年岩手縣に屬す。 【現況一斑】△人口一、九〇二人△戸數二二六戸△面積二方里△生産高總額九五、一四一圓△昭和十年年度豫算總額二四、三五五圓 村長鈴木大八 助役金野源七郎 收入役吉田幸之助 村會議員千葉丑藏 勳八紺野源四郎 佐々木勳之助 金野寅之助 吉田茂雄 勳七黃川田圭介 吉田理長 菊田藤五郎 勳八菊田米三郎

○上有住村 (上三番)

【現況一斑】△人口四、四八〇人△戸數五七五戸△面積三方里通稱△甲子部落、中在郷部落、八日町部落、坂本部落兩向部落△生産高總額三八〇、九九九圓△昭和十年年度豫算總額四四、四四四圓 村長從七櫻井弘 助役小野寺仁三郎 收入役熊谷俊夫 村會議員紺野德三郎 佐藤彦七 紺野規短造 小野寺仁三郎 佐熊種松 橫濱武郎 正八佐々木象一 高橋完平 佐々木春松 勳八功七菊田留之助 勳八功七柏崎善七 水野松治 在郷軍人分會會長吉田知爾 下有住男女青年團長泉田利雄 消防組頭金野源七郎 農會長同 下有住産業組合長勳八多田松之助 新切養蠶實行同勳八菊田米三郎 高瀨同佐々木丑之助 十文字同吉田幸吉 旅館(鈴木)勳七鈴木萬治(黃川田)勳七黃川田圭介 萬福寺勳八小田太禪 長桂寺阿部道孝 村社月山神社

四七〇

會長從七櫻井弘 上有住男子青年團長山内康雄 同女子同山内康雄 消防組頭正八佐々木象一 農會長紺野規短造 産業組合長佐々木象一郎 耕地整理同松田德治郎 佐藤伊十郎 勳七功七水野信吉 開業醫從七櫻井弘 郵便局長正七哲七佐々木豊治 産婆木村キミ 旅館(いづみや)小泉モリノ 玉泉寺岡本琢造 八幡寺宮崎堯峻 村社五葉山神社 佐々木良之進 八幡神社同人 天理教五葉宣教所 【現況一斑】△人口二、七三七人△戸數三九〇戸△面積四方里△生産高總額一六五、九九七圓△昭和十年年度豫算總額二四、五〇四圓 村長勳七平山五郎助 助役勳七佐藤誠一 收入役勳八川内憲治 村會議員勳七五野權之助 佐藤

卯吉 鈴木六藏 藤原甚左工門 杉山新吉 佐藤治惣 新沼一哉 佐藤養之助 鈴木伊源治 在郷軍人分會長藤原武雄 五葉青年團長鈴木八五平 消防組頭勳七佐藤誠一 農會長勳七平山五郎助 信用購買販賣利用組合長佐藤卯吉 産婆渡邊ミネノ 長安寺金俊丸 淨應寺勳八功七杉村法城 西法寺木下大道 五葉山日枝神社奥山幹二

○立根村 (盛局六七番)

【現況一斑】△人口一、六〇三人△戸數二五〇戸△面積一方里六五△大字名ナク小字二十八アルモ便宜上行政区畫ヲ十區ニ分ツ、大畑野區上手區平田區和村區久保區菅生區下欠區川原區田谷區町場區△生産高總額八〇、七三二圓昭和十年年度豫算總額一五、五八二圓 村長鈴木重徳 助役勳八今野市郎兵衛 收入役新沼吉十郎 村會議員鈴木重徳 村上陽之進 勳八吉野清三郎 佐々木傳治 金野半四郎 及川忠三郎 菅生德四郎 村上德兵衛 金野儀三

岩手縣町村大觀——氣仙郡

在郷軍人分會長金野雄三郎 男子青年團長今野守之助 女子同小野岫 消防組頭金野牛治 農會長鈴木重徳 立根村衛生組合長鈴木重徳 立根村上口郷倉同今野拓郎 立根村下口郷倉同金野末治 立根村農牛同勳八今野市郎兵衛 立根村養蠶同金與藏 上口立根養蠶同今野拓郎 下口立根村養蠶同勳八吉野清三郎 立瀨養蠶同今野榮藏 松根山安養寺葛西靈雄村社五葉神社 崎山義雄

○猪川村 (盛局六五番)

【現況一斑】△人口一、四一三人△戸數二三五戸△面積一方里七△生産高總額七六、一一六圓△昭和十年年度豫算總額一、七四一圓 村長千葉文五郎 助役金野惣助 收入役勳六功六金野敬助 村會議員千葉民作 金野春吉 新沼藤治郎 刈谷豊吉 千葉三代三郎 佐々木榮治 勳八鈴木榮五郎 佐々木三之丞 千葉定三郎 鈴木勝三郎 勳八千葉喜三郎 在郷軍人分會長西村幸一 青年團

長千葉恒二 消防組頭鈴木勝三郎 農會長水野慶三郎 信用販賣購買利用組合長水野慶三郎 猪川養蠶實行同佐々木三之丞 第一猪川養蠶實行同鈴木德彌 長谷寺新沼英晃 村社天照御祖神社長谷川七郎

○赤崎村 (盛局一四番)

△沿革 明治維新までは仙臺伊達氏の配下明治九年岩手縣に編入 【現況一斑】△人口男二、〇七八人女二、〇五三人合計四、一三一人△戸數五九〇戸△面積東西一里南北三里面積一七九平方里△生産高總額五〇二、三九〇圓△昭和十年豫算總額五八、〇二二圓 村長正七三浦幸之進 助役鈴木養右工門 收入役吉田芳之進 村會議員及川豊治 佐野圭助 吉田伊勢藏 佐々木幸治郎 金野仲治 吉田兼治 勳八鈴木幸之進 今野政治郎 勳八森松右工門 崎山善雄 磯谷勘右工門 勳八上野傳藏 在郷軍人分會長三浦市三郎 赤崎村青年團長伊

藤清八郎 消防組頭菊田文雄 農會長金野良一郎 赤崎村信購販利組合長菊田文雄 赤崎村漁業同崎山善雄 開業醫菊田文雄 赤崎郵便局長吉田伊勢藏 村社尾崎神社山崎善雄

○綾里村 (一八番)

△沿革 町村制實施と共に綾里村と稱す役場を本村字港村に設置す明治二十九年六月十五日三陸沿岸大海瀾の災厄を蒙り全村人口の二分の一を失ふ(人口三千の内千五百人死亡)同昭和八年二月再び三陸大海瀾の襲ふ所となり村役場郵便局漁業組合を始め二四四の民家と一八一の精靈とを失ひたりしが復舊復興成り漸く現在行政区十一區二分の一の政務を執る 【現況一斑】△人口三、五六八人△戸數五〇七戸△面積三方里〇三△大字名田濱、石濱、港下、港上、岩崎、野形、宮野、野々前、白濱、砂子濱、小石濱△生産高總額四三三、七二一圓△昭和十年年度豫算總額五一、四七一

四七一

○三〇圓

村長花輪傳治 助役千葉長左衛門 收入役西村剛一郎 村會議員入澤藤吉 野々村善二郎 正七勳七村上善治 千田善之丞 熊谷榮作 勳八佐々木久藏 花輪善七 大久保繁松 村上善重 熊谷友治 千田基久兵衛 勳八佐々木門 在郷軍人分會長佐々木久之助 綾里青年團長西村喜一郎 同女子青年團長正八千田久松 消防組頭熊谷榮作 農會長勳八佐々木久藏 綾里漁業組合長木下秀雄 同産業同正七勳七村上善治 同養蠶同千田善之丞 開業醫村醫千葉將喜 綾里郵便局長正七勳七村上善治 同尋常高等小學校長正八位千田久松 産婆熊谷サシ 旅館村上(村)村上エン (柏)柏久治郎 長林寺福山悟童 村社天照御祖神社社掌中島眞道

○越喜來村 (越喜來局)

村長欠員中 助役村上吉之助 收入役齋藤三之丞 村會議員及川庸三郎 平田倉之助 及川富

治郎 若林芳松 清水半四郎 境谷真尚 刈谷半右衛門 刈谷洋 田中勇藏 熊谷留之助 見世久左衛門 在郷軍人分會長佐川三治郎 越喜來聯合青年團長欠員中 同女子青年團長大久保泰收 同青年訓練所主事小原永太郎 △崎濱同及眼喜一 消防組頭清水半四郎 農會長及川久三郎 越喜來産業組合長掛川法運 越喜來セメント工場鈴木平三郎 開業醫伊藤省三 同村上加登記 旅館佐々木シケ 龍昌寺大久保泰收 圓満寺葛西英教 正源寺掛川法運 村社新山神社葛西雄男

○吉濱村 (盛局一八番)

【現況一斑】△人口二、〇〇〇 人△戸數三〇〇戸△面積二方里五〇二△生産高總額二〇〇〇〇〇圓△昭和十年度豫算總額三〇、七二三圓

村長柏崎丑太郎 助役渡邊仁 收入役西村虎治 村會議員新沼長吉郎 水上助雄 白木澤純三 欠烟傳之助 西村甚兵衛 木川田甚右衛門 柏崎讓作 館下音

作 柏崎庚忠 柏崎留右衛門 菊地榮作 菊地德三郎 在郷軍人分會長正八三等獸渡邊繁夫 青年團長消防組頭柏崎丑太郎 農會長柏崎讓作 吉濱漁業組合長新沼長吉郎 同産業同庄司久茂治 村社新山神社渡邊宗義 眞宗大谷派眞稱 白木澤淨收 正壽院柿崎源光

○唐丹村 (六番) △沿革 天正十九年伊達陸奥守政宗の封内に屬し明治九年岩手縣に屬す

【現況一斑】△人口三、〇四八 人△戸數五三〇戸△面積八方里△生産高總額三二四、三九八圓△昭和十年度豫算總額一三九、六二五圓九二錢

村長柴琢治 助役木村養松 收入役松田勇藏 村會議員佐々木善助 佐々木善重郎 佐野定吉 柴琢治 千葉寅之助 磯崎昌三 河東謙吾 小久保吉助 勳八曾根德松 内川春治 千葉市太郎 小野惣之造

上閉伊郡

○遠野町 (遠野局四七番)

△沿革 上閉伊郡西部の中央にあり古は境城廣く今の松崎村白岩光興寺を合せて横田村と稱せり太古にありては渺茫たる湖水なりしより夷語にて湖水の丘野を意味するトウヌプに基き遠野の稱起つたといふ延歴二十年坂上田村麿の進往せし遠閉伊は即ち遠野を中とし猿ヶ石川流域の一帯に外ならざるが如し建保中阿曾沼氏遠野十二郷を地頭として封に就き初め松崎村の護摩堂館に居りしが天正年間此地の館倉山に遷城し市街も亦今の地に移せり寛永四年南部氏八戸より轉領となり以來市街を擴張し社寺を改造し刑罰を正し民を恵み太平に治むること二百四十餘年維新の後初め江刺縣に屬し後岩手縣に屬す同二十三年横田の稱を廢し遠野町に改む

【現況一斑】△人口七、八〇〇 人△戸數一五三、〇一戸△面積一、五方里△大字名上組丁、穀町

三谷町、新屋敷丁、後丁、石倉丁、新穀丁、中小路、裏町、立却小路、一日市町、札場丁、十文字、柳小路、中組下、大工丁、鍵町、東丁、新町、下横丁、六日町、下組丁、砂場丁、本町、櫻馬場

を置かれ同十五年釜石村、甲子村平田村を併せて釜石村外二ヶ村戸長役場となり町村制實施の際甲子村を分離し平田村釜石村を合して現在の釜石町となつた

製鐵所同正八明石久米藏 釜石青年團長藤澤清助 製鐵所同齋藤憲吉 消防組頭岩館爲三 釜石信用販賣購買利用組合長小野寺有一 同漁業同澤田權左衛門 平田浦同猪又重次郎 同信用販賣購買利用組合長共濟病院組合長 東西兵衛 同水産販賣購買利用 工業佐藤龜太郎 日本製鐵株式會社釜石製鐵所長古井保太郎 三陸汽船株式會社社長中路氏道 大洋製氷同澤田權兵衛 釜石魚市場同清水秀夫 岩手殖産銀行 釜石支店長菅沼金八 煙草販賣所長宮澤磯吉 釜石製鐵所附屬病院長森岡成一 産業組合共濟 同奥山通世 醫院黒澤六郎 佐藤長松 佐野久米藏 水野吉輔 林清 金田精一 産婆鎌田タマ 水野タケ 村田キク 松田トク 小原キク 星サダ子 早坂ハル

屋)郷サト 板澤助四郎 料理店(福壽樓)福田德藏 (幸樓)金澤周助 (花月樓)須崎カオリ (銀波)小谷野兼吉 (ハトバ)新里善次郎 石應寺瀨川午朗 仙壽院根岸義達 寶樹寺渡邊顯城 郷社尾崎神社山本若次郎 村社八雲神社板澤正右衛門 日本基督教會諏訪修治 パプテスト 教會木村茂

○大槌町 (大槌局)

町長菊池明八 助役欠 收入役大森幸夫 町會議員正部家政治 菊池輝吉 國久萬次郎 及川新作 鶴田惣治 菊田儀助 菊池富貴 内田兼吉 佐々木勇吉 村上順吉 横山喜右衛門 伊藤榮一 小原嘉左衛門 内田源五郎 河村英造 石直新太郎 奥寺丑太郎 藤田勝兵衛

△沿革 矢ノ浦と稱した人煙稀なる頻海の一部落に過ぎなかつたが元祿末頃から釜石村となつて町屋作りとなつた 舊記がある明治維新前は舊南部藩の所領となり廢藩置縣に依つて岩手縣の管轄に屬せられ明治十二年釜石村戸長役場

△現況一斑】△人口一、一七四人(昭和八年調)△戸數一、七九五戸(昭和八年調)△面積八方里二△大字名小槌、大槌

岩手縣町村大觀——上閉伊郡

岩手縣町村大觀——上閉伊郡

吉里々々△生産高總額一、四八九、八六三圓△昭和十年度豫算總額一八六、八二八圓
町長從七勳八後藤忠太郎 助役星館惣八 收入役高田長平 町會議員幣原平三郎 佐藤潔治 後藤三郎 阿部平次郎 佐々木鐵雄 金崎駒吉 太田富昇 加藤政治 越田長五郎 山崎嘉一郎 古館元次郎 小國桃太郎 佐々木榮太郎 越田練太郎 越田義一 柏崎重三郎 荒井儀兵衛 岡本勘平 釜石留吉 釜石留次郎 川原善左衛門 堀合七之丞 臺野利助 在郷軍人分會長鈴木虎太郎 大槌青年會長後藤忠太郎 女子青年會長同同 消防組頭古館三三郎 農會長山崎門太郎 大槌信用組合長後藤忠太郎 同漁業同荒井儀兵衛 吉里之濱岡本勘平 大槌海產物商業同太田鶴藏 同農事實行同後藤三郎 九十銀行支店長津内口秀治 開業醫 古谷彌四郎 古川小太郎 有田謙一

△沿革 上閉伊郡中部以西に位し東は遠野町西は鱒澤村南は小友村北は宮守村附馬牛村に界し猿ヶ石川は松崎村より入りて中央部を西に貫流す役場は村の中央字中宿に在る
【現況一斑】△人口三、〇二七 人△戸數四三三戸△面積三、七方里 △大字名新里、鵜崎上綾織、下綾織△生産高總額三八一、一六〇圓△昭和十年度豫算總額二一、七四四圓
長勳七功七新里拓 助役鈴木兵作 收入役鈴木研三 村會議員勳八菊池正志 勳八菊池長治 菅田伊勢藏 勳八菊池留五郎 鈴木平八 鈴木兵作 千葉京助 藤原甚六 鈴木儀三郎 多田勝三郎 菊池福太郎 在郷軍人分會長正八菊池正見 男子青年團長照井貞雄 女子青年團長菅野セツ 消防組頭及川彌太郎 農會長鈴木兵作 養蠶聯合組合長及川甚九郎 女子火防同照井サキ 森林消防同鈴木兵作 衛生同勳七功七新里拓 納稅組合長千葉京助 煙草耕作同昆野友矩

産婆菅田ツルエ 松田タカ 小原キサ 長松寺菊池大等 光明寺菊池冷澤 開稱寺瀨川秀温 村社石上神社及川久次郎 同月山神社及川久次郎
○小友村(小友局三四番)
△沿革 明治二年江刺縣の所轄に屬し村長副村長を置き同四年廢縣に因りて盛岡縣(後岩手縣)に編入同十二年西閉伊郡所管となり小友村役所を設け戸長を置き同十七年上鱒澤外四ヶ村戸長役場を上鱒澤に設けらるゝとき、その支配となり村制を施行せらるゝに及びて小友村役場を獨立す
【現況一斑】△人口二、五九七 人△戸數四〇五戸△面積八方里△生産高總額一三六、一五〇圓△昭和十年年度豫算總額二八、五四一圓
村長及川金十郎 助役勳八宮川盛嗣 收入役荒井万之助 村會議員菊池豊八 菊池清兵衛 小原松兵衛 佐藤悦三 及川要次郎 菊池甚之丞 奥友萬十郎 奥友正一 松田正 菊池一郎

四七四

小松金五郎 在郷軍人分會長奥友正一 男子青年團長水口玉吉 女子同水口玉吉 消防組頭千田大作 農會長及川金十郎 産業組合長勳八伊勢崎棍右衛門 煙草耕作同及川金十郎 旅館龜屋佐々木とみ 同藤澤捷三 常樂寺木村祖明 西來院多田榮一 村社岩龍神社 河村英造
○鱒澤村(宮守局二番)
【現況一斑】△人口男八八三女九二〇計一、八〇三人△戸數三〇五戸△面積廣袤東西二里二〇町南北一里二町二、八五九方里△大字名上鱒澤下鱒澤△生産高總額(昭和八年度分)一五九、三八九圓△昭和十年年度豫算總額二九、〇六九圓
村長菊池東吾 助役淺倉直吉 收入役佐々木與三郎 村會議員菊池善助 勳七菊池長助 菊池平吉 山隆應教 多田成功 菊池久治 佐々木與左衛門 菊池嘉兵衛 菊池幸市 佐々木英雄 佐々木三五郎 佐々木仁太郎△在郷軍人分會長菊池安雄 鱒澤青年團長佐々木藤一郎 鱒澤女子

同勳八山隆松雄 消防組頭菊池美代治 農會長菊池東吾 鱒澤村養蠶組合長菊池東吾 鱒澤衛生同菊池東吾 鱒澤煙草耕作同菊池東吾 鱒澤森林保同佐々木義男 鱒澤道路保同菊池東吾 産婆太田春子 旅館佐々木ユキ 長泉寺藤屋禪道 白山神社宇夫福治 愛宕同遊田春藏
○宮守村(宮守局一番)
△沿革 古く宮森と書し(寛永四年三月遠野村附之目錄)或は宮杜の文字も見ゆ(聞老遺事)稀に宮盛と書せしことあり(奥南風記盛)又宮護の文字も見ゆ明治維新後宮守と改む而して其の初關は大字上宮守方面に在る如く同地字小峠の下に在る觀音堂は月見山平澤寺と稱し嘉祥年間の草創にかゝると傳ふ又口碑に云安倍の族大字下宮守字葛蒲澤に来る猿ヶ石川を渡りて野金山に據り官軍と對抗せると今尙ほ貞任館八幡館の稱を存す大字上宮守字出張に在る神成館は

阿曾沼氏の家臣宮森左近之に居られりと云ふ
【現況一斑】△人口三、七〇〇 人△戸數五八〇戸△面積三、八五一方里△大字名上宮守下宮守△生産高總額二六六、二四四圓△昭和十年年度豫算總額二四、五九八圓
村長河野芳忠 助役伊藤武志 收入役上關義滿 村會議員菊池長福 阿部忠吉 藤原房松 伊藤之助 菊池盛一郎 佐々木明熊谷勇次郎 河野芳忠 淺沼慶三郎 照井貞一 在郷軍人分會長從七伊藤武志 青年團長從七伊藤武志 女子同高室武八郎 消防組頭佐々木明 農會長河野芳忠 衛生組合長河野芳忠 上宮守農事實行同菊池長福 新町農事實行同佐々木貫登 塚澤農師柏原耕一 多田家畜醫院獸醫師多田悦郎 産婆菊池モト 旅館(千代)佐藤千代吉 熊谷勇次郎料理店梅廻家水原貞一郎 善勝寺中村景岳 松涼寺上關義滿

達會部村(達會部局) 一、二番
△沿革 東は附馬牛村に西は和賀郡小山田村十二箇村に南は宮守村に北は稗貫郡外川目村に接界す。字小道に在る安部館は安倍の族の據れる所と傳へ又字白石に在る里俗古屋と唱ふる地も亦安倍の族の居址と傳ふ宿の北裏に在る達會部館は阿曾沼の家臣達會部光俊本村を食みて居る所たり宿は當時宿驛の在りし地とす
【現況一斑】△人口二、一三三 人△戸數三三七戸△面積四方里生産高總額七、九六八圓
△昭和十年年度豫算總額一七、八一九圓
村長勳七中村哲四郎 助役勳七中村善五郎 收入役佐藤穰 村會議員勳七島山知多藏 勳八佐々木富治 同多田善造 佐々木仁助 多田仁助 中村三四二 中館善七 佐藤善助 多田茂美 千葉福次郎 齋藤長七 佐々木半治 在郷軍人分會長勳七中村

茂八 男子青年團長中井朝男 女子同大矢ミノリ 消防組頭佐藤新吉 農會長勳七中村哲四郎 保證責任達會部村信購販組合長勳七中村哲四郎 衛生同多田定八 煙草耕作同千葉卯吉 開業醫横川貞雄 旅館熊谷チトセ 米田ツルノ 永林寺百濟詰丸 寶泉寺勳八佐々木良榮 村社八幡神社勳七小原福藏
○附馬牛村(附馬牛局) 一番
△沿革 本村の初關は早池峰山より始まり大同元年三月末内(上郷村)の人始闢某の爲同山に入り山頂に於て神靈を崇祀せりと云ふ後弘化年中癡髮して普賢坊と稱し山麓なる大字上附馬牛大出に移住し其の子兵庫を奉齊と爲せりと傳ふ之早池峰神社の起源となす後漸次開して今日に到る
【現況一斑】△人口二五五四人△戸數三九八戸△面積一三方里△大字名上附馬牛、下附馬牛、東禪寺、安居臺
△生産高總額九年度一六八、四七五

岩手縣町村大觀——上閉伊郡

同勳八山隆松雄 消防組頭菊池美代治 農會長菊池東吾 鱒澤村養蠶組合長菊池東吾 鱒澤衛生同菊池東吾 鱒澤煙草耕作同菊池東吾 鱒澤森林保同佐々木義男 鱒澤道路保同菊池東吾 産婆太田春子 旅館佐々木ユキ 長泉寺藤屋禪道 白山神社宇夫福治 愛宕同遊田春藏
○宮守村(宮守局一番)
△沿革 古く宮森と書し(寛永四年三月遠野村附之目錄)或は宮杜の文字も見ゆ(聞老遺事)稀に宮盛と書せしことあり(奥南風記盛)又宮護の文字も見ゆ明治維新後宮守と改む而して其の初關は大字上宮守方面に在る如く同地字小峠の下に在る觀音堂は月見山平澤寺と稱し嘉祥年間の草創にかゝると傳ふ又口碑に云安倍の族大字下宮守字葛蒲澤に来る猿ヶ石川を渡りて野金山に據り官軍と對抗せると今尙ほ貞任館八幡館の稱を存す大字上宮守字出張に在る神成館は

阿曾沼氏の家臣宮森左近之に居られりと云ふ
【現況一斑】△人口三、七〇〇 人△戸數五八〇戸△面積三、八五一方里△大字名上宮守下宮守△生産高總額二六六、二四四圓△昭和十年年度豫算總額二四、五九八圓
村長河野芳忠 助役伊藤武志 收入役上關義滿 村會議員菊池長福 阿部忠吉 藤原房松 伊藤之助 菊池盛一郎 佐々木明熊谷勇次郎 河野芳忠 淺沼慶三郎 照井貞一 在郷軍人分會長從七伊藤武志 青年團長從七伊藤武志 女子同高室武八郎 消防組頭佐々木明 農會長河野芳忠 衛生組合長河野芳忠 上宮守農事實行同菊池長福 新町農事實行同佐々木貫登 塚澤農師柏原耕一 多田家畜醫院獸醫師多田悦郎 産婆菊池モト 旅館(千代)佐藤千代吉 熊谷勇次郎料理店梅廻家水原貞一郎 善勝寺中村景岳 松涼寺上關義滿

達會部村(達會部局) 一、二番
△沿革 東は附馬牛村に西は和賀郡小山田村十二箇村に南は宮守村に北は稗貫郡外川目村に接界す。字小道に在る安部館は安倍の族の據れる所と傳へ又字白石に在る里俗古屋と唱ふる地も亦安倍の族の居址と傳ふ宿の北裏に在る達會部館は阿曾沼の家臣達會部光俊本村を食みて居る所たり宿は當時宿驛の在りし地とす
【現況一斑】△人口二、一三三 人△戸數三三七戸△面積四方里生産高總額七、九六八圓
△昭和十年年度豫算總額一七、八一九圓
村長勳七中村哲四郎 助役勳七中村善五郎 收入役佐藤穰 村會議員勳七島山知多藏 勳八佐々木富治 同多田善造 佐々木仁助 多田仁助 中村三四二 中館善七 佐藤善助 多田茂美 千葉福次郎 齋藤長七 佐々木半治 在郷軍人分會長勳七中村

茂八 男子青年團長中井朝男 女子同大矢ミノリ 消防組頭佐藤新吉 農會長勳七中村哲四郎 保證責任達會部村信購販組合長勳七中村哲四郎 衛生同多田定八 煙草耕作同千葉卯吉 開業醫横川貞雄 旅館熊谷チトセ 米田ツルノ 永林寺百濟詰丸 寶泉寺勳八佐々木良榮 村社八幡神社勳七小原福藏
○附馬牛村(附馬牛局) 一番
△沿革 本村の初關は早池峰山より始まり大同元年三月末内(上郷村)の人始闢某の爲同山に入り山頂に於て神靈を崇祀せりと云ふ後弘化年中癡髮して普賢坊と稱し山麓なる大字上附馬牛大出に移住し其の子兵庫を奉齊と爲せりと傳ふ之早池峰神社の起源となす後漸次開して今日に到る
【現況一斑】△人口二五五四人△戸數三九八戸△面積一三方里△大字名上附馬牛、下附馬牛、東禪寺、安居臺
△生産高總額九年度一六八、四七五

岩手縣町村大觀——上閉伊郡

五九四圓△昭和十年年度豫算總額二七、五〇二圓

村長藤田常吉 助役北湯口常吉 收入役新田德治 村會議員及川悟 佐々木萬吉 始閣佐太郎 阿部平治 佐々木金次郎 山本親邦 井手兵右衛門 梅田喜一 菊池直右衛門 藤田常吉 村上三十郎 佐々木久助

○松崎村

村長葛卷誠三 助役勳八多田伊勢松 收入役濱田平藏 村會議員菊池平太郎 同菊池榮太郎 員菊池平太郎 同菊池榮太郎 三浦德治 白岩忠兵衛 菊池謹吾 勳八海老子川永助 菊池豊治 勳八菊池善太郎 砲兵少尉白岩信兵 菊池萬藏 岩間永助 勳八森森馬吉 在郷軍人分會長砲兵少尉白岩信兵 男子青年團長津田吉之助 女子同津田吉之助 消防組頭菊池榮太郎 農會長葛卷誠三 松崎村養鶏組合長大橋昭佐 松崎衛生同葛卷誠三 西教寺諏訪眞 福泉寺尻石宥然 郷社八幡神社司菊池萬池陸諏訪神社

○土淵村

上閉伊郡

【現況一斑】△人口三、三〇一人△戸數五〇〇戸△面積七八四九方里△大字名柘内、山口、柏崎、飯豊、土淵△生産高總額二九九、三八三圓△昭和十年年度豫算總額五一、三九四、七七錢

村長小笠原武雄 助役北川眞澄 收入役留場長治 村會議員宇田松之丞 山崎萬之助 正八長畑平次郎 瀨川竹次郎 佐々木豊五郎 阿部三藏 菊池繁次郎 本宿千藏 勳八工藤萬藏 立花金右衛門 似田貝伊勢藏 勳八立花長之丞

○青笹村 (遠野局)

△沿革 東南は上郷村西は遠野町北は土淵村に堺し早瀬川は上郷村より来る中澤川を合せて西に流る、水勢大ならざれども一朝降雨ありて増水すれば急湍激流沿岸に氾濫し被害少なからず然れども此の水遠野町及松崎村の用水となる村役場は大字青笹にあり

【現況一斑】△人口二、七二〇

人△戸數三九五戸△面積二方里△大字名青笹、棟前、中澤△生産高總額八六、一八六圓△昭和十年年度豫算總額二五、五〇二圓

村長勳七功七佐々木菊太郎 助役三松金吾 收入役宮田左代七 村會議員菊池養太郎 菊池平太郎 菊池孝道 菊池寅藏 菊池長右衛門 小水内長助 田面木惠喜雄 千葉兵右衛門 川端市太郎 畑山勇次郎 佐々木龍治 在郷軍人分會長正八菊池萬慶 男子青年團長小田喜登白 女子同岩井留之助 消防組頭三松金子 農會長佐々木菊太郎 衛生組合長佐々木菊太郎 道路保護同佐々木菊太郎 産婆佐藤タエ喜清院勳八功七千代川道忍 萬通寺和田大城 村社六神石神社 菊池萬陸 青笹尋常高等小學校 訓長岩井留之助 訓佐々木清志 同外川一五郎 同和田大城 同佐々木正三 同岩井マサ 同尾タカエ 專訓佐々木ミキ 代教駒木庚 同白石友 △青笹青年學校長兼助教教諭岩井留之助 教

○上郷村 (岩手上郷局)

△沿革 舊藩政の頃は遠野領に屬す江刺縣盛岡縣明治五年岩手縣と改稱町村制實施に當り新に上郷の名を設けた

【現況一斑】△人口四、四三六人△戸數六二八戸△面積五方里七七四△大字名細越、佐比内板澤、平倉、平野原、來内△生産高總額九年度一七九、五〇〇圓△昭和十年年度豫算總額四八、〇五九圓

村長勳八功七佐々木三和吉 助役佐々木熊次郎 收入役小向宇之松 村會議員萩野七郎 犬亦政吉 菊池萬重郎 菊池三太郎 菊池壽太 佐々木德之助 菊池貞藏 菊池馬助 金濱福松 山

高總額二五〇、四三七圓△昭和十年年度豫算總額三六、八六九圓

崎政藏 田中秀彌 工藤深吉 在郷軍人分會長菊池長平 青年團長鈴木陽同 消防組頭萩野七郎 農會長佐々木三和吉 信田 購買販賣利用組合長佐々木三和吉 開業醫山崎滋 旅館佐々木はる 慶雲寺小山禪禪 曹源寺菊池徹瀧 村社日出神社

村長大橋留吉 助役岩井省三 收入役勳八菊池卯平治 村會議員山口賢治 藤原源八 佐々木清次郎 砂子孫太郎 佐々木藏 佐々木長左衛門 菊池福太郎 野田壽右衛門 津田甚之助 野田又四郎 佐々木藤十郎 佐々木元助 在郷軍人分會長佐々木久四郎 甲子村青年團長小笠原嘉六 甲子村女子同大橋留吉 消防組頭佐々木清次郎 農會長大橋留吉 甲子養蠶實行組合長同小佐野養蠶實行同佐々木忠作 甲子信用購買販賣同大橋留吉 開業醫金石山附屬病院醫師堀米保藏 釜石山正福寺須藤釣雲

○甲子村 (大畑二番)

△沿革 本村は往古釜石村と稱し舊南部藩直領にして大田代官所の支配なり字松倉に宿驛あり(通稱甲子町)て之を釜石町と呼べり元祿十四年驛場再開と同時に甲子町の新興あり初めて檢斷を置き、維新後第十七區甲子村となり明治十二年南閉伊郡甲子村戸長役場を置かれたが平田村と共に釜石町外二ヶ村組合戸長役場に合併せられ町村制施行の際分離して甲子村と稱す

【現況一斑】△人口四、〇一九人△戸數七五〇戸△面積七方里△生産高總額二一〇、〇二一圓 △昭和十年年度豫算總額二八、三九七圓

○鷓住居村 (大槌局)

【現況一斑】△人口四、七八四△戸數六〇〇戸△面積六五新六五八方里△大字名鷓住居兩百、箱崎、片岸△生産高總額四六六、〇六九圓△昭和十年年度豫算總額三二、三〇三圓

岩手縣町村大觀——上閉伊郡

四七六

諭白石友夫 助教諭松尾吉哉 助教諭佐々木清志 同外川一五郎 同和田大城 同岩井マサ 指導員佐藤孝子 同菊池健太郎 同佐々木初太郎 同菊池萬一 同菊池悦太郎 中澤尋常小學校 訓長松尾吉哉 訓松尾マキ 代教菊池三太郎

○金澤村 (金澤局二三番)

△沿革 元鷓住居村外五ヶ村組合として戸長役場に屬し町村制實施に方り元栗林村元橋野村の冠字を採擇し栗橋村と號す

【現況一斑】△人口一、五二一人△戸數一九五戸△面積七方里△生産高總額六三、四八〇圓△昭和十年年度豫算總額一一四七七

村長正八櫻井興造 助役八幡松太郎 收入役藤原福太郎 村會議員勳八藤原庄之助 小笠原春藏 小笠原勘七 小笠原政次郎 菊池新作 菊池與右衛門 勳八菊池輝秀 川崎千代治 川崎延治 川崎周藏 藤原與七郎 在郷軍人分會長勳八菊池忍 栗橋村青年團長勳七佐々木福松 橋野女子同田村貞一 消防組頭遠野六兵衛 農會長菊池友藏 中村養蠶實行組合長和田嘉重郎 橋内養蠶實行同小笠原喜太郎 橋野養蠶實行同菊池勘五郎 上栗林養蠶實行同中財與五郎 澤田右同川崎延治 砂子畑右同藤原福太郎 村醫清宗正叙 旅館藤原旅館勳八功七藤原小右衛門 林宗寺佐藤全瑞 橋野村社熊野神社松橋德太郎

四七七

岩手縣町村大觀——下閉伊郡

一〇一圓
村長七兼澤福次郎 助役三浦福次郎 収入役缺員 村會議員 阿部孫市 三浦長之丞 佐々木菊松 阿部眞朗 佐々木吉清 兼澤平吉 佐々木庄太郎 飛田儀右衛門 三浦元吉 佐々木深松 兼澤清吉 勳八佐々木元吉

下閉伊郡

○宮古町 (宮古局)

△沿革 今を去る千余年前、現横山八幡宮の麓に開けた横山の里と稱せし小部を以て其の濫觴なりと云ふ。人皇八十二代後鳥羽天皇の御宇、建久元年閉伊頼基鎌倉幕府の命を奉じ閉伊に來りて此の地方を領す、南部氏の宮古開港時代と見るべきは、二十六代信直(天正十八年)不來方の地(今の盛岡)に居城を構へてより後慶長十六年三閉伊の郡代として小本助兵衛正吉を宮古村に置きて諸般の政務を統括せしめしに興る。慶長十九年三

陸大海嘯起り宮古市街は全滅に歸し僅に黒田の山脇に民家五六戸を餘すのみとなり翌元和元年南部藩主利直公當地を巡廻して町割を定め市街の基礎全く成り、本町と命名これ現在の町、次いで復興時代と見る可きは寛永九年郡代小本正吉町割をなし横町、新町、田町、向町の四ヶ所を設定せる頃にして南部家に於て御水主を田名部より向町に移せしは貞享三年戸數百五十六戸を數ふるに至つた。其後享和三十四年四月宮古支配所の記録を閱るに宮古百六十六戸黒田百五十三戸合して三百十九戸鐵ヶ崎二百四十二戸とあり。黒田村と稱するは現在の宮古町小澤區と山口村の一部の稱にして黒田判官頼母、此の地を開拓なし黒田村の名稱を附した。當時黒田の二百二十石餘の知行は千徳安防に屬し慶長十七年御藏支配となつた。明治維新後二年黒田村宮古町を合併五年岩手縣となり、町

村制の實施の際始めて宮古町と稱す。鐵ヶ崎の地名は元、楯ヶ崎の東端太平洋に臨める懸崖に鐵形を存するに依る。安政年間早くも繁華なる一市街を爲せるや、三閉伊日記に『町家三百軒にして遊女百六十人許りあり、外洋往復の船必らず寄港するを以て南部藩領内第一繁華の地たり云々』を見ても明かなり、所謂『南部鐵ヶ崎』の名は蠓集せる船人等に依りて他地方に喧傳せられた。明治二十九年六月十五日三陸大海嘯の際被害甚しく、流失家屋二百七十七戸、死者二十八名を出し船船亦二百七十六艘を流失せり。明治十二年菊池理助、篠民三外六十有餘名相謀りて閉伊川口に即ち現在の乙第一地割字築地、及乙第二地割字新地の埋立工事と新川町運河開鑿工事を計畫し、明治十五年完成大正十三年宮古、鐵ヶ崎を合併、昭和八年

四七八

三月三日亦も津浪に襲はる。これより先大正十年第二種重要港灣となる。一方鐵路は故菊池長右衛門氏其他先人の努力により昭和九年十一月六日漸く宮古開通す。海に山に當に大宮古の基礎なつて行政區劃宮古二十一區鐵ヶ崎八區、町にして二十九町の大を爲してゐる

【現況一斑】△人口二〇、二七〇人(昭和九年九月二日現在) △戸數三、六九七戸同△面積〇、四三方里△大字名宮古、鐵ヶ崎△生産高總額一、四六二、五一一圓(昭和九年度)△昭和十年度豫算總額三六九、五八五圓
町長從七勳七松井一男 助役川原正一 収入役勳八山内菊次郎 町會議員山田庄助 箱石米定 蛇口嘉郎 勳七北館三四郎 小笠原孝三 大井佐太郎 中野兼藏 伊東勤 熊谷平助 鳥香直次郎 菅原文一郎 篠田米吉 藤田安太郎 駒井才吉 早野民之助 中村喜兵衛 加藤平三郎

山崎善四郎 阿部登 菊池安兵衛 鈴木菊太郎 勳七齋藤安次郎 坂本嘉右衛門 關口養隆 在郷軍人分會長從七步中居善助 宮古青年團長正八步少澤田千代吉 鐵ヶ崎同澤田勇三 宮古女子同募目ヤエ 鐵ヶ崎同勳七東海林堅吉 宮古町消防組頭篠田米吉 宮古魚業組合長菊池長右衛門 鐵ヶ崎魚業同大越作右衛門 宮古信用同齋藤徳右衛門 信用購買販賣利用組合宮古物産倉庫同古館儀助 保證責任宮古海産物商業同松田直藏 下閉伊産馬同大森堅藏 同木材同業篠田米吉 同會社社長小笠原合名會社小笠原理三 合名會社盛岡屋商店澤田市郎 同東屋酒造店菊池チウ 鈴木回漕店鈴木長兵衛 宮古桐材合資會社長吉田榮松 同葬儀同中谷良平 盛宮自動車株式會社長菊池良三 惠比壽飲料同吉田榮二 熊谷證券同熊谷平助 宮古倉庫運送同山田庄助 株式會社菊長商店菊池長右衛門 合資會社宮古愛輪教會會長伊藤覺次郎 日東水産興業

岩手縣町村大觀——下閉伊郡

株式會社長熊谷平助 小笠原商店同小笠原勇平 合資會宮古製材所長中島康吉 同高平商店高平四郎右衛門 同小林同小林三太郎同 成田同成田淺吉 東海運輸合資會社長 合資會社中喜商店中村喜助 新川屋合名會社社長齋藤徳右衛門 金六佐幸商店佐々木喜太郎 濱友合資會社長濱崎忠平 宮古土地建物合名會社社長佐藤市重郎 合名會社中居喜代司商店中居喜代司 同新松月澤口龜藏 同伊勢屋同鶴海貞八 同小徳同小成 兵右衛門 合名會社三永同三浦永藏 佐藤桐材合名會社社長佐藤辰吉 合資會社山田製綿所社長志久内仁太郎 同羽根屋商店長豊間根豊次郎 同荒川商店荒川伊右衛門 同伊角同伊藤角兵衛 合同運送株式會社菊池長右衛門 合資會社早野吳服店早野民之助 同マールイ吳服店長尾勇 同菊安商店菊池安兵衛 工場長徳江工場徳江安太郎 若山鐵工所若山判輔 染谷製材工場染谷代助 日東水産興業株式會社工場中島磯太郎

横田鐵工所横田與一 中島製材所中島康吉 宮古製綿株式會社工場駒井庄太郎 殘間製材工場殘間留吉 松忠製材所松井孝八 澤口鐵工所澤口登藏 三陸水産冷蔵株式會社 菱屋酒造店三浦松五郎 佐々木鐵工場佐々木榮藏 秋永桐材工場秋永友吉 共立製材所村田善一郎 菅野桐製工場菅野惣兵衛 龜屋商店製綿同間瀧半兵衛 菊長同工菊池長右衛門 合資會社東屋酒造店同菊池ケウ 岩手殖産銀行宮古支店長小野秀雄 煙草販賣所長佐藤市郎 開業醫松野松治 高山正綱 青山五三郎 盛合光郎 佐々木茂樹 道又元吾 石川喜二郎 平野福藏 川村清一 江刺作右衛門 小林三雲 菅原正之 鳥田谷一郎 松橋精 産婆大洞セツ 中居カヨ 古館ツナ田鎖サトシ 山岸キヨ 江釣子フミ 鈴木ヒサ 鳥香セツ 川村キサ 佐々木チャウ 佐藤ヨシエ 澤内コノ 關口チャ 常設館宮古館佐々木藤之丞 第一第二常盤座鈴木定吉 旅館(熊安)

○山田町 (山田局)

△沿革 當地方一圓は文治の頃より大槌氏の領有であつたが慶長四年大槌氏南部氏に亡され其の一族八戸氏に此の地を興ふるに及んで隣邑大槌に代官を置き近郷一帯を統治爾來二百五十餘年に及んだ

四七九

岩手縣町村大觀——下閉伊郡

明治維新に至り岩手縣の管轄に屬し町村制實施の際飯岡村山田村合併して山田町の誕生となつた

【現況一斑】△人口六、七四

四人△戸數一、一六五戸△面積一、八二三方里△大字名飯岡山田△生産高總額七六一、八一九圓△昭和十年年度豫算總額五九、二四〇圓

町長從七勳七石川敏藏 助役郡司大太郎 收入役堀合喜八郎 町會議員佐々木喜代治 阿部熊之助 阿部千代吉 佐々木彦三郎 佐藤豐次郎 白土源八郎 白野忠左衛門 上野正 太田五郎助 大久保喜重治 伊藤樹甘石川幸七 佐々木源太郎 佐藤榮助 阿部永八 阿部安治 間瀬半兵衛 分會長缺員中 在郷軍人副分會長島居忠二 太田豐三 山田町青年團長田中吉平 女子青年團長藤岡悦郎 消防組頭間瀬半兵衛 農會長缺員中職務執行者佐々木彦三郎 産業組合長從七勳七石川敏藏 (山田、信販、購、利) 飯岡浦

漁業同郡司幸次郎 山田海産物 商業同川村安平 同漁業同蛇石 半次郎 銀行支店長吉田博開業 醫關安太郎 松浦敏也

○岩泉町

△沿革 往時北閉伊郡と稱し 岩泉村は本下閉伊郡内北部樞要の地に在り交通物資の集散地大正十二年八月町制を布く 【現況一斑】△人口五、五四三 人△戸數九〇四戸△面積九方里七一八△大字名二升石、尼額、岩泉、乙茂、猿澤△生産高總額九九三、八七五圓△昭和十年年度豫算總額四、九四〇、三

町長佐々木安五郎 助役中村時治 收入役植村幸徳 町會議員工藤啓造 八重樫長八 佐藤平吉 前角地初次郎 佐藤源一郎 北川清之丞 八重樫金十郎 中川重三郎 八重樫忠三郎 中村俊三 有原忠治郎 佐々木清太郎 早野良平 小野寺萬助 佐々木秀樹 三田地市兵衛 昆忠助 有原千右衛門 在郷軍人分會長八重樫長八 岩泉青年團長昆忠太

女子青年團長同人 消防組 頭中村時治 農會長早野良平 岩泉生絲信用購買利用販賣組合 長佐々木保五郎 下閉伊郡産牛 畜産同人 同家畜保險同人 岩泉商業同八重樫金十郎 同電氣株式會社同人 同興業同佐藤平吉 明治製乳株式會社岩泉工場長小村清 銀行支店長佐々木徳治 煙草販賣所長會田宮藏 開業醫大石基一 同佐々木哲太郎 産婆佐々木ユキ 佐々木リチ 旅館(寶來屋)佐藤平吉 (佐和屋)佐々木和七料理店(かほく) 工藤ナカ (かとよ) 佐々木米吉 洞澤山雲岩寺菊池正純 長安寺 平澤隆寛 郷社大神宮熊谷文治

○崎山村

△沿革 藩政時代には宮古代官所の支配下にありて明治維新に至り自治政施行當時迄は崎山村崎嶇崎村と稱し宮古外十一ヶ村役場なりしを分離の上崎山崎、嶽ヶ崎を合し崎山村と稱す 【現況一斑】△人口一、二九七 人△戸數一六三戸△面積一、

四八〇

六三三方里△大名宇崎山、崎嶽ヶ崎△生産高總額一六五、六四六圓△昭和十年年度豫算總額二二、〇八七圓

村長千崎熊太郎 助役宮本福次郎 收入役工藤武夫 町會議員大久保興一郎 佐々木兵衛 前川孫三郎 島山景治 佐々木重太郎 山崎三右衛門 佐々木市二郎 前川丑太郎 佐々木初太郎 中島市助 宮本勇次郎 佐々木春吉 在郷軍人分會長前川丑太郎 崎山村青年團長島山松助 女子青年團長同人 農會長千崎熊太郎 崎山浦漁業組合長同人 保證責任崎山信購販利組合長同人 有限責任崎山信購販利同人 有限責任崎山販賣同人 同漁業共同事業同千崎熊太郎 同保誠森林同島山景治 同農事實行同 宮本勇次郎崎嶇ヶ崎同中島市助 村崎山神社

○田老村

△沿革 當村の地名は初め多老と記せる様である明治二十九年の三陸大海嘯の際には當村の被害最も凄慘を極め流失

又舊藩時代には舊田老村へ檜山氏、舊攝待村は久慈中里氏の所領であつて明治維新に至り

【現況一斑】△人口四、九四四人(昭和九年末現在)△戸數八一五戸(右同)△面積六方里七〇五△大字名田老、乙部、攝待末前△生産高總額五七九、八五一圓 (昭和九年末現在)△昭和十年年度豫算總額三九、一七四圓

村長勳七關口松太郎 助役勳八木村平右衛門 收入役正八勳八川上新助 町會議員石垣健藏 岩泉松太郎 島山辰治 腹子佐七郎 勳七功七小幡松之介 影田久保徳次郎 野崎彦助 山本嘉兵衛 赤治嘉兵衛 佐々木半治 勳七佐々木義治 勳八鈴木福次郎 在郷軍人分會長小林賢治 田老村青年團長佐々木弘平 女子青年團長同人 消防組頭赤沼喜兵衛 農會長腹子佐七郎 田老耕地整理組合長勳七關口松太郎 同信用販賣購買利用同勳七同人

岩手縣町村大觀——下閉伊郡

同漁業同山本嘉兵衛 同衛生同赤沼喜兵衛 合名會社赤沼商店 同人 開業醫勳七佐々木義治 産婆添田イチ 田老館加藤貞藏 旅館(川戸)勳八川戸政人 山本作太郎 横坂ナツ (丸干)腹子ヤハ料理店田中ミサ 常運寺北村有機 村社日枝神社落合久治 村社熊野、小沼、熊野神社 天理 教田老布教所志子田繁造

○小本村 (小本局九番)

△沿革 本村大字小本は天文十九年南部藩士小本宗喜が始めて開拓せるもの大字中里は源氏の末流と稱せる中里氏が來住せるより發達せる物である文化年中、中里家は苛政の罪によつて闕所となりし以來は宮古代官の支配を受け明治維新に至つた地名「小本」の起因大文十九年、南部高信侯庶子田子九郎四歳の時、九戸政實の爲に既に害せられんとせる際南部家の臣小本宗喜、田代安藝は憐憫の情に堪へず、宗喜は遂に九郎を夜陰に乗じて盗出し人目に觸るゝを恐れ

四八一

途を海邊に採り晝眠夜行日を重ねて小本に至り中野と中島の間に「腰廻り」館に隠れ前後九年間奉仕の後永祿元年九郎を無事に三戸に歸城せしむるを得た、九郎は實に二十二代藩主信直公であつたのである。即ち此地は此期間に小本氏に由つて開拓せられたるより其姓に因み地名を小本とせるものである。地名、中里は中里氏の姓に因めるものである地名、中島斐野は起因は不明。 【現況一斑】△人口三、一四七 人△戸數五五九戸△面積三、二一四方里△大字名小本、中島、中里、斐野△生産高總額三〇五、二六七圓△昭和十年年度豫算總額一〇七、一七九圓 村長從七飯岡徳次郎 助役菅原牧夫 收入役八重樫良雄 町會議員加藤米治郎 金澤勘兵衛 武田利儀彌 千葉儀三郎 三浦誠藏 竹花善次郎 竹花市右衛門 小成和助 千葉安見 箱石七兵衛 三浦福太郎 箱石藤右衛門

岩手縣町村大觀——下閉伊郡

在郷軍人分會長金澤興三郎 小本青年團長佐々木庄次郎 女子青年團長同人 消防組頭箱石藤右衛門 農會長菅原牧夫 小本信用組合長箱石藤右衛門 同濱漁業同人 開業醫佐々木純二旅館(鈴文)佐々木文七 (下見世)箱石七兵衛 料理店花月加藤隆美 梅の家織笠しげ 宗得寺兼務四戸岸泰弘 正徳寺同人 眞龍寺穂高堅正 村社八幡神社(小本)村社八幡神社(中里)同出羽神社(卒部)同熊野神社(宮本)

○田野畑村 (田野畑局) (平波澤一番)

【現況一斑】△人口四、三五二人△戸數七三一戸△面積十方里△大字名田野畑、濱岩泉、沼袋△生産高總額三二一、八二一圓△昭和十年年度豫算總額六六、二二二圓
村長島山貞作 助役熊谷廣治 收入役島山喜武 村會議員熊谷門介 大澤永喜 菊地清六 橋喜和太 前原久太郎 工藤繼助 佐々木與七郎 佐々木與次郎 佐々木清助 熊谷熊次郎 島山

仁助 上机千松 在郷軍人分會長三浦大太郎 田野畑青年團長缺(副團長熊谷力藏) 羅賀青年團長前原勉三郎 消防組頭菊地清六 農會長島山貞作 平井賀信、販、購、利組合長大澤預治郎 鳥越住宅同早野喜平 田野畑濱漁業同大澤預治郎 鳥越浦同早野喜平 開業醫鈴木欽也 旅館(中福)中村福太郎 (熊元) 熊谷元吉 料理店旭軒佐藤タキ 村社大宮神社金子榮一郎 村社大神宮

○普代村 (普代局四番)

△沿革 元國主南部藩内にし野田官所下に配屬肝入時代は黒崎村普代村堀内村と稱す明治五年戸長制度となり經濟狀態の統一を圖る爲三ヶ所の合併請願明治六年五月十六日許可戸長副戸長官選と爲り戸長を置く明治十六年の頃濱岩泉村田野畑村沼袋村に置かる町村制實施に就き田野畑村より分離して普代村役場を字普代に置く。
【現況一斑】△人口三、二三四

○有藝村

人△戸數五七五戸△面積四、五〇九方里△生産高總額四一六、〇五三圓△昭和十年年度豫算總額五〇、七一六圓
村長 助役大崎慶太郎 收入役中村友藏 村會議員和村唯次 熊谷五助 岩泉利吉 藤島清太郎 熊谷平七 中村文次郎 森田文治 中居市太郎 勳七功七 鈴木彦太郎 熊谷儀助 熊谷清助 佐々木豊治 在郷軍人分會長藤島清次郎 普代村青年團長勳八大坪豊 消防組頭森田正光 農會長代理副農會長熊谷平七 普代濱漁業組合長進藤尙 普代村信用同佐々木精次郎 大田名部信用同太田平三郎 普代村道路保護同岩泉利吉 熊精合資會社長熊谷民次郎 森正合資同森田正光 開業醫工藤保三普代郵便局長金子善三郎 旅館(田屋) 森田正光佐々木 佐々木精次郎 料理店(福泉亭) 岩泉フミ(嬉和屋) 大上フサ 妙相寺大村顯龍 村社卯子酉神社熊谷五助 金子榮一郎 同北ノ股神社同人

四八二

△沿革 元上有藝村鼠入村を聯合し第二十區第十一小區と稱し七番扱所を置き下有藝は第廿大區第十一小區と稱し八番扱所を設け諸般の行政を執行せられたり、扱所廢止と共に戸長制度に更り七番扱所は上有藝戸長役場に八番扱所は下有藝戸長役場となりたり明治十七年三ヶ村併合して上有藝村下有藝村鼠入村戸長役場となる。村制實施に當り三ヶ村を合して有藝村と稱し岩泉町安家村との組合役場を岩泉町に設けらる。大正七年村會にて獨立自治の制度の建議書提出あり、同十五年岩泉町外二ヶ村組合より分離し獨立を決し岩泉町有藝村安家村組合を解く組合役場解散後役場位置を有藝中田角地に定め新築工事昭和四年工事竣成す
【現況一斑】△人口一、三七〇人△戸數二二〇戸△面積六方里八七六△大字名鼠入、上有藝下有藝△生産高總額一三〇、六三一圓△昭和十年年度豫算總額

額一九、八一一圓

村長勳七瀧澤利吉 助役山岸政五郎 村會議員新谷長七 上川龜三 黒田宇八 瀧上庄三郎 中村兵之助 大谷兼松 山崎勝吉 中野善次郎 上下長三郎 木藤清太郎 在郷軍人分會長木下作右衛門 青年團長勳八中野榮三 農會長木下作右衛門

○安家村

△沿革 町村制實施に當り岩泉町有藝村と共に組合をなし岩泉町に役場を置きたるが昭和三年十月組合を解除認可となり同年十一月一日より獨立の村役場を設置す
【現況一斑】△人口一、六三四人△戸數二三〇戸△面積一三方里△大字名大坂本、大平、松ヶ澤、松林、日蔭、半城子年々茂井、江川、高須賀、折壁、氷渡△生産高總額六六、二四八圓△昭和十年年度豫算總額一四、一八二圓

村長臨時代理者三船丈夫 助役收入役兼掌中野貞雄 村會議員玉澤安太郎 玉澤孫吉 玉澤辨

岩手縣町村大觀——下閉伊郡

次郎 大塚藤右衛門 中屋敷六太郎 森子善次郎 小野寺菊治 大平福松 工藤軍平 玉澤文助 菅原義太郎

○小川村

△沿革 天正十一年北畠顯房が糞綿穴澤門の領主となり糞綿に居を定め糞御所として土民に尊稱せらる斯して此地は糞綿御所の直領なりし事約二百五十年其の後顯房の後裔直顯の代に至り南部信直侯の臣下となりて南部氏の治下になりしが尙降て南部領に代官制が布かれし際野田代官所の配下となり文正十一年更に盛岡上田代官所の管轄に移され明治維新に至る其の後施政上の區別改廢は屢々ありと雖明治二十一年町村制實施と共に糞綿穴澤門を合併小川村となし行政區域は舊三部落に則り三區となした
【現況一斑】△人口四、七〇四人△戸數七三一戸△面積廣義十一方里△大字名門、穴澤、糞綿△生産高總額三八三、一〇

七圓△昭和十年年度豫算總額三一、七八二圓

村長勳七上館市太郎 助役南澤伊兵衛 收入役佐々木幸藏 村會議員中村市右衛門 中村伊八 菊池廣治勳七工藤十次郎 佐藤一郎 南澤伊兵衛 竹花文次郎 勳八功七中村勝平 工藤祐一 富山良治 關口三平 野館市太郎 在郷軍人分會長關口澄司 小川青年團長南澤定七 消防組頭同人 農會長上館市太郎 小川信購販利組合長中村勝平 糞綿農事實行同中村與八 小川電氣株式會社南澤伊兵衛 開業醫村醫加藤弘三 小川青年團長中村半一 郎門女子青年團長中村勇平 産婆中村ナカ 旅館川村久兵衛 (瀬戸屋) 邊見眞太郎 洞岩寺佐々木宗順 不味庵正八平井謙五

○大川村 (大川局十三番)

△沿革 從來大川村淺内村釜津田村の組合村にして正平中南部遠江守の政行の封内に屬し明治元年十二月直隸となる同二年江刺縣に屬し同四年十

一月盛岡縣に屬し五年一月縣名岩手と改稱さる以後町村制實施より三村を併合大川村と稱し現在に至る。
【現況一斑】△人口二、六一七人△戸數四〇一戸△面積二〇方里△大字名土川、淺内、釜津田△生産高總額二二二、七五八圓△昭和十年年度豫算總額六、七五〇圓特別會計一五、三八二圓

村長新村琢郎 助役北畑森五郎 收入役高橋金吾 村會議員北畑森五郎 從七三上菊太郎 佐々木久米治 佐藤甚之助 三上信吉 佐々木久志 山内彦太郎 青木久次郎 島山廣治 田鎖佐吉 田鎖末之助 田鎖堅藏 在郷軍人分會長勳八佐々木惣次郎 大川村青年團長關口慶三 消防組頭從七三上菊太郎 農會長新村琢郎 大川村信用購買販買組合長從七三上菊太郎 開業醫勳六正八平吹庄三郎 大川寺島山宗儲 顯本法華宗妙法院伊保内教明

四八三

岩手縣町村大觀 下閉伊郡

山口村 (宮古局)

【現況一斑】△人口二、七二二
人△戸數四五八戸△面積五方
里△大字名山口、近内、田代
△生産高總額二二四、七四一
圓△昭和十年年度豫算總額二一
九九三圓

村長勳八藤田喜一郎 助役田代
彌兵衛 村會議員橋本徳治郎
川原田周平 三上與兵衛 三浦
竹藏 鈴木榮太郎 鈴木清平
中洞熊吉 崎尾宇助 中里久藏
刈屋定吉 佐藤末吉 皆川彦松
在郷軍人分會長伊藤勇藏 山口
村青年團長勳八藤田喜一郎 消
防組頭三上八百吉 農會長勳八
藤田喜一郎 山口産業組合長皆
川彦松 山口養蠶實行同田代彌
兵衛 近内同木村莊之進 田代
同藤井藤任 佐羽根同中洞熊吉
山口農事實行組合長中澤源兵衛
近内同木村莊之進 佐羽根同佐
々木利兵衛 白杵同村上源吉
田代同信天源八 旅館(藤盛)松
本新藏 慈眼寺三浦文道 久昌
寺清水昌光 永光寺小原深妙

黒森神社山根正三

千徳村

【現況一斑】△人口一、八一三
人△戸數二三五戸△面積一五
方里△大字名山口、根市、花原
市△生産高總額一、〇〇〇
〇圓△昭和十年年度豫算總額一
九六四九圓

村長大森堅藏 助役大森庄次郎
収入役缺員村會議員藤田俊三
大森庄次郎 大森善七 南館長
之丞 中屋治兵衛 盛合要之助
岩船忠助 阿部安之助 松館映
定 成ヶ澤半兵衛 高橋徳万
在郷軍人分會長後歩伍大森義雄
男子青年團長中屋權治 女子同
澤田理兵衛 消防組頭岩船忠助
農會長盛合要之助 無限責任千
徳信用購買販賣組合長勳七上野
久次郎 保證責任泉製氷生産販
賣利用岩船忠助 華嚴院平井徳
全善勝寺葛哲量 長根寺葛西英
田

花輪村

△沿革 慶應置縣後の分のみ
を記す。明治二年花輪村、田領
村、松山村、老木村、長澤村の
五ヶ村に區分し明治八年五ヶ

川井組合村

沿革 △明治二十二年五月川
井村門馬村組合を組織し現在
に至る

【現況一斑】△人口川井村三、
六八四人門馬村一、六七二人
五、三五六人△戸數川井村六
六二戸門馬村一八七戸八四九
戸△面積川井村一三方里門馬
村一方里二四方里△大字名
川井村、古田、川井、片集、箱石
鈴久名、夏屋、川内、門馬村、平
津戸、門馬、田代△生産高總額
八二、七八五、三二九、八〇四
圓△昭和十年年度川井村、門馬
村組合二六、九六五圓

田の庄と稱へた閉伊陸奥守頼
基の臣石關兵庫勝時の領下に
永く服し勝時は住民尊崇の的
となり歿して後神に祭られ川
崎神社是なり(閉伊川七社の
一)後根村領より朝政二男刈
屋上總介高義美地を此地に移
して館を築き四代に及びり爾
來刈屋村と稱せらる、四代に
して南部氏の爲めに統一橋山
氏の所領下となりて明治維新
に及びり

岩手縣町村大觀 下閉伊郡

岩手縣町村大觀 下閉伊郡

四八四

【現況一斑】△人口二、八七〇
人△戸數四二二戸△面積五方
里△大字名茂市、暮目、腹帯
△生産高總額一四一、〇五一
圓△昭和十年年度豫算總額一九
八八五圓

村長山口彌七郎 助役佐々木平
六 収入役鈴木名金藏 村會議
員橋本岩松 佐々木常之助 飛
澤仁太郎 山口榮次郎 和美作
之丞 野崎熊次郎 斐岩啓藏
佐々木善之助 山口彌七郎 田
鎮左七郎 飛澤勇太 飛澤市夫
在郷軍人分會長大平英雄 茂市
村青年團長田鎮左七郎 同女子
同同人 消防組頭勳七橋場馬藏
農會長田鎮左七郎 茂市村信用
販賣購買利用組合長橋本岩松
茂市合同運送株式會社社長富永眞
造 開業醫關支瑋 旅館茂市政
司 山口ミサ 料理店(すみれ
家) 岩脇サタ(美好家) 淡路み
よ 村社八幡神社佐々木武男
同熊野神社同人同加茂神社同人
△沿革 元刈屋和井内村を合
併して刈屋村と稱す往昔は蓬

茂市村

神職在原榮

小國村

下總興之助 山崎清志 橋場勇
助 山名彌之助 佐藤友藏 大
洞要藏 草刈藤五郎 勳八大畑
福太郎 佐々木充太郎 澤口専
次郎 去石久助 在郷軍人分會
長川井村佐々木善之丞、門馬村
引屋敷伊太郎 川井門馬組合男
子青年團長勳八下總百司 同女
子青年團長同人 消防組頭正八
澤田洪 農會長勳八下總百司
開業醫小川長造 好心寺加藤虎
童流 月庵柏東禪

小國村

沿革 本村は小國、江繋の
二大字より成る、舊南部藩政
時代には大樋通代官所支配に
屬せり、其の南部領に歸せし
は正平年中十二代遠江守政行
公の治世なりと舊記に見ゆ、
明治二年江刺縣に屬し四年盛
岡縣に、五年岩手縣に屬し今
日に至る、郡の西南部に位す
【現況一斑】△人口二、七七一
人△戸數三四〇戸△面積東西
三里南北五里△大字名小國、
江繋△生産高總額二五六、五
四三圓昭和十年年度豫算總額二

磯鷄村 (宮古局)

四、四二二圓
村長道又勇太郎 助役小向判次
郎 収入役佐々木平俊 村會議
員道又隆雄 澤田松太郎 岩館
長五郎 高橋榮支 眞田政一
柳原新彌 河内西松 向田久之
丞 前川藤五郎 前川益藏 山
口福次郎 在郷軍人分會長前川
藤五郎 小國青年團長道又勇太
郎 同女子同同人 消防組頭三
浦嘉太郎 農會長道又勇太郎
小國信購買利用組合長小向判次
郎 擊摺石森林土工組合長佐々
木長助 開業醫小川支清 産婆
木村コノ 旅館(宮守屋)淺沼彌
彦吉(石川屋)石川重太郎(高
森屋)澤田松太郎 小原ヒサ
大圓寺海野義雄 加茂神社中村
長太郎 早池峰神社鈴木龜代見
八幡神社鈴木富人
△沿革 元刈屋和井内村を合
併して刈屋村と稱す往昔は蓬

四八五

岩手縣町村大觀——下閉伊郡

△昭和十年年度豫算總額五三〇〇圓

村長勲七功七上箇常治 助役金澤爲吉 收入役岩間健吉 村會議員船越源次郎 細越利助 從五勳四高梨弘 岩間初太郎 勳八岩船六兵衛 岩間惣七 岩間勝太郎 小林和六 勳八小名重右衛門 正八山崎熊太郎 長澤榮藏 在郷軍人分會長岩間健吉 磯鷄村青年團長岩間健吉 消防組頭小林和六 農會長勲七功七上箇常治 漁業組合長同人 料理店(三保)服部政次郎

○津輕石村

【現況一斑】△人口三、三二七 人戸△數五二八戸△面積一、三五方里△大字名津輕石、赤前△生産高總額二四一、五三七圓△昭和十年年度豫算總額二六、〇七三圓

村長缺 助役中島寅次郎 收入役山崎良平 村會議員旭八盛合與右衛門 旭七長洞作次郎 正八中島源造 若狭朝吉 佐々木善治郎 旭八中島覺藏 館下辰之助 伊藤榮一 長澤鐵五郎

佐々木兵五郎 米澤秀一 山根仁左衛門

○重茂村 (重茂局一番)

△沿革 東閉伊郡重茂及音部村を併せて下閉伊郡重茂村となる

【現況一斑】△人口二、一七四人△戸數三一五△面積四、二七方里△大字名重茂、音部△生産高總額四五四、〇六三圓△昭和十年年度豫算總額一四〇三二〇圓

○豊間根村 (山田局一番)

村長重茂爲治 收入役西箇壽村會議員野崎重助 野崎千代松 山本與之助 山崎兵太郎 伊藤儀八郎 白木安治 高坂熊次郎 前川彌之助 石村辰之助 釜道龜太郎 上野鶴松 阿部開治郎 在郷軍人分會長正八高坂運平 重茂村青年團長同人 同女子同昆清次郎 消防組頭重茂爲治 農會長同人 重茂村漁業組合長山崎兵太郎 寺澤醫院 産婆飯岡津子 旅館(日ノ出屋)盛合牧太 高坂四郎 (長徳屋)重茂長右衛門 黒崎神社 大神宮

△生産高總額五七九、九三四圓△昭和十年年度豫算總額一九、六七〇圓

村長欠員 助役尾國夫 收入役小川信三郎 村會議員小林仁太郎 山屋宇之吉 福士平助 中村松之丞 沼崎忠平 中村富次郎 長兵衛 田村六藏 昆留吉 坂本宇之吉 在郷軍人分會長沼崎二郎 織笠女子青年團長波岡茂樹 織笠跡濱同小林喜代治 消防組頭竹内英郎 農會長中村松之丞 織笠信購買利組合長昆留吉 織笠漁業同竹内宗永 田子ノ木購買同中村松之丞 織笠青年團長、産業組合青年聯盟支部長佐々木英一 龍泉寺石ヶ森有道 八幡神社稻川勝連

○船越村 (山田局)

△沿革 記録に従へば安部氏藤原氏に屬し建久年間に閉伊氏の所領となつたが同氏滅びて約二百年間は何人に支配せられしやが判然としないが北畠顯元の如きは正平二年以來六十五年間茲にありて船越御

岩手縣町村大觀——下閉伊郡

△沿革 元豊間根村、荒川村、石崎村を合併し一村となせるもの、東は重茂村西は上閉伊郡金澤村南は山田町大澤村北は津輕石村及花輪村に界す前九年の役安倍頼時の子孫安倍七郎孝任當時十四歳母及郎徒十七名と共に此地に來住したるに始まる。後南部領になり後明治二年江刺縣に屬し四年盛岡縣に屬す五年岩手縣管轄となる

【現況一斑】△人口三、一〇〇人△戸數四四四戸△面積八方里△大字名豊間根、荒川、石崎△生産高總額一八四、八一九圓△昭和十年年度豫算總額二三四三〇圓

○久慈町 (久慈局七一番)

村長豊間根隆 助役芳賀精司 收入役豊間根與左衛門 村會議員木村喜重郎 正八佐々木甚五郎 川村辰五郎 勳八佐々木要太郎 佐々木政美 勝山勇 芳賀良海 芳賀定美 山口平重郎 齋藤惣八 佐々木吉五郎 佐藤與茂太 在郷軍人分會長正八佐々木甚五郎 豊間根青年團長和

所と尊稱せられつ、勤王の志氣を鼓舞しつゝ居つた尙ほ此の期間中には文中三年に長慶上皇が北畠氏を隨へて當地より津輕の波岡に幸あらせられたと云ふ注目すべき事もあつた、慶永年間に至り船越黨は遠野の阿曾沼氏の一族大槌氏に從屬した、然るに永祿年間(約三百七十年前)に至り小笠原修理之助なる者甲州より此地に來り船越灣に臨める丘陵(今の館山)の上に壘壁を構へ、船越氏と稱して土民を愛撫した、船越氏は一時威を四近に振つたが後に至り三戸南部氏に攻められ之に降つた。(因に磯鷄村の金濱氏は此の船越氏の分家である)慶長四年に至り本村は南部領となり寛永四年南部氏の一族八戸氏の設置せる大槌代官所の配下となつた、其享保二十年南部領内に代官制が布かれた時大槌代官所の配下となり、明治維新に及んだ但本村には藩士漆戸、伊藤、毛馬内三氏の給所

【現況一斑】△人口四、四〇九人△戸數六三一戸△面積二、五方里△大字名船越、田ノ濱、大浦、渡磯、小谷島、山ノ内、灣臺△生産高總額五九八、二二三圓△昭和十年年度豫算總額一四八、六七二圓

村長鈴木吉平 助役松崎一郎 收入役近藤勝之助 村會議員佐々木源兵衛 野田權右衛門 渡磯七兵衛 山崎忠吉 山崎直吉 阿部丹治 昆野傳五郎 黒澤六三 和合長十郎 菊地福松 鈴木吉平 在郷軍人分會長歩兵伍坂本正一 船越村青年團長從七勳八鈴木忠二郎 船越村女子同同鈴木忠二郎 消防組頭松崎一郎 船越村漁業組合長鈴木吉平 同産業同鈴木吉平 村醫三浦寅三 船越小學校長從七勳八鈴木忠二郎 大浦同後藤茂次郎 産婆船越ヤエ 旅館佐々木與逸 海藏寺中村義寛 孝勝寺佐々木瑞然 荒神社西箇平七

九戸郡

山浩二郎 同女子同橋場武二郎 消防組頭豊間根隆 農會長同人 信用購買利組合長同人 開業醫三善暢 豊間根郵便局長豊間根知也 旅館島山義重 (豊英)豊間根サミ 同佐々木萬次郎 澤田ミツ 鞍東山寶珠院平井徳全 白山神社欠 稻荷神社欠

○大澤村 (山田局)

【現況一斑】△人口一、七四五人△戸數二五三戸△面積一、一五方里△生産高總額三五三、六九二圓△昭和十年年度豫算總額一一、六九九圓

村長大久保喜重治 助役缺 收入役佐々木清藏 村會議員佐々木治助 鈴木喜兵衛 鈴木傳喜治 福士正五郎 阿部要之助 鈴木熊次郎 中釜政一 箱石福次郎 千代川岩松 鈴木重三郎 鈴木長藏 千代川弘昌

○織笠村 (山田局七五番)

【現況一斑】△人口二、八〇六人△戸數四八八戸△面積三方里△大字名織笠、跡濱、禮堂、馬指野、田子ノ木、外山、新田、

△沿革 昔は南九戸郡、北九戸郡に分れ當町は南九戸郡に屬し下大川目村、門前村、長久寺村、長内村となり居しが町村制實施に際し右四村を併合して久慈町となり右四村は現在の大字(尙南北九戸郡は明治三十年南北をなし九戸郡となり今日に至る)

【現況一斑】△人口七、七三八人△戸數一、四三三戸△面積一方里三分△大字名下大川目、門前、長久寺、長内△生産高總額三九七、〇三一圓△昭和十年年度豫算總額五一、〇一四圓

町長勳八三船米藏 助役從七勳七兼田清一郎 收入役三船平作 町會議員古館長松 吉田兵次郎 中野小太郎 兼田忠吉 城内岩松 勳七功七山田金太郎 田高貴次郎 小向叶次郎 村田良藏 上山重三 中野省一郎 中森市三郎 長内仁太郎 金澤賢輔 三上金作 嵯峨清貴 中野清吉 高橋新太郎 在郷軍人分會長後騎

上晴山一耶 久慈青年團長勳八
三船米藏 同女子同勳八矢幅矢
未人 消防組頭中野清吉 農會
長勳八三船米藏 久慈穀物商業
組合長久慈未治 同信用購買販
賣利用同勳八三船米藏 購買利
用組合九戸 病院 同田高幸一
耶九戸郡產馬畜產同久慈清輔
九戸水力電氣株式會社社長一戸三
矢久慈殖産同中野清吉 竹花製
材工場長竹花喜三郎 神田製材神
田由吉 銀行支店長太田藤三郎
煙草販賣所長小川政孝 病院開
業醫正八勳伊藤敏郎 黒田半三
耶 正八市川市郎 川口清俊 三
船正五郎 本宮製材工場長本宮
藤太郎 産婆三田みどり 久慈
劇場野常基 錦輝館吉田勘治
旅館本宮キク 三船サダ 料理
店(いろは樓)三上キエ(琴平家)
平谷ヨシエ 長福寺稻田泰演
長泉寺藤原虎海 郷社大神宮播
摩賢英村社金毘羅神社兼田八藏

家、長倉△生産高總額四一八
〇二圓△昭和十年年度豫算總額
〇七八、五五七圓
村長從七小笠原龜次郎 助役小
錦喜代松 收入役中村商一郎
町會議員大谷地作右衛門 工藤
保三 内澤政人 細谷地種吉 長
瀬孝藏 江刺家熊太郎 勳八島
澤熊太郎 増尾幾太郎 工藤壽
堀米喜三郎 久保勝保 尾田川
徳松 小笠原榮一 從七勳六中
村力智 從七小笠原龜次郎 川
原木未吉 關向政吉 在郷軍人
分會長正八平船與一郎 輕米青
年團長正八菊池安五郎 同女子
同正八菊池安五郎 消防組頭堀
米喜三郎 農會長小笠原榮一
上館養蠶實行組合長小笠原榮一
上輕米同勳八清水權之助
下輕米同勳八島澤熊太郎 高
家同久保勝保 輕米同野田
文造 同電氣株式會社社長國分喜
一 輕米製材同堀米喜三郎 玉
川同工場長玉川米吉 竹澤同竹
澤豐吉 九十銀行支店長小田悟
三 福岡病院輕米診療所 玉懸
謙治 向井田醫院向井田貞治

淵澤醫院淵澤末藏 産婆大川ノ
小笠原キミ 輕米座菅原梅
壽 旅館瀧村忠助 勳八島澤熊
太郎 勳八清水權之助 (龍
泉館) 瀧村忠助 德樂寺大久保
祖雄 村社八幡宮菅原梅壽 太
神宮大澤善雄 輕米農場長從七
勳六小澤藤作 同尋常高等小學
校長正八菊池安五郎 上館尋常
小學校長岩泉慶作 高家寺菅喜
三郎 笹渡同鈴木茂一
〇長内村 (久慈局七〇番)
【現況一斑】△人口四、三六六
人△戸數七二三戸△面積四、五
方里△大字名小久慈、長内△
生産高總額一三八、九六九圓
△昭和十年年度豫算總額三六、
五三九圓
村長中野芳樹 助役長内正太郎
收入役山口秀康 村議員馬場
岩藏 成田寛六 水上丑藏 砂
子孝次郎 柳折藤吉 岸田惣一
耶 田高健彌 勝田以額 小尾
畑豐松 岩城初太郎 笹原卯之
松 在郷軍人分會長成田寛一
長内村青年團長中野芳樹 小久
慈女子同田口三郎 消防組頭柳

桁熊吉 農會長中野芳樹 長内
濱漁業組合長長岡正太郎 大尻
濱漁業大尻山三郎 長内女子青
年團長晴山福一耶 産婆大塚ハ
ル 諏訪神社稻村菊藏 丹内神
社
〇宇部村 (宇部局一番)
【現況一斑】△人口三、一八〇、
人△戸數五一二戸△面積三、
八方里△大字名一番組、二番
組三番組、小袖、(四番組)久喜
(五番組)△生産高總額二七
四、八〇八圓△昭和十年年度豫
算總額三四、八四一圓
村長宇部孫太 助役島山運太郎
收入役宇部公相 村會議員久慈
廉太 山田馬吉 宇部由松
山下松太 久慈忠次郎 外館齋
助 澤里權治 宇部清吉 廣崎
福藏 久世丑次郎 久慈清輔在
郷軍人分會長久慈玉雄 宇部村
青年團長正八宇部行一 同女子
同正八宇部行一 消防組頭久慈
清輔農會長久慈清輔 宇部村信
用購買販賣利用組合長久世丑次
郎 養蠶實行同久慈清輔 小袖
濱漁業同山下松太 久喜濱同假
理事久慈廉太 開業醫(村醫)高

橋正之 (みさき旅館) 宇部公相
(久慈旅館) 久慈ソメ 丹内神社
林下八之亟 延命庵主大場興隆
〇野田村 (野田局四番)
【現況一斑】△人口四、八七六
人△戸數六六八戸△面積四方
里五分△大字名野田、玉川△
生産高總額二五七、一五九圓
△昭和十年年度豫算總額五八、
五五〇圓
村長正八勳七伊東元介 助役大
澤重郎 收入役新山則孝 村會
議員大澤源太 勳八功七大澤長
右衛門 佐藤貞次郎 中村初太
郎 松川繼太 新山才助 古館
慶次郎 南川吉太郎 狩野重榮
明内文八郎 白戸千代三郎 二
又巳之藏 在郷軍人分會長正八
大澤幸藏 男子青年團長佐藤貞
次郎 女子同前田スガホ 消防
組頭佐藤貞次郎 農會長小田賢
太郎 野田浦漁業組合長北田清
藏 玉川同古館慶次郎 北松屋
合名會社長北田惣次郎 野田運
輪合資同小田賢太郎 刃製材工
場長久慈季六 開業醫川原文作
産婆宇部はるよ 村田ミチ

旅館中野健三 狩野重榮 料理
店(濱の家) 神田仁太郎 (大丸)
大澤董 海藏院小松寺福盛田頼
道 村社愛宕神社中野誠一 無
格社綿津海同泉澤初太郎 天理
教土内末松
〇山根村 (山根局一番)
【現況一斑】△人口一、八三人
△戸數三一二戸△面積六方里
△大字名上戸鎮、下戸鎮、端神
細野、木賣内、深田△生産高總
額一〇三、〇九二圓△昭和十
年度豫算總額一二、六一〇圓
村長勳七功七伊藤千助 助役岩
城賢造 收入役勳八、八幡五三郎
村會議員中平喜三郎 萬代寺平
吉 山館富太郎 小野寺源右衛
門 山山卯太郎 大家仁太 勳
八中塚元吉 勳八清水川留藏
島山茂太 葦山元吉 葦山彦治
伊藤吉郎 在郷軍人分會長正八
島山義雄 山根青年團長山館富
太郎 戸領女子同伊藤ミツ 消
防組頭山館富太郎 農會長勳七
功七伊藤千助 山根養蠶實行組
合長島山宏郎 旅館伊藤吉郎
村社熊野神社

〇山形村
△沿革 舊藩時代八戸藩に屬
し久慈通代官所支配下にあり
町制實施に際し小國、霜畑
川井、荷輕部、日野澤、戸呂
町、繫ノ七ヶ村を合して山形
村と稱し各村は現今大字とな
り。
【現況一斑】△人口五、三九七
人△戸數六九六戸△面積一九
方里一九七△大字名小國、霜
畑、川井、荷輕部、日野澤、戸呂
町、繫△生産高總額三一、三
六三圓△昭和十年年度豫算總額
四六、七二九圓
村長長内市松 助役木地谷辰五
郎 收入役木地谷吉郎 村會議
員木地谷惣一郎 工藤造酒藏
近藤平藏 類瀨彌傳次 間瀬萬
吉 清水福藏 下斗米重太 小
笠原久志 大上昌一 瀨 火石三治
二ツ神啓造 皆川惣藏 下館新
吾 瀧山浪次郎 瀧山定吉 茅
森彌平治 大城常太郎 在郷軍
人分會長正八中野虎雄 男子副
青年團長佐々木武司 女子同長
内市松 農會長長内市松 村醫

古川小寅 囑託醫久保田助次
郎 干手寺工藤泰伸 川井神社
稻村菊藏 館石同大崎善吉 八
幡宮稻村菊藏
〇大川目村 (大川目局一番)
△沿革 八戸藩の領地で久慈
代官所の支配下にあり上下大
川目村に區分されてゐた、明
治五年岩手縣管轄となる、夫
々戸長役場を置く同十三年南
九戸郡に屬す、町制實施に
際し舊大川目村を廢し新に三
日町外八ヶ村を合し大川目村
と稱す同廿九年南北九戸郡を
合併九戸郡大川目村となる大
正十一年三月大火にて三日町
砂子部落全滅す
【現況一斑】△人口二、八四八
人△戸數四八八戸△面積二方
里九六三廣袤東西九六七五南
北一二二四〇△大字名上大川
目、繫△生産高總額一七、六
六五圓△昭和十年年度豫算總額
一五、二六〇圓
村長缺 助役五日市謙二郎
收入役砂子彦三郎 村會議員村
田市藏 四百菊助次郎 水無長

岩手縣町村大觀——九戸郡

太郎 岡本要吉 藤森文三郎 米内福藏 田中橋次郎 清水萬仁門 櫻庭庄八 三上平藏 三浦九二男 岩花初太郎 在郷軍人分會長後歩上三上與助 大川目村青年團長五日市謙二郎 消防組頭村田茂吉 農會長藤森十藏 三日町養蠶實行組合長村田末藏 大川目同砂子兼吉 山口同米門福藏 産業同村田市藏 馬匹傳貧豫防同米内松藏 大川目郵便局長村田茂吉 大川目村青年團三日町支會長村田淨 山口同切金清次郎 産婆南山ツル 旅館横澤田喜藏 慈光寺淺沼俊道 八幡神社山口正雄

○夏井村

【現況一斑】△人口二、七九四 人△戸數四三六戸△面積二方里六一八△大字名夏井、早坂、里沼、大崎、閉伊口鳥谷△生産高總額七九、〇五九圓△昭和十年年度豫算總額三五、四三二圓 村長太田林藏 助役小向叶次郎 收入役八功七山田仁太郎 村會議員中崎村吉 川代若藏 夏

井仁太郎 小田三九郎 夏井千代松 瀧澤由松 田澤久三郎 大湊徳太郎 播摩中松 東岩吉 小坂八十四郎

○侍濱村

△沿革 太平洋ニ突出シ最東端ニ牛島ヲ點出シ海岸ハ西ニ廻リ久慈灣ノ北口ヲ扼シ北ハ高家川ヲ隔テ中野村ト隣シ大野村ハ西隅ヨリ福岡久慈八戸線縣道ヲ以テ界トス久慈灣沿岸ニ至リテ夏井村界ヲ終ル水流頗ル乏シク海岸ノ斷崖ハ殆ト花崗岩質

【現況一斑】△人口二、四七四

△△戸數三六六戸△面積二方里二三七△大字名北侍濱、白前、南侍濱ノ三大字△生産高總額一五四、五六四圓△昭和十年年度豫算總額一九、七〇三圓 村長久慈毅一郎 助役久慈吾一 收入役小向與八 村會議員向專之助 舛森馬吉 鳥谷隆 動八田中馬吉 松館丑藏 久慈作次郎 動八久慈市郎 久慈辰巳 西野丑松 下向石太 淺水丑太郎 在郷軍人分會長輻曹久慈清輔

男子青年團長岡本英一 女子同 消防組頭久慈毅一郎 農會長同 侍濱村耕地整理組合聯合組長同 北侍濱漁業同前浦漁業同鳥谷隆 南侍濱漁業同森岩春吉 旅館坂本ちよ 佐々木榮吉 料理店(きくのや)和地シノイ 村社八幡宮久慈覺三 村社若宮八幡宮從七動八下嶽半藏 村社巖島同幡磨賢榮

○中野村

△沿革 中野村有家村小子内村ノ三ヶ村を合シ町制公布ニ依リ現在ノ中野村ト爲ル 【現況一斑】△人口三、二四四 人△戸數四三九戸△面積三、七方里△大字名中野、有家、小子内△生産高總額一三一、一七三圓△昭和十年年度豫算總額二三、五二〇圓 村長中村傳三郎 助役大石由男 收入役動七工藤石太郎 村會議員大粒來岩吉 谷地松太郎 大道實松 城下安藏 動七川崎富藏 米内石太郎 動八水上龜治 原内石太郎 石羽澤石太郎 畑川石太郎 粒來小平 玉澤初

○種市村 (種市局一番)

△沿革 舊藩時代ハ八戸藩ニ屬シ明治四年八戸縣ニ屬シタ後盛岡縣ニ編入行政區劃ノ設定改廢屢々アツタガ明治八年第十七大區ニ屬ス明治十一年北九戸郡長ノ管轄ニ屬ス、町制ト共ニ戸長市原故忠初代村長ニ就任明治三十五年第三代村長岩本武登氏當時現在廳舎ヲ新築移轉ス、現在村長ハ八代目ニシテ吏員十四名 【現況一斑】△人口八、七二一人△戸數一、三三六戸△面積八方里二三△行政區字八木、宿戸、戸類家、玉川、鹿糠、横手、川尻、平内、角濱、麥

四九〇

太郎 在郷軍人分會長水上清次郎 青年團長村田貞藏 女子同 農會長中村傳三郎 中野濱漁業組合長米内石太郎 有家濱漁業同澤尻吉藏 小子内濱漁業同澤口石太郎 養蠶實行同絲坪熊太郎 小森製材工場小森初五郎 高柳同高柳鐵五郎 村醫島崎貞 旅館(三河)野崎スゲ 長圓寺藤岡龍英

澤、城内、大澤、和座、大谷△生産高總額四七四、六五五圓 △昭和十年年度豫算總額八六、七七五圓 村長勲八和井内光久 助役安藤安夫 收入役高屋敷仁兵 村會議員久保田永作 中村誠一 勲八酒井壽吉 勲八下川專松 高田三四郎 松原福太郎 村上徳一郎 正八岡本福太郎 萬徳揖時藏 高屋敷與五郎 勲八米澤正 八木利三郎 勲八北向福太郎 村山石太郎 勲八荒谷仁太郎 里村千太郎 正八川崎甚太郎 安藤安夫 在郷軍人分會長正八岡本福太郎 種市村男子青年團長村上徳一郎 同女子同下町七之藏 消防組頭村上徳一郎 農會長同 種市信用販利組合長正八岡本福太郎 城内信購販同川向孫助 種市村漁業組合聯合同村上徳一郎 種市商業同佐々木六郎 同養蠶同勲八和井内光久 種市合同運送株式會社社長下芋坪千松 八木合同運輸同阿部宗藏 種市養蠶實行同佐々木富男 城内同芋坪金兵衛 種市郵便局長局正七勲六佐々木豐藏 八木郵便取扱所長石橋三七郎 開業醫花澤久榮 小野寺猛夫 徐鳳鳴 同 産婆日影かね 中村よしみ 看護婦栗谷川光子 宿田美穂子 村獸醫正八鈴木善美 旅館(八木滿)工藤久助(鳴鳴館)齋藤與一郎 田村信太(やぎや)石橋茂吉(大光)大光サト(カフエ)銀波(似内)ナツト(種市食堂)太田三太郎 東長寺東井雄輝 東海寺横田俊英 村社八幡宮種市秀之助 岡谷稻荷神社上岡谷稻荷

○大野村 (大野局一番)

【現況一斑】△人口五、四四五 人△戸數八二二戸△面積八方里二七五△大字名大野、滯島阿子木、永澤△生産高總額三七〇、二六〇圓△昭和十年年度豫算總額四三、六一五圓 村長從六勲六上野教三 助役橋本喜代次 收入役柏木榮治郎 村會議員熱田靜 野村辰次郎 關口市藏 坂川榮治郎 向明戸治五郎 中屋敷彦松 飛島辰五郎 下館文平 工藤保治 長川

四郎 佐々木儀三 在郷軍人分會長野田新太郎 女子青年團長正八川村善太郎 消防組頭晴山吉松 農會長同人 養蠶組合長同人 産業同同人 開業醫向井田五郎 獸醫中野一章 産婆八重樫マツ 旅館(飛鳥)飛鳥サト(長内)長内哲樓 大正寺菊池哲禪 鳴雷神社坂本官七 天理教谷亦三郎

○小輕米村

【現況一斑】△人口本籍人口四、〇七〇人現住人口三、四二〇人△戸數五三〇戸△面積八方里二六△大字名小輕米、圓子蛇口△生産高總額二一四、八五七圓△昭和十年年度豫算總額二九、四〇九圓 村長泉山喜太郎 助役正八土佐小八郎 收入役兼田善八 村會議員江刺家兵右工門 君成田秀松 勲七中村道郎 勲八功七松浦久次郎 土佐浪江 大村覺太郎 大村忠吉 大崎市太郎 勲八西館長之助 中里一郎 工藤音吉 在郷軍人分會長正八土佐小八郎 小輕米男子青年團長泉山喜太郎 小輕米村女子同同人

消防組頭同人 農會長坂本勝三 小輕米土地利用組合長小林宮吉 圓子信用購買販賣利用同坂本勝三 小輕米養蠶實行同工藤哲明 小輕米荷馬車同小林宮吉 小輕米養蜂組合長小野寺喜松 小輕米村養豚同小林宮吉 開業醫田中吉六 旅館(兼田)兼田モト 雞頭山實相寺工藤哲明 村社月山神社大澤善雄 村社圓子同同大村巖

○晴山村 (晴山局壹番)

【現況一斑】△人口三、七〇七 人△戸數五八三戸△面積三方里△大字名晴山、山内、狄塚△生産高總額一一三、五一九圓 △昭和十年年度豫算總額二〇、九二二圓 村長本田音吉 助役瀧澤仁三郎 收入役本田清吉 村會議員早川竹松 古里勝明 内城徳藏 福田彌三郎 山仁石松 横島八十吉 瀧澤石太郎 平彌次郎 成田四十山 川崎忠 山下福太郎 小林武次郎 在郷軍人分會長神

岩手縣町村大觀——九戸郡

岩手縣町村大觀——九戸郡

久保岩雄 青年團長本田音吉
消防組頭七動八古里準見 農
會長七小笠原利吉 開業醫及
川泰雄 產婆池端ツメ 三光寺
高山光麟 稻荷神社古館久太郎
武甕植神社工藤義則

○江刺家村

△沿革 明治十二年一月戸長
役場ヲ江刺家村ニ置カレ、明
治十三年伊保内、江刺家、戸田
三ヶ村組合役場ヲ伊保内村ニ
置キ組合役場ト稱ス、明治二
十二年四月市町村ノ實施セラ
ル、ニ當リ組合村ヲ分離シテ
大字江刺家、大字山屋ヲ以テ
一村トシ江刺家村役場ヲ設置
シ現今ニ至ル

【現況一斑】△人口一、八二八
人△戸數三〇四戸△面積一、
七八方里△大字名江刺家、山
屋△生産高總額一一、五一
〇圓△昭和十年度豫算總額四
五四二二圓

村木健吾 小野寺英之助 松本
清太郎 道地金次郎 坂本永八
中山徳松 七戸市太郎 田澤友
次郎 在郷軍人分會長山口龜吉
江刺家青年團長石川末太郎 同
女子同北太政太 消防組頭小野
寺耕作 農會長野邊地十太郎 信
用購買販賣江刺家信用組合長河
野善右衛門 江刺家郷倉同同人
下村郷倉同長毘坂徳太郎 細屋
郷倉同七戸市太郎 旅館(上柿)
上柿トミ (村木)村木イマ 長
徳寺岩館福道 村社新山神社葉
澤市太郎

○伊保内村

【現況一斑】△人口三、一八五
人△戸數五二四戸△面積三、
七方里△大字名荒谷、伊保内
小倉、長興寺、雪屋△生産高
總額八四、五二五圓△昭和十
年度豫算總額一六、二七六圓

○戸田村

△沿革 廢藩置縣後明治六年
江刺村伊保内村戸田村等三ヶ
村併合シテ伊保内村ニ戸長役
場ヲ設ケ明治拾三年ニ至リ分
離シテ戸田村外一ヶ村戸長役
場ヲ設ケ明治廿三年町村制施
行ト同時ニ山根本村戸田村ト
合シ一村トナシ戸田村ト稱シ
大字山根之ナリ

【現況一斑】△人口二、二四二
人△戸數三二九戸△面積三方
里△大字名戸田、山根△生産
高總額一四二、八五九圓△昭
和十年度豫算總額一七、八三
一圓

村長皆川喜八 助役中村泰三
收入役夏井辰五郎 村會議員皆
川義衛 中村徳三郎 山本徳太
郎 中村平吉 皆川鐵五郎 大
久保甚之助 勳八皆川馬之丞
大谷川松五郎 桂川勝太郎 高
倉熊五郎 高倉繁藏 勳八西山
伊三郎 在郷軍人分會長日影榮
吉 戸田青年團長皆川喜八 消
防組頭中村徳三郎 農會長橋場
豊作 山根信用購買販賣利用組

四九二

合長同 戸田養蠶實行同皆川喜
一 宇堂江養蠶實行同中村泰藏
戸田道路保護同皆川喜八 高倉
製材工場長高倉熊五郎 旅館(山
本)山本ツネ 金花山源福寺番
澤格禪 村社月山神社千葉重幹
大神宮同

○葛巻村

【現況一斑】△人口六、〇六五
人△戸數九六二戸△面積一二
方里九九一△小字名第一地割
(鷹ノ巣)第二同第三(横打)
第四(横打、館倉)第五、六、七
(元町)第八(田ノ澤)第九(沼
ノ袋)第十、十一(浦ヶ内)第
十二(下町、下川原、新町)第十
三(葛巻)第十四(下町大城)第
十五(鏡澤)第十六(川向)第十
七(打田子、田子)第十八(野橋
川原)第十九(砂子、鴨川)第廿
(城ノ内)第廿一(坊里)第廿二
(向田代)五十地、平内影)第廿
三(山岸)第廿四(九文坂)第廿
五(田ノ畑)第廿六(鈴ヶ口)第
廿七(大石)第廿八、廿九、卅
(小屋湊)第卅一(下荒谷)第卅
二(上荒谷)第卅三(書澤)第卅

四、卅五(凡喰)第卅六(横澤)
第卅七(志茂澤)第卅八(元木)
第卅九(只見)第四〇(戸草澤)
第四一(中澤)第四二(宇別)第
四三(柘ノ木、戸草澤)第四四
(更ノ澤)第四五(吉ヶ澤)第四
六(五葉窪)第四七(田代)第四
八(土砂子)第四九(平船)第五
〇(猿形)第五一(安源)第五二
(古川戸)第五三(位柳)第五四
五五、五六、五七(小田)第五八
五九、六〇(星野)第六一(赤井
田)△生産高總額三五四、八五
〇圓△昭和十年度豫算總額一
〇三、八九〇圓

葛巻信購販利組合長村木盛 養
蠶實行同遠藤彦三郎 耕地整理
同勝正一 保健同阿部才知 開
業醫近藤明達 遠藤俊次 産婆
遠藤ユミ 西島千代 常設館楢
山座橋山嘉八郎 旅館(遠藤)遠
藤イト (遠藤)遠藤カノ 料理
店島脇セキ 阿部ミヤノ 寶積
寺惠津森泰歡 八幡宮澤里五平

○江刈村

△沿革 八戸藩ニ屬シ輕米代
官所ニ屬シテキタガ明治維新
ノ際郡縣制トナリ八戸縣ニ屬
ス廢藩置縣ノ結果盛岡縣ニ編
入同五年(後岩手縣ト改稱)北
九戸郡ニ屬シタガ明治十七年
葛巻江刈兩村ノ組合トナリテ
町村制實施ノ際葛巻ヨリ分離
シテ江刈村役場ヲ本村字圭田
ニ設置サレ明治二十五年四月
岩手縣北九戸ノ兩郡合併シテ
九戸郡ト稱シ九戸郡ノ官轄ニ
屬シテ現在ニ至ル

額二五、六五三圓
村長勳七岩泉頼八 助役大崎仁
太郎 收入役中崎保造 村會議
員村木甲子男 市村喜助 橋正
一 市村元八 川村石松 佐々
木筆吉 大川原孝平 勳八高宮
明三 漆真下精藏 深澤豊治
上打田内喜代作 遠藤健次郎
在郷軍人分會長正八岩泉浩太郎
江刈村青年團長岩泉龍 江刈村
女子同(寺田)吉田秀雄(五日市)
大光成五郎 消防組頭村木治榮
農會長勳八高宮明三 畜産組合
長勳八同 養蠶同勳七岩泉頼八
村野池谷運平 柳善院惠津森義
翰 白山神社中野誠一 加茂神
社同

二戸郡

○福岡町(福岡局五〇番)
【現況一斑】△人口五、二五〇
人△戸數九八五戸△面積〇、
三四五方里△大字名八幡下、
橋場、五日町、松ノ丸、城ノ
内、城ノ外、川又、下川又、中村
鍵取、矢神、落久保、上町、中町
町裏、横丁、下中町、下町、田町

四九三

裏小路、長嶺△生産高總額(九
年度)七〇三、一四四圓△昭和
十年度豫算總額四七、二二九、
〇〇〇圓
町長從六川島一郎 助役菅原彦
作 收入役原田盛澄 町會議員
小保内岩吉 工藤利一郎 澤藤
兩八 外岡清 國分市郎 阿部
忠衛 古館徳治 阿部繁孝 阿
部要次郎 關廣治 川島一郎
黒澤助右衛門 佐藤幸太郎 小
向繁造 黒澤覺堂 在郷軍人分
會長米澤直次 男子青年團長川
島一郎 女子青年團長菊池和生
消防組頭阿部繁孝 農會長從六
川島一郎 福岡公德信用組合長
原田爲吉 同購買販賣利用同小
保内樺之介 陸奥同川島一郎
同電力株式會社長國分市郎 馬
淵電氣株式會社同人 殖産(中
澤綾太郎)三戸銀行(木澤徳次)
九十銀行(海野誠)盛岡(西野善
助)煙草販賣所長菊池清吾 開
業醫福岡病院 矢野醫院 國香
醫院 藤井醫院 産婆梅澤うめ
さ 小林あくり 劇場 福岡振
興會千浦孝一 福榮館 福岡公

岩手縣町村大觀——九戸郡

岩手縣町村大觀——二戸郡

會堂 旅館(村井)村井治兵衛
(佐藤)佐藤治助 料理店(よか
樓)曾我淺吉(金盛樓)藤田ふじ
神職小保内禪之助 高木順内
黒澤覺堂 岩館定善 安養寺
善導寺 龍岩寺 吞香稻荷神社
愛宕神社 秋葉神社 日本キリ
スト教會二戸傳導教會 天理教
福岡宣教師

○一戸町(一戸局四八番)

△沿革 往古アイヌ族の住せ
るは明かにして最近先住民族
の至寶たる人形、面、似玉等多
數堀出されたるは雄辯に語る
ものにして威嚇棒の大なるよ
り推して餘程有力なる酋長の
居住せる所と思はる一戸の言
葉も或はアイヌ語に非らざる
や、昔有名なる熊谷次郎直實
の乗馬たる權田栗毛なる龍蹄
の名馬は一戸の牧場より産出
せるものにして一戸は一ノ木
戸に非ざるや、中古南部氏の
一族甲斐より來り、一戸氏を
名乗り野田城(現在一戸町大
字高善寺字野口)を築き貳萬
石を領し、一戸南部の居城た

りしが、其の後九戸政實亂心
有り一戸氏暗殺せしむ、依り
て南部氏は城代北氏を使はし
一戸町北館に築城せしめて之
を治む、一戸氏の五輪ノ塔野
田城跡に有り北氏の墓所は廣
全寺にあり後盛岡南部の領地
たり明治九年五月岩手縣に屬
し町村制實施と共に高善寺村
一戸村の二ヶ村合併して一戸
町として町制を施行せり。

【現況一斑】△人口四、四一八
人△戸數七二七戸△面積〇、
六〇三方里△大字名一戸、高
善寺△生産高總額二四二、九
四一圓△昭和十年度豫算總額
三七、九〇一圓

町長正八田頭嘉二郎 助役小田
島仙吉 收入役勲八小野寺熊五
郎 町會議員越水幸作 正八田
頭嘉二郎 金子太左衛門 中村
壽 坂下七太郎 從七本宮龍太
郎 堀口常吉 本宮武次郎 大
山留吉 富澤徳四郎 在郷軍人
分會長正八田頭嘉二郎 一戸町
青年團長正八田頭 女子青年團
長鹽谷初太郎 消防組頭勲八田

村藏之助 農會長田頭嘉二郎
保證責任一戸大正社信用組合長
久慈善次郎 同二戸同田頭嘉
二郎 一戸合同運送株式會社長
堀口治郎右衛門 合名會社久慈
商店同久慈喜兵衛 合資會社堀
口同堀口常吉 殖産銀行一戸支
店長菊地秀雄 三戸銀行同泉山
恒一郎 一戸診療所長醫師開業
醫今井博 山崎喜久藏 及川泰
藏 産婆伊藤のぶ 田村ミテ
萬代館山火廣治 旅館山崎誠三
中島長兵衛 料理店(三樹樓)中
村佐助 (三陽樓)田頭嘉吉(三
芳樓)荒川ヨシ 廣全寺佐藤大
麟 實相寺小山内靈徹 郷社八
坂神社田畑弘學 日本キリスト
教會佐々木慶次郎

○爾薩休村(福岡局)

【現況一斑】△人口三、二三四
人△戸數五一九戸△面積二方
里七△大字名堀野、仁左平
白鳥、福岡△生産高總額一一
五、二二五圓△昭和十年度豫
算總額二一、九一五圓

吉 收入役勲八内田三吉 村會
議員古館作兵衛 佐藤作次郎
勲七關儀八郎 勲七平野三治
玉川末吉 小野福治 泉山梅吉
佐藤吉藏 榎木長次郎 泉山梅
吉 田村良藏 佐藤繁 在郷軍人
分會長久慈兼松 爾薩休村男子
青年團長勲七關儀八郎 同女子
青年團長佐藤一造 消防組頭堀
野千代治 農會長關儀八郎 仁
左平養蠶實行組合長佐藤太馬吉
陸奥養蠶組合長佐藤吉藏 爾薩
休村養兔同勲七關儀八郎 坂本
納稅同古館作兵衛 合資會社田
村組會社長田村熊五郎 耕農商
會同平野重太 畑三商會同畑中
三吉 丸一玉川製材所長玉川末
吉 淨福寺高崎歡道 武内神社
堀野千代治

○金田一村(金田一局)

【現況一斑】△人口五、一一九
人△戸數五三〇戸△面積四、三
三方里△大字名金谷、釜塚、野
々谷、下下米△生産高總額四
五二、一一九圓△昭和十年度
豫算總額二八、〇六九圓一六錢

村長菅原美武 助役澤田正巳
收入役青山左兵衛 村會議員下
斗米正巳 五日和七郎 玉川
千代吉 澤山徳治 工藤辰藏
勲七功七欠端小次 岩崎敬吉
關口長助 佐藤三太郎 川上春
松 中島春松 在郷軍人分會長勲
七田中一郎 金田一村青年團長
菅原美武 消防組頭正七勲六菅
原清 金田一信用組合長菅原健
之助 釜塚同工藤辰藏 丸通運
送會社長玉川千代吉 丸一玉川
工場長玉川清 陸奥製粉會社長
丹野彌太郎 産婆西館ふで 常
設館金龍館工藤鐵之助 旅館
(神泉)五日市テツ (仙養)千葉
みち 長壽寺平栗大隆 八坂神
社石田源吉 月山神社同人

○斗米村(福岡局)

【現況一斑】△人口四、五五九
人△戸數六四四戸△面積五方
里七五△大字名米澤、下斗米
上斗米△生産高總額二〇五、
〇一一圓△昭和十年度豫算總
額三一、四六七圓

橋清助 收入役後歩少正八山館
宮治 村會議員平一郎 小林吾
藏 澤藤松彌 米澤金助 山館
兼松 米澤金助 山館兼松 漆
原勝彌 藤村政治 蛇沼耕男
野月平圓次郎 澤田仁太郎 石
輪孫助 在郷軍人分會長後歩少
正八前澤吉治 男子青年團長熊
谷良治 女子青年團長同 消防
組頭退歩少正八小林直藏 農會
長熊谷良治 信購販利同 聖福
院大坂孝山 明光寺攝待光全
月山神社正八位坂本省三 天満
宮高村大次郎

○石切所村(北福岡局)

△沿革 二戸郡中最小村にし
て本郡の東部に位し東は白鳥
川を隔て、爾薩休村、西は御
返地村及斗米村、南は浪打村
北は斗米村及福岡町の諸町村
を以て圍繞せられ二大字と六
十八の小字とより成り大字石
切所と大字福岡との中間を南
より北に馬淵川を貫流す

【現況一斑】△人口三、五〇二
人△戸數五六二戸△面積一方里

鳴大字名石切所、福岡△生産
高總額九年度一〇八、三九七
圓△昭和十年度豫算總額二
一、三二〇圓

岩手縣町村大觀——二戸郡

岩手縣町村大觀——二戸郡

村長勲七外岡佐七郎 助役清川啓作 收入役缺 小野寺德藏 議員播磨松之助 沼臺巳之 東山定外岡佐七郎 袖田忠 門口治 釜谷金市 柴田種吉 土屋源次郎 在郷軍人分會長正八上村新太郎 消防組頭本善八外岡佐七郎 消防組頭本善八農會長外岡佐七郎 産業組合長清川啓作 負債整理門口敬吉 乳牛同上村新太郎 一戸合同運送株式會社堀口治郎右衛門 開業醫齒科醫村田儀兵衛

【現況一斑】△人口六、二八二 人△戸數八四一戸△面積十方里△大字名小島谷、平嶽、小繫、中山、宇別△生産高總額二〇〇、七八八圓△昭和十年年度豫算總額七七、四八二圓 村長上里太一郎 助役龜田廣吉 收入役高屋敷與五郎 村會議員 小野寺由五郎 北里幸一郎 穴久保金次郎 柏木眞平 野原佐太郎 木戸德彌 曲戸長次郎 居也德松 朴節喜藏 野尻佐太郎 西堀寅松 小堀甚助 立花源八 鹿志村善次郎 上山金太郎 駒木源五郎 在郷軍人分會長朴節喜藏 小島谷村青年團長上里太一郎 同女子同上里太一郎

消防組頭上里太一郎 農會長上里太一郎 小島谷産業組合長 平野倉藏 奥中山産業同駒木源五郎 開業醫檢員周産婆 福田ハルノ 大野キチ 公榮館 遠藤孝次郎 旅館昆友吉 堀籠モト 仁昌寺佐々木仙法 長樂同佐々木亮遠 八幡神社社掌小保内文彌

【現況一斑】△人口三、一三六 人△戸數五五四△面積二方里 九七七△大字名似鳥、安比、福田、上斗米△生産高總額一六〇、一〇八圓△昭和十年年度豫算總額三三、二七六圓 村長干葉庄八 助役勲七澤長助 收入役同功六三上市太郎 村會議員干葉正夫 田中善藏 橋場藤次郎 五十嵐藤治郎 和島助六 田口孫吉 勝又眞孝 出堀藤兵衛 坂本康治 大平專治郎 足澤義昌 田口義行 在郷軍人

分會長田口幸七郎 御返地青年團長田口雄 橋消防組頭干葉庄八 農會長干葉正夫 二戸郡産馬畜産組合長干葉庄八 有限責任御返地信購販同干葉庄八 似鳥農事實行同勲八三上廣治 安比同干葉正夫 福田同出堀藤兵衛 上斗米同小笠原吉五郎 似鳥養蠶實行同五十嵐藤治郎 安比同福田出堀藤兵衛 足澤同足澤義昌 産婆田口イト 鳳林寺菅原鐵成 長徳同本堂性眞

【現況一斑】△人口六、九七五 人△戸數一、一六〇戸△面積十二方里△大字名大清水、駒ヶ嶺、淨法寺、御山、漆澤△生産高總額五五九、六九四圓△昭和十年年度豫算五〇、〇七六圓 村長正七勲六大沼九八郎 助役角田健兒 收入役田口貞吉 村會議員佐藤富太郎 安ヶ平多藏 山本梅吉 田山孫作 芳本宮治 小船善次郎 山本豊治 角田雄三 田口源藏 升谷吉之助 田口順康 山口市太郎 小野伊八 樋口孫次郎 高峰石松 角田壽桂 横濱市太郎 大森喜七 在郷軍人分會長角田英治 男子青年團長正七勲六大沼九八郎 女子同同消防組頭同大沼九八郎 農會長勲七清川豊治 大清水養蠶實行組合長佐藤富太郎 駒ヶ嶺同山本梅吉 淨法寺同清川豊治 川又同徳積重次郎 淨法寺酒造同小田島惠吉 開業醫高橋慶次郎 産婆田口タマ 旅館竹本スノ 角田クニ (寶來館) 田口末吉 (大正亭) 泉山豊治 福藏寺淵澤知明 天臺寺荒眞了 神明 社稻庭稻荷神社芳本儀太郎 教會藤田吉太郎

治維新に至り津輕越中守取拔を命せられし二年野州羽黒藩主大關氏其後を續ぐ三戸縣江刺縣青森縣九年始めて岩手縣に屬す本村は荒屋八番戸長取扱となり町村制施行のとき始めて荒屋港澤を合して荒澤村と稱し今日に至れり

【現況一斑】△人口五、三七九 人△戸數八四五戸△面積十三方里△大字名荒屋、港澤、△生産高總額五〇六、三一〇圓△昭和十年年度豫算總額四四、二四一圓 村長從七勲七一一條專太郎 助役勝馬田清美 收入役勲八日時富太郎 村會議員伊藤重三郎 村上幸一郎 村上悦郎 勲八勝又庄吉 齋藤幸作 熊谷綱太 八勝又七郎 小山田勲次郎 種八立花安五郎 齋藤孫四郎 種市啓一郎 北口種吉 羽澤專次郎 勲八齋藤瀧之助 藤館春馨 齋藤伊太郎 藤村重吉 北館彌永門 在郷軍人分會長佐藤清造 二戸郡荒澤村青年團長一條專太郎 同女子同小澤寛平 消防組頭本宮庸夫 農會長一條專太郎 荒澤商業組合長蓋谷善次郎 同

岩手縣町村大觀——二戸郡

消防被服
帽子刺子
印紵天
黑紋付
京染一式

岩手縣花卷町一日市



小彌太工場

小瀬川春藏

電話 三三七番

家傳
耳藥本舖

光德寺

鎌倉又典

花卷町双葉町
振替口座仙臺七四番

一般貨物ノ保管

盛岡倉庫株式會社

盛岡市下厨川平戸
電話 一三九番



株式會社

盛岡市肴町

岩手貯蓄銀行

電話 七三二・八六三番
振替貯金口座仙臺四四五〇番

代理店

株式會社
株式會社
株式會社

岩手殖産銀行縣内各支店

第八十八銀行本店氣仙沼支店

羽後銀行川尻支店

盛岡市松尾前



東北製綿株式會社

電話千百十八番
振替仙臺七二八七番

盛岡市六日町一〇三番戶

有限盛岡信用組合

電話一、〇五九番

仙北町事務所

電話一、一四八番

材木町事務所

電話一七三番

盛岡市内丸四十四番戶



岩手無盡株式會社

養蠶家製絲家ノ共同管理
勞資ノ協調共存同榮主義

盛岡市

岩手縣是製絲株式會社

盛岡工場	電話 二二五番 八六二番
高田工場	電話 五七番
千厩工場	電話 三九番
盛岡工場	電話 六九番

引取配達迅速

國際通運株式會社盛岡代理店

通 盛岡合同運送株式會社

本店電話 三七一番(發送用) 三七二番(到着用)
三七三番(會計用) 一三六番(構内作業用)

仙北町支店 電話 五七二番(到着用)

取扱親切丁寧

鎮咳祛痰劑

ブロチン

肺結核、氣管枝炎その他咳嗽咯痰を伴ふ諸症に賞用せらる

米……50匁入
錠……100錠入
液……100匁入

(文献進呈)



東京・室町 三共株式會社

胃腸に

タカヂアスターゼ

消化を進催し食慾を増し
榮養を佳良ならしむ……

説明書進呈

包装 粉末、錠劑、各種

東京・室町

三共株式會社



お臺所の
瓦斯の
化

便利
清潔
安全

經濟
濟

盛岡市六日町
盛岡ガス會社
電話 六五一番

銃砲火藥類
硝子・セメント
カーバイト・石油

盛岡市内九十四番

三田商店株式會社

電話三三三番・三五三番

誇る強健

比なき體力と續く力闘
 疲れを知らぬ彼の秘訣
 それはヤツパリ、
 妙布の愛用であつた。
 は妙布こそ疲れコリ痛
 みに比なき
 効めを示
 す。



主効
 肩のコリ
 胸過勞の痛
 胸咽喉の痛
 リウマチス
 神經痛
 乳のコリ
 筋肉の痛

定二十錢 三十錢
 價五十錢 一圓

全國到る所
 の薬店に有
 ます

本舖 株式會社 渡邊輝綱藥房
 一廿町霞・布麻・京東
 番七〇六四京東替振

株券・証券
 各種印刷物
荷札



盛岡市日影門

川口荷札株式會社

販賣所

東京・大阪・札幌
 仙臺・函館・秋田

荷札製造能力一日百萬枚

千代田の新案母型

各社の大好評を受く

千代田の活字	千代田のゲケール	千代田の罫輪廓	千代田の	千代田の	千代田の新案母型
守母豊富、四十二、卅五、廿八、廿一、十八、十四、十、七、その他	東京に於て最大の生産力を有するケース、ゲラ、文撰箱等	東京に於て最も古く堅實なる信用を有す 真鍮及鉛輪廓真鍮鉛インテル	6.5. 各種自動機共用することを得る 各種七ホルビ付より四十二ボ迄 各種豊富	4. 3. 字面書體は全然本字母と同一のものを使用するを以て鮮明にして美麗 價格本字母の半價以下	2. 1. 寄引高低絶對狂ひ無く規則本字母と全然同一 取扱ひ極めて簡易操作本字母と殆ど同じ

千代田印刷機材製造株式會社

東京市神田區三河一丁目八番地

電話 神田 (25) 1264番 工附 千代田母型製造所
振替 東京 3890番 場屬 千代田寫真製版所

校長 内村 兵藏 創立明治廿三年

▲本科第一學年 高小學卒、中學二年修了

滿蒙支那語特設 補缺募集 九月十日べ切



麻布獸醫畜産學校

東京麻布區新堀町

▲特典 無試験獸醫師開業 幹部候補生有資格

毎年三月新學期募集ス

學則要郵券



各種印刷製版

御用命賜候
少ニ拘ハズ
度リ

電話六八七番

仙台市教樂院
東北印刷株式會社

世界の動きは「聯合」から全日本へ

新聞聯合は全國新聞の共同組合



略稱「聯合」新聞聯合社

新聞聯合は内外廣告の代理機關

日本の聲は「聯合」から全世界へ

本社 東京市橋區銀座四丁目九番
電話代表番號(57)二一
大阪支社 大阪市北區中之島二丁目江商ルビ
電話代表番號九七五

支局所在地
 横古 濱
 名都 戸
 京山 關
 神岡 崎
 下長 湯
 福新 森
 青仙 井
 函青 館
 福廣 島
 桐大 生
 京臺 連
 上北 城
 天津 海
 奉天 平

長濱 爾
 漢京 賓
 南島 春
 青南 京
 濟東 口
 廣香 港
 倫教 東
 巴里 南
 伯林 島
 紐育 坡
 桑坡 港
 晚香 坡
 ジネ 坡
 ホノ 坡
 スラ 坡
 シド 坡
 マニ 坡
 ロス 坡
 ゼル 坡

岩手日報

朝刊四頁・夕刊四頁

【年中無休刊】

社 是 五 則

- 一、岩手日報は岩手縣の正史たるを本領とし正確に報道し公正に批判する。
- 二、岩手日報は岩手縣の神經系として縣の内外の事象に對して鋭敏に其機能を發揮する。
- 三、岩手日報は全縣民の機關として一黨一派に偏せず多數の意見を反映せしめ憲政の完備に資すると共に地方自治の圓滿なる發達を期する。
- 四、岩手日報は岩手縣の繁榮と縣民の幸福の爲に奉仕する。
- 五、岩手日報は縣民の指標となり伴侶となる爲に常に忠厚の美風をなし品位を保持し清新なる記事を蒐むる。

岩手日報社(盛岡市内丸)

取締役	後藤清郎
支配人	岩淵榮男
編輯長	下村恒彌
監査役	小野崎篤造
總務部長	菱川香郎
營業次長	田村敬造
整理部長	吉田源三
東京支局長	岩淵榮男
(兼)大阪支局長	清島三郎
仙臺支局長	山本晃

資本金 壹億五千萬圓
 本店 東京市丸之内
 全國支店 百四拾貳箇所



株式會社

安田銀行盛岡支店

支店長 大熊貫二

盛岡市吳服町
 電話 三番・六五五番
 振替口座仙臺九二〇二番

岩手日報

朝刊四頁・夕刊四頁

〔年中無休刊〕

社 是 五 則

- 一、岩手日報は岩手縣の正史たるを本領とし正確に報道し公正に批判する。
- 二、岩手日報は岩手縣の神経系として縣の内外の事象に對して鋭敏に其機能を發揮する。
- 三、岩手日報は全縣民の機關として一黨一派に偏せず多數の意見を反映せしめ憲政の完備に資すると共に地方自治の圓滑なる發達を期する。
- 四、岩手日報は岩手縣の繁榮と縣民の幸福の爲に奉仕する。
- 五、岩手日報は縣民の指標となり伴侶となる爲に常に忠厚の美風をなし品位を保持し清新なる記事を蒐むる。

岩手日報社(盛岡市内丸)

取締役	後藤清耶
支店長	岩淵榮男
支店長	下村恒彌
支店長	小野崎篤造
支店長	菱川香耶
支店長	田村敬造
支店長	吉田源三
支店長	岩淵榮男
支店長	清島三郎
支店長	山本晃

資本金 壹億五千萬圓
 本店 東京市丸之内
 全國支店 百四拾貳箇所



株式會社

安田銀行盛岡支店

支店長 大熊貫二

盛岡市吳服町
 電話 三番・六五五番
 振替口座仙臺九二〇二番



の 行 流

食 食 雜 洋 吳
料 品 貨 品 服
堂 品 貨 品 服

徳 川

町 着 市 岡 盛

番 六 九 〇 一 ・ 八 〇 六 ・ 一 四 話 電

14.4
813

終